令和５年度

主要施策の成果等説明書

高　松　市

地方自治法第２３３条第５項の規定により、令和５年度高松市一般会計及び特別会計決算に係る主要施策の成果等説明書を提出します。

令和６年９月４日

高松市長　　大西　秀人

目　次

Ⅰ　総括

１　会計別決算概況　……　2

２　一般会計決算概況前年度比較　……　3

３　市債及び基金の状況　……　3

４　一般会計歳入決算前年度比較　……　4

５　一般会計歳出決算前年度比較（目的別）　……　5

６　一般会計歳出決算前年度比較（性質別）　……　6

７　一般会計歳出決算前年度比較（節別）　……　7

８　歳入歳出決算の総計及び繰入繰出金の状況　……　8

Ⅱ　第６次高松市総合計画に係る主要施策の成果

１　まちづくりの目標別総括表　……　11

２　まちづくりの目標別主要施策の成果

（１）　健やかにいきいきと暮らせるまち　……　19

（２）　心豊かで未来を築く人を育むまち　……　75

（３）　産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち　……　117

（４）　安全で安心して暮らし続けられるまち　……　165

（５）　環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち　……　233

（６）　市民と行政がともに力を発揮できるまち　……　255

(参考)

第６次高松市総合計画に掲げる施策の目標と実績　……　289

Ⅰ　総　括

1　　会計別決算概況

（単位：千円）

区分 / 会計別		予算現額	収入済額	支出済額	差引残額	翌年度への繰越財源	実質収支
一般会計		192,399,106	186,409,089	181,394,869	5,014,220	623,435	4,390,785
特別会計	国民健康保険事業	41,632,848	41,289,724	41,254,625	35,099		35,099
	（事業勘定）	41,602,207	41,261,580	41,226,481	35,099		35,099
	（直診勘定）	30,641	28,144	28,144			
	後期高齢者医療事業	7,212,654	7,076,687	7,064,798	11,889		11,889
	介護保険事業	43,340,141	43,269,189	42,582,856	686,333		686,333
	（保険事業勘定）	43,167,953	43,109,859	42,423,526	686,333		686,333
	（介護サービス事業勘定）	172,188	159,330	159,330			
	母子福祉資金等貸付事業	116,620	154,924	78,311	76,613		76,613
	食肉センター事業	357,241	348,047	348,047			
	競輪事業	27,249,990	27,202,901	26,911,261	291,640		291,640
	卸売市場事業	8,159,146	2,537,727	2,502,813	34,914	34,914	
	中小企業勤労者福祉共済事業	117,383	116,466	115,956	510		510
	駐車場事業	413,008	416,243	403,062	13,181	5,610	7,571
	計	128,599,031	122,411,908	121,261,729	1,150,179	40,524	1,109,655
合計		320,998,137	308,820,997	302,656,598	6,164,399	663,959	5,500,440

2　一般会計決算概況前年度比較

（単位：千円）

区　分	令和5年度 A	令和4年度 B	対前年度比 金 額 A－B＝C	対前年度比 増減率 C／B
1 歳入総額	186,409,089	178,379,590	8,029,499	4.5 %
2 歳出総額	181,394,869	173,585,126	7,809,743	4.5 %
3 歳入歳出差引額（形式収支１－２）	5,014,220	4,794,464	219,756	4.6 %
4 翌年度への繰越財源	623,435	888,218	△ 264,783	△ 29.8 %
5 実質収支（３－４）	4,390,785	3,906,246	484,539	12.4 %
6 財政調整基金積立金	2,200,000	2,200,000	0	0.0 %
7 翌年度予算計上可能額（５－６）	2,190,785	1,706,246	484,539	28.4 %

3　市債及び基金の状況

（単位：千円）

区　分	令和5年度末 現在高	令和4年度末 現在高	増減額	増減率
一般会計	178,446,121	176,368,497	2,077,624	1.2 %
（臨時財政対策債を除く。）	106,434,403	100,747,097	5,687,306	5.6 %
財政調整基金・減債基金 施設整備基金	17,978,304	16,763,694	1,214,610	7.2 %

4　一般会計歳入決算前年度比較

（単位：千円）

款名	令和5年度		令和4年度		対前年度比	
	収入済額 A	構成比	収入済額 B	構成比	金額 A－B＝C	増減率 C／B
1 市税	65,491,180	35.1 %	65,155,945	36.5 %	335,235	0.5 %
2 地方譲与税	1,061,052	0.6 %	1,048,887	0.6 %	12,165	1.2 %
3 利子割交付金	35,028		45,933		△ 10,905	△ 23.7 %
4 配当割交付金	527,511	0.3 %	459,202	0.3 %	68,309	14.9 %
5 株式等譲渡所得割交付金	527,613	0.3 %	313,159	0.2 %	214,454	68.5 %
6 法人事業税交付金	1,131,997	0.6 %	1,230,617	0.7 %	△ 98,620	△ 8.0 %
7 地方消費税交付金	10,872,901	5.8 %	10,937,610	6.1 %	△ 64,709	△ 0.6 %
8 ゴルフ場利用税交付金	27,044		25,368		1,676	6.6 %
9 自動車取得税交付金	12,869		3,081		9,788	317.7 %
10 環境性能割交付金	128,312	0.1 %	106,780	0.1 %	21,532	20.2 %
11 国有提供施設等所在市町村助成交付金	796		733		63	8.6 %
12 地方特例交付金	473,224	0.3 %	457,016	0.3 %	16,208	3.5 %
13 地方交付税	20,844,310	11.2 %	18,547,618	10.4 %	2,296,692	12.4 %
14 交通安全対策特別交付金	57,718		69,069		△ 11,351	△ 16.4 %
15 分担金及び負担金	926,230	0.5 %	852,231	0.5 %	73,999	8.7 %
16 使用料及び手数料	2,997,720	1.6 %	2,939,184	1.6 %	58,536	2.0 %
17 国庫支出金	39,011,265	20.9 %	39,948,032	22.4 %	△ 936,767	△ 2.3 %
18 県支出金	12,688,726	6.8 %	11,913,991	6.7 %	774,735	6.5 %
19 財産収入	1,447,066	0.8 %	156,838	0.1 %	1,290,228	822.7 %
20 寄附金	1,301,370	0.7 %	1,116,475	0.6 %	184,895	16.6 %
21 繰入金	2,813,881	1.5 %	2,721,469	1.5 %	92,412	3.4 %
22 繰越金	2,594,464	1.4 %	2,468,740	1.4 %	125,724	5.1 %
23 諸収入	4,001,512	2.2 %	4,139,559	2.3 %	△ 138,047	△ 3.3 %
24 市債	17,435,300	9.3 %	13,722,053	7.7 %	3,713,247	27.1 %
合計	186,409,089	100.0 %	178,379,590	100.0 %	8,029,499	4.5 %

5　一般会計歳出決算前年度比較　【目的別】

（単位：千円）

款名	令和5年度		令和4年度		対前年度比	
	支出済額 A	構成比	支出済額 B	構成比	金額 A－B＝C	増減率 C／B
1 議会費	708,189	0.4 %	688,519	0.4 %	19,670	2.9 %
2 総務費	16,530,116	9.1 %	17,560,738	10.1 %	△ 1,030,622	△ 5.9 %
3 民生費	80,623,221	44.4 %	76,188,963	43.9 %	4,434,258	5.8 %
4 衛生費	16,248,072	9.0 %	17,601,906	10.1 %	△ 1,353,834	△ 7.7 %
5 労働費	206,507	0.1 %	181,763	0.1 %	24,744	13.6 %
6 農林水産業費	2,457,448	1.4 %	2,111,748	1.2 %	345,700	16.4 %
7 商工費	3,103,391	1.7 %	3,719,386	2.2 %	△ 615,995	△ 16.6 %
8 土木費	12,702,771	7.0 %	13,389,912	7.7 %	△ 687,141	△ 5.1 %
9 消防費	5,281,234	2.9 %	5,014,213	2.9 %	267,021	5.3 %
10 教育費	27,574,381	15.2 %	18,893,839	10.9 %	8,680,542	45.9 %
11 災害復旧費	19,317		2,615		16,702	638.7 %
12 公債費	15,916,722	8.8 %	18,163,727	10.5 %	△ 2,247,005	△ 12.4 %
13 諸支出金	23,500		67,797		△ 44,297	△ 65.3 %
合計	181,394,869	100.0 %	173,585,126	100.0 %	7,809,743	4.5 %

6　一般会計歳出決算前年度比較【性質別】

（単位:千円）

区分	令和5年度		令和4年度		対前年度比	
	支出済額 A	構成比	支出済額 B	構成比	金額 A－B＝C	増減率 C／B
1 人件費	32,073,104	17.6 %	32,255,337	18.6 %	△ 182,233	△ 0.6 %
2 物件費	23,039,106	12.7 %	23,771,900	13.7 %	△ 732,794	△ 3.1 %
3 維持補修費	2,058,177	1.1 %	2,245,093	1.3 %	△ 186,916	△ 8.3 %
4 扶助費	53,295,934	29.4 %	50,489,000	29.1 %	2,806,934	5.6 %
5 補助費等	17,638,923	9.7 %	16,816,677	9.7 %	822,246	4.9 %
6 建設事業費	21,940,803	12.1 %	14,970,461	8.6 %	6,970,342	46.6 %
(1) 普通建設事業費	21,921,486	12.1 %	14,967,846	8.6 %	6,953,640	46.5 %
ア 補助事業費	6,207,235	3.4 %	6,055,955	3.5 %	151,280	2.5 %
イ 単独事業費	15,714,251	8.7 %	8,911,891	5.1 %	6,802,360	76.3 %
(2) 災害復旧事業費	19,317		2,615		16,702	638.7 %
7 公債費	15,916,406	8.8 %	18,114,571	10.4 %	△ 2,198,165	△ 12.1 %
8 積立金	1,931,639	1.1 %	987,715	0.6 %	943,924	95.6 %
9 投資及び出資金	950,256	0.5 %	965,430	0.6 %	△ 15,174	△ 1.6 %
10 貸付金	708,050	0.4 %	1,461,647	0.8 %	△ 753,597	△ 51.6 %
11 繰出金	11,842,471	6.6 %	11,507,295	6.6 %	335,176	2.9 %
合計	181,394,869	100.0 %	173,585,126	100.0 %	7,809,743	4.5 %
(参考) 義務的経費 (人件費＋扶助費＋公債費)	101,285,444	55.8 %	100,858,908	58.1 %	426,536	0.4 %

7　一般会計歳出決算前年度比較【節別】

（単位：千円）

区分	令和5年度		令和4年度		対前年度比	
	支出済額 A	構成比	支出済額 B	構成比	金額 A－B＝C	増減率 C／B
1 報酬	4,032,594	2.2 %	3,889,055	2.2 %	143,539	3.7 %
2 給料	13,199,933	7.3 %	12,915,663	7.4 %	284,270	2.2 %
3 職員手当等	10,264,180	5.7 %	10,864,374	6.3 %	△ 600,194	△ 5.5 %
4 共済費	4,911,329	2.7 %	4,928,081	2.8 %	△ 16,752	△ 0.3 %
5 災害補償費	9,474		11,514		△ 2,040	△ 17.7 %
6 恩給及び退職年金	1,737		1,737			
7 報償費	306,923	0.2 %	311,846	0.2 %	△ 4,923	△ 1.6 %
8 旅費	187,067	0.1 %	151,205	0.1 %	35,862	23.7 %
9 交際費	3,737		3,574		163	4.6 %
10 需用費	5,608,953	3.1 %	3,763,798	2.2 %	1,845,155	49.0 %
11 役務費	880,971	0.5 %	1,421,313	0.8 %	△ 540,342	△ 38.0 %
12 委託料	21,519,001	11.9 %	23,159,887	13.4 %	△ 1,640,886	△ 7.1 %
13 使用料及び賃借料	1,925,738	1.1 %	1,920,129	1.1 %	5,609	0.3 %
14 工事請負費	16,971,914	9.3 %	11,079,852	6.4 %	5,892,062	53.2 %
15 原材料費	11,428		18,699		△ 7,271	△ 38.9 %
16 公有財産購入費	174,168	0.1 %	237,968	0.1 %	△ 63,800	△ 26.8 %
17 備品購入費	639,392	0.3 %	611,869	0.4 %	27,523	4.5 %
18 負担金、補助及び交付金	31,939,684	17.6 %	28,331,142	16.3 %	3,608,542	12.7 %
19 扶助費	35,599,961	19.6 %	35,050,067	20.2 %	549,894	1.6 %
20 貸付金	708,050	0.4 %	1,461,647	0.9 %	△ 753,597	△ 51.6 %
21 補償、補塡及び賠償金	289,031	0.2 %	587,633	0.3 %	△ 298,602	△ 50.8 %
22 償還金、利子及び割引料	17,414,720	9.6 %	19,333,069	11.1 %	△ 1,918,349	△ 9.9 %
23 投資及び出資金	950,256	0.5 %	965,430	0.6 %	△ 15,174	△ 1.6 %
24 積立金	1,931,639	1.1 %	987,715	0.6 %	943,924	95.6 %
25 寄附金	70,500		70,500			%
26 公課費	18		64		△ 46	△ 71.9 %
27 繰出金	11,842,471	6.5 %	11,507,295	6.6 %	335,176	2.9 %
合計	181,394,869	100.0 %	173,585,126	100.0 %	7,809,743	4.5 %

8　歳入歳出決算の総計及び繰入繰出金の状況

区分 / 会計名		歳入 決算額	歳入 うち繰入金 繰入先の会計	歳入 うち繰入金 決算額
		千円		千円
一般会計		186,409,089	介護保険事業特別会計	138,314
			母子福祉資金等貸付事業特別会計	20,189
			競輪事業特別会計	200,000
			駐車場事業特別会計	38,011
			計	396,514
特別会計	国民健康保険事業	41,289,724	一般会計	3,612,270
	後期高齢者医療事業	7,076,687	一般会計	1,527,635
	介護保険事業	43,269,189	一般会計	6,371,114
	母子福祉資金等貸付事業	154,924	一般会計	603
	食肉センター事業	348,047	一般会計	258,197
	競輪事業	27,202,901		
	卸売市場事業	2,537,727	一般会計	57,399
	中小企業勤労者福祉共済事業	116,466	一般会計	15,253
	駐車場事業	416,243		
	計	122,411,908		11,842,471
合計		308,820,997		12,238,985

歳出		
決算額	うち繰出金	
	繰出先の会計	決算額
千円		千円
	国民健康保険事業特別会計	3,612,270
	後期高齢者医療事業特別会計	1,527,635
	介護保険事業特別会計	6,371,114
	母子福祉資金等貸付事業特別会計	603
181,394,869	食肉センター事業特別会計	258,197
	卸売市場事業特別会計	57,399
	中小企業勤労者福祉共済事業特別会計	15,253
	計	11,842,471
41,254,625		
7,064,798		
42,582,856	一般会計	138,314
78,311	一般会計	20,189
348,047		
26,911,261	一般会計	200,000
2,502,813		
115,956		
403,062	一般会計	38,011
121,261,729		396,514
302,656,598		12,238,985

Ⅱ　第６次高松市総合計画に係る主要施策の成果

(注)

1　事業費の記載について

「施策の概要調書」の事業費及び「主な事務事業の内容一覧」の事業費の合計は、特別会計への繰出金等を含むため、一致しないことがあります。

2　行政評価結果に関する記載について

（1）　「政策の概要調書」の総合評価は、当該年度の行政評価における政策評価の結果を記載しています。

評価項目	評価内容
総合評価	(政策を構成する施策の総合評価の平均得点率) Ａ：８６％以上、Ｂ：７１％以上８６％未満、Ｃ：５６％以上７１％未満、Ｄ：５６％未満

（2）　「施策の概要調書」の総合評価は、当該年度の行政評価における施策評価の結果を記載しています。

また、成果指標の達成度は、当該年度の目標値に対する実績値の割合を記載しています。

評価項目	評価内容
総合評価	(成果指標の達成度から算定した得点率) Ａ：８６％以上、Ｂ：７１％以上８６％未満、Ｃ：５６％以上７１％未満、Ｄ：５６％未満
成果達成度	(当該年度の目標値に対する実績値の割合) 晴れ：１００％以上、薄日：９０％以上１００％未満、曇り：８０％以上９０％未満、 小雨：６０％以上８０％未満、雨：６０％未満

（3）　「主な事務事業の内容一覧」の各事務事業において、成果達成度は、当該年度の目標値に対する実績値の割合を記載しています。また、妥当性、有効性、効率性、総合評価及び今後の方向性については、当該年度の行政評価における事務事業評価の結果を記載しています。なお、評価の記載がない事務事業（事務事業名の前に「(評価対象外)」と記載している事業）は、内部事務や裁量の余地のない事業など一定の要件により事務事業評価の対象外となったものです。

評価項目	評価内容
成果達成度	当該年度の目標値に対する実績値の割合 ※（事業概要、事業実績等）欄に、◎成果指標名　実績値（目標値）を記載しています。
妥当性	(市民ニーズや社会情勢を考慮した、事業の目的や手法の妥当性) Ａ：妥当である、Ｂ：改善の余地がある、Ｃ：大幅な見直しが必要である、Ｄ：市民ニーズ等に合っていない
有効性	(上位施策目標及び住民福祉の向上への貢献度) Ａ：貢献が大きい、Ｂ：貢献が中程度、Ｃ：貢献が小さい、Ｄ：全く貢献していない
効率性	(費用対効果) Ａ：向上している、Ｂ：同程度、Ｃ：低下している、Ｄ：１０％以上低下している
総合評価	(成果達成度、妥当性、有効性、効率性を得点化した得点率) Ａ：８６％以上、Ｂ：７１％以上８６％未満、Ｃ：５６％以上７１％未満、Ｄ：５６％未満
今後の方向性	拡充、継続、改善継続、縮小、統合、完了、休止、廃止

3　市民満足度調査結果に関する記載について

「政策の概要調書」及び「施策の概要調書」における市民満足度調査結果については、当該年度の市民満足度調査結果から、各施策に対する「満足」と「やや満足」を合わせた「満足度」、「やや不満」と「不満」を合わせた「不満度」及び「重要」と「やや重要」を合わせた「重要度」を記載しています。

(参考) 施策全体の満足度２９．５%、施策全体の不満度１７．６%

１　まちづくりの目標別総括表

目指すべき都市像

「活力にあふれ 創造性豊かな 瀬戸の都・高松」

302,656,598千円

１　健やかにいきいきと暮らせるまち

174,813,755千円

２　心豊かで未来を築く人を育むまち

15,766,365千円

３　産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち

14,208,589千円

４　安全で安心して暮らし続けられるまち

16,394,983千円

５　環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち

3,419,995千円

６　市民と行政がともに力を発揮できるまち

78,052,911千円

（まちづくりの目標）

1　健やかにいきいきと暮らせるまち	174,813,755千円

（政　策）	（施　策）	
子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実 28,363,336千円	子どもの成長への支援	11,766,500千円
	子育て家庭への支援	16,596,836千円
支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成 34,331,638千円	地域福祉の推進	6,535,492千円
	地域包括ケアシステムの構築	2,503,677千円
	障がい者の自立支援と社会参加の促進	13,670,022千円
	生活困窮者等への自立支援	11,622,447千円
健康で元気に暮らせる環境づくり 112,118,781千円	健康づくりの推進	3,574,368千円
	医療体制の充実	2,673,023千円
	社会保障制度の適切な運営	105,871,390千円

（まちづくりの目標）

2　心豊かで未来を築く人を育むまち

15,766,365千円

（政　策）		（施　策）	
男女共同参画社会の形成 42,576千円		男女共同参画の推進	42,576千円
社会を生き抜く力を育む教育の充実 14,921,644千円		学校教育の充実	4,098,331千円
		学校教育環境の整備	10,756,396千円
		子どもの安全確保	4,297千円
		青少年の健全育成	36,649千円
		家庭・地域の教育力の向上	1,333千円
		大学等高等教育の充実	24,638千円
心豊かで地域力を育む生涯学習社会の形成 551,859千円		生涯学習の推進	551,859千円
基本的人権を尊重する社会の確立 250,286千円		人権尊重意識の普及・高揚	236,769千円
		平和意識の普及・高揚	13,517千円

（まちづくりの目標）

3　産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
14,208,589千円

（政　策）		（施　策）	
地域を支える産業の振興と経済の活性化	6,638,456千円	商工業の振興	1,584,806千円
		農林水産業の振興	4,709,171千円
		特産品の育成・振興とブランド力の向上	36,407千円
		就業環境の充実	308,072千円
文化芸術の振興と発信	5,571,077千円	文化芸術の振興	5,176,589千円
		文化財の保存・活用	394,488千円
元気を生み出すスポーツの振興	958,556千円	スポーツの振興	958,556千円
訪れたくなる観光・ＭＩＣＥ（マイス）の振興	972,719千円	観光客受入環境の整備	677,900千円
		観光客誘致の推進	294,819千円
国際・国内交流の推進と定住の促進	67,781千円	国際・国内交流の推進	25,226千円
		移住・交流の促進	42,555千円

（まちづくりの目標）

4　安全で安心して暮らし続けられるまち

16,394,983千円

（政　策）		（施　策）	
安全で安心して暮らせる社会環境の形成	1,981,978千円	消防・救急の充実強化	1,044,071千円
		防災・減災対策の充実	205,158千円
		交通安全対策の充実	117,062千円
		防犯体制の整備	84,122千円
		生活衛生の向上	517,444千円
		消費者の権利保護と自立促進	14,121千円
環境と共生する持続可能な循環型社会の形成	5,835,077千円	ごみの減量と再資源化の推進	342,575千円
		廃棄物の適正処理	5,206,457千円
		不法投棄の防止	4,905千円
		地球温暖化対策の推進	209,989千円
		環境保全活動の推進	71,151千円
豊かな暮らしを支える生活環境の向上	8,577,928千円	居住環境の整備	997,874千円
		身近な道路環境の整備	2,206,072千円
		河川・港湾の整備	788,048千円
		みどりの保全・創造	526,835千円
		水の安定供給	10,013千円
		汚水・雨水対策の充実	4,049,086千円

（まちづくりの目標）

5　環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	3,419,995千円

（政　策）		（施　策）	
コンパクトで魅力ある都市空間の形成	189,532千円	多核連携型コンパクト・エコシティの推進	151,219千円
		景観の保全・形成・創出	38,313千円
快適で人にやさしい都市交通の形成	1,147,550千円	公共交通の利便性の向上	955,319千円
		自転車の利用環境の向上	192,231千円
拠点性を発揮できる都市機能の充実	2,082,913千円	拠点性を高める交通網の整備と利用促進	651,437千円
		拠点性を高める道路ネットワークの整備	336,574千円
		中心市街地の活性化	1,094,902千円

（まちづくりの目標）

6　市民と行政がともに力を発揮できるまち

78,052,911千円

（政　策）		（施　策）	
参画・協働によるコミュニティの再生	1,535,520千円	地域コミュニティの自立・活性化	1,357,789千円
		参画・協働の推進	162,589千円
		離島の振興	15,142千円
相互の特長をいかした多様な連携の推進	12,001千円	連携の推進	12,001千円
健全で信頼される行財政運営の確立	76,505,390千円	職員力の向上	26,893,072千円
		効率的で効果的な行財政運営の推進	49,612,318千円

（1）健やかにいきいきと暮らせるまち

2　まちづくりの目標別主要施策の成果

令和５年度　政策の概要調書

総合計画体系		
	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
	政　策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実

総合評価
B

１　政策の概要

子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実を図るため、母子の健康の確保と増進、病気の予防や早期発見への取組に加え、子どもの生きる力を育てる教育や体験学習環境の整備・充実に努めるとともに、障がいのある子どもや様々な理由により配慮が必要な子どもを始め、全ての子どもが、地域の中で安心して生活し、成長・自立していけるよう、子どもの成長への支援に努めます。

また、子育て家庭が孤立することなく、心身ともにゆとりをもって子育てができるよう、地域社会全体で支援するとともに、男女が共に仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を実現できるよう、子育て家庭への支援に努めます。

２　政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
子どもの成長への支援	91%	A
子育て家庭への支援	77%	B
平均	84%	B

３　政策の評価

子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実に向けて、２施策に取り組んだ。

「子どもの成長への支援」では、設定する３つの成果指標のうち、自立支援プログラム策定者の就職率において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を達成した。

「子育て家庭への支援」では、設定する３つの成果指標のうち、保育施設等待機児童数（４月１日現在）において、受入れ枠を増やしたものの、地域ごとの需要に偏りがあることなどから、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を達成又はおおむね達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は８４％となり、政策全体として目指す方向におおむね順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「B」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
子どもの成長への支援	36.8%	15.9%	85.1%
子育て家庭への支援	35.4%	18.3%	82.6%
平均	36.1%	17.1%	83.9%

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	子どもの成長への支援

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
11,766,500千円	A	36.8%	85.1%

まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
政　策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実
担当局	健康福祉局、教育局

対象	市内の１８歳未満の児童及びその保護者	意図	全ての子どもの健やかな成長を社会全体で支え、子どもを生み育てやすいまちづくりを推進する。

概要（実績）

妊婦や乳幼児に対する健康診査を始め、子どもの成長・発達についての情報提供や相談を実施し、子どもと保護者の心身の健康保持に寄与したほか、ひとり親家庭の自立に向けた就労支援などにも取り組んだことにより、子どもと保護者への支援の充実につながった。

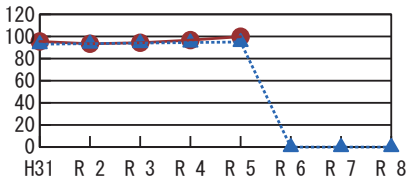
成果指標

①

指標名	１歳６か月児健康診査受診率	R 5実績	R 5目標	達成度
		99.8%	95%	105.1%

状況：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、かかりつけ医等における個別健診を実施していたが、令和５年度から従来の集団健診で実施した。家庭訪問等での受診勧奨やコロナ禍の措置としての受診期間延長により、高い受診率を達成することができた。
また、健診後も家庭訪問等を通じて、保護者の不安や負担の軽減を図ることができた。

達成度の推移

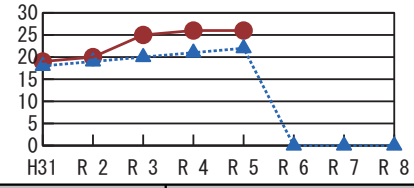


②

指標名	認定こども園数	R 5実績	R 5目標	達成度
		26施設	22施設	118.2%

状況：幼稚園と保育所の機能を併せ持ち、保護者の就労形態にかかわらず、教育と保育を一体的に提供できる私立の「認定こども園」の普及を促進したことにより、目標を達成することができた。

達成度の推移

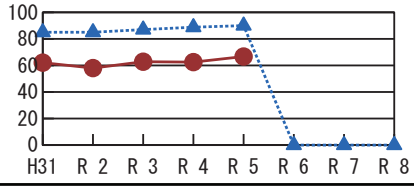


③

指標名	自立支援プログラム策定者の就職率	R 5実績	R 5目標	達成度
		66.7%	90%	74.1%

状況：目標値には達しなかったが、就職件数としてカウントされないプログラム策定者の中には、当初転職を希望していたものの、結果的に継続就労を選択した者や、専門性の高い職に就くため、学校に通い始めた者等が含まれており、就労支援という点において、一定の役割を果たすことができた。

達成度の推移



施策の課題

子どもの健やかな学びを支援するため、子ども一人一人の発達段階に応じた質の高い教育・保育を安定的に提供することが必要である。
また、地域ぐるみでの子育て支援の充実が求められていることから、様々な形態や種類の子育て支援団体との相互交流やネットワークづくり、連携強化などが必要である。

施策の方向性

令和２年３月に策定した第２期高松市子ども・子育て支援推進計画に基づき、子どもの心身の健やかな育ちへの支援、健やかな成長を促す学びへの支援、配慮を要する子どもと保護者への支援などに取り組むことにより、子どもの成長と子育てを社会全体で支援していく。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	保育所・幼稚園等への芸術士派遣事業 34,849千円 健康福祉局 こども保育教育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			97.0%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 芸術士と派遣先である保育所・こども園及び幼稚園児童が協同し、継続して創作活動を実施したことにより、児童が持っている感性や創造力を伸ばすことができた。 派遣実績　派遣施設数１００施設、派遣回数１，５３０回 ◎芸術士派遣事業実施施設の満足度　実績９７％（目標１００％）							
2	年長児童の赤ちゃん出会い・ふれあい交流事業 2,513千円 健康福祉局 子育て支援課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			83.0%	92.0%	A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 次代の親となる子どもの豊かな人間性を育成するため、地域子育て支援拠点事業実施団体と協働して、中学生を対象に、乳幼児や保護者との出会い・ふれあい・交流の場を提供し、赤ちゃんとの関わり方等の学習、抱き方及び遊び方等の体験学習を行った。 ◎ライフデザインを考えるきっかけとなった生徒の割合 実績８３％（目標１００％） ◎乳幼児に関心を持つようになった生徒の割合 実績９２％（目標１００％）							
3	（評価対象外）新規採用保育教育士実地研修指導事業 3,994千円 教育局 総合教育センター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 保育所配属の新規採用保育教育士に対して、退職した保育所長が年間６回訪問し、職務の遂行に必要な事項に関する研修を実施したほか、具体的な相談を受けることにより、使命感や実践力を養うことができた。							
4	こども未来館わくわく体験事業 1,886千円 健康福祉局 こども未来館	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			167.4%		A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 子どもの夢や想像力を育むような、魅力あるイベントプログラムを提供することにより、子どもを中心とした幅広い世代の人々が来館し、世代間交流の場として、また、子どもの遊び・体験・学びの場として貢献した。 ◎わくわく体験事業参加者数　実績６，３６１人（目標３，８００人）							
5	子ども・子育て支援事業 21,290千円 健康福祉局 こども未来館	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			126.4%		A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） みんなのひろば・プレイルームを子どもと保護者が共に育ち合う場として、また、保護者同士の交流や情報交換の場として、子どもと保護者の居場所を提供したことにより、子育て支援に貢献した。 ◎みんなのひろば・プレイルーム利用者数 実績８８，４５３人（目標７０，０００人）							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
6	こども未来館学習体験事業 37,796千円 健康福祉局 こども未来館	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			132.1%		A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） こども未来館の施設を活用した体験的な学習活動を通じて、子どもの想像力（創造力）や探求心を育むことにより、健やかな成長への支援に寄与した。 瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の小学校１２校を含む小・中学校６６校について、こども未来館学習を実施したことにより、好評を得た。 ◎こども未来館学習実施延べ人数　実績４，９９２人（目標３，７８０人）							
7	（評価対象外）こども未来館管理運営事業 61,665千円 健康福祉局 こども未来館	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） こども未来館施設の保守点検、施設総合管理業務、機械警備業務、清掃業務等を実施し、適正な施設管理を行った。 なお、前年度からの繰越事業である排煙装置の電動機修繕については完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：２，１８９，０００円）							
8	保育所・幼稚園等施設整備事業 523,622千円 健康福祉局 施設対策室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	100.0%	100.0%	A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 公立幼稚園の大規模修繕を実施したことにより、教育環境が向上した。 ◎認定こども園対象児童数　実績１，２３３人（目標１，２３３人） ◎大規模修繕実施施設対象児童数　実績１，３４４人（目標１，３４４人） なお、前年度からの繰越事業である田井・大町地区幼保一体化施設整備事業の一部については完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：５８，０５８，１１３円）							
9	（評価対象外）公立保育所等管理事業 187,566千円 健康福祉局 施設対策室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 児童福祉施設最低基準等に基づき、市立保育所・こども園の維持管理を適正に行うとともに、安全で快適な保育環境を整えたことにより、保育している乳幼児の健やかな育成に寄与した。 なお、国の補正予算事業（保育所等における性被害防止対策に係る設備等支援事業）の執行に当たり、実施期間を確保するため、翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：３，６００，０００円）							
10	（評価対象外）公立保育所等運営事業 2,083,286千円 健康福祉局 運営支援室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 児童福祉施設最低基準等に基づき、市立保育所・こども園の維持管理を適正に行うとともに、安全で快適な保育環境を整えたことにより、保育している乳幼児の健やかな育成に寄与した。							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容
11	（評価対象外）幼稚園管理運営事業（総合教育センター分） 4,102千円 教育局 総合教育センター	重点： 成果達成度： 妥当性： 有効性： 効率性： 総合評価： 今後の方向性： （事業概要、事業実績等） 計画した研修はＩＣＴの活用も交え、全て実施した。 国からの委託事業として実施している幼保小の架け橋プログラム調査研究事業について、２年目に当たる令和５年度は、開発校区数を増やし、架け橋カリキュラム開発に取り組んだ。 就学前施設及び小学校には、本市の実態及び課題を提示し、研究テーマを設け、実践をもとに協議し、研究を進めることができた。
12	私立認定こども園施設型給付事業 4,227,561千円 健康福祉局 こども保育教育課	重点： 成果達成度：36.8% 妥当性：A 有効性：A 効率性：B 総合評価：D 今後の方向性：統合 （事業概要、事業実績等） 子ども・子育て支援新制度において、私立認定こども園に対し、国で定める公定価格に基づき、施設型給付を給付することにより、保育サービスの充実につながった。 ◎待機児童数（４月１日現在）　実績１２人（目標０人）
13	私立幼稚園施設型給付事業 869,481千円 健康福祉局 こども保育教育課	重点： 成果達成度：36.8% 妥当性：A 有効性：A 効率性：B 総合評価：D 今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） 子ども・子育て支援新制度に移行している私立幼稚園に対して、法で定める公定価格に基づき、施設型給付として給付することにより、私立幼稚園の適正かつ円滑な運営を助長し、就学前教育の充実につながった。 ◎待機児童数（４月１日現在）　実績１２人（目標０人）
14	（評価対象外）幼稚園管理運営事業 230,880千円 健康福祉局 運営支援室	重点： 成果達成度： 妥当性： 有効性： 効率性： 総合評価： 今後の方向性： （事業概要、事業実績等） 幼稚園設置基準等に基づき、市立幼稚園の維持管理を適正に行うことにより、保育している幼児の心身ともに健やかな育成に寄与した。 なお、国の補正予算事業（保育所等における性被害防止対策に係る設備等支援事業）の執行に当たり、実施期間を確保するため、翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：１，７００，０００円）
15	（評価対象外）妊婦・乳児及び歯科健康診査事業 337,269千円 健康福祉局 健康づくり推進課	重点： 成果達成度： 妥当性： 有効性： 効率性： 総合評価： 今後の方向性： （事業概要、事業実績等） 妊婦・乳児健康診査や妊産婦・幼児歯科健康診査の助成を行うことにより、必要な時期に健康診査を受けることができ、健やかな妊娠出産に寄与した。 また、新生児に対する聴覚検査の助成を行うことにより、新生児の聴覚異常について、早期の発見と支援につなげることができた。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容
16 （評価対象外）幼児健康診査事業 36,672千円 健康福祉局 健康づくり推進課	重点：　成果達成度：　妥当性：　有効性：　効率性：　総合評価：　今後の方向性： （事業概要、事業実績等） 幼児健康診査時の保健師や臨床心理士、言語聴覚士等の専門職による個別相談や、保育士による子どもとの具体的な関わり方のアドバイス、子育て支援情報の提供等により、子どもの発育・発達や育児に対する不安や負担を軽減することができた。 なお、１歳６か月児健康診査については、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和４年度まで医療機関での個別健診で実施していたため、一部、４年度の対象者が５年度に個別健診を受診している。
17 不妊治療支援事業 28,340千円 健康福祉局 健康づくり推進課	重点：一般重点　成果達成度：74.6%　妥当性：A　有効性：B　効率性：B　総合評価：B　今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） 生殖補助医療に係る医療費に対し、本市独自の助成事業「高松市こうのとり応援事業」を実施したことにより、子どもを持とうとする夫婦の経済的負担の軽減に寄与した。 ◎こうのとり応援事業の助成件数　実績３９１件（目標５２４件）
18 妊娠期からの子育て世代包括支援事業 377,209千円 健康福祉局 健康づくり推進課	重点：一般重点　成果達成度：88.8%　妥当性：A　有効性：A　効率性：B　総合評価：A　今後の方向性：拡充 （事業概要、事業実績等） 各総合センター等に設置している「子育て世代包括支援センター」に母子保健コーディネーターを配置し、妊娠届出時の面接や相談の充実などに取り組んだ結果、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援につなげることができた。 また、関係機関等との連携及び協力体制を強化するための「子育て世代包括支援ネットワーク会議」を開催し、更なる連携強化を図った。 ◎把握しているハイリスク妊婦のうち支援につながった割合 実績７９．９％（目標９０％）
19 各種医療給付事業 107,819千円 健康福祉局 健康づくり推進課	重点：　成果達成度：70.3%　妥当性：A　有効性：A　効率性：B　総合評価：B　今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） 子どもの健全育成を推進するため、未熟児養育医療、育成医療、小児慢性特定疾病医療に係る医療費の公費負担を行い、患者家族の医療費負担の軽減に寄与した。 ◎各事業の給付件数　実績８７９件（目標１，２５０件）
20 母子健康相談事業 10,467千円 健康福祉局 健康づくり推進課	重点：　成果達成度：102.4%　妥当性：A　有効性：A　効率性：B　総合評価：A　今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） 妊娠期には保健師等の専門職による、はじめてのパパママ教室や多胎妊婦対象のさくらんぼ教室を開催し、沐浴や着替えの体験、講義や相談により、育児に必要な知識や育児支援の情報提供などを行った。 また、乳幼児期にも保健師等の専門職による４か月児相談、ことば相談、ひまわり個別相談、のびのび教室等を実施し、子育て中の悩みや不安を聴き、子どもとの関わり方のアドバイスや子育て支援情報の提供などを行い、育児の不安感・負担感の軽減に寄与した。 ◎各事業参加者数　実績１３，５２２人（目標１３，２００人）

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
21 こんにちは赤ちゃん事業（新生児訪問指導） 24,519千円 健康福祉局 健康づくり推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		192.0%	96.9%	A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 生後間もない乳児がいる家庭を助産師や保健師が訪問し、専門的な立場から様々な悩みを聞き、子育てに関する情報の提供、母子の養育環境等の把握や助言、育児支援を行った。 助産師・保健師のきめ細やかな支援や情報提供等により、産婦の不安や負担の軽減につなげることができた。 ◎新生児訪問指導の未把握数　実績４人（目標５０人） ◎訪問実施率　実績９６．９％（目標１００％）							
22 第３子以降学校給食費無償化事業 20,195千円 教育局 保健体育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
				A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 第３子以降の学校給食費を無償化することにより、多子世帯の子育てに対する経済的負担の軽減に寄与した。							
23 第３子以降学校給食代替弁当対応者補助金事業 1,926千円 教育局 保健体育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
				A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 第３子以降の学校給食代替弁当対応者の保護者に対し、第３子学校給食費無償化事業において徴収が免除される学校給食費の相当額を補助することにより、多子世帯の子育てに対する経済的負担の軽減に寄与した。							
24 発達障がい児等支援事業（運営支援室分） 200,968千円 健康福祉局 運営支援室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		100.0%		A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 市立保育所、こども園及び市立幼稚園に支援員を配置し、関係機関と連携をしながら早期に対応することにより、支援を必要とする乳幼児一人一人のニーズに応じた教育・保育環境を提供することができた。 ◎発達障がい児等支援員配置率　実績１００％（目標１００％）							
25 （評価対象外）児童家庭相談事業 15,290千円 健康福祉局 こども女性相談課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 社会問題となっている児童虐待の増加を防ぎ、減少させるために、養育に不安のある保護者に対し、家庭訪問や電話対応など、問題解決に向けて積極的に活動できた。 子ども家庭支援員及び家庭相談員　計８人（令和５年４月１日現在） 相談日時　月曜日～金曜日　８時３０分～１７時 相談対応件数　１，２８１件（延べ相談対応件数１５，８７７件）							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
26	（評価対象外）要保護児童対策事業 8,467千円 健康福祉局 こども女性相談課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 社会問題となっている児童虐待の増加を防ぎ、減少させるために必要な事業であり、予防のための各種啓発活動、具体的事例の解決のためのケース会議、関係機関を対象とした講演の実施などを積極的に行った。 また、通告のあった児童の支援に係る進行管理を確実に行うことができた。 高松市児童対策協議会 ・代表者会議　　１回 ・実務者会議　　１３回（情報交換会を含む） ・個別ケース検討会　１３１回							
27	（評価対象外）児童扶養手当支給事業 1,665,139千円 健康福祉局 こども家庭課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） １８歳到達後最初の３月３１日までの間にある児童（政令で定める程度の障害の状態にある児童は２０歳未満）を養育しているひとり親家庭の父又は母等に、「児童扶養手当」を支給したことにより、ひとり親家庭の生活の安定及び自立の促進に寄与した。 受給者数　　３，０７７人 支給額　　１，６４３，３５４千円 支給事務費　　１６，１０３千円 過年度収入精算返還金　５，６８２千円							
28	ひとり親家庭等医療費助成事業 439,342千円 健康福祉局 こども家庭課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
					A	B	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） ひとり親家庭等を対象に、保険診療に係る高額療養費限度額までの自己負担分を助成することにより、対象世帯の経済的負担を軽減できた。 年間支給件数　１４１，７１７件 年間助成額　　４２８，０３０千円							
29	（評価対象外）母子福祉資金等貸付事業 78,311千円 健康福祉局 こども家庭課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） ひとり親家庭の父母等に、母子福祉資金等を貸し付けることにより、対象世帯の経済的自立と生活意欲の向上や児童の福祉の増進につながった。 令和４年度から、貸付金の償還業務を外部委託することにより、償還率の向上と母子父子自立支援員による集金等の事務の軽減を図った。 令和３年度母子福祉資金特別会計決算余剰金の基準額超過分を国に返還した。 貸付件数　　１６件 貸付金額　　１２，７１９千円 貸付事務費　　６０３千円 国庫償還金　　４４，８００千円 一般会計繰出金２０，１８９千円							
30	ひとり親家庭自立支援事業 12,051千円 健康福祉局 こども家庭課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			104.6%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 母子・父子自立支援員３人を配置し、ひとり親家庭の自立に関する相談に応じ、必要な情報提供及び指導を行い、ひとり親家庭の自立に寄与した。 ◎母子自立支援相談件数　実績９４１件（目標９００件）							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容
31	母子家庭等就業・自立支援事業 2,089千円 健康福祉局 こども家庭課	重点： 成果達成度：83.3%　86.7% 妥当性：A 有効性：A 効率性：A 総合評価：A 今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） ひとり親家庭の父母等を対象とした母子家庭等就業・自立支援センター事業をＮＰＯ法人面会交流支援センター香川に委託し、面会交流支援事業等を実施した。 また、疾病や就職活動のため一時的に生活援助が必要となった場合に、高松市社会福祉協議会の家庭生活支援員を派遣し、家事等のサービスを一時的に提供するひとり親家庭等日常生活支援事業を実施したほか、養育費確保支援事業を実施することにより、ひとり親家庭の生活の安定を促進することにつながった。 ◎債務名義取得促進事業補助件数　実績３０件（目標３６件） ◎ひとり親家庭等日常生活支援事業利用登録数　実績１３人（目標１５人）
32	（評価対象外）母子家庭等自立支援給付金事業 29,916千円 健康福祉局 こども家庭課	重点： 成果達成度： 妥当性： 有効性： 効率性： 総合評価： 今後の方向性： （事業概要、事業実績等） ひとり親家庭の父母等に対し、看護師等の資格取得を目的として養成機関で修業する場合に支給する高等職業訓練促進給付金（修業期間修了時には修了支援給付金）、就職に役立つ技術を取得するための通信教育受講や専門学校への通学など、教育訓練施設等に支払った経費の一部を支給する自立支援教育訓練給付金の給付を行ったことにより、ひとり親家庭の父母の主体的な能力開発を支援した。 高等職業訓練促進給付金　　支給人数２４人、支給額２５，８５８千円 高等職業訓練修了支援給付金　支給人数８人、支給額２７５千円 自立支援教育訓練給付金　　支給人数９人、支給額２，０８６千円 過年度収入精算返還金　　１，６９７千円
33	（評価対象外）母子生活支援施設運営事業 25,306千円 健康福祉局 こども女性相談課	重点： 成果達成度： 妥当性： 有効性： 効率性： 総合評価： 今後の方向性： （事業概要、事業実績等） 配偶者のない女子又はこれに準ずる事情にある女子及びその者の監護すべき児童を入所させて、これらの者を保護し、自立促進のための生活支援を行った。 令和６年３月１日現在の入所状況　４世帯１０人（実入所世帯・入所者数） なお、国の補正予算事業（保育所等における性被害防止対策に係る設備等支援事業）の執行に当たり、実施期間を確保するため、翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：１００，０００円）
34	（評価対象外）子育て短期支援事業 1,758千円 健康福祉局 こども女性相談課	重点： 成果達成度： 妥当性： 有効性： 効率性： 総合評価： 今後の方向性： （事業概要、事業実績等） 保護者が病気、仕事、育児疲れなどで、一時的に養育が困難となった場合に、児童養護施設等で児童を一時的に養育・保護することにより、児童やその家庭の福祉の向上を図った。 実人数　　２３人 延日数　３２８人日
35	医療的ケア児支援事業 18,948千円 教育局 総合教育センター	重点：一般重点 成果達成度：100.0% 妥当性：A 有効性：B 効率性：A 総合評価：A 今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） 医療的ケア児を支援することにより、医療的ケア児の保育・教育環境が整備され、医療的ケア児の自立促進に貢献するとともに、保護者の就労支援にもつながった。 ◎希望者に対して医療的ケアを実施した割合　実績１００％（目標１００％）

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容

36 発達障がい児等支援事業（こども保育教育課分）

20,831千円

健康福祉局
こども保育教育課

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	100.0%		A	A	B	A	継続

（事業概要、事業実績等）
発達障がい児を受け入れる私立保育所、認定こども園及び小規模保育事業所に対し、受入費用の一部を支援したことにより、発達障がい児の健やかな成長に寄与した。

◎発達障がい児等受入率　実績１００％（目標１００％）

37 ひとり親家庭無料職業紹介事業

5,321千円

健康福祉局
こども家庭課

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	28.0%	100.0%	A	A	D	C	継続

（事業概要、事業実績等）
児童扶養手当受給者等を対象に、各人の状況に応じた自立支援プログラムを策定し、きめ細やかで継続的な就労支援を実施した。令和５年度より、離婚前の方にもプログラム策定ができるようになり、離婚前からきめ細やかな支援ができている。
また、本庁舎２階ハローワーク高松・ジョブコーナーとの連携により、職業紹介や求人情報の提供などを行った。
また、こども家庭課内に開設している高松市ひとり親家庭無料職業紹介所の見直しを行い、サポーター企業として登録を継続する企業との関係構築を図った。

◎自立支援プログラム策定件数　実績２８件（目標１００件）
◎高松市ひとり親家庭無料職業紹介所紹介件数　実績３件（目標３件）

38 （評価対象外）養育支援訪問事業

1,021千円

健康福祉局
こども女性相談課

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性

（事業概要、事業実績等）
児童虐待につながるおそれのある、養育に不安を抱える家庭を訪問することなどにより、状況悪化の歯止めとなった。

訪問等家庭数　　５６家庭
訪問実施延回数　２４５回
従事延人数　　２７３人
（全て委託分を含む）

39 ひとり親家庭子育て支援事業

969千円

健康福祉局
こども家庭課

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	129.0%		A	A	A	A	継続

（事業概要、事業実績等）
生後６か月から小学校６年生までの子どもを養育するひとり親家庭を対象に、たかまつファミリー・サポート・センターの利用料金の一部を助成することにより、ひとり親家庭の父母等の育児の負担軽減に寄与した。
また、公募により、ひとり親家庭の子どもの心身の健全な発達に寄与する事業を実施する民間団体を選定し、補助金を交付した。
ひとり親家庭への情報提供や交流促進を行うことにより、ひとり親家庭の福祉の増進に寄与した。

補助金交付団体　　２団体
補助金額　　２９１千円

◎利用時間数　実績１，４７６．５時間（目標１，１４４．５時間）

40 ヤングケアラー支援事業

5,263千円

健康福祉局
こども女性相談課

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
特別重点	100.0%	340.0%	A	A	B	A	拡充

（事業概要、事業実績等）
関係機関への周知啓発、小・中学生、高校生へのリーフレット配布、ヤングケアラー・コーディネーターの配置、訪問支援サービスの実施により、ヤングケアラーの社会的認知度の向上や相談支援体制の強化を図った。

周知啓発活動・研修会　　９０回
リーフレット配布数　小学生　４，６００枚
　　中学生　４，３００枚
　　高校生　４，８００枚
訪問支援事業　　５家庭　８５回

◎ヤングケアラー対応率　実績１００％（目標１００％）
◎研修会等への参加者数　実績１，０２０人（目標３００人）

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	子育て家庭への支援

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
16,596,836千円	B	35.4%	82.6%

まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
政　策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実
担当局	健康福祉局、教育局

対象	意図
市内の１８歳未満の児童及びその保護者	全ての子育て家庭が、心身共にゆとりをもって子育てができる環境を整える。

概要（実績）

子ども医療費の助成や多子世帯の保育料の減免など、各種の経済的な支援を行ったほか、地域子育て支援拠点事業など、子育て家庭に対するサポート体制の充実を図り、子育てしている保護者の負担を軽減した。
また、延長保育、一時預かり、休日保育、病児保育など、子育て家庭のニーズに即した保育サービスを提供した結果、保護者が安心して就労できる環境を整え、子育てと仕事の両立支援に一定の効果が得られた。

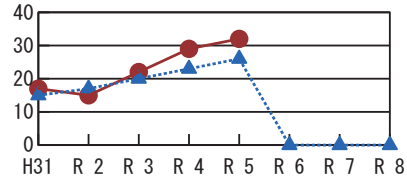
成果指標

①

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
子ども食堂等箇所数	32か所	26か所	123.1%

状況：子ども食堂の開設・運営に係る支援を行い、新規開設を促したため、目標を達成することができた。

達成度の推移

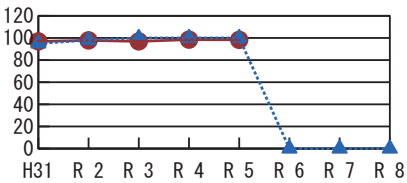


②

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
放課後児童クラブ入会率	98.3%	100%	98.3%

状況：公立放課後児童クラブ１教室、民間放課後児童クラブ１教室を増室したことにより、受入可能児童数が増加したが、それを上回る利用希望があったため、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

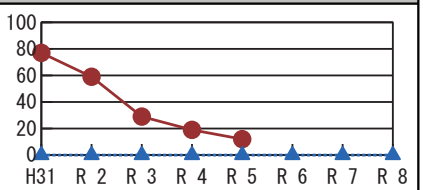


③

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
保育施設等待機児童数（４月１日現在）	12人	0人	36.8%

状況：第２期高松市子ども・子育て支援推進計画に基づき、保育所の創設等により、受入れ枠を増やしたものの、地域ごとの需要に偏りがあることなどから、目標を達成することができなかった。

達成度の推移



施策の課題

【健康福祉局】「令和４年度少子化の状況及び少子化への対処施策の概況」（こども家庭庁）によれば、少子化の要因として仕事と子育てを両立しにくい職場環境が指摘されており、国・県・企業等と連携を図りながら、仕事と子育てが両立できる環境整備を推進していくことが求められている。
【教育局】ボランティア等の連携・協力の下、引き続き、４か月児相談を活用したブックスタート事業を積極的に実施し、読書活動の更なる推進を図ることが必要である。

施策の方向性

令和２年３月に策定した第２期高松市子ども・子育て支援推進計画に基づき、地域における子育て支援や子育てと仕事の両立支援などに取り組むことにより、安心して子育てできる環境づくりを推進する。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容						
1	保育士確保対策事業 8,009千円 健康福祉局 こども保育教育課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	36.8%	A	B	A	D	継続
		（事業概要、事業実績等） 保育士の確保を図るため、国の補助制度を活用し保育士宿舎借上げ支援事業と、市独自の保育士就職一時金交付事業を実施した。 ◎待機児童数（４月１日現在）　実績１２人（目標０人）						
2	私立保育所運営支援事業 4,489,791千円 健康福祉局 こども保育教育課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			36.8%	A	A	B	D	継続
		（事業概要、事業実績等） 通常の保育事業に加えて、私立保育施設が実施する各種特別保育事業に係る経費を支弁したことにより、保育所の安定的な運営につながった。 ◎待機児童数（４月１日現在）　実績１２人（目標０人） なお、国の補正予算事業（保育所等における性被害防止対策に係る設備等支援事業）の執行に当たり、実施期間を確保するため、翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：７，３５０，０００円）						
3	認可外保育施設支援事業 113,429千円 健康福祉局 こども保育教育課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			36.8%	A	A	B	D	継続
		（事業概要、事業実績等） 認可外保育施設に対して補助を実施したことにより、施設の保育水準及び入所児童の福祉の向上に一定の効果があったほか、施設に入所している第２子以降の児童の保護者に対して補助を実施したことにより、子育てに係る経済的負担の軽減につながった。 ◎待機児童数（４月１日現在）　実績１２人（目標０人）						
4	病児保育事業 134,558千円 健康福祉局 子育て支援課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			349.6%	A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 児童が病気等のため、集団で保育することや家庭で育児することが困難な場合に、一時的に病児保育施設で保育することにより、保護者の子育てと仕事の両立支援やワーク・ライフ・バランスの推進など、安心して子育てができる環境の整備につながった。 病児保育施設　６か所 ◎病児・病後児保育事業利用者数　実績８，７４１人（目標２，５００人） なお、国の補正予算事業（保育所等における性被害防止対策に係る設備等支援事業）の執行に当たり、実施期間を確保するため、翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：２２５，０００円）						
5	小規模保育事業等地域型保育給付事業 949,541千円 健康福祉局 こども保育教育課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			36.8%	A	A	B	D	統合
		（事業概要、事業実績等） 子ども・子育て支援新制度において、小規模保育事業等に対し、国で定める公定価格に基づき、地域型保育給付として給付することにより、保育サービスの充実につながった。 ◎待機児童数（４月１日現在）　実績１２人（目標０人）						

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
6 放課後児童クラブ事業 1,121,373千円 健康福祉局 子育て支援課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	特別重点	98.3%		A	A	C	A	拡充
	（事業概要、事業実績等） 就労等により、昼間、保護者が家庭にいない児童に対して、放課後の安全な居場所を提供するとともに、保護者が安心して就労できる環境を整え、子育てと仕事の両立支援に貢献した。 ◎放課後児童クラブ入会申請児童に対する入会児童数の割合 実績９８．３％（目標１００％） なお、国の補正予算事業（保育所等における性被害防止対策に係る設備等支援事業）の執行に当たり、実施期間を確保するため、翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：１，４２５，０００円）							
7 放課後子ども教室事業 16,734千円 健康福祉局 子育て支援課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	一般重点	68.1%	76.7%	A	A	C	B	拡充
	（事業概要、事業実績等） 児童の安全・安心な活動場所を確保し、学習や様々な体験・交流活動の機会を提供することにより、児童の健全育成に寄与した。 実施校区　３３校区 ◎参加児童数　実績２９，６８９人（目標４３，６００人） ◎登録児童数　実績２，５６９人（目標３，３５０人）							
8 ファミリー・サポート・センター事業 12,869千円 健康福祉局 子育て支援課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		141.9%	91.9%	A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 地域において育児の援助を受けたい人と援助したい人がファミリー・サポート・センターの会員となり、相互に助け合うことにより、仕事と育児が両立できる環境を整備し、子育て家庭への支援に貢献した。 ◎ファミリー・サポート・センター事業利用件数 実績９，９３４件（目標７，０００件） ◎ファミリー・サポート・センター登録会員数 実績２，５７２人（目標２，８００人）							
9 （評価対象外）児童厚生施設管理運営事業 46,659千円 健康福祉局 子育て支援課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 児童厚生施設に関し、適正な施設管理と運営を行うことにより、子どもが安全・安心に遊べる場を提供し、子どもの健全育成に寄与した。 利用者数　３６，８８８人							
10 （評価対象外）助産施設運営事業 9,689千円 健康福祉局 こども女性相談課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 保健上必要があるにもかかわらず、生活保護世帯及び市県民税非課税世帯の経済的理由により、入院助産を受けることができない妊産婦に対して、助産を援助することができた。 年間利用件数　２２件							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容						
	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
11 （評価対象外）児童手当等支給事業 5,968,363千円 健康福祉局 こども家庭課								
	（事業概要、事業実績等） 中学校修了前の児童を養育している父又は母等に「児童手当」を支給したことにより、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に貢献した。 受給者数　２７，７９４人 支給額　５，９４６，９３５千円 支給事務費　２１，１３７千円 過年度収入精算返還金　２９１千円							
12 子ども医療費助成事業 2,314,237千円 健康福祉局 こども家庭課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
				A	A	A	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 令和５年８月診療分から、助成対象年齢を１５歳の年度末から１８歳の年度末までに拡充し、保険診療に係る高額療養費までの自己負担分を助成することにより、対象世帯の経済的負担を軽減できた。 受給者数（月平均） 乳幼児　１９，９０９人 小学生　２０，３８３人 中学生　１０，４９８人 高校生　８，９１０人 支給額　２，２０１，７８７千円 過年度収入精算返還金　２０，９７７千円							
13 （評価対象外）健やか子ども基金管理事務 65,707千円 健康福祉局 子育て支援課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 健やか子ども基金を適切に管理し、活用することにより、子育て家庭が安心して子どもを産み育てられる環境整備につながった。 基金を用いた令和５年度の事業 ・ひとり親家庭福祉増進事業 ・施設等遊具整備事業（保育所等） ・風しん予防接種補助事業 ・おたふくかぜ・三種混合任意予防接種助成事業							
14 多子世帯保育料等減免事業 健康福祉局 こども保育教育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		90.6%		A	A	A	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 多子世帯に対し、保育料等を減免することにより、子育て世帯の経済的負担を軽減し、子育て環境が向上した。 ◎保育所・幼稚園等入所（園）児童数 実績１４，６３１人（目標１６，１４８人）							
15 子ども食堂等支援事業 9,986千円 健康福祉局 子育て支援課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	一般重点	123.1%	91.3%	A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 子どもに無料又は安価で温かく栄養バランスの取れた食事を提供するとともに、地域住民とのつながりの強化や学習・生活習慣についての支援も行う子ども食堂に対して、開設や運営に係る費用の一部を補助するなどにより、子どもの孤食を防止するほか、安らげる場所を提供することができた。 また、子ども食堂ネットワーク及びフードパントリーの実施を通じて、支援に結びつけるつながりの場を提供することができた。 ◎子ども食堂等箇所数　実績３２か所（目標２６か所） ◎たかまつ子ども食堂ネットワーク参加団体数 実績２１団体（目標２３団体）							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
16	（評価対象外）子育て世帯生活支援特別給付金給付事業 597,005千円 健康福祉局 こども家庭課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 食費等の物価高騰の影響を受けた低所得のひとり親子育て世帯及びひとり親を除く低所得の子育て世帯に給付金を支給したことにより、生活の負担軽減に寄与した。 支給者数　６，４６２人 支給額　５３８，１００千円 支給事務費　２４，８３５千円 過年度収入精算返還金　３４，０７０千円							
17	（評価対象外）子育て相談事業 3,746千円 健康福祉局 こども女性相談課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 専門の相談員が養育に不安をもつ保護者等に助言を行うとともに、適切な窓口や専門機関を紹介することができた。 年間相談件数　１６３件							
18	ブックスタート事業 1,920千円 教育局 中央図書館	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			94.1%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） ４か月児童相談時に、ブックスタートパック（絵本・ブックリスト・図書館案内）を配布したことにより、子育て支援と子どもの読書活動の推進につながった。 なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、昨年度に引き続き、読み聞かせは中止した。 ◎ブックスタートパックを配布した人数 実績２，５３７人（目標２，６９５人）							
19	就園等奨励事業 421,405千円 健康福祉局 こども保育教育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			36.8%		A	A	A	D	統合
		（事業概要、事業実績等） 私立幼稚園児の保護者の経済的負担を軽減することにより、公・私立幼稚園間の費用負担における格差を是正し、子育て環境が向上した。 ◎待機児童数（４月１日現在）　実績１２人（目標０人）							
20	子育て支援対策推進事業 10,173千円 健康福祉局 子育て支援課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			137.0%	130.6%	A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 子育てハンドブックの発行、らっこネットの運営などによる子育て支援情報発信のほか、こども未来ネットワーク会議の開催等による子育てに関するネットワークづくりを推進したことにより、地域ぐるみでの効果的な子育て支援につながった。 ◎ネットワーク会議参加者総数　実績１３７人（目標１００人） ◎らっこネットアクセス件数　実績６５，３２０件（目標５０，０００件）							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
21	地域子育て支援拠点事業（子育て支援課分） 141,506千円 健康福祉局 子育て支援課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			129.0%	A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 地域の子育て支援拠点を開設し、親子が気軽に集い、相互に交流するための場を提供することにより、子育て家庭が抱える育児への不安・負担感、閉塞感を和らげ、安心して子育て・子育ちができる環境の整備につながった。 実施か所数　委託１１か所、直営２か所 ◎利用者数　実績６８，３５５人（目標５３，０００人）						
22	地域子育て支援拠点事業（こども保育教育課分） 159,838千円 健康福祉局 こども保育教育課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			123.7%	A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 保育所等を拠点として、育児・保育に関する専門的知識・経験を有する保育士としての能力を活用し、子育て中の親子の支援を実施したことにより、子育て家庭の育児不安の解消に寄与した。 ◎地域子育て支援拠点事業相談件数 実績１４，７１６件（目標１１，９００件）						

令和５年度　政策の概要調書

総合計画体系		
	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
	政　策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成

総合評価
A

１　政策の概要

支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成を図るため、ユニバーサルデザインの普及啓発や、福祉施設の適正な運営など、地域福祉の推進に努めるとともに、高齢者が、住み慣れた地域で共に支え合い、自分らしく安心して暮らし続けられる社会の実現を目指し、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を推進します。
また、障がい者の自己決定を尊重し、適切な意思決定等を行えるよう支援するほか、障がい者の個別性に応じた支援を推進するとともに、ライフステージに応じた切れ目ない支援や、社会的障壁の除去と合理的配慮の普及に向けた取組を推進するなど、障がい者の自立支援と社会参加の促進に努めます。
また、生活困窮者等について、早期の自立に向けた支援等を推進します。

２　政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
地域福祉の推進	95%	A
地域包括ケアシステムの構築	100%	A
障がい者の自立支援と社会参加の促進	100%	A
生活困窮者等への自立支援	71%	B
平均	91%	A

３　政策の評価

支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成に向けて、４施策に取り組んだ。
「地域福祉の推進」、「地域包括ケアシステムの構築」及び「障がい者の自立支援と社会参加の促進」の３施策では、設定する７つの成果指標について、目標を達成又はおおむね達成した。
「生活困窮者等への自立支援」では、設定する２つの成果指標のうち、勤労収入の増加による生活保護廃止率において、前年度に比べ改善傾向にあるものの、目標に届かなかった一方、他の指標については、目標をおおむね達成した。
以上により、政策を構成する施策の平均得点率は９１％となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
地域福祉の推進	29.6%	19.9%	79.8%
地域包括ケアシステムの構築	31.2%	16.4%	80.2%
障がい者の自立支援と社会参加の促進	23.4%	14.3%	73.9%
生活困窮者等への自立支援	19.6%	14.2%	54.7%
平均	26.0%	16.2%	72.2%

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	地域福祉の推進

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
6,535,492千円	A	29.6%	79.8%

まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
政　策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成
担当局	健康福祉局、市民局

対象	市民	意図	地域福祉の推進や福祉施設の適正な運営に関する各種事業を展開し、みんなで支え合う地域福祉を推進する。

概要（実績）

民生委員・児童委員の充足率を高めるため、欠員が生じている地区での補充推薦に取り組んだ。
また、民生委員・児童委員に対する研修等、社会福祉法人の指導監督、ユニバーサルデザイン基本指針に基づくユニバーサルデザインの普及・啓発のほか、地域共生社会の実現に向けた高松型地域共生社会構築事業として、まるごと福祉相談員を生活支援コーディネーターと兼務して１５名配置し、市民からの相談や情報提供を「まるごと」受け、様々な支援機関と連携して支援するなど、本市の地域福祉を推進した。

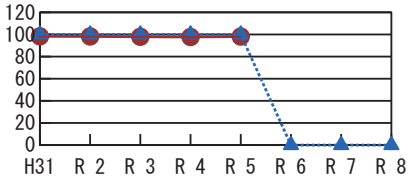
成果指標

①

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
民生委員・児童委員の充足率	98.1%	100%	98.1%

状況：民生委員・児童委員は、全国的になり手不足の状況ではあるが、欠員が生じている地区での補充推薦に努めたことにより、目標をおおむね達成することができた。

達成度の推移

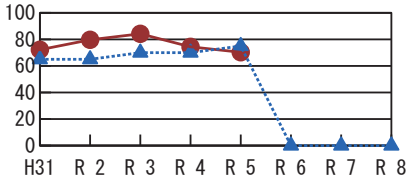


②

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
指導監査における文書指摘がない社会福祉法人等の割合	70.3%	75%	93.7%

状況：日頃からの社会福祉法人等への制度周知、実地監査の実施、積極的に相談を受けることなど、適正な運営指導を行ったが、監査周期が毎年ではない法人・施設での指摘件数が増加した。

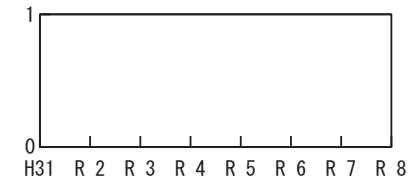
達成度の推移



③

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度

達成度の推移



施策の課題

【健康福祉局】住民相互のつながりや信頼関係を築き、ともに助け合い支え合っていける「地域共生社会」を実現するため、今後、更に避難行動要支援者名簿の登録率や民生委員の充足率を高めていく必要があるほか、地域住民が抱える複合的な課題にも対応できるよう、つながる福祉相談窓口を周知するなど、包括的な相談支援体制を充実させていく必要がある。
【市民局】年齢や性別、障がいの有無、国籍の違いなどにかかわらず、誰もが快適に生活できるよう、市全体でユニバーサルデザインの考え方を広げていくことが必要である。

施策の方向性

第４次高松市地域福祉計画に掲げる『誰もが人や社会とつながり、支え合いながら「健幸」に暮らせるまちへ』の基本理念の下、安全・安心に暮らせる福祉環境の整備に向けた、みんなで支え合う地域福祉を推進するほか、分野を超えた複合的な課題にも対応できる包括的な相談支援体制を構築するなど、「地域共生社会」の実現を目指す。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容

1

ユニバーサルデザイン推進事業

702千円

市民局
人権・男女共同参画推進課

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	74.7%		A	B	B	B	継続

（事業概要、事業実績等）
一人一人の多様性が尊重され、年齢や性別、障がいの有無、国籍の違いなどにかかわらず、誰もが快適に過ごすことのできる、ユニバーサルデザイン社会の実現を目指すとともに、その考え方を周知啓発するため、市政出前ふれあいトークで講義を実施した。
また、専門学校の授業の一環で、ユニバーサルデザインやバリアフリーの考え方に基づいて整備されている３施設を新たにユニバーサルデザインマップへ掲載することができた。

◎たかまつユニバーサルデザインマップの登録件数
実績８２２件（目標１，１００件）

2

医療・福祉施設等物価高騰対策支援金交付事業

364,903千円

健康福祉局
保健医療政策課

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	66.4%		A	B	A	B	完了

（事業概要、事業実績等）
医療・福祉施設等の運営負担を軽減し、サービスの質を確保することにより、市民が安心してサービスを利用することができるとともに、地域福祉の安定的な推進に寄与した。

◎交付対象事業所等への支援率　実績５９．７６％（目標９０％）

3

（評価対象外）社会福祉法人指導監督事業

99千円

健康福祉局
地域共生社会推進課

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性

（事業概要、事業実績等）
利用者に質の高い安定した福祉サービスを提供するため、社会福祉法人及び施設等の指導監査を実施し、利用者本位の健全な社会福祉法人の運営や円滑な社会福祉事業の実施に寄与した。

4

小規模法人のネットワーク化による協働推進事業

8,000千円

健康福祉局
地域共生社会推進課

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	100.0%		A	A	A	A	継続

（事業概要、事業実績等）
災害時において福祉避難所が円滑に機能するよう、関係法人等で構成するネットワークを構築し、福祉避難所の役割や在り方を整理・検討するなど、体制整備の支援を行った。また、社会福祉法人等の施設・事業所職員を対象として、福祉・介護人材のスキルアップ等を図るための合同研修会等を行った。

◎ネットワークにおいて実施した事業数　実績２件（目標２件）

5

共助の基盤づくり事業

6,164千円

健康福祉局
長寿福祉課

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
特別重点	100.0%		A	A	B	A	継続

（事業概要、事業実績等）
地区社会福祉協議会を主体とし、様々な活動を行うことにより、地域サービスの担い手（ボランティア等）の確保や地域サービスを支える基盤となる組織等の育成を促進することができた。
新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが５類に移行したため、活動を行う地域が増加した。

◎実施箇所数　実績３３か所（目標３３か所）

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容						
6	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
（評価対象外）社会福祉事業 6,127千円 健康福祉局 地域共生社会推進課							
	（事業概要、事業実績等） 労働行政施策に必要な基礎資料のための調査を実施したほか、本市の社会福祉施設等の整備について、公平、公正かつ客観的に審査を行うための審議会を開催した。						
7	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
（評価対象外）法外援護事業 1,380千円 健康福祉局 地域共生社会推進課							
	（事業概要、事業実績等） 原子爆弾の被爆者に対して、援護金及び弔慰金を支給することにより、対象者の健康の保持及び福祉の向上に寄与した。						
8	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
社会福祉団体活動助成事業 127,976千円 健康福祉局 地域共生社会推進課		122.4%	A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 行政では対応し難い福祉需要への多様な取組を行っている高松市社会福祉協議会や社会福祉諸団体に補助金を交付することにより、地域福祉活動の充実や地域福祉を支える基盤づくりに寄与した。 ◎法人成年後見事業受任件数　実績６０件（目標４９件）						
9	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
戦争犠牲者追悼式等事業 2,850千円 健康福祉局 地域共生社会推進課		506.2%	A	B	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 戦争犠牲者の冥福を祈り、戦争の悲惨さと平和の尊さを再認識し、戦争を繰り返さない社会の実現を図るため、戦争犠牲者追悼式を開催した。 ◎追悼式参列者率　実績４１．０％（目標８．１％）						
10	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
災害援護事業 3,244千円 健康福祉局 地域共生社会推進課		39.0%	A	A	B	D	継続
	（事業概要、事業実績等） 避難行動要支援者の新規対象者に対して、登録希望調査票を個別に送付し、登録を直接呼び掛けたほか、広報高松等を通じた広報活動を積極的に行い、避難行動要支援者の更なる登録につなげた。 また、個別避難計画の作成・更新を推進するため、地域へ職員を積極的に派遣し、制度の説明を行うとともに、「地域福祉ネットワーク会議交流会」等において、積極的に取り組む地域の事例を紹介するなど、地域力の向上支援に寄与した。 ◎避難行動要支援者新規登録率　実績７．７９％（目標２０％）						

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容						
11 若者育成支援推進事業 85千円 健康福祉局 地域共生社会推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		88.9%		A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 困難を有する若者やその家族を包括的に支援するため、高松市若者支援協議会を開催し、関係機関相互のネットワーク形成に寄与した。 ◎協議会の構成団体数　実績２４団体（目標２７団体）							
12 ほっとかんまち高松づくり事業（高松型地域共生社会構築事業） 96,331千円 健康福祉局 地域共生社会推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	特別重点	385.3%	60.8%	A	A	A	A	継続
	（事業概要、事業実績等） まるごと福祉相談員を市内全域に配置し、総合センター等につながる福祉相談窓口を設置するなど、地域に関わりながら、市民からの相談や情報提供を「まるごと」受け、様々な支援機関と連携して支援したほか、社会とのつながりが希薄な方への支援を行う「参加支援事業」も実施した。 また、新たに周知啓発動画を作成し、事業の認知度向上を図った。 ◎アウトリーチ件数　実績１４，０３９件（目標３，６４４件） ◎研修会・勉強会等参加者数　実績６４１人（目標１，０５５人）							
13 （評価対象外）民生・児童委員活動支援等事業 118,019千円 健康福祉局 地域共生社会推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 民生委員・児童委員の地区間連携強化のため、地区民生委員児童委員協議会会長研修や主任児童委員研修を実施した。							
14 （評価対象外）令和５年度住民税非課税世帯等生活支援給付金事業 5,799,612千円 健康福祉局 地域共生社会推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） エネルギー・食料品価格等の物価高騰により、特に家計への負担が大きい低所得世帯への支援として、住民税非課税世帯に対し、令和５年７月から１世帯当たり３万円を現金給付し、追加給付として、６年１月から７万円を現金給付した。 また、住民税均等割のみ課税世帯に対し、１世帯当たり１０万円を現金給付した。 さらに、上記の世帯のうち子育て世帯に対し、加算給付として、１８歳以下の児童１人当たり５万円を現金給付し、物価高に直面する低所得世帯の生活を支援した。 なお、事業実施期間を確保するため、令和６年度も事業を継続することから、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：３４６，７７１，０００円）							

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	地域包括ケアシステムの構築

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
2,503,677千円	A	31.2%	80.2%

まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
政　策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成
担当局	健康福祉局

対象	高齢者等	意図	住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるよう、医療・介護・予防・生活支援・住まいなどが一体的に切れ目なく提供される状態となる。

概要（実績）

第８期高松市高齢者保健福祉計画に基づき、各種施策・事業を実施し、地域全体で高齢者を支える体制づくりを推進した。高齢者保健福祉事業の取組として、シルバー人材センターや老人クラブへの補助による生きがいづくりの促進、在宅生活支援、認知症高齢者対策、虐待防止、高齢者居場所づくり事業、三層構造による地域で支え合う見守り体制の強化、介護予防教室等を行い、介護予防の取組を推進した。

介護保険対象施設等の充実への取組として、特別養護老人ホーム等の計画的な整備、軽費老人ホームへの運営補助、地域密着型サービス施設整備の補助等を行うとともに、老人福祉施設等の指導監査を行った。

地域包括支援センターにおいて、高齢者に関する総合相談支援、介護予防ケアマネジメント、権利擁護等のほか、認知症ケアの推進、地域ケア会議を開催した。

介護予防・日常生活支援総合事業を実施し、多様な主体による様々なサービス提供体制を構築するとともに、地域の在宅医療・介護関係機関との連携を推進した。

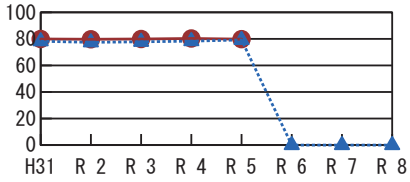
成果指標

①

指標名	要介護者の在宅比率	R 5実績	R 5目標	達成度
		79.8%	79.2%	100.8%

状況：在宅で生活している要介護認定者の割合は、目標値の７９．２％を０．６ポイント上回り、目標を達成することができた。

達成度の推移

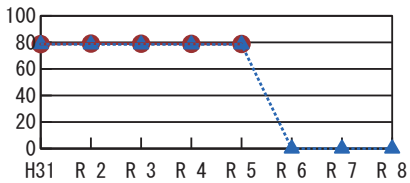


②

指標名	自立高齢者率	R 5実績	R 5目標	達成度
		78.8%	78.5%	100.4%

状況：介護・支援を必要としていない６５歳以上の高齢者の割合は、目標値の７８．５％を０．３ポイント上回り、目標を達成することができた。

達成度の推移

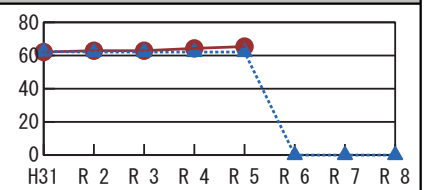


③

指標名	自立後期高齢者率	R 5実績	R 5目標	達成度
		65.4%	62.1%	105.3%

状況：介護・支援を必要としていない７５歳以上の高齢者の割合は、目標値の６２．１％を３．３ポイント上回り、目標を達成することができた。

達成度の推移



施策の課題

高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるため、切れ目のない医療と介護の提供体制の構築を推進するほか、介護保険サービス基盤の充実、介護予防の推進、地域全体で高齢者を支える体制づくりに取り組んでいる。

今後においても、高齢者一人一人の状態に応じて、様々な支援が切れ目なく提供される環境づくりや共に支え合う社会づくりが求められている。

施策の方向性

住み慣れた地域で共に支え合い、高齢者が自分らしく安心して暮らし続けられる社会の実現を目指し、包括的な支援体制の構築や介護予防の推進、社会参加の促進、生活環境の充実に努める。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容
1	生活支援・介護予防サービス提供体制構築事業 57,316千円 健康福祉局 地域共生社会推進課	重点：一般重点　成果達成度：65.1%　妥当性：A　有効性：A　効率性：B　総合評価：B　今後の方向性：継続 **（事業概要、事業実績等）** 国のガイドラインに基づき、サービスの提供体制構築に向けた、コーディネーター機能を果たす「生活支援コーディネーター」を中心に、地域の困りごとの把握や問題解決に向けた「地域福祉ネットワーク会議」を、市内４４地区のうち、４３地区に設置しており、地域の課題を解決する中で、住民主体のサービスが提供されるなど、地域で高齢者を支える体制づくりを推進することができた。 ◎住民主体によるサービスを提供している（地域コミュニティにおいてサービスＢを提供している）地区数　実績２８地区（目標４３地区）
2	介護保険補助金等事業 54,516千円 健康福祉局 介護保険課	重点：　成果達成度：78.0%　妥当性：A　有効性：B　効率性：B　総合評価：B　今後の方向性：継続 **（事業概要、事業実績等）** 第８期高松市高齢者保健福祉計画に基づき施設整備事業を実施した。 また、離島での介護サービス提供事業者に補助金を交付したほか、社会福祉法人等における介護サービス利用者のうち、生活困難者の利用額を軽減することにより、介護サービスを利用する高齢者の安全と安心を確保することができた。 ◎社会福祉法人等利用者負担減額の対象となる登録率 実績７８％（目標１００％） なお、前年度からの繰越事業である施設整備事業については完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：３７，３０９，０００円）
3	（評価対象外）認知症高齢者等対策推進事業 5,116千円 健康福祉局 地域包括支援センター	重点：　成果達成度：　妥当性：　有効性：　効率性：　総合評価：　今後の方向性： **（事業概要、事業実績等）** 小学生から高齢者まで幅広い年齢層の住民や企業等を対象に認知症サポーター養成講座を開催し、認知症サポーターを継続して養成した。 また、認知症の高齢者等とその家族を支えるため、認知症の人を支える家族のつどいを実施し、認知症に関する正しい知識の普及及び啓発に寄与した。 認知症サポーター養成講座参加人数　実績２，５１９人
4	（評価対象外）介護予防支援事業 260,508千円 健康福祉局 地域包括支援センター	重点：　成果達成度：　妥当性：　有効性：　効率性：　総合評価：　今後の方向性： **（事業概要、事業実績等）** 要支援認定者及び事業対象者に対し、自立支援に向けた介護予防サービス計画を作成し、適切なサービスが効果的に提供されるよう介護予防ケアマネジメントを行うことにより、介護予防の推進及び重症化防止に寄与した。
5	（評価対象外）介護予防推進事業（長寿福祉課分） 13,753千円 健康福祉局 長寿福祉課	重点：　成果達成度：　妥当性：　有効性：　効率性：　総合評価：　今後の方向性： **（事業概要、事業実績等）** 総合事業の実施に当たり、住民主体によるサービス提供を行う団体に対し、運営に要する費用等について補助を行い、地域での支え合い体制づくりを推進した。 また、閉じこもりや生活機能低下等が認められる対象者に専門職による居宅での助言・相談を行った。 実績　運営補助　訪問型サービス　２６団体 通所型サービス　７団体

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
6	６５歳からのプラチナ世代元気応援事業 2,012千円 健康福祉局 長寿福祉課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	100.0%	100.0%	A	B	C	A	改善継続
		（事業概要、事業実績等） 高齢者の健康づくりへの意識啓発と地域の介護予防活動を促進し、高齢になっても健康で活動的な状態を維持していくため、自ら運動や生活習慣の改善に取り組む高齢者への応援金の支給や、オンラインを活用した介護予防教室等を実施した。 ◎元気支度応援金の支給を受けた者が介護認定を受けなかった割合 実績１００％（目標１００％） ◎オンラインの介護予防に取り組んだ居場所数 実績２０か所（目標２０か所）							
7	（評価対象外）介護予防推進事業（介護保険課分） 698,447千円 健康福祉局 介護保険課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 香川県国民健康保険団体連合会に審査支払事務を委託するなどにより、適正な事業費の支給を行った。							
8	介護予防推進等事業 17,904千円 健康福祉局 長寿福祉課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			42.9%	92.7%	A	A	C	B	継続
		（事業概要、事業実績等） ６５歳以上の高齢者を対象に運動教室やフレイル予防講座などを開催し、介護予防への取組を支援した。 また、地域で生活する高齢者が、身近な人々の見守りや支援を受けながら、元気でいきいきと過ごせるよう、介護予防ボランティア「元気を広げる人」を養成し、地域での自主的なボランティア活動の定着に寄与した。 ◎「フレイル予防講座」参加者数　実績４７２人（目標１，１００人） ◎「元気を広げる人」養成講座修了者数（累計） 実績９２７人（目標１，０００人）							
9	在宅医療・介護連携推進事業 12,848千円 健康福祉局 長寿福祉課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	77.1%		A	A	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 切れ目のない在宅医療と介護を一体的に提供できる体制を構築するため、在宅医療・介護関係者の情報共有や連携強化に係る事業を推進した。 また、在宅医療支援センターにおいて、在宅医療に関する相談や退院調整への支援等を行った。 令和５年度は、より多くの関係者と情報共有ができるように、研修等の開催を工夫したが、関係者間の連携向上の大幅な改善には至らなかった。 ◎医療・介護関係者が多職種連携についてできていると評価した点数（１０点満点）の平均　実績５．４点（目標７点）							
10	高齢者居場所づくり事業 9,628千円 健康福祉局 長寿福祉課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	96.7%		A	B	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 介護予防や健康増進、地域のボランティア活動、世代間交流など、様々な地域活動の場となる高齢者の居場所を設置することにより、高齢者の孤立化防止や介護予防活動を促進することができた。 また、小学生以下の子どもとの交流を行った場合に、子どもとのふれあい加算を実施することにより、世代間交流の促進につながったほか、高松市内３医師会連合会、高松市歯科医師会、医療系大学等及び民間事業者との連携事業を実施し、居場所の活動支援を行うことにより、高齢者の健康増進に資することができた。 ◎主観的健康感の維持向上率　実績９２．２％（目標９５．３％）							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
11	高齢者見守り事業 51,270千円 健康福祉局 長寿福祉課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	105.3%		A	A	B	A	改善継続
		（事業概要、事業実績等） 地域で支えあう見守り協定、特別あんしん見守り事業の三層構造による見守り活動を推進するとともに、介護相談専用ダイヤルを継続することにより、２４時間３６５日、介護や日常生活の不安を相談できる体制を維持した。 また、見守り機能を持つあんしん通報装置を積極的に起用しているほか、弁当配達時に安否確認を行い、異常時には関係機関に連絡するサービスを実施した。 見守り協定に基づく通報件数　８８件 地域で支えあう見守り協力員　約１７，０００人 介護相談専用ダイヤル相談件数　５９１件 あんしん通報装置設置件数　１，１８３件 配食見守り事業利用者数　９５８人 ◎見守り協定締結事業者数　実績９９事業者等（目標９４事業者等）						
12	介護サービス相談員派遣事業 453千円 健康福祉局 介護保険課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			5.1%		A	B	A	D	継続
		（事業概要、事業実績等） 新型コロナウイルス感染症の影響により、９月以降の活動となったが、８事業所を訪問し、利用者の疑問や相談等に応じた。 また、事業所職員と意見交換を行うことにより、介護サービスの質的な向上に寄与した。 ◎介護サービス相談員が受けた相談件数　実績１０８件（目標２，１００件）						
13	認知症ケア推進事業 14,469千円 健康福祉局 地域包括支援センター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	66.7%	100.0%	B	B	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられる社会の実現を目指し、「チームオレンジ」の設置、認知症サポーターボランティア活動の拡大、認知症の人や家族を支援する「認知症地域支援推進員」の配置、「認知症ケアパス」の普及を促進するとともに、「認知症初期集中支援チーム」が訪問支援等を行った。 また、成年後見制度中核機関事業では、成年後見制度が必要な人に支援が届くよう、周知啓発や相談支援等を行った。 ◎チームオレンジ設置数（累計）　実績２件（目標３件） ◎認知症初期集中支援チームの支援が医療や介護保険サービス等につながった割合　実績１００％（目標１００％）						
14	地域ケア会議推進事業 633千円 健康福祉局 地域包括支援センター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			97.7%	120.0%	A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 高齢者の自立支援に向けた個別ケアプランの検討や、複合化した問題を抱える高齢者の支援内容を検討し、課題解決を支援するとともに、地域課題の解決に向けた検討を行うことにより、地域包括ケアシステムの構築に寄与した。 ◎地域ケア小会議（地域課題）を開催している地区の割合 実績９７．７％（目標１００％） ◎地域ケア小会議（個別課題）における検討件数 実績６０回（目標５０回）						
15	（評価対象外）地域包括支援センター運営事業 225,271千円 健康福祉局 地域包括支援センター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員等が連携し、高齢者に関する総合相談支援、介護予防ケアマネジメント、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント支援等を行い、介護予防の取組を推進した。							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容						
16 瓦町健康ステーション事業 28,194千円 健康福祉局 長寿福祉課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		54.9%	A	A	B	C	継続
	（事業概要、事業実績等） コトデン瓦町ビル８階ＩＫＯＤＥ瓦町内の瓦町健康ステーションにおいて、各種講座を開催し、市民の健康づくりや生きがいづくりに寄与した。 ◎瓦町健康ステーションの年間来場者数 実績４１，６８８人（目標７６，０００人）						
17 地域包括支援センター民間委託推進事業 31,375千円 健康福祉局 地域包括支援センター	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	特別重点	100.0%	A	B	C	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 地域包括支援センターの運営における課題への対応として、官民連携による委託モデル事業を香川圏域において実施し、その効果の検証を行った。 ◎モデル事業を実施したサブセンター数　実績１か所（目標１か所）						
18 敬老事業 10,518千円 健康福祉局 長寿福祉課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		100.0%	A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） ８８歳、１００歳の高齢者及び市内男女最高齢の方に祝品を贈り、長寿をお祝いし、高齢者の生活の向上に努める意欲を高めた。 最高齢者男性及び１００歳代表者へ、高齢者訪問を実施した。 敬老会対象者数　６８，８８７人 ８８歳祝品贈呈者数　２，３０３人 １００歳祝品贈呈者数　１７８人 ◎敬老事業参加率　実績１００％（目標１００％）						
19 在宅高齢者家族支援事業 44,761千円 健康福祉局 長寿福祉課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		102.0%	A	A	A	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 在宅で高齢者を介護している方に、寝たきり高齢者等介護見舞金、高齢者短期入所等のサービスを提供することにより、家族の介護の負担を軽減することができた。 また、介護者が新型コロナウイルス感染症に感染し、介護を受けることができない在宅高齢者を、一時的に医療機関で受け入れる体制を整備し、新型コロナウイルス感染症への対策を講じた。 介護見舞金支給人数　７６４人 短期入所事業利用日数延べ　１，５５９日 在宅老人短期保護事業利用日数延べ　０日 ◎在宅認定者率（要介護４、５）　実績５６．１％（目標５５％）						
20 寝たきり高齢者等支援事業 98,488千円 健康福祉局 長寿福祉課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		124.8%	A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 寝たきり等の高齢者に紙おむつ給付等のサービスを提供することにより、日常生活上の不安を和らげ、在宅での生活を支援することができた。 寝たきり高齢者等紙おむつ給付事業登録人数　１，９３８人 延べ給付人数　２３，３１２人 ◎施策に対する満足度（市民満足度）　実績３１．２％（目標２５％）						

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容						
21 軽度生活援助事業 20,239千円 健康福祉局 長寿福祉課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		86.5%	A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） ６５歳以上の一人暮らし高齢者等に、外出時の援助、家周りの掃除、家屋内の整理・整頓など、生活支援に資する軽易な日常生活上の援助を行うことにより、自立した生活の継続を可能にするとともに、介護予防に資することができた。 令和２年度から、毎年度現況届の提出を求めることにより、利用予定のない対象者を整理している。 登録者数　　１，５４７人 延べ利用回数　１０，３３２回 ◎軽度生活援助利用率　実績１７．３％（目標２０％）						
22 高齢者福祉タクシー助成事業 10,657千円 健康福祉局 長寿福祉課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		91.6%	A	A	A	A	継続
	（事業概要、事業実績等） タクシー助成券を交付し、外出することが難しい在宅の高齢者の外出を支援した。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和され、利用人数は増加したが、利用率は減少した。 交付人数　２，０９９人 ◎タクシー助成券利用率　実績４５．８％（目標５０％）						
23 老人クラブ活動助成事業 24,556千円 健康福祉局 長寿福祉課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		71.8%	A	B	B	B	継続
	（事業概要、事業実績等） 地域でのボランティア活動や交通キャンペーンなどの社会奉仕活動、伝統文化の継承など、地域を豊かにする社会貢献活動を展開し、各地域において重要な役割を果たしている老人クラブの活動を支援することにより、高齢者の生きがいづくりと社会活動への参加を促進することができた。 ◎老人クラブ会員数　実績１１，２５０人（目標１５，６７４人）						
24 シルバー人材センター運営補助事業 16,879千円 健康福祉局 長寿福祉課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		83.6%	A	B	B	B	継続
	（事業概要、事業実績等） 高齢者活躍人材育成事業の実施による高齢者への技能講習を行い、就業を通じて社会活動への参加の場を提供している高松市シルバー人材センターの運営を円滑にするため、補助金の交付により、高齢者の生きがいづくりを促進することができた。 延べ受注件数　　１５，５３２件 就業延べ人員　１２８，４０７人 ◎シルバー人材センター会員数　実績１，３７９人（目標１，６５０人）						
25 高齢者福祉施策推進事業 30,192千円 健康福祉局 長寿福祉課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		124.8%	A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 高齢者が住み慣れた地域社会で、健康で生きがいを持って生活を送ることができるよう、高齢社会にふさわしい保健福祉施策を推進した。 また、様々なサービスをまとめた冊子の配布等を通じて、高齢者福祉サービスについて広く周知することができた。 高齢者在宅福祉サービス冊子作成部数　３０，０００部 （内長寿福祉課分　９，４５０部） ◎施策に対する満足度（市民満足度調査）　実績３１．２％（目標２５％）						

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容
26 （評価対象外）老人福祉センター等運営事業 66,050千円 健康福祉局 長寿福祉課	重点： 成果達成度： 妥当性： 有効性： 効率性： 総合評価： 今後の方向性： （事業概要、事業実績等） 高齢者が、住み慣れた地域社会で安心して自立生活を営むことができるよう、老人福祉センター、老人いこいの家等の地域に密着した既存施設の有効活用を行うことにより、高齢者の生きがいづくりと社会活動への参加を促進することができた。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、コロナ禍前より利用者数は減少した。 香南ふれあい館等（延べ）　６，４７３人 ふれあい福祉センター勝賀（延べ）　３８，２５０人 老人いこいの家（延べ）　７，９９７人
27 （評価対象外）老人保護施設措置事業 280,024千円 健康福祉局 長寿福祉課	重点： 成果達成度： 妥当性： 有効性： 効率性： 総合評価： 今後の方向性： （事業概要、事業実績等） 在宅において養護を受けることが困難な高齢者を、養護老人ホームで保護することができた。 養護老人ホーム入所者数　１２１人
28 高齢者住宅等安心確保事業 8,481千円 健康福祉局 長寿福祉課	重点： 成果達成度：90.2% 妥当性：A 有効性：B 効率性：B 総合評価：A 今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） 高齢者世話付住宅へ生活援助員を派遣し、日常生活の相談・指導、安否確認、緊急時の対応等のサービスを入居者に提供することにより、高齢の入居者が自立して安全かつ快適に生活できる場を確保することができた。 ◎生活援助員への相談件数　実績５，８６１件（目標６，５００件）
29 軽費老人ホーム事務費補助事業 199,677千円 健康福祉局 長寿福祉課	重点： 成果達成度：97.9% 妥当性：A 有効性：B 効率性：B 総合評価：A 今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） 軽費老人ホームの運営に要する経費の一部を補助することにより、自立した生活を営むことに不安のある高齢者が、収入に応じた低額な料金で利用できる施設を確保することができた。 ◎入所者実数（延べ）　実績５２５人（目標５３６人）
30 老人福祉施設整備支援事業 209,442千円 健康福祉局 長寿福祉課	重点： 成果達成度：100.0% 妥当性：A 有効性：B 効率性：B 総合評価：A 今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） 老人福祉施設整備に要する費用について、社会福祉法人に対し、補助金及び利子補給金を交付することにより、老人福祉施設の整備が促進され、入所者の生活の場を確保する効果があった。 ◎補助金を交付した老人福祉施設数　実績６施設（目標６施設）

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
13,670,022千円	A	23.4%	73.9%

まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
政　策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成
担当局	健康福祉局

対象	障がい者及び障がい児	意図	必要な障害福祉サービスに係る給付その他の支援を行うことにより、障がい者及び障がい児が自ら選択した場所に居住し、自立した日常生活を送ることができるようにする。

概要（実績）

障がい者及び障がい児が、自立した日常生活又は社会生活を送ることができるよう、必要な支援を実施した。
障がい者サービス利用者数　　３，２７７人
障がい児サービス利用者数　　１，６０４人
障害者医療受給者　　１０，０５３人
更生医療支給認定者　　１，５３１人

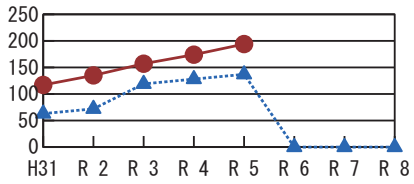
成果指標

①

指標名	施設入所者の地域生活への移行者数（累積）	R 5実績	R 5目標	達成度
		194人	137人	141.6%

状況：障がい者の自立支援と社会活動への参加の促進を図るため、施設入所者の地域移行を推進した結果、目標を達成することができた。

達成度の推移

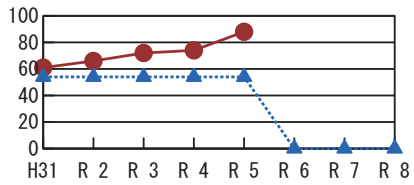


②

指標名	福祉施設から一般就労への移行者数	R 5実績	R 5目標	達成度
		88人	54人	163.0%

状況：障がい者の自立支援と社会活動への参加の促進を図るため、地域生活支援拠点等を活用し、福祉施設から一般就労への移行を推進した結果、目標を達成することができた。

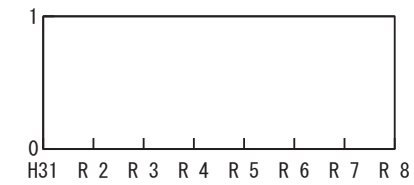
達成度の推移



③

指標名		R 5実績	R 5目標	達成度

達成度の推移



施策の課題

支援の対象となる障がいの多様化に伴い、障害福祉サービスコストの増加が予想されるため、より効果的なサービス提供について検討する必要がある。

施策の方向性

障がいのある人が住み慣れた地域で安心して暮らし、積極的に社会活動に参加できる地域社会づくりを目指し、より一層、効果的で適切な施策の実施に取り組み、成果の向上を図る。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1 障がい者地域生活支援推進事業 146,618千円 健康福祉局 障がい福祉課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	一般重点	106.1%	132.1%	B	B	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 障がい者の地域での生活を支援するため、基幹相談支援センター（中核拠点及び地域拠点）のほか、身体障がい者福祉の拠点として、高松市総合福祉会館から移転したコスモス園を運営した。 ◎障がい者福祉サービス利用者数　実績４，８８１人（目標４，６００人） ◎基幹相談支援センター相談件数　実績３，３０３件（目標２，５００件）							
2 障がい者就労支援促進事業 5,158千円 健康福祉局 障がい福祉課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		30.0%	100.0%	A	A	B	B	継続
	（事業概要、事業実績等） 中央商店街の空き店舗や市役所本庁舎を活用し、障がいのある人を雇用し事業を実施する事業者への支援等を行ったことにより、知的・精神障がい者の就労促進、社会的・経済的自立に寄与した。 ◎雇用契約をした障がい者数（中央商店街）　実績３人（目標１０人） ◎「障がい者就労支援促進事業」における就労者数及び訓練者数 実績１０人（目標１０人）							
3 （評価対象外）障害福祉サービス給付事業 10,297,592千円 健康福祉局 障がい福祉課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 障害福祉サービスを給付したことにより、障がい者（児）の自立及び日常生活や社会生活の向上に効果があった。 障がい者サービス利用者数　３，２７７人 障がい児サービス利用者数　１，６０４人 なお、国の補正予算事業の執行に当たり、実施期間を確保するため、事業費の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：４，１２５，０００円）							
4 （評価対象外）障害者自立支援医療事業 540,375千円 健康福祉局 障がい福祉課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 自立支援医療（更生医療）の支給認定や育成医療及び更生医療の自己負担費用を助成し、医療費の自己負担額の軽減を行ったことにより、障がい者の自立と社会参加の促進に効果があった。							
5 補装具費・日常生活用具支給等事業 236,803千円 健康福祉局 障がい福祉課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		89.6%		A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 障がい者（児）に対し、補装具や日常生活用具の給付を行ったことにより、本人及びその家族の精神的・経済的負担を軽減した。 ◎補装具給付件数　実績８９６件（目標１，０００件）							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
6	（評価対象外）介護給付費等審査会事業 3,838千円 健康福祉局 障がい福祉課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 障害者総合支援法の規定に基づき、障害者支援区分認定等に係る基準に照らして審査・判定を行い、また、支給要否決定を行うに当たり、意見を聴くために障害支援区分認定等審査会を開催した。 なお、三木町、綾川町、直島町の審査・判定についても、委託を受けて実施した。							
7	（評価対象外）障害支援区分認定事業 30,478千円 健康福祉局 障がい福祉課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 障害福祉サービス等の利用申請があった場合、障害支援区分の認定等の調査を実施するとともに、認定に係る市町村審査会での審査判定に当たって、医師に意見書作成を求めた。 また、障害福祉サービスを利用しようとする様々な相談に応じる認定調査員を配置した。							
8	障害者相談支援事業 124,817千円 健康福祉局 障がい福祉課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			125.8%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 在宅福祉サービスの利用援助、社会資源を利用するための支援、ピアカウンセリング、介護相談及び情報の提供を総合的に実施したことにより、障がい者やその家族の不安解消、生活の利便性の向上に効果があった。 ◎障害者相談件数　実績１，２５８件（目標１，０００件）							
9	障害者権利擁護事業 5,853千円 健康福祉局 障がい福祉課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			58.3%		A	A	B	C	継続
		（事業概要、事業実績等） 成年後見制度の利用、障がい者の虐待案件に対する支援等を行ったことにより、障がい者の権利擁護の促進に寄与した。 成年後見制度の認知拡大に伴い、問合せは増加したが、市長申立件数及び決定人数は、目標数に達しなかった。 ◎成年後見人申立決定人数　実績７人（目標１２人） （市長申立後に家裁の審判が行われた人数）							
10	障害者手帳交付事業 203,192千円 健康福祉局 障がい福祉課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			105.7%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 障がいのある人からの手帳交付申請に基づき、適正な障害認定の後、障害者手帳の交付や、再認定に当たり必要となる診断書作成料の助成等を行ったことにより、障がい者福祉の増進に寄与した。 ◎サービス提供による決算額（過年度収入精算返還金を除いた決算額） 実績８２，４１５千円（目標７７，９４３千円）							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
11 （評価対象外）福祉手当支給等事業 287,101千円 健康福祉局 障がい福祉課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 特別障害者手当、障害児福祉手当等の支給を行ったことにより、障がい者及びその家族の経済的負担が軽減した。							
12 障害者医療費助成事業 1,485,359千円 健康福祉局 障がい福祉課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		104.4%		A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 障がい者を対象に医療費（保険診療の自己負担額（高額療養費及び入院時食事（生活）療養費に係る標準負担額は除く））の全部又は一部を助成したことにより、障がい者の医療費に係る経済的な負担を軽減した。 ◎受診率（助成件数／受給者数） 実績２３８．１３％（目標２２８．０９％）							
13 障害児放課後支援事業 15,971千円 健康福祉局 障がい福祉課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		100.0%		A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 養護学校に通う児童のうち、放課後に帰宅しても保護者の監護を受けられない児童に対し、放課後支援事業を実施したことにより、障がい児の健全な育成、保護者の負担軽減に効果があった。 ◎放課後支援事業利用者日数　実績２８１日（目標２８１日）							
14 （評価対象外）障害者施策推進事業 277千円 健康福祉局 障がい福祉課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 関係団体と連携し、たかまつ障がい者プラン（令和６年度～８年度）を策定するとともに、高松市障害者施策推進懇談会を開催するなど、福祉に携わる人々の連携強化に効果があった。							
15 （評価対象外）障害者福祉施設等運営事業 3,326千円 健康福祉局 障がい福祉課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 障害者福祉施設等を運営し、障がい者（児）に対し、必要とされるサービスを提供したことにより、障がい者（児）の自立支援や社会活動への参加促進に寄与した。							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容						
16 発達障害者サポート事業 8,108千円 健康福祉局 障がい福祉課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		205.7%	A	A	A	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 発達障害者支援コーディネーターを配置して、各種相談を行った結果、発達障がい者の福祉の向上に効果があった。 また、「発達障がい児・者サポーター養成講座」を開催したことにより、発達障がい児・者の基本的理解を深めるとともに、ライフサイクルに応じた支援や地域で生活していくための支援ができる人材の育成に効果があった。 ◎障害児通所サービス受給者数　実績１，３９９人（目標６８０人）						
17 障がい者アートリンク事業 10,000千円 健康福祉局 障がい福祉課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		112.3%	A	A	A	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 希望する障害福祉サービス事業所等にアーティストを派遣し、障がい者が継続して芸術活動を行う中で、作品展等を通じて社会とつながったり、活動が認知されたりすることを通じて、障がい者の社会参加促進に寄与した。 ◎アートリンクに参加した障がい者（児）延べ人数 実績３，８１９人（目標３，４００人）						
18 手話言語・障がい者コミュニケーション手段の普及促進事業 4,309千円 健康福祉局 障がい福祉課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	一般重点	104.6%	A	A	C	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 条例周知啓発事業として、ポスターコンクールや手話動画募集を実施したほか、避難所用バンダナ「たかまつあんしんバンダナ」を希望する市民に配付できるよう追加作成した。 手話通訳者育成研修は、当初の予定に沿って実施することができた。 また、手話学習の出前講座は、香川県聴覚障害者協会に委託し、希望のあった小・中学校等５団体に対して実施した。 ◎手話通訳者育成に向けた研修参加者数（累計） 実績５９６人（目標５７０人）						
19 （評価対象外）障害者移動支援等事業 123,033千円 健康福祉局 障がい福祉課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 外出の際の移動の支援、見守り及び社会に適応するための日常的な訓練を行ったことにより、障がい者（児）の社会活動への参加の促進に効果があった。 移動支援事業利用者数　　月平均　５４９人 日中一時支援事業利用者数　月平均　　８８人						
20 障害者地域活動支援事業 107,067千円 健康福祉局 障がい福祉課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		95.6%	A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 地域活動支援センター事業や意思疎通支援事業等を行ったことにより、障がい者（児）の自立支援や社会活動への参加促進に効果があった。 ◎利用人数　実績１７，２０８人（目標１８，０００人）						

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容						
21 障害者福祉タクシー事業 28,312千円 健康福祉局 障がい福祉課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		62.2%	A	A	B	C	継続
	（事業概要、事業実績等） 障がい者（児）に福祉タクシー券を交付したことにより、障がい者（児）の外出機会を創出し、自立支援の推進や社会参加の促進に効果があった。 ◎タクシー助成券使用率　実績３１．１１％（目標５０％）						
22 障害者社会活動支援事業 2,427千円 健康福祉局 障がい福祉課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		77.8%	A	A	B	B	改善継続
	（事業概要、事業実績等） 障がい者団体への支援を行ったことにより、障がい者（児）の自立支援や社会活動の参加促進に効果があった。 ◎利用人数　実績１，０１２人（目標１，３００人）						
23 福祉のまちづくり推進事業 8千円 健康福祉局 障がい福祉課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		71.3%	A	B	B	B	継続
	（事業概要、事業実績等） 香川県福祉のまちづくり条例に基づき、特定施設新築等届出書等の提出を促し、審査・指導・助言を行ったことにより、市民の誰もが安全かつ円滑に利用できるような公共的建物等の、福祉的環境の整備促進に効果があった。 ◎特定施設整備主に対する指導及び助言件数　実績５７件（目標８０件）						

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	生活困窮者等への自立支援

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
11,622,447千円	B	19.6%	54.7%

まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
政　策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成
担当局	健康福祉局

対象	意図
生活困窮者	困窮の程度に応じ、最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長する。 生活保護に至る前の生活困窮者に対して、生活困窮者自立支援法に基づき早期的な支援を行うことにより、生活困窮状態からの早期自立を図る。

概要（実績）

生活困窮者に対し、困窮の程度に応じ、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長した。
また、生活保護に至る前の生活困窮者に対して、生活困窮者自立支援法に基づき、困窮者それぞれの状態に応じた包括的かつ継続的な自立相談支援事業等を実施した。

成果指標

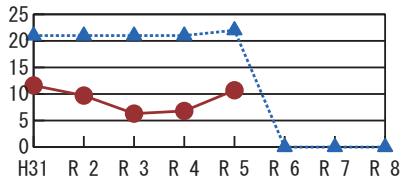
①

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
勤労収入の増加による生活保護廃止率	10.7%	22%	48.6%

状況

稼働能力がある被保護者に対しては、ハローワーク等と連携して就労指導するとともに、被保護者の状況を把握しながら段階的に就労機会を増やすなど、経済的自立を目指し取り組んだ。
前年度実績との比較では、３．９ポイント向上したものの、目標を達成することができなかった。

達成度の推移



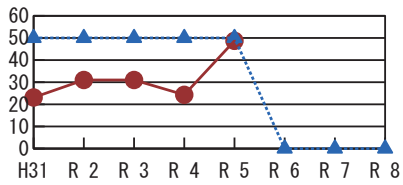
②

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
支援プラン作成率	48.7%	50%	97.4%

状況

生活困窮者それぞれの状況に応じて、継続的かつ包括的な支援を実施するための支援プランを作成し、困窮者の早期自立を促した。
前年度実績との比較では、相談件数はほぼ同数だったが、支援プランの作成件数が倍増したため、目標をおおむね達成することができた。

達成度の推移

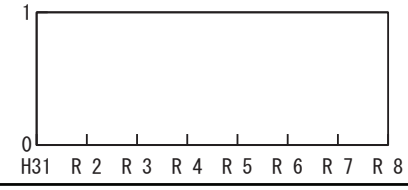


③

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度

状況

達成度の推移



施策の課題

生活保護受給世帯は増加傾向にあり、近年、急速に進む燃料費高騰や物価高などが、生活保護の申請増加に波及することも懸念されるため、ケースワーカーの充足を図るなど、実施体制の整備が必要である。
また、生活保護に至る前の生活困窮者の自立支援については、早期支援を実現するため、地域における生活困窮者の把握など、地域ネットワークを活用した包括的な取組が必要である。

施策の方向性

引き続き、生活困窮者等に対して健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、自立支援施策を推進することにより、自立を助長する。
また、生活困窮者自立支援事業については、ニーズに応じた支援を計画的かつ継続的に行う。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	（評価対象外）生活困窮者自立支援事業 76,790千円 健康福祉局 生活福祉課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮者が抱える複合的な課題を十分に把握し、他の機関と連携して支援計画を作成するなど、それぞれの状態に応じた包括的かつ継続的な自立相談支援事業を実施し、困窮状態からの早期脱却に向けて支援した。 令和５年度支援プラン作成件数　４０６件							
2	（評価対象外）中国残留邦人生活支援事業 35,443千円 健康福祉局 生活福祉課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 中国残留邦人等の置かれている特別な事情に鑑み、老後の生活の安定と地域での生き生きとした暮らしを実現するため、支援給付や日常生活の助言等を行うことで、対象世帯の生活の安定に寄与した。 令和６年３月３１日現在の対象世帯数　１３世帯							
3	（評価対象外）行旅死亡人等取扱事業 737千円 健康福祉局 生活福祉課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 行旅死亡人等に対し、適切に葬祭・埋葬や旅費支給等の救済を行った。 令和５年度行旅死亡人等葬祭委託実績　８件							
4	（評価対象外）生活保護扶助事業 11,509,472千円 健康福祉局 生活福祉課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 要保護者に対して、生活保護の実施及び被保護者就労支援事業を通じて、日常生活への自立支援を行い、要保護者への最低生活の保障と自立を助長することができた。 令和６年３月３１日現在の生活保護受給世帯数　５，１４１世帯							
5	（評価対象外）ホームレス自立支援事業 5千円 健康福祉局 生活福祉課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 生活に関する相談及び指導並びに緊急に行うべき援助物資の支給等、ホームレスの状況に応じて必要な支援を行った。 令和５年度緊急援助物資配布実績　１人							

令和５年度　政策の概要調書

総合計画体系		
	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
	政　策	健康で元気に暮らせる環境づくり

総合評価
A

１　政策の概要

健康で元気に暮らせる環境づくりを図るため、健康寿命の延伸と生活の質の向上を目指し、健康づくりの普及啓発や生活習慣の改善、生活習慣病の発症予防と重症化予防に取り組むとともに、乳幼児から高齢者までのライフステージに応じた健康づくりの推進に努めます。
また、国民健康保険を始め、介護保険や後期高齢者医療などの社会保障制度の適切な運営に努めます。
また、監視指導等による医療機関等の適正な運営や市立病院の充実を図るとともに、医療人材や救急医療体制の確保に努め、市民が安心できる医療体制の充実を図ります。
また、予防接種事業については、定期の予防接種のほか、新型コロナワクチン接種についても、地元医師会や関係機関と連携し、接種を希望される方が円滑に接種できるよう努めます。
さらには、感染症の発生予防に努めるとともに、感染者が確認された場合は、速やかに積極的疫学調査や入院調整を行い、感染の拡大防止に努めます。

２　政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
健康づくりの推進	75%	B
医療体制の充実	100%	A
社会保障制度の適切な運営	98%	A
平均	91%	A

３　政策の評価

健康で元気に暮らせる環境づくりに向けて、３施策に取り組んだ。
「健康づくりの推進」では、設定する３つの成果指標のうち、内臓脂肪症候群該当者出現率（国保ベース）において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を達成又はおおむね達成した。
「医療体制の充実」及び「社会保障制度の適切な運営」の２施策では、設定する６つの成果指標について、目標を達成又はおおむね達成した。
以上により、政策を構成する施策の平均得点率は９１％となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
健康づくりの推進	47.4%	11.8%	76.1%
医療体制の充実	41.9%	17.4%	83.8%
社会保障制度の適切な運営	30.6%	17.9%	77.2%
平均	40.0%	15.7%	79.0%

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	健康づくりの推進

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
3,574,368千円	B	47.4%	76.1%

まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
政　策	健康で元気に暮らせる環境づくり
担当局	健康福祉局

対象	市民	意図	健やかで心豊かに生活できる市民が増える。

概要（実績）

新型コロナウイルス感染症予防対策を図りながら、各種検（健）診事業、相談事業、健康教室等を実施することにより、市民の心身両面の健康づくりを推進した。
また、予防接種事業については、地元医師会や関係機関と連携して実施し、接種率の向上に取り組んだ。
さらに、新型コロナウイルス感染症や季節性インフルエンザなどの感染症については、流行状況の情報発信や注意喚起をホームページ等で行い、感染の拡大防止に取り組んだ。

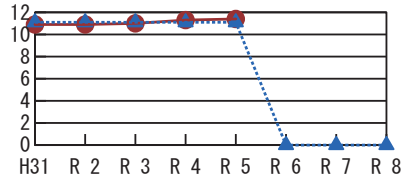
成果指標

①

指標名	介護保険の要介護２～５の認定率	R 5実績	R 5目標	達成度
		11.4%	11.1%	97.3%

状況：介護サービスの利用控え等、コロナ過において介護度が重度化し、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

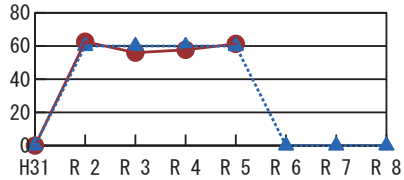


②

指標名	がん検診受診率（２０～６９歳）	R 5実績	R 5目標	達成度
		61.3%	60%	102.2%

状況：新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが５類に移行した影響や受診啓発等を行ったことにより、前年度よりがん検診の受診率が向上し、目標を達成することができた。

達成度の推移

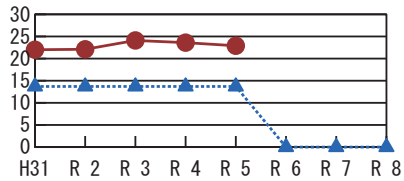


③

指標名	内臓脂肪症候群該当者出現率（国保ベース）	R 5実績	R 5目標	達成度
		22.9%	13.7%	32.8%

状況：コロナ禍による社会活動の低下等、市民の生活様式の変化に合わせ、一部、事業を縮小して実施したほか、動画・携帯アプリ等を活用し、生活習慣の改善を推進したが、目標を達成することができなかった。

達成度の推移



施策の課題

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが５類に移行し、新たな生活様式が定着しつつある状況を踏まえ、市民の健康づくりに寄与する施策の改善等に取り組む必要がある。

施策の方向性

全ての市民が共に支えあい、健やかで心豊かに生活できる活力ある社会の実現に向けて、高松市健康都市推進ビジョンに基づく取組を強化し、本市の健康増進を更に向上できる環境づくりを推進していく。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容						
1 自殺対策推進事業 5,246千円 健康福祉局 健康づくり推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		78.2%	116.7%	A	A	A	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが５類に移行し、地域や職域で健康教育や対面での啓発事業を実施する機会が増加したことにより、自殺予防の啓発が広がった。 また、高校の文化祭や中学３年生の２学期開始時に「こころの体温計に関するチラシ」を配布したほか、自殺予防や相談対応の知識・技術等の向上を図るため、職員及び相談従事者研修を実施するなど、自殺予防啓発を推進した。 ◎健康教育の参加者数　実績３，６７４人（目標４，７００人） ◎ひきこもり支援人数　実績７人（目標６人）							
2 骨髄等移植ドナー支援事業 146千円 健康福祉局 保健医療政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
				A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業において、骨髄等を提供したドナー及びドナーが勤務している事業所に対し、助成金を交付することにより、骨髄等移植の推進に寄与した。 ドナーに対する助成件数　１件 事業所に対する助成件数　１件							
3 地域保健推進事業 1,674千円 健康福祉局 健康づくり推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		85.9%	92.9%	A	B	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 地域に密着した、きめ細かな保健事業を推進するため、保健委員会連絡協議会の運営を補助し、ブロック研修会や「高松市民健康の日」パネル展を開催した結果、市民の健康意識向上につながった。 また、地域及び企業・事業所等の職域に対して、健康運動指導士を派遣する運動教室を開催し運動推進に寄与した。 ◎講演会等参加者数　実績１，３７４人（目標１，６００人） ◎講演会等参加者満足度　実績９２．９％（目標１００％）							
4 （評価対象外）栄養改善指導事業 3,037千円 健康福祉局 健康づくり推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 健康増進を目的とした施設を中心に、計画どおり巡回指導を実施することができた。あわせて、栄養管理報告書に基づく助言やホームページにおいて給食施設に関する情報提供を積極的に発信し、対象施設の適切な給食管理に資することができた。							
5 （評価対象外）国民健康・栄養調査事業 282千円 健康福祉局 健康づくり推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 国からの委託を受け、国民健康・栄養調査を実施した。							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
6	（評価対象外）保健統計調査事業 1,288千円 健康福祉局 保健医療政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 統計法に基づき実施される保健統計調査（人口動態調査等）について、厚生労働省受託事務として円滑に実施した。							
7	（評価対象外）保健センター管理運営事業 60,236千円 健康福祉局 健康づくり推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 施設運営に支障を来さないよう、年間を通じて計画的に各種保守点検業務を実施したほか、修繕については、空調設備や電気系統等、緊急性の高いものから順次取り組んだ結果、安全かつ良好な施設の維持管理ができた。							
8	保健活動事業 22,904千円 健康福祉局 健康づくり推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			92.9%		A	B	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 保健師等による家庭訪問や健康相談、事務所相談、健康診査、健康教育、地区組織活動を実施したことにより、市民の健康づくりの気運が向上し、健康増進に寄与した。 ◎参加者の満足度　実績９２．９％（目標１００％）							
9	（評価対象外）原爆被爆者健康診断事業 38千円 健康福祉局 健康づくり推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 原子爆弾被爆者を対象にした健康診断の通知等を行い、被爆者の健康の保持増進に寄与した。							
10	精神保健福祉普及啓発・相談事業 351千円 健康福祉局 健康づくり推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			95.5%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） こころの健康相談やこころの健康セミナーを実施し、市民に対して、こころの健康づくりやこころの病気に対する理解と正しい知識の周知啓発活動を推進した。 また、統合失調症家族教室を実施し、家族に対して病気への対応と正しい知識の周知啓発を行い、精神保健福祉に係る普及啓発に寄与した。 なお、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが５類に移行したことにより、参加者数は増加傾向である。 ◎啓発事業・家族教室の参加者数　実績４８７人（目標５１０人）							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容
11	精神障害者社会復帰支援事業 3,552千円 健康福祉局 健康づくり推進課	重点： 成果達成度：49.9% 妥当性：A 有効性：A 効率性：A 総合評価：C 今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） デイケアを実施し、グループ活動を通じて、精神障がい者同士の交流を図り、仲間づくりの場を提供したほか、当事者のための生活スキルアップセミナーを実施し、精神障がい者の社会参加や自立を促した。 なお、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが５類に移行したことにより、全体の参加者数は増加傾向である。 また、障がい者を支える家族会に対して運営補助を行い、家族活動の充実に資することができた。 ◎デイケア参加者延べ数　実績３５４人（目標７１０人）
12	難病患者地域支援ネットワーク事業 167千円 健康福祉局 健康づくり推進課	重点： 成果達成度：107.4% 妥当性：A 有効性：B 効率性：B 総合評価：A 今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） 福祉の充実と連携を図るため、保健師等の家庭訪問及び健康相談により、在宅療養支援を行うとともに、相談会・講演会等を開催し、安定した療養生活の確保と生活の質の向上に寄与した。 ◎事業参加者満足度　実績９６．７％（目標９０％）
13	（評価対象外）ほっとぴあん運営事業 19,921千円 健康福祉局 保健医療政策課	重点： 成果達成度： 妥当性： 有効性： 効率性： 総合評価： 今後の方向性： （事業概要、事業実績等） 指定管理者にほっとぴあんの運営を委託し、適切に維持管理を行ったことにより、健康増進、保養及び憩いの場を提供し、市民福祉の増進に寄与した。
14	（評価対象外）保健所管理運営事業 39,749千円 健康福祉局 保健医療政策課	重点： 成果達成度： 妥当性： 有効性： 効率性： 総合評価： 今後の方向性： （事業概要、事業実績等） 効率的な保守点検に努め、必要な修繕措置を行った結果、施設・設備とも適切に維持管理できた。 また、健康都市推進ビジョンに基づく各種施策の進捗管理等を行った。
15	（評価対象外）地域保健活動センター管理運営事業 25,090千円 健康福祉局 保健医療政策課	重点： 成果達成度： 妥当性： 有効性： 効率性： 総合評価： 今後の方向性： （事業概要、事業実績等） 効率的な保守点検に努め、必要な修繕措置を行った結果、施設・設備とも適切に維持管理できた。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容						
16 ８０２０（歯科保健）推進事業 健康福祉局 健康づくり推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		180.8%		A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） ライフステージに応じた健康相談・健康教育など歯科保健事業を実施し、歯と口腔の健康づくりを推進したほか、歯科疾患などの早期発見治療に関する啓発を行うことができた。 幼児歯科健康診査は妊娠届出時や家庭訪問時等のあらゆる機会を捉えて啓発したこと等により、一定の受診者数維持につなげることができた。 ◎幼児歯科健康診査受診者数　実績１，９８９人（目標１，１００人）							
17 地域食育推進事業 1,683千円 健康福祉局 健康づくり推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		87.8%	55.2%	A	A	D	C	継続
	（事業概要、事業実績等） 新型コロナウイルス感染症の影響により、食育フェスタや伝達講習会等、食育啓発事業を縮小せざるを得なかったが、スーパーマーケット等との連携や、野菜たっぷり生活ラリーでのデジタル媒体の導入など、継続的に食育推進事業を実施し、市民へ「食」の大切さを伝えた。 ◎食育に関心をもつ人の割合　実績７９．０％（目標９０％） ◎伝達講習会参加者数　実績１，６５７人（目標３，０００人）							
18 健康づくり推進事業 67,686千円 健康福祉局 健康づくり推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		72.5%	21.5%	A	A	C	C	継続
	（事業概要、事業実績等） 健康づくりを推進するため、健康教育や健康相談等を実施したが、前年度と比べ、参加者数は増加したものの、目標には届かなかった。 ◎健康教育の参加者数　実績１０，１４５人（目標１４，０００人） ◎健康相談の参加者数　実績１，６１６人（目標７，５００人）							
19 がん対策推進事業 504,930千円 健康福祉局 健康づくり推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	一般重点	102.2%		A	A	A	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 関係機関との連携を図り、コロナ禍における検診受診の啓発や子宮頸・乳がん検診の再受診勧奨などを実施することにより、前年度に比べ、各種がん検診受診率は増加した。 ◎がん検診受診率（２０～６９歳）　実績６１．３％（目標６０％）							
20 （評価対象外）予防接種事業 2,529,906千円 健康福祉局 感染症対策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 子どもの定期予防接種や高齢者に対する成人用肺炎球菌予防接種、インフルエンザ予防接種を実施することにより、感染症予防等、市民の健康維持に寄与した。 また、子宮頸がん予防ワクチンについては、キャッチアップ接種、償還払い等に対応するとともに、イベント等でも積極的に周知した。 新型コロナワクチン接種事業については、引き続き、臨時特例接種事業として実施した。 なお、新型コロナワクチン接種事業については、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：２，０００，０００円）							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容

21

（評価対象外）エイズ相談事業

112千円

健康福祉局
感染症対策課

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性

（事業概要、事業実績等）
保健所でＨＩＶ抗体無料検査、相談等を行い、エイズについてのまん延防止や正しい知識の普及啓発を行った。
また、従来からの一般市民を対象とした活動に加え、ハイリスク層を対象とした啓発資材の配布、高校文化祭や瓦町ＦＬＡＧでのパネル展示等、積極的な啓発活動を行った。

22

（評価対象外）感染症予防事業

253,247千円

健康福祉局
感染症対策課

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性

（事業概要、事業実績等）
感染症発生時においては、積極的疫学調査やまん延防止対策等、迅速・適正な対応を行った。
特に、新型コロナウイルス感染症対策として、昨年度に引き続き、診療・検査医療機関による検査やクラスター調査等を実施することにより感染症の拡大防止に寄与した。
また、適切な医療が提供できるように医療機関等との連携強化を図るため、コロナ危機対策会議を開催した。

23

（評価対象外）結核予防事業

33,123千円

健康福祉局
感染症対策課

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性

（事業概要、事業実績等）
保健所と医療機関が連携を密にして、結核患者に対し適切な指導を行い、再発防止のために服薬支援を実施した。
また、積極的疫学調査や接触者に対する健康診断を実施するなど、早期発見に寄与した。
さらに、市民及び医師等に対する結核についての正しい知識の普及啓発を行う講演会等については、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが５類に移行したこともあり、３年ぶりに実施した。

なお、前年度からの繰越事業については完了した。
（令和４年度繰越明許事業費：３，４３２，０００円）

24

感染症予防事業（長寿福祉課分）

健康福祉局
長寿福祉課

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	188.6%		A	A	B	A	完了

（事業概要、事業実績等）
市内の介護施設等の職員に対する一斉検査の実施等により、新型コロナウイルス感染症の早期発見・感染拡大防止につなげることができた。

◎本事業による検査実施件数　実績４０，３６４件（目標２１，４００件）

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	医療体制の充実

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
2,673,023千円	A	41.9%	83.8%

まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
政　策	健康で元気に暮らせる環境づくり
担当局	健康福祉局

対象	市民	意図	安定した医療供給体制を整えることにより、市民が安心して暮らすことができる環境づくりを目指す。

概要（実績）

・医事監視指導事業　医療機関への検査について、新型コロナウイルス感染症５類移行に伴い立入検査を再開した。
・医療安全支援センター運営事業　市民からの医療に関する相談対応など、医療安全の確保に寄与した。
・薬事監視指導事業　薬局・医薬品販売事業者等の許認可申請に対する審査・薬事監視指導を実施することにより、医薬品等の有効性・安全性を確保し、市民の保健衛生の向上に寄与した。
・高松市立病院運営事業　みんなの病院では、本市南部地域の中核病院として、「がん医療」、「救急医療」等の急性期医療に加え、「災害時や感染症に対する医療」、「地域包括ケア等の後方支援機能の強化」に重点的に取り組んだ。また、塩江分院では、保健、医療、福祉が一体となった「地域まるごと医療の実践」を基本方針として病院運営に当たり、地域医療に貢献した。
・附属医療施設整備事業　附属医療施設については、塩江道の駅及び温浴施設と一体的に整備を進めており、令和５年度は建築実施設計が完了したほか、法面対策工事を行った。

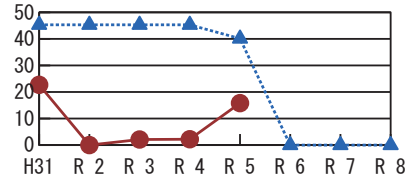
成果指標

①

指標名	立入検査違反率	R 5実績	R 5目標	達成度
		15.8%	40.1%	160.6%

状況：　コロナ禍では、医療施設への立入検査をせず書類審査としていたが、令和５年度から立入検査を再開し、人員配置の状況や施設の構造等が不適正な場合は、指導等を通じて改善を図った。
　令和５年度の違反率は前年度より大幅に増加したが、目標は達成することができた。

達成度の推移

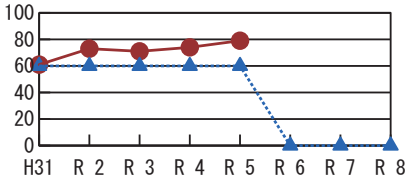


②

指標名	地域医療機関からの紹介率	R 5実績	R 5目標	達成度
		79%	60%	131.7%

状況：　地域医療支援病院として、医師の同行による地域医療機関への訪問や地域医療連携カンファレンス、セミナー等の症例検討会を通じて、顔の見える関係を築き、スムーズな連携・受入れを行うことにより、目標を達成することができた。

達成度の推移

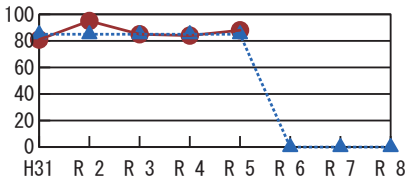


③

指標名	地域医療機関への逆紹介率	R 5実績	R 5目標	達成度
		88%	85%	103.5%

状況：　後方支援病院として、かかりつけ医を推奨し、入退院のスムーズな連携に取り組んでおり、紹介いただいた地域の医療機関に対しては、逆紹介を徹底することにより、目標を達成することができた。

達成度の推移



施策の課題

【健康福祉局】医療現場においては、地域間・診療科間における医師の偏在による医師不足や専門診療科不足が深刻であり、医師の確保等の対策が必要である。また、災害時医療救護体制の整備を進めるため、市内３医師会等と連携しながらマニュアルに沿った取組を行う必要がある。
【病院局】救急患者の積極的な受入れや、地域の医療機関との連携強化などにより、新規患者の更なる獲得を図るとともに、経費圧縮に努め、病院事業の健全経営に取り組む必要がある。また、附属医療施設については、早期に開所させる必要がある。

施策の方向性

【健康福祉局】地域医療や救急医療体制を確保するため、地域間・診療科間の医師偏在を解消するなど、国・県主導の下、関係機関と連携し、医師確保等に努める必要がある。また、災害時医療救護体制については、災害医療コーディネーター等と連携しながら、マニュアルに沿った実践的な訓練・研修に取り組む必要がある。
【病院局】高度医療に対応した環境づくりに努めるとともに、引き続き、災害時や感染症への平時からの取組や救急患者の積極的な受入れ、また、がん医療に重点的に取り組むなど、良質な医療の提供と経営の健全化に取り組む必要がある。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	病院群輪番制病院設備整備費補助事業 6,406千円 健康福祉局 保健医療政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%	99.5%	A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 輪番病院の設備整備に係る費用に対して助成を行い、診療に必要な設備を整備することにより、二次救急医療体制の充実に寄与した。 助成施設数　１病院 対象設備　超音波診断装置１台 ◎夜間における輪番病院の開設稼働率　実績１００％（目標１００％） ◎市民満足度調査における「医療体制の充実」の満足度 実績４１．９％（目標４２．１％）							
2	在宅当番医制等事業 23,842千円 健康福祉局 保健医療政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%	99.5%	A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 地区医師会に委託し、休日診療（原則９：００～１８：００）を行うことにより、休日における初期救急医療体制の確保に寄与した。 診療日数　７１日 患者数　３１，８９７人 ◎休日における休日当番医の開設稼働率 実績１００％（目標１００％） ◎市民満足度調査における「医療体制の充実」の満足度 実績４１．９％（目標４２．１％）							
3	歯科救急医療センター休日・夜間救急歯科診療事業運営補助事業 12,000千円 健康福祉局 保健医療政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%	99.5%	A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 高松市歯科医師会に対し、歯科救急医療センターの運営費の一部を助成することにより、休日・夜間における歯科救急医療体制の確保に寄与した。 診療日数（休日）７４日　　（夜間）２９４日 診療時間（休日）９：００～１６：００（１２：００～１３：００は休憩） （夜間）月～土曜１９：３０～２２：００） 患者数　（休日）１，１２９人　（夜間）８６９人 ◎休日・夜間における救急歯科診療の開設稼働率 実績１００％（目標１００％） ◎市民満足度調査における「医療体制の充実」の満足度 実績４１．９％（目標４２．１％）							
4	（評価対象外）夜間急病診療所運営事業 202,406千円 健康福祉局 保健医療政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 夜間における初期救急医療体制を確保するため、高松市医師会を指定管理者として、夜間急病診療所の運営を行い、診療の結果、重症患者は輪番病院に転送するなど、二次救急医療機関との連携体制を確保した。 診療日数　３６６日 診療時間　１９：３０～２３：３０ 患者数　１３，２０１人 （内　科：毎日）６，２９５人 （小　児　科：毎日）６，６９６人 （耳鼻咽喉科：木）　９５人 （眼　科：土）　１１５人							
5	病院群輪番制運営補助事業 63,770千円 健康福祉局 保健医療政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%	99.5%	A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 夜間の二次救急医療体制を確保するため、輪番病院の運営・調整に係る費用に対し、助成することにより、夜間における重症患者の受入体制の確保に寄与した。 輪番制による受入患者数４，６９６人（補助対象外の県立中央病院を除く。） 夜間急病診療所からの転送患者数３７０人（県立中央病院を含む。） ◎夜間における輪番病院の開設稼働率 実績１００％（目標１００％） ◎市民満足度調査における「医療体制の充実」の満足度 実績４１．９％（目標４２．１％）							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容						
6 寄附講座開設事業 70,500千円 健康福祉局 保健医療政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		262.5%	200.0%	A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 徳島大学医学部に寄附講座を設置し、高松市立みんなの病院において、フィールドワークとして専門性の高い消化器内科・総合内科、循環器内科、呼吸器・血液・代謝内科診療を行いつつ、医学生及び専門的診療能力を有する医師等の人材育成を行い、高松地域における医療レベルの向上に寄与した。 ◎大学からの医学生受入数　実績２１人（目標８人） ◎地域医療に関する講演会開催数　実績６回（目標３回）							
7 （評価対象外）薬事監視指導事業 343千円 健康福祉局 生活衛生課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 保健衛生上の見地から、医薬品医療機器等法に基づき、薬局、医薬品販売業者、医療機器販売業者等の許認可申請・届出に対する審査・指導及びこれらの施設に対する監視指導を実施することにより、医薬品、医療機器等の有効性及び安全性を確保し、市民の保健衛生の向上に寄与した。 医薬品・医療機器販売業者等への監視件数　１，３８２件							
8 看護師養成所運営補助事業 3,555千円 健康福祉局 保健医療政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		93.5%		A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 看護師及び准看護師の養成所に対し、運営費の一部を助成することにより、医療人材の確保や医療体制の充実に寄与した。 入学定員数　　１４０人 卒業者数　　９２人 資格試験合格者数　８６人（合格率９３．５％） ◎養成所卒業生の資格取得率　実績９３．５％（目標１００％）							
9 産科医等確保支援事業 3,408千円 健康福祉局 保健医療政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		95.7%		A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 医療施設が産科医及び助産師に支給する、分娩手当に係る費用の一部を助成することにより、処遇改善を通じて、産科医等の確保に寄与した。 助成施設数　３施設 分娩件数　６１８件 ◎該当施設における産科医及び助産師の従事人数 実績４４人（目標４６人）							
10 災害時医療救護事業 737千円 健康福祉局 保健医療政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		100.0%	100.0%	A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 高松市内３医師会連合会及び高松市歯科医師会の医療救護事業に対し、助成することにより、医療救護班の派遣体制の確保に寄与した。 また、災害時に避難所・応急救護所等で使用する備蓄医薬品等のうち、期限切れのものについて更新を行った。 ◎備蓄医薬品のうち有効期限内である医薬品の割合 実績１００％（目標１００％） ◎医療救護活動の実施率　実績１００％（目標１００％）							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
11	医療安全推進事業 356千円 健康福祉局 保健医療政策課		128.3%		A	B	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 医療安全支援センターの運営により、医療に関する市民の相談に対応したほか、医療機関へ医療安全に関する情報提供を行うなど、市民の医療に対する信頼の確保に寄与した。 ◎相談者の納得度「納得した」の割合　実績７７．０％（目標６０％）						

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	社会保障制度の適切な運営

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
105,871,390千円	A	30.6%	77.2%

まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
政　策	健康で元気に暮らせる環境づくり
担当局	健康福祉局、市民局

対象	意図
市民（国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険及び国民年金制度の各事業の対象者）	市民が健やかにいきいきと暮らせるよう、安心して医療・介護・年金を受けることができる社会保障制度を適切に運営する。

概要（実績）

国民健康保険の保険料の賦課・徴収事務及び保険給付事務の適正な執行により、国民健康保険事業の適切な運営を行った。また、国民健康保険及び介護保険の保険給付費の適正化の周知活動を実施するとともに、各種事業に積極的に取り組んだことにより、市民の健康保持に対する意識が向上した。また、後期高齢者医療制度の適切な運営の支援・促進を行った。

さらには、介護を必要とする高齢者が、地域において安心して必要なサービスを受けられるよう、介護保険料の賦課・徴収事務や介護保険給付、要介護認定、サービス事業所の指定など事務の適正な執行とともに、介護給付費等適正化事業の推進やサービス提供事業所の指導監督の徹底など、介護保険事業の適切な運営を行った。

また、国民年金制度について、広報高松等を通じて周知したことにより、市民の年金受給権の確保につながった。

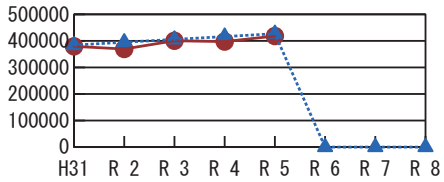
成果指標

①

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
国民健康保険の被保険者１人当たりの保険給付費	418,214円	427,000円	120.1%

状況：特定健康診査等の受診率の向上、重症化予防対策事業等、保健事業に積極的に取り組み、保険給付費の上昇抑制を図った結果、目標を達成することができた。

達成度の推移

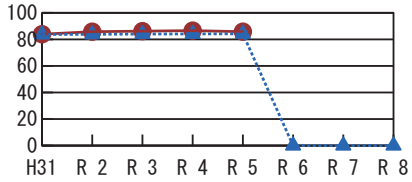


②

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
介護保険サービス利用率	85.8%	84.2%	101.9%

状況：適切な介護サービスの利用について助言や指導などを行い、適正に管理することができた。

達成度の推移

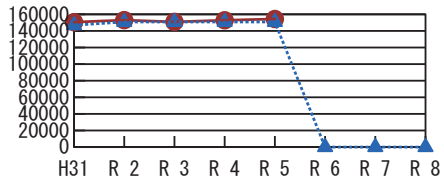


③

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
１人当たり介護サービス費用額	154,368円	150,800円	97.6%

状況：介護予防の推進やケアマネジャー及び事業所への指導・助言を行うなど、給付費の適正化を図ったものの、コロナ禍において、介護度が重度化するなど、一人当たりの介護サービス費用額は上昇する結果となり、目標を達成することができなかった。

達成度の推移



施策の課題

【健康福祉局】国民健康保険・介護保険の被保険者一人当たりの保険給付費を抑制するため、生活習慣病予防や重症化予防、介護予防に取り組むとともに、地域包括ケアシステムの構築による、在宅医療・介護連携を推進する必要がある。後期高齢者の急増に伴い、介護給付費が増嵩する中、介護保険料の収納率の向上や適正な保険給付が課題となっている。また、公正かつ的確な要介護（要支援）認定のほか、介護サービスの質の向上を始め、見込量の適切な把握に努めるとともに、これを充足する介護サービス提供体制を確保する必要がある。

【市民局】国民年金制度について、更に積極的な周知・啓発に努める必要がある。

施策の方向性

【健康福祉局】国民健康保険料の賦課・徴収及び保険給付事務の適正な執行と併せて、各種保健事業に積極的に取り組むことにより、国民健康保険事業の適切な運営を図るほか、後期高齢者医療制度の窓口業務を通じて適切な運営の支援を行う。また、介護保険制度の安定的な運営を図るため、介護保険料の賦課・徴収、保険給付事務や要介護（要支援）認定を適正に行うとともに、介護サービスの質の向上を図ることにより、介護や支援を必要とする高齢者が、適切かつ効果的に介護サービスを利用できるようにする。

【市民局】国民年金制度について、広報高松等を通じて周知するなど、市民の年金受給権の確保に努める。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	（評価対象外）介護給付等費用適正化等事業（地域支援任意事業） 35,055千円 健康福祉局 介護保険課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） サービスの適正利用のため、ケアマネジャーや事業所への指導・助言を行ったことなどにより、不適切な給付を抑制した。							
2	（評価対象外）介護保険運営事業 659,847千円 健康福祉局 介護保険課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 保険料の適正賦課や納付における口座振替制度の利用促進のほか、スマホ収納やコンビニ収納など支払方法の多様化を進めたことにより、保険料収入を確保することができた。							
3	（評価対象外）介護保険給付事業 40,250,781千円 健康福祉局 介護保険課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 香川県国民健康保険団体連合会への審査支払事務の委託などにより、適正な事業費の支給を行った。 また、介護サービス利用負担額の軽減等を実施し、サービス利用者の負担軽減に寄与した。							
4	（評価対象外）介護保険認定事業 270,162千円 健康福祉局 介護保険課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 公正かつ的確な要介護（要支援）認定を行うために、介護認定審査会委員及び認定調査員の能力の向上を図り、介護認定審査会を適正に実施することができた。							
5	（評価対象外）国民健康保険運営事業 10,754,302千円 健康福祉局 国保・高齢者医療課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 国民健康保険法等に基づき被保険者に保険証を交付したほか、適正な資格管理、保険料の賦課限度額の引上げ等、適正な賦課を行い、国民健康保険事業の安定かつ継続的な運営を行うことができた。 また、介護納付金等他の法律等に基づく費用等を納付することなどにより、社会保障制度の安定化及び市民福祉の向上に寄与した。 なお、元女木看護師宿舎解体工事に係る競争入札に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。（繰越明許費繰越額：１２，５１９，０００円）							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
6 （評価対象外）国民健康保険給付事業 29,742,353千円 健康福祉局 国保・高齢者医療課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 国民健康保険法に基づき、被保険者に対し、疾病・負傷等の治療を目的とした給付や出産・死亡に関する必要な保険給付を行うことにより、適切な事業運営を行うことができた。							
7 （評価対象外）国民健康保険直営診療施設運営事業 28,144千円 健康福祉局 国保・高齢者医療課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 診療所事業を適切に運営したことにより、女木島・男木島の住民の健康保持・増進に寄与した。 また、離島における持続可能な医療体制の確保策の一環として、各島内でのオンライン診療を実施したほか、みんなの病院と協定を締結し、毎週木曜日（月４回）に、同病院から派遣された医師による診療を実施した。							
8 国民健康保険保健事業 384,295千円 健康福祉局 国保・高齢者医療課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		102.1%		A	B	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 生活習慣病の重症化を予防するため、特定健康診査及び糖尿病性腎症等重症化予防事業等の各種保健事業に積極的に取り組んだ結果、成果指標である国民健康保険の被保険者１人当たりの保険給付費については、目標を達成した。 ◎１人当たりの保険給付費の上昇抑制 実績４１８，２１４円（目標４２７，０００円）							
9 （評価対象外）国民健康保険料収納事業 29,567千円 健康福祉局 国保・高齢者医療課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 高松市国民健康保険料収納率向上プランに基づき、口座振替の推進、電話や文書での催告、差押等に積極的に取り組んだ結果、現年分収納率は、前年度の９１．３１％を上回る９１．８４％となった。							
10 （評価対象外）後期高齢者医療事業 12,173,410千円 健康福祉局 国保・高齢者医療課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 香川県後期高齢者医療広域連合が保険者である後期高齢者医療制度の窓口業務等を行った。 また、人間ドック・歯科ドックの助成等を行うことにより、後期高齢者等の健康保持に対する意識や生活習慣の改善に寄与した。							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
11	（評価対象外）国民年金事務 15,282千円 市民局 市民課								
		（事業概要、事業実績等） 国民年金に関する各種届出事務や相談業務等を適正に実施した。 また、市民の年金受給権を確保するため、国民年金制度について、広報高松等を通じて周知した。							

（2）心豊かで未来を築く人を育むまち

令和５年度　政策の概要調書

総合計画体系		
	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
	政　策	男女共同参画社会の形成

総合評価
A

１　政策の概要

男女共同参画社会の形成を図るため、社会のあらゆる分野の政策・方針決定過程への女性の参画拡大を促進するとともに、基本的人権としての男女平等の実現に向けた取組を着実に推進します。
また、長時間労働の是正等による働き方改革を進め、仕事と家庭を両立できる環境を整備することなどにより、女性の活躍とワーク・ライフ・バランスを推進し、男女が共に、個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画の推進に努めます。

２　政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
男女共同参画の推進	86%	A
平均	86%	A

３　政策の評価

男女共同参画社会の形成に向けて、１施策に取り組んだ。
「男女共同参画の推進」では、設定する３つの成果指標のうち、審議会等における女性委員の割合において、前年度に比べ改善傾向にあるものの、目標に届かなかった。
一方、事業所における女性従業員の割合及び男性の育児休業者がいた事業所の割合については、新型コロナウイルス感染症の影響により、アンケート調査を未実施のため、実績値を把握していない。
以上により、政策を構成する施策の平均得点率は８６％となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とするが、実績値を把握していない２つの成果指標については、実績値を把握できた令和元年度までは達成度が低い状況が続いていたことから、政策の目指す目標に向けて一層の取組が必要である。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
男女共同参画の推進	24.9%	15.1%	64.4%
平均	24.9%	15.1%	64.4%

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	男女共同参画の推進

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
42,576千円	A	24.9%	64.4%

まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
政　策	男女共同参画社会の形成
担当局	市民局、健康福祉局

対象	意図
市民	男女共同参画社会を形成するため、男女共同参画市民フェスティバル等、様々な機会を通じて、意識啓発を図るとともに、男女共同参画センターを市民の活動拠点として、家庭や職場等あらゆる分野での参画を促進し、共に豊かで安心できる生活・環境づくりを推進することにより、男女共同参画の社会づくりを進める。

概要（実績）

女性活躍推進法に基づく女性の活躍促進事業として、企業等の一般事業主行動計画策定支援のためのアドバイザー派遣や企業認定などを行うとともに、女性の就労相談事業を行った。
また、女性相談業務において、配偶者等からの暴力（ＤＶ）を受けた被害者を始め、様々な問題や悩みを抱える女性に対して事情に即した情報提供を行うとともに、必要性・緊急性に応じて、関係機関と連携しながら適切な保護をするなどの支援を行った。

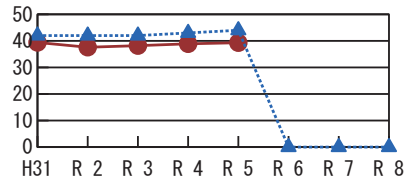
成果指標

①

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
審議会等における女性委員の割合	39.3%	44%	89.3%

状況：高松市における審議会等委員への女性の登用推進要綱等に基づき、女性委員の割合拡大を推進するため、審議会等における女性の登用推進に係る事前協議を行ってきた結果、実績値は上昇傾向にあるものの、目標を達成できなかった。

達成度の推移

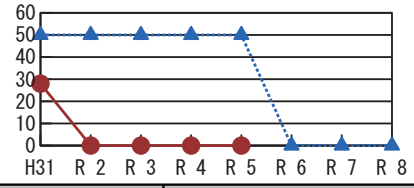


②

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
事業所における女性従業員の割合	― %	50%	―

状況：新型コロナウイルス感染症の感染拡大をきっかけに、令和２年度以降、アンケートを実施していない。

達成度の推移

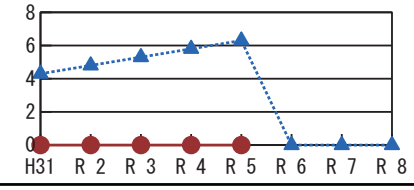


③

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
男性の育児休業者がいた事業所の割合	― %	6.3%	―

状況：新型コロナウイルス感染症の感染拡大をきっかけに、令和２年度以降、アンケートを実施していない。

達成度の推移



施策の課題

【市民局】女性の活躍推進や子育て世代の女性の就労環境など、経済情勢や新たな社会問題から生じる課題に対応するため、男女共同参画への更なる意識啓発が必要である。
【健康福祉局】配偶者等からの暴力（ＤＶ）を受けた被害者を始め、離婚問題や生活困窮等、様々な悩みを抱える女性に対し、自立に向けた支援を行うためには、女性相談業務の専門性の向上や関係機関との連携強化等、更なる支援体制の充実を図ることが必要である。

施策の方向性

男女共同参画社会の形成に向け、これまでの取組を継承しつつ、第５次たかまつ男女共同参画プランにおいて取り組むこととしている各種啓発活動や相談事業等について、市民参画の手法を用いながら、総合的・計画的に実施する。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容						
1 女性団体育成事業 740千円 市民局 人権・男女共同参画推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		53.7%	95.0%	A	B	B	B	継続
	（事業概要、事業実績等） 男女共同参画の視点から、地域社会の発展に寄与することを目的とした女性団体の活動を支援した。 ◎地域コミュニティ協議会における正副会長のうち女性の割合 実績１８．８％（目標３５％） ◎団体活動回数　実績１９回（目標２０回）							
2 （評価対象外）女性相談事業 11,374千円 健康福祉局 こども女性相談課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 配偶者等からの暴力を始めとする問題・悩みを抱える女性に対して、事情に即した情報提供や必要性・緊急性に応じて、関係機関と連携しつつ適切な保護を実施するなど、支援を行った。 相談延べ件数　３，６９５件 実人員　５４７人 うち、ＤＶ被害相談延べ件数　８１９件 実人員　３０６人							
3 女性の就労相談事業 市民局 人権・男女共同参画推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		126.7%	196.5%	A	B	B	A	改善継続
	（事業概要、事業実績等） 女性のための就労相談窓口において、働くことを希望する女性の就業機会を増加させる事業を推進したことにより、女性の職業生活における活躍を推進し、男女が共に、あらゆる分野で活躍できる社会の形成に寄与した。 ◎女性の就労相談窓口利用者のうち就業につながった人数 実績３８人（目標３０人） ◎女性の就労相談件数　実績３９３件（目標２００件）							
4 女性の活躍促進事業 2,692千円 市民局 人権・男女共同参画推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	一般重点	86.0%	100.0%	A	B	B	A	改善継続
	（事業概要、事業実績等） 女性活躍推進法に関するセミナーの開催や女性活躍企業の認定など、女性の管理職登用やワーク・ライフ・バランスに取り組む企業を増加させる事業を実施したことにより、女性の職業生活における活躍を推進し、男女が共に、あらゆる分野で活躍できる社会の形成に寄与した。 ◎女性活躍企業認定数（累計）　実績４３社（目標５０社） ◎本市の支援を受けて策定された一般事業主行動計画の数（年間） 実績７本（目標７本）							
5 男女共同参画社会推進事業 877千円 市民局 人権・男女共同参画推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		69.8%		A	B	B	B	継続
	（事業概要、事業実績等） 男女共同参画都市宣言の趣旨を踏まえ、男女共同参画週間において、弁護士による講座・相談、パネル展を実施したほか、男女共同参画市民フェスティバル等の機会に、広く市民に対する啓発活動を行うなど、男女共同参画社会の推進に寄与した。 ◎事業に対する満足度（アンケート等） 実績６８．４％（目標９８％）							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
6	（評価対象外）男女共同参画センター管理運営事業 26,893千円 市民局 人権・男女共同参画推進課	（事業概要、事業実績等） 男女共同参画社会の実現に向けた市民活動拠点である高松市男女共同参画センターの管理運営を、特定非営利活動法人たかまつ男女共同参画ネットに委託し、学習研修事業や相談事業を実施するなど、男女共同参画社会の実現に寄与した。							

令和５年度　政策の概要調書

総合計画体系			総合評価
	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	
	政　策	社会を生き抜く力を育む教育の充実	B

１　政策の概要

社会を生き抜く力を育む教育の充実を図るため、次代を担う青少年が、心豊かにたくましく育つよう、基礎・基本を身につける確かな学力の育成や豊かな心と体を育てる教育の推進など、学校教育の充実を図るとともに、学校教育施設の整備や教育機能と就学支援の充実などの学校教育環境の整備、大学等高等教育の充実に努めます。

また、家庭及び地域の教育力の向上を図るとともに、青少年の健全育成や、子どもの安全確保対策を推進します。

２　政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
学校教育の充実	90%	A
学校教育環境の整備	68%	C
子どもの安全確保	100%	A
青少年の健全育成	45%	D
家庭・地域の教育力の向上	78%	B
大学等高等教育の充実	93%	A
平均	79%	B

３　政策の評価

社会を生き抜く力を育む教育の充実に向けて、６施策に取り組んだ。

「学校教育の充実」、「子どもの安全確保」及び「大学等高等教育の充実」の３施策では、設定する６つの成果指標について、目標を達成又はおおむね達成した。

「学校教育環境の整備」では、設定する２つの成果指標について、目標に届かなかった。

「青少年の健全育成」では、設定する２つの成果指標について、コロナ禍における子ども会活動の縮小や、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが５類に移行した影響による行動制限の緩和等に伴い、児童生徒の外出機会が増加したことなどから、目標に届かなかった。

「家庭・地域の教育力の向上」では、設定する２つの成果指標のうち、地域交流事業を実施している割合において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標をおおむね達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は７９％となり、政策全体として目指す方向におおむね順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「B」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
学校教育の充実	29.4%	18.6%	82.0%
学校教育環境の整備	35.9%	15.1%	80.4%
子どもの安全確保	41.4%	13.9%	84.6%
青少年の健全育成	30.0%	14.4%	72.5%
家庭・地域の教育力の向上	28.7%	15.7%	70.4%
大学等高等教育の充実	22.9%	23.1%	64.7%
平均	31.4%	16.8%	75.8%

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	学校教育の充実

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
4,098,331千円	A	29.4%	82.0%

まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
政　策	社会を生き抜く力を育む教育の充実
担当局	教育局

対象	意図
市内の児童生徒、学校、家庭及び地域	教員の資質の向上と教育指導体制の充実を図り、子どもの確かな学力、豊かな心と体を育成するとともに、学校・家庭・地域が、その役割を十分に担い、相互に連携して学校教育を充実させる。

概要（実績）

学習指導要領の趣旨に沿った授業、特別支援教育、帰国児童生徒・外国人児童生徒指導援助、高等学校教育等を充実させ、確かな学力の育成に寄与した。
道徳教育や人権教育の推進、体験活動による地域の人々との交流、読書活動による本とのふれあい、児童生徒が運動に親しむ習慣づくりや家庭との連携による基本的生活習慣の育成により、豊かな心と体を育てる教育を推進した。
教員に対する研修を充実させ、教員の資質・能力の向上を図り、また、学校生活支援員配置や学校評価推進による学校運営の改善等により、教育指導体制の充実に寄与した。

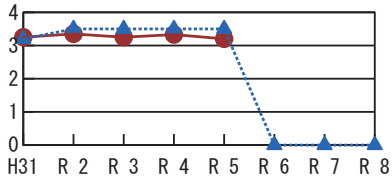
成果指標

①

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
学校評価平均評価得点（確かな学力の育成に関すること）	3.2点	3.5点	91.4%

状況：知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や総合的な学力の向上を図るため、学習指導要領の趣旨に沿った教育課程の編成、学校ニーズに応じた学校生活支援員、英語指導補助員等を配置するなど、きめ細かな指導に取り組むことにより、目標をおおむね達成することができた。

達成度の推移

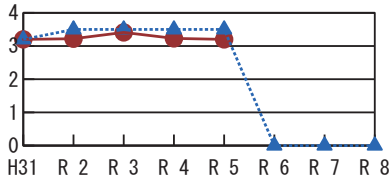


②

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
学校評価平均評価得点（体力・運動能力の育成に関すること）	3.2点	3.5点	91.4%

状況：家庭や地域と連携して、体力の向上、食育の推進と心身の健康づくり等に取り組み、豊かな心と体を育てる教育の推進を図ることにより、目標をおおむね達成することができた。

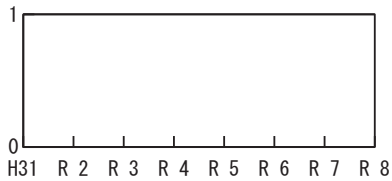
達成度の推移



③

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度

達成度の推移



施策の課題

本施策については、日々教育活動を充実させていくことが重要であり、また、子どもの健全育成のために、地域や家庭の教育力の向上を支援する取組の充実、さらには、確かな学力の定着や個性と創造性を伸ばす教育を一層進めるため、「分かる授業」を創造し、授業力を向上させる具体的な取組が課題として挙げられる。

施策の方向性

学校・家庭・地域の連携を基本に子どもの健全な育成を推進するとともに、教育環境の変化に対応した特色ある教育内容・方法の開発や学習環境の整備に取り組み、学校教育の充実を図る。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容
1	帰国児童等指導援助事業 5,685千円 教育局 学校教育課	重点： 成果達成度：100.0% 妥当性：A 有効性：A 効率性：A 総合評価：A 今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） 日本語指導を必要としている帰国・外国人児童生徒に対して、学習や生活についての指導助言を行う指導者を派遣した結果、外国人児童生徒等が日本語で学習に参加できるようになるなど、学校生活への適応を支援できた。 ◎帰国児童等の学校生活への適応率　実績１００％（目標１００％）
2	学校教育推進事業 7,867千円 教育局 学校教育課	重点： 成果達成度：100.0% 妥当性：A 有効性：A 効率性：B 総合評価：A 今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） 総合的な学習の時間の充実や地域等の教育力の有効活用のため、市立小・中学校全校に経費補助を行ったことにより、各学校において効果的な活用が図られ、家庭、学校、地域、行政等の緊密な連携づくりに寄与し、各学校の特色ある教育が実現できた。 ◎総合的な学習の時間における地域人材活用率 実績１００％（目標１００％）
3	（評価対象外）教材整備事業 85,832千円 教育局 教育局総務課	重点： 成果達成度： 妥当性： 有効性： 効率性： 総合評価： 今後の方向性： （事業概要、事業実績等） おおむね計画どおりに小学校及び中学校の教材を整備したことにより、児童生徒の学習環境が充実した。
4	教材研究等事業 6,076千円 教育局 学校教育課	重点： 成果達成度：100.0% 妥当性：A 有効性：A 効率性：B 総合評価：A 今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） 教職員が使用する教科書及び指導書等の整備を行い、義務教育の充実を図ったほか、新学習指導要領に対応した教師用指導書を支給し、確かな学力を育てる教育の推進に寄与した。 ◎市立小・中学校教員への配布率　実績１００％（目標１００％）
5	教育相談・就学指導委員会開催事業 735千円 教育局 総合教育センター	重点： 成果達成度：100.0% 妥当性：A 有効性：A 効率性：B 総合評価：A 今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） 教育相談と就学指導委員会の適切な開催により、障がいのある児童生徒が個に応じた学びの場を選択でき、適切な教育を受けれるように導けた。 なお、補助事業の活用としては、中学校の特別支援学級生徒に対する体験活動の事業を１日の体験学習として実施したことから、多くの生徒や教員の参加があった。 ◎就学指導委員会判定率　実績１００％（目標１００％）

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
6	（評価対象外）学校跡地・跡施設管理運営事業 6,701千円 教育局 教育局総務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 元鶴尾中学校施設（ふれあいスポーツスクエアつるお）を、本市をホームタウンとするプロスポーツチームの拠点とし、さらには、プロスポーツチームと地域との連携を深めるため、スポーツ教室や地域交流イベントを実施するなど、同施設を有効活用し、適切な管理運営を行った。							
7	英語教育推進事業 97,758千円 教育局 学校教育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%	153.7%	A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 「語学指導等を行う外国青年招致事業（ＪＥＴプログラム）」による外国語指導助手（ＡＬＴ）を市立小・中学校に、学級担任を補助する「英語指導補助員」を市立小学校に配置することにより、中学校英語教育や小学校英語活動、国際理解教育の充実につながった。 ◎外国語指導助手（ＡＬＴ）配置率　実績１００％（目標１００％） ◎英検３級相当の英語力を有する中学３年生の割合 実績５３．８％（目標３５％）							
8	高等学校教材研究等事業 29,028千円 教育局 高松第一高等学校事務局	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			171.4%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 教師用教科書・指導用図書及び理科・数学等の教材の購入のほか、ピアノの調律、パソコン等の賃借など、教材等の管理・整備を行ったことにより、教育環境の充実に寄与した。 ◎国公立大学の合格率　実績６０％（目標３５％）							
9	児童生徒副読本支給事業 6,190千円 教育局 学校教育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%		A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 学校教育における補助教材として、小学校道徳用、社会科用の副読本を支給することにより、教育の充実に寄与するとともに、保護者の負担を軽減した。 ◎児童生徒副読本配布率　実績１００％（目標１００％）							
10	高等学校英語教育推進事業 6,016千円 教育局 高松第一高等学校事務局	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			96.0%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 選抜コースの国際文科コースにおいて、外国からの招聘講師による授業や外部講師による英語での授業などを実施したことにより、国際化に対応できる人材を育成した。 ◎国際文科コース卒業生の国公立大学合格者数　実績２４人（目標２５人）							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
11 （評価対象外）学校教育管理事業 16,616千円 教育局 学校教育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 会計年度任用職員の雇用や各種負担金の支出などにより、学校教育に対する様々なニーズに対応し、学校教育の円滑な運営につながった。							
12 特別支援教育推進事業 168,534千円 教育局 学校教育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		100.0%		B	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 支援員の配置を促進し、特別支援学級や通常学級に在籍する児童生徒のうち、配慮や支援が必要な児童生徒に対する日常生活上の介助を中心に、学習の補助、児童生徒の安全確保を行うことにより、対象児童生徒の教育環境の整備、保護者や教員の負担軽減等につながり、学校教育の充実に寄与した。 ◎学校生活支援員配置率　実績１００％（目標１００％）							
13 特別支援教育体制整備推進事業 116千円 教育局 総合教育センター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		100.0%		A	B	A	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 特別な教育的支援が必要な児童生徒への教員等が行う支援について、専門的な知識を有する大学教員や医師等の専門家から、より良い支援方法等の適切なアドバイスが得られたことにより、教育の質の向上につながった。 ◎相談希望校等への相談訪問率　実績１００％（目標１００％）							
14 学校・地域連携システム推進事業 4,585千円 教育局 学校教育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		100.0%	93.9%	A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 地域や社会に開かれた学校づくりをより一層推進したことにより、地域と一体となって子どもを育むことに寄与した。 ◎学校・地域連携システム組織結成割合　実績１００％（目標１００％） ◎学校評価（家庭や地域との連携・協働に関すること）の評価平均得点 実績３．３８点（目標３．６点）							
15 （評価対象外）教職員能力向上事業 16,360千円 教育局 総合教育センター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 研修の在り方を見直し、集合研修の３分の１をオンライン研修で実施した結果、オンラインを活用する機会が増えたことにより、教職員のＩＣＴを活用する能力の向上につながった。							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容						
16 教育に関する調査研究推進事業 162千円 教育局 総合教育センター	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		300.0%	A	B	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） オンライン活用による研修が有効であることが実証されたことから、集合研修の３分の１をオンライン研修で実施した。 なお、教員・教育関係者・保護者に向けて教育委員会の取組や成果を紹介する場である「教育フォーラムｉｎ高松」についても、ＩＣＴ機器の活用につながることからオンラインでの開催とした。 ◎調査研究発表大会等参加人数（Ｈ２９年度から教育フォーラムに変更） 実績６００人（目標２００人）						
17 研究指定校研究推進事業 744千円 教育局 学校教育課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		109.1%	A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 国・県から研究指定校等事業を受けることにより、学校課題の解決、学校教育活動の改善・充実及び教職員の資質・能力の向上に一定の効果を得ることができた。 ◎研究指定校等事業の成果を生かしている学校数 実績１２校（目標１１校）						
18 高等学校教育研究研修事業 588千円 教育局 高松第一高等学校事務局	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		171.4%	A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 各種研究会への参加や研究用雑誌の購読により、教員の資質が向上するとともに、授業の質が高まり、生徒の学力を向上させる効果があった。 ◎国公立大学の合格率　実績６０％（目標３５％）						
19 不登校対策事業 37,199千円 教育局 総合教育センター	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		84.0%	A	B	B	B	継続
	（事業概要、事業実績等） 教育支援センターを運営し、不登校傾向の児童生徒に学習のサポートや体験活動等を行うことにより、学校復帰や社会的な自立に向けてサポートを行うことができた。 また、ＩＣＴを活用した学習システムの提供は、学業不振の解消や学習習慣の支援に役立った。 ◎教育支援センター通室児童生徒の学校復帰率 実績４２．０％（目標５０％）						
20 教育文化振興事業 4,547千円 教育局 学校教育課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		92.9%	A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 児童生徒の作品発表の場を設けたことにより、豊かな創造力と表現力を育て情操を高める教育の充実に貢献した。 ◎展覧会の作品点数　実績１，３００点（目標１，４００点）						

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
21 学校教育における食育推進事業 5,847千円 教育局 保健体育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		96.8%	100.0%	A	B	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 食育セミナー、私立幼稚園の巡回指導、調理場の状況に応じたアレルギー対応、地域の特色ある献立実施などに取り組んだ結果、食育の推進に効果があった。 なお、天候不順等による必要数量不足などにより県産食材が使用できず目標を達成できなかったものの、献立を通じて、食品の特徴や栄養バランス、郷土食等の食文化について学び、健全な食生活の実践に寄与することができた。 ◎学校給食における県産食材使用率　実績４４．９％（目標４６．４％） ◎食育セミナー開催回数　実績４回（目標４回）							
22 いじめ等対策事業 3,631千円 教育局 学校教育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		109.9%		A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） １２学級以上（特別支援学級は除く。）の小学校３６校に児童の臨床心理に対して高度な専門的知識・経験を有するスクールカウンセラー及びスクールカウンセラーに準ずる者を配置することにより、小学校におけるいじめ、不登校等の問題行動等の早期発見・早期対応につながった。 ◎小学校におけるいじめ、不登校等に関する相談件数 実績３，１５５件（目標３，５００件）							
23 （評価対象外）教育委員会事務 9,251千円 教育局 教育局総務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第１４条に基づき、教育委員会定例会を年１２回開催したほか、教育振興基本計画の推進を図り、総合教育会議を開催するなど、教育水準の維持向上と地域の実情に応じた教育の振興につながった。 また、第２期計画までの教育の成果と課題を整理し、ふるさとの未来を支える教育の推進を始め、多様な教育ニーズに対応した教育機能の充実等、これからの教育の施策の方向性を示すため、新たに第３期高松市教育振興基本計画を策定した。							
24 （評価対象外）学校保健推進事業 46,811千円 教育局 保健体育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 環境衛生検査を実施したことにより、衛生的な教育活動を行うことができた。 また、教職員の健康診断、ストレスチェックを実施した結果、疾病の早期発見と教職員の健康の保持増進、ストレスへの気付き及びその対処の支援に効果があった。							
25 児童生徒指導推進事業 102,792千円 教育局 学校教育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		0.0%	163.8%	A	A	B	C	継続
	（事業概要、事業実績等） 学習支援、生活支援、教育相談等にあたる学校生活支援員を小学校４０校に配置し、問題行動等の未然防止と解決に寄与した。 また、社会福祉士等の資格を有するスクールソーシャルワーカーを中学校２２校及び高松第一高等学校に配置し、専門的な知識や技術、関係機関とのネットワークを活用して、対応することにより、問題行動や不登校の未然防止と早期解消に寄与した。 ◎小学校における暴力行為の発生件数　実績１２０件（目標２５件） ◎中学校における暴力行為の発生件数　実績１５２件（目標４２０件）							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
26	（評価対象外）給食調理場管理運営事業 262,517千円 教育局 保健体育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 学校給食センター以外の調理場において、機器類等を整備するなど、適切な維持管理を行ったことにより、安全・安心な学校給食を安定的に提供することができた。							
27	（評価対象外）日本スポーツ振興センター負担金事業 31,715千円 教育局 保健体育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 学校管理下における児童生徒等の災害に対して、独立行政法人日本スポーツ振興センターにおいて、災害共済給付を行ったことにより、学校教育の円滑な実施と保護者の経済的負担を軽減することができた。							
28	学校給食推進事業 5,924千円 教育局 保健体育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			97.9%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 給食関係職員に対して、専門知識を深める研修会等を実施したことにより、職員としての資質が向上した。 また、各種衛生検査の実施により、衛生管理を徹底した。 なお、学校行事や他研修会等との重複などによる欠席者があり、研修参加率の目標は達成できなかったものの、調理や食品衛生に関する知識を深め、調理技術の向上につながった。 ◎研修参加率　実績９３％（目標９５％）							
29	（評価対象外）学校給食共同調理事業 49,720千円 教育局 保健体育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 業務委託により、学校給食センターから受配校への学校給食の配送及び回収を迅速・確実・安全に行うとともに、受配校における配膳用務に係る会計年度任用職員を任用したことにより、配膳用務が円滑に行われ、安全・安心な学校給食を提供することができた。							
30	（評価対象外）共同調理給食運搬事業 61,627千円 教育局 保健体育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 業務委託により、学校給食共同調理場から受配校への学校給食の配送及び回収を迅速・確実・安全に行うとともに、受配校における配膳用務に係る会計年度任用職員を任用したことにより、配膳用務が円滑に行われ、安全・安心な学校給食を提供することができた。							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容						
31 生徒等健康診断事業 144,201千円 教育局 保健体育課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		80.1%	A	A	B	B	継続
	（事業概要、事業実績等） 児童生徒の定期健康診断を実施し、疾病の早期発見と適切な予防に役立てた。 また、対象となる小学校４年生と中学校１年生に小児生活習慣病予防検診を実施したほか、小学校入学予定者に就学時健康診断を実施し、円滑な学校教育の推進と学校保健の向上につながった。 ◎二次検診の実施率　実績５６．１％（目標７０．０％）						
32 高松市学校給食会補助事業 2,016,439千円 教育局 保健体育課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		97.8%	A	A	A	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 高松市学校給食会に補助金を交付することにより、学校給食の食材等給食用物資が適正かつ円滑に供給され、学校給食の質の向上及び安全・安心な学校給食の提供に寄与した。 ◎給食実施延べ食数　実績６，３４６千食（目標６，４８７千食）						
33 （評価対象外）給食センター管理運営事業 635,875千円 教育局 保健体育課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 学校給食センターにおいて、適切な施設管理に努め、円滑な運営を行ったことにより、安全安心な学校給食を安定的に提供することができた。						
34 学校体育推進事業 33,332千円 教育局 保健体育課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		135.7%	A	A	A	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 児童生徒の交流の場として体育大会を開催し、児童生徒の体力・運動能力の向上及び相互の友情が深められたとともに、教職員の体育指導方法を共有することにより、児童生徒が運動する喜びを実感できるような健全な体育環境が強化された。 ◎全国調査において本市平均が全国平均を上回るか同等の項目 実績１９項目（目標１４項目）						
35 高等学校カウンセラー配置事業 540千円 教育局 高松第一高等学校事務局	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		361.2%	A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 生徒の不登校や問題行動等に対応するため、専門的知識・経験を有するスクールカウンセラーを配置し、生徒や保護者等へのカウンセリングを行ったことにより、生徒の快適な学校生活を支援する効果があった。 ◎全校生徒に対する相談件数の率　実績６１．４％（目標１７％）						

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
36	小中一貫・連携教育推進事業 教育局 学校教育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%	102.9%	A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） ９年間の義務教育の連続性、継続性及び発展性に留意した学校運営により、児童生徒や教員へのアンケート調査において、子どもたちの活動と交流の幅が広がるとともに、これまで以上に興味・関心を持って意欲的に学習に取り組む状況が認められるなど、安定した学校生活に寄与した。 ◎「英語」・「高松みらい」の授業についてのアンケート支持率 実績８０％（目標８０％） ◎小中連携教育の実践校数　実績７１校（目標６９校）						
37	学校図書館活性化推進事業 181,074千円 教育局 学校教育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			106.1%	90.7%	A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 子ども読書活動の推進に当たり、全ての小・中学校に学校図書館指導員を配置し、読み聞かせや図書紹介等を行うことにより、学校図書館の活性化を図った。 ◎児童１人当たりの学校図書館図書の貸出冊数 実績６４．７冊（目標６１冊） ◎生徒１人当たりの学校図書館図書の貸出冊数 実績１２．７冊（目標１４冊）						

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	学校教育環境の整備

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
10,756,396千円	C	35.9%	80.4%

まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
政　策	社会を生き抜く力を育む教育の充実
担当局	教育局

対象	市立小・中学校、高松第一高等学校の児童生徒	意図	児童生徒が、学校において、安全・安心に、健康的で、快適に学習・生活できる教育環境を整備する。

概要（実績）

計画的かつ効率的な老朽化対策を行うため、平成３０年５月に策定した高松市学校施設長寿命化計画に基づき、学校教育施設の整備として、トイレ整備（小学校７校、中学校２校）工事を実施したほか、施設の老朽化に対応するため、太田小学校校舎等改築基本設計業務を行っており、その他、外壁改修及び防水改修を実施した。
国のＧＩＧＡスクール構想により整備した児童生徒の一人一台端末の活用を推進した。

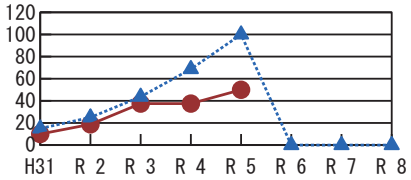
成果指標

①

指標名	学校施設長寿命化整備の進捗率	R 5実績	R 5目標	達成度
		50%	100%	50.0%

状況：長寿命化計画による計画的かつ効率的な老朽化対策を行うため、太田小学校校舎等改築基本設計業務を行い、香南小学校校舎等改築等は、継続している。

達成度の推移

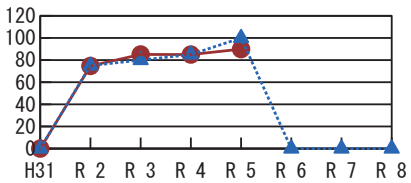


②

指標名	ＩＣＴを活用した授業を行っている教員の割合	R 5実績	R 5目標	達成度
		89.9%	100%	89.9%

状況：ＧＩＧＡスクール構想により整備した１人１台端末の本格運用や小・中学校全ての学年の教室に整備した電子黒板の活用推進、ＩＣＴサポートスタッフ・支援員の派遣により、前年度より実績値が高くなったものの、目標を達成することができなかった。

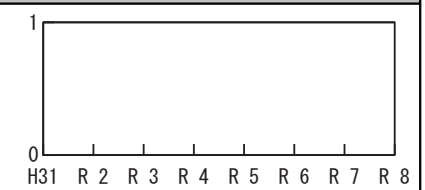
達成度の推移



③

指標名		R 5実績	R 5目標	達成度

達成度の推移



施策の課題

今後、学校施設の老朽化が更に進行し、学校施設の改修・改築の需要が集中することが想定される中、施設の老朽化対策は喫緊の課題であり、計画的に実施する必要がある。
国のＧＩＧＡスクール構想により児童生徒一人一台端末の整備は完了したが、その活用を図っていく必要がある。

施策の方向性

高松市学校施設長寿命化計画に基づき、計画的かつ効果的な老朽化対策に取り組む。
令和５年度に策定した第２期高松市ＩＣＴ教育推進計画に基づき、国のＧＩＧＡスクール構想によって整備した一人一台端末やＩＣＴ機器を活用した個別最適な学びと協働的な学びの充実を図る。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容
1	高松第一高等学校校舎等改築事業 3,385,079千円 教育局 高松第一高等学校事務局	重点：一般重点　成果達成度：99.9%　妥当性：A　有効性：A　効率性：B　総合評価：A　今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） 生徒が安全で快適に学習できる環境を確保するため、老朽化した校舎等の全面改築に係る新体育館棟の建設や外構・グラウンドの工事を進め、学校教育環境の整備に寄与した。 ◎改築事業の進捗率　実績９９．９％（目標１００％） なお、工程調整に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：２７，０１７，０００円） また、前年度からの繰越事業については完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：１，０３５，５８４，０００円）
2	小・中学校施設老朽化対策事業 2,615,391千円 教育局 学校施設整備室	重点：特別重点　成果達成度：50.0%　妥当性：A　有効性：C　効率性：B　総合評価：D　今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） 長寿命化計画による計画的かつ効率的な老朽化対策を行うため、太田小学校校舎等改築基本設計業務を行い、香南小学校校舎等改築等を継続実施した。 ◎老朽化対策進捗率　実績５０％（目標１００％） なお、国の補正予算事業の執行に当たり、実施期間を確保するなどのため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：９４６，００７，０００円） また、前年度からの繰越事業である外壁改修事業などについては完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：６９４，２７４，４２２円）
3	小・中学校トイレ整備事業 1,241,101千円 教育局 学校施設整備室	重点：一般重点　成果達成度：98.0%　妥当性：B　有効性：B　効率性：B　総合評価：A　今後の方向性：完了 （事業概要、事業実績等） 洋式化を含めた学校トイレの環境整備及び避難所機能の強化を図るため、小学校等のトイレ整備を行った。 ◎小・中学校におけるトイレ改修完了率　実績９８％（目標１００％） なお、前年度からの繰越事業であるトイレ改修工事などについては完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：１，０５７，６８８，７２０円）
4	学校給食調理場整備事業 54,977千円 教育局 保健体育課	重点：一般重点　成果達成度：100.0%　妥当性：A　有効性：B　効率性：A　総合評価：A　今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） 施設の老朽化が著しい学校給食調理場について、高松市学校給食調理場整備計画等に基づき、計画的かつ効果的な整備に取り組むため、今後の整備方法の検討等を行った。 ◎ドライ施設として整備した調理場から給食が提供される学校の比率 実績２６％（目標２６％） なお、工程調整に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：６，６４９，０００円）
5	（評価対象外）小学校管理運営事業 984,815千円 教育局 教育局総務課	重点：　成果達成度：　妥当性：　有効性：　効率性：　総合評価：　今後の方向性： （事業概要、事業実績等） 学校施設の維持管理、運営のほか学校の現状を十分に把握して非常勤講師等の適切な配置を行うとともに、優れた知識や技術を有する地域人材を学校教育に活用したことにより、学校運営の充実に貢献した。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
6	（評価対象外）小・中学校校舎等整備管理運営事業 551,953千円 教育局 学校施設整備室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 学校施設の整備を行い、良質な学校教育施設を維持するために、修繕・改修工事を実施した。 なお、工程調整に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：４７，５２３，０００円） また、前年度からの繰越事業である改修工事などについては完了した。 （令和４度繰越明許事業費：７５，７３７，２００円）								
7	（評価対象外）中学校管理運営事業 485,693千円 教育局 教育局総務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 学校施設の維持管理、運営のほか学校の現状を十分に把握して非常勤講師等の適切な配置を行うとともに、優れた知識や技術を有する地域人材を学校教育に活用したことにより、学校運営の充実に貢献した。								
8	（評価対象外）高等学校管理運営事業 92,018千円 教育局 高松第一高等学校事務局	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 安全で快適な学習環境を確保するため、施設の維持管理や管理用品の整備をしたほか、老朽化した施設の修繕工事を実施し、生徒の学力の向上に寄与した。								
9	小・中学校バリアフリー化等施設整備事業 4,870千円 教育局 学校施設整備室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%		A	B	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 財源の確保に努め、計画どおりに予定校のエレベーター棟増築実施設計に着手した。 ◎エレベーター設置実施設計進捗率　実績１００％（目標１００％） なお、予定していた支払時期が延期されたことにより、年度内に予算の執行が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：７，０４６，０００円）								
10	小・中学校体育館空調設備設置事業 教育局 学校施設整備室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
					A	B	B	B	継続
	（事業概要、事業実績等） 計画どおりに空調設備設置調査検討業務に着手した。 なお、予定していた支払時期が延期されたことにより、年度内に予算の執行が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：５，７３０，０００円）								

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
11	高等学校ＩＣＴ環境整備事業 8,132千円 教育局 高松第一高等学校事務局	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%		A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 高松第一高等学校におけるＩＣＴ環境の整備を行ったことにより、教育環境の充実に寄与した。 ◎生徒１人１台端末の導入率　実績１００％（目標１００％）							
12	教育ＩＣＴ整備・活用推進事業 239,987千円 教育局 ICT教育推進室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		特別重点	89.5%	89.9%	A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 一人一台端末や小・中学校全ての学年の教室に整備した電子黒板を活用した学習に取り組んだことにより、児童生徒の情報活用能力や学習意欲の向上に寄与した。 ◎ＩＣＴを活用した授業を分かりやすいと回答した割合 実績８９．５％（目標１００％） ◎教員の授業でのＩＣＴ活用率　実績８９．９％（目標１００％） なお、前年度からの繰越事業であるリーディングＤＸスクール事業については完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：６８８，５８４円）							
13	遠距離児童・生徒等通学費助成事業 21,750千円 教育局 学校教育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 遠距離通学児童生徒等の保護者の経済的負担を軽減することにより、義務教育の円滑な実施に寄与した。 ◎通学費補助率　実績１００％（目標１００％）							
14	（評価対象外）学校図書館図書整備事業 33,148千円 教育局 学校教育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 小・中学校の学校図書館図書標準達成率に基づき、図書整備費を配当し、計画的に廃棄も行いながら、各校において図書整備を進めたことから、全小・中学校の当該達成率は、おおむね１００％を維持し、各校における読書や学習に必要な図書が整備された。							
15	教育資金支援事業 24,917千円 教育局 学校教育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%		A	B	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 奨学金の支給、入学準備金の貸付け等により、就学者の経済的負担が軽減され、教育環境の充実に寄与した。 ◎高松市の奨学金受給希望者の高等学校等の進学率 実績１００％（目標１００％）							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
16	（評価対象外）高等学校図書整備事業 1,274千円 教育局 高松第一高等学校事務局	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 学校図書館法に基づき、生徒及び教員の利用に供する図書等を整備したことにより、学校教育の充実や調査研究等に寄与した。							
17	（評価対象外）教育情報通信ネットワークシステム（ＴＥＮＳ）管理運営事業 572,112千円 教育局 ICT教育推進室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 教職員一人一台の校務用パソコンの活用、様々な教育情報の一元管理、校務支援システム及び管理システムの活用により、利便性や情報管理の徹底、校務の効率化につながった。							
18	（評価対象外）就学奨励事業 439,179千円 教育局 学校教育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 経済的な理由によって、小・中学校に就学することが困難な児童生徒の保護者に対して、就学に必要な経費の援助を行い、保護者の経済的負担を軽減することにより、義務教育の円滑な実施に寄与した。							

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	子どもの安全確保

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
4,297千円	A	41.4%	84.6%

まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
政　策	社会を生き抜く力を育む教育の充実
担当局	教育局

対象	児童生徒及び関係機関・団体	意図	児童生徒を事件や事故、犯罪から守るための安全対策を推進する。

概要（実績）

（概要）
子どもたちを事件や事故、犯罪から守り、地域ぐるみで子どもの安全確保を図るため、防犯の専門家であるＯＢのスクールガード・リーダーを小学校等に派遣するとともに、不審者情報のメール配信、学校における相談体制の充実や安全教育の推進などに取り組む。
（実績）
安全体制の構築、安全教育の実施、不審者情報のメール配信等の安全対策を推進した。また、市内の各幼稚園・小学校等にスクールガード・リーダーを派遣することで、子どもたちの安全確保に寄与した。

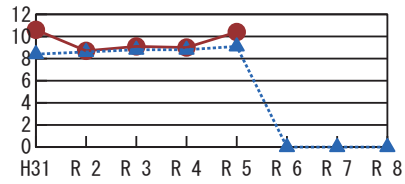
成果指標

①

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
子ども人口千人当たりの不審者情報メール配信先件数	10.4件	9.1件	114.3%

状況：関係団体等の会合の場において、不審者情報メール配信の内容や登録について説明し、配信先の拡大に努めた結果、目標を達成することができた。

達成度の推移

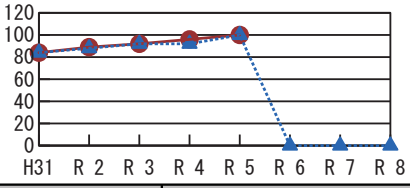


②

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
通学路合同点検計画における達成率	100%	100%	100.0%

状況：「高松市通学路交通安全プログラム」に基づき、関係機関が連携して、児童生徒が安全に通学できるように通学路の安全確保を図った結果、目標を達成することができた。

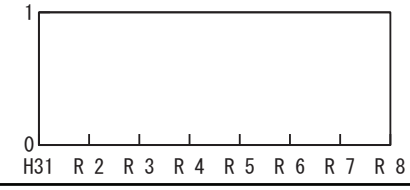
達成度の推移



③

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度

達成度の推移



施策の課題

スクールガード・リーダーの人員確保やメール配信先の拡充、さらには、学校における相談体制の充実や安全教育の推進など、安全対策強化への取組が必要である。

施策の方向性

地域ぐるみで子どもを見守り育てる活動を推進するため、学校、家庭、地域、関係機関等がより一層、連携、協力して安全対策に取り組むことが求められている。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
1	子どもの安全確保活動事業 4,297千円 教育局 少年育成センター		114.3%		A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 安全体制の構築、安全教育の実施、不審者情報のメール配信等の安全対策を推進した。 また、市内の各幼稚園、小学校等へのスクールガード・リーダーの派遣に伴い、地域の警察派出所との情報交流を行うなど、子どもの安全確保に寄与した。 ◎子ども人口千人当たりの不審者情報メール配信先件数 実績１０．４件（目標９．１件）						

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	青少年の健全育成

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
36,649千円	D	30.0%	72.5%

まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
政　策	社会を生き抜く力を育む教育の充実
担当局	教育局

対象	市内の青少年	意図	子どもたちの創造性や積極性、社会性を養い、心豊かな人間の育成を目指す。

概要（実績）

青少年の非行防止活動を始めとする青少年健全育成活動やＰＴＡ・子ども会等の社会教育関係団体との協働による子どもたちの幅広い交流体験活動等を通じて、青少年が心身ともに健やかに成長できる取組を推進した。
少年育成センターでは、毎日の補導・巡視活動に加え、小学３・４年生とその保護者を対象とした「情報モラル出前授業」、香川大学サイバー防犯ボランティアとの連携による「インターネットセキュリティ教室」、幼稚園・こども園を対象とした「未就学児の保護者向け講話」など、安全・安心なインターネットの利用に向けた情報モラル教育推進事業を実施した。
二十歳のつどいでは、受付方法を専用フォームを活用した事前登録制に変更し、入場の際の混雑が大幅に緩和されたほか、参加率も昨年度より増加した。。
新春子どもフェスティバル２０２４では、子どもたちが楽しみながら英語力を身に付けることができるよう作製した、英語版「高松わくわくかるた」を体験する機会を提供した。

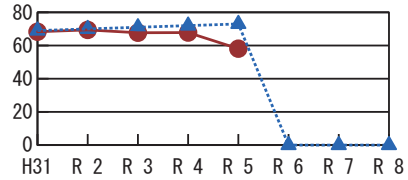
成果指標

①

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
子ども会加入率	58.1%	73%	79.6%

状況：コロナ禍による子ども会活動の縮小や、保護者の負担感などから、加入率は昨年度の実績を下回り、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

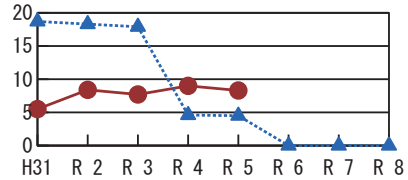


②

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
少年人口千人当たりの補導人数	8.3人	4.5人	15.6%

状況：学校及び関係機関・団体等との連携を密にしながら、より効果的で温かい巡視・補導活動に努めた。
なお、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが５類に移行した影響による行動制限の緩和等に伴い、児童生徒の外出機会が増加したことも一因となり、補導人数が増加したため、目標を達成することができなかった。

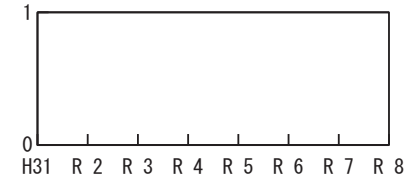
達成度の推移



③

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度

達成度の推移



施策の課題

子ども会等と共催事業を実施するなど、健全な子どもの育成に努めている。
地域社会のつながりの希薄化、子どもたちの体験活動の場や機会の減少が指摘される中、関係団体との協働が必要である。

施策の方向性

引き続き、補導活動や情報モラル教育の推進により、非行やネットトラブルの未然防止に努め、地域での体験活動に取り組む機会を設定するなど、地域ぐるみで子どもを見守り育てる体制を構築するとともに、心豊かでたくましい子どもの育成を図る。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容						
1 少年教育推進事業 1,964千円 教育局 生涯学習課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		73.3%		A	A	B	B	継続
	（事業概要、事業実績等） 関係団体と連携して共催事業を実施することにより、子どもの健全育成の推進に寄与した。 なお、新春子どもフェスティバル２０２４においては、子どもたちが楽しみながら英語力を身に付けることができるよう作製した、英語版「高松わくわくかるた」を体験する機会を提供した。 ◎共催（主催を含む。）事業における子ども（３～１２歳）の参加率 実績２．２％（目標３％）							
2 青年教育推進事業 335千円 教育局 生涯学習課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		58.3%		A	A	B	C	改善継続
	（事業概要、事業実績等） 青年教育の振興を図るため、関係団体を支援したほか、市民ボランティアの協力により、知的障がい者青年教室を実施するなど、知的障がいのある青年が人とふれあう喜びを実感し、様々な学習・体験活動を通じて知識・技能を習得するとともに、市民ボランティアが知的障がい者に対する理解を深める機会を提供した。 ◎高松市青年連絡協議会の活動に参加した会員の延人数 実績１０２人（目標１７５人）							
3 社会教育団体育成支援事業 4,600千円 教育局 生涯学習課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		76.7%		A	A	B	B	継続
	（事業概要、事業実績等） 高松市ＰＴＡ連絡協議会や高松市子ども会育成連絡協議会等の社会教育関係団体を支援し、団体の自立を図ることにより、団体の自主的な活動を促進し、加入児童等の健全育成に寄与した。 ◎社会教育団体１団体当たりの平均年間主催事業数 実績２５．３回（目標３３回）							
4 二十歳のつどい開催事業 5,190千円 教育局 生涯学習課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		96.8%		A	A	A	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 二十歳となる青年が、大人になったことを自覚するとともに、自立していく決意を新たにしてもらうため、二十歳のつどいを開催した。 受付方法を専用フォームを活用した事前登録制に変更したことにより、入場の際の混雑が大幅に緩和されたほか、式典には２，７６４人の出席があり、参加率は６年ぶりに６０％台となった。 ◎二十歳のつどい参加率　実績６２．９％（目標６５％）							
5 非行防止活動事業 24,560千円 教育局 少年育成センター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		15.6%	96.3%	A	A	A	C	継続
	（事業概要、事業実績等） 少年育成センターでは、市内を１０ブロックに分割し、職員が毎日２～３班に分かれての巡視活動を行った。 また、地域においては、少年育成委員を中心として、４６校区で月１回以上の巡視活動を実施した。 ◎少年人口千人当たりの補導人数　実績８．３人（目標４．５人） ◎児童の情報モラルについての理解度　実績９３．４％（目標９７％）							

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	家庭・地域の教育力の向上

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
1,333千円	B	28.7%	70.4%

まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
政　策	社会を生き抜く力を育む教育の充実
担当局	教育局

対象	市民（家族に子どもがいる家庭、地域住民）	意図	学校・家庭・地域が連携し、地域ぐるみで子どもの健やかな成長を促す教育力が向上することを目指す。

概要（実績）

家庭教育応援講座を市立の小学校及び幼稚園・こども園等で実施し、家庭教育について学習する機会を提供した。
また、講座への参加が困難な方を対象に、家庭教育コラムの掲載や家庭教育についての動画の配信など積極的な情報発信を行った。
早寝早起き朝ごはん運動については、就学時健康診断時に市内の小学校で啓発資料を保護者に配布し、子どもたちの基本的生活習慣の形成を推進したほか、小・中学校の児童生徒を対象に「生活リズムチェックシート」を配布し、自らの生活習慣を見直す機会を提供した。
さらに、子どもを中心にした地域交流事業を通じて、地域の子どもと保護者並びに地域の大人が交流することにより、地域の一体感を醸成するとともに、地域の教育力の向上に寄与した。

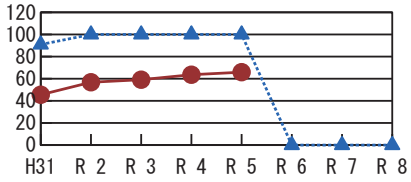
成果指標

①

指標名	地域交流事業を実施している割合	R 5実績	R 5目標	達成度
		65.9%	100%	65.9%

状況：地域交流事業を実施した地域は、令和５年度に１地域増加し、２９地域となったが、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

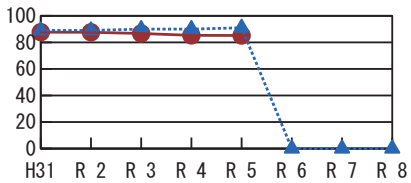


②

指標名	朝ごはん摂取率	R 5実績	R 5目標	達成度
		85.2%	91%	93.6%

状況：「早寝早起き朝ごはん」生活リズムチェックシート調査において、朝ごはんを毎日摂取している小学６年生の割合は、前年度の８５．３％をやや下回り、目標を達成することができなかった。

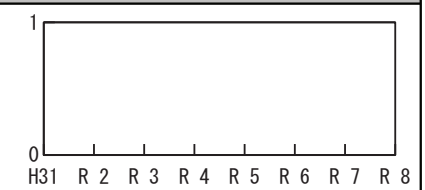
達成度の推移



③

指標名		R 5実績	R 5目標	達成度

達成度の推移



施策の課題

家庭の教育力向上を図るため、保護者を対象に効果的な情報発信を行うほか、地域の教育力向上を図るため、子どもを中心にした地域交流事業を実施している。
学校・家庭・地域における課題は複雑化・多様化しており、それぞれが連携・協働しながら子どもを育てていく意義がますます大きくなっている。

施策の方向性

社会における環境変化や市民ニーズを的確に把握することにより、家庭と地域の教育力の向上に向けた取組を効果的に推進する。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容						
1	子どもを中心にした地域交流事業 340千円 教育局 生涯学習課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			84.5%	116.0%	A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 新規申請団体は１団体にとどまったものの、地域の子ども会、ＰＴＡ、コミュニティ協議会等複数の各種団体で構成された実行委員会が実施する、子どもとその保護者並びに地域の大人が交流する事業を支援することにより、地域の一体感を醸成するとともに、地域ぐるみで子どもを育む機運が高まり、地域の教育力の向上に寄与した。 ◎地域交流事業に参加した児童生徒の累計人数 実績７０，２４２人（目標８３，０８２人） ◎地域交流事業に参加した保護者の累計人数 実績２３，９３８人（目標２０，６４２人）						
2	家庭教育推進事業 634千円 教育局 生涯学習課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			68.8%		A	A	A	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 小学校や幼稚園等において、保護者を対象に、就学時健康診断等の機会を活用して、家庭教育に精通した専門の講師による「家庭教育応援講座」を実施した。 また、時間や場所を問わず、家庭教育について学べるよう「家庭教育コラム」の掲載と家庭教育についての動画の配信を行った。 ◎講座の開催数　実績１７２件（目標２５０件）						
3	早寝早起き朝ごはん運動普及・啓発事業 359千円 教育局 生涯学習課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			96.8%		A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 子どもたちが生活リズムを向上させ、学習やスポーツ等様々な活動にいきいきと取り組めるよう、小学校の就学時健康診断を活用して、就学前の児童の保護者を対象に「早寝早起き朝ごはん」運動の普及・啓発を実施したほか、小・中学校の児童生徒に「生活リズムチェックシート」や啓発ちらしを配布したことにより、子どもたちの基本的生活習慣の形成に寄与した。 また、香川県の委託事業として「生活リズムでパワーＵＰ事業」を実施した。 ◎生活リズムチェックシートで朝食をおおむね食べていると回答した小学６年生の比率　実績９６．８％（目標１００％）						

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	大学等高等教育の充実

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
24,638千円	A	22.9%	64.7%

まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
政　策	社会を生き抜く力を育む教育の充実
担当局	政策局、創造都市推進局

対象	意図
大学等高等教育機関への進学者 大学等高等教育機関の在学者 大学等の高等教育機関	高等学校卒業後の人材の流出を抑制し、本市への定着化を図るため、高等教育機関の充実と教育環境の整備を図り、市内及び近隣の高等教育機関への進学者を増加させる。

概要（実績）

県内大学等の高等教育機関の魅力向上につなげるため、県内の大学等に在籍する学生が、学生証等の提示により、市有文化施設等を無料で観覧できる「キャンパスメンバーズ制度」を運営するとともに、香川大学との連絡協議会や学長・校長と市長との懇談会を開催し、若者から選ばれる大学づくり・まちづくりについて、意見交換を行った。

また、大学等を基点とした産学官のネットワークの形成と地域社会を支える人材の育成・定着を図るため、「大学・地域共創プラットフォーム香川」において、産学官それぞれの課題認識を共有し、連携を深める産学官連携交流会等の各種事業を実施した。

あわせて、学校法人に対する旧高松テルサの貸付けを継続し、専門職短期大学の設置・運営を支援した。

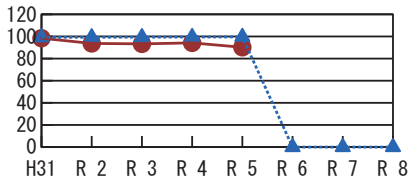
成果指標

①

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
包括協定を結んでいる大学等の学生・生徒の充足率	90.2%	99.6%	90.6%

状況：総定員２，８７１人に対し、入学者数は２，５８９人であり、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

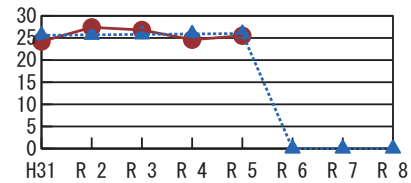


②

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
包括協定を結んでいる大学等入学生の市内出身者割合	25.5%	26%	98.1%

状況：入学者数２，５８９人に対し、市内出身の入学者数は６６０人であり、目標を達成することができなかった。

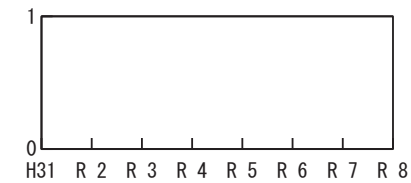
達成度の推移



③

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度

達成度の推移



施策の課題

県内大学等や経済団体、行政が参画する「大学・地域共創プラットフォーム香川」の中で、県内高校生の県内大学等への進学や県内大学生の県内就職の促進に取り組んできたが、より効果的なものとなるよう、産学官の連携による新たな取組が必要である。

施策の方向性

県内大学等の研究者や学生と企業、行政が交流する機会を増加させることにより、産学官の関係強化を図り、産学官が連携して、若者から選ばれ、若者が定着するための取組を行う。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
1	専門職短期大学設置支援事業 24,420千円 創造都市推進局 産業振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			28.6%		B	A	B	D	改善継続
		（事業概要、事業実績等） 専門職短期大学の設置・運営を支援したことにより、地域の活性化を担う人材の輩出及び若者の県外流出の抑制に寄与した。 ◎専門職短期大学入学手続完了者数　実績８０人（目標２８０人）						
2	大学等連携による地域の魅力発信事業 218千円 政策局 政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	90.6%	98.1%	A	B	B	A	改善継続
		（事業概要、事業実績等） 香川大学との連絡協議会や市長と学長・校長との懇談会を開催し、若者から選ばれるまちづくりについての意見交換を行うとともに、「大学・地域共創プラットフォーム香川」では、産学官それぞれの課題認識を共有し、連携を深めるための産学官連携交流会等の各種事業を実施した。 また、香川と大都市圏の大学連携を推進するため、県内外大学生の市内での就業体験の実施に協力するとともに、市職員との意見交換を行った。 ◎包括連携協定を結んでいる大学等の学生・生徒の充足率 実績９０．２％（目標９９．６％） ◎包括連携協定を結んでいる大学等入学生の市内出身者割合 実績２５．５％（目標２６．０％）						

令和５年度　政策の概要調書

総合計画体系		
	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
	政　策	心豊かで地域力を育む生涯学習社会の形成

総合評価
C

１　政策の概要

心豊かで地域力を育む生涯学習社会の形成を図るため、生涯学習センターを始めとした学習機会の充実や学習施設・機能の充実により、生涯学習を推進します。

２　政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
生涯学習の推進	66%	C
平均	66%	C

３　政策の評価

心豊かで地域力を育む生涯学習社会の形成に向けて、１施策に取り組んだ。
「生涯学習の推進」では、設定する２つの成果指標について、図書以外のコンテンツの多様化などにより、目標に届かなかった。
以上により、政策を構成する施策の平均得点率は６６％となり、政策の目指す目標の達成に向けて一層の取組が必要であることから、本政策の総合評価は「C」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
生涯学習の推進	33.7%	15.5%	63.3%
平均	33.7%	15.5%	63.3%

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	生涯学習の推進

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
551,859千円	C	33.7%	63.3%

まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
政　策	心豊かで地域力を育む生涯学習社会の形成
担当局	教育局

対象	市民	意図	心豊かな生涯学習社会の形成を図るため、学習機会の拡充や学びの場の充実と活用により、生涯にわたって学習することができる環境を整える。

概要（実績）

生涯学習センターと地域のコミュニティセンターが連携して様々な講座を開催したほか、市民の幅広い学習ニーズに応えるよう、市民と行政との協働によるまちづくりの実現を目指し、公募型企画講座を実施するなど市民の生涯学習の機会の充実に寄与した。
また、中央図書館及び地域館４館で資料の貸出、返却等を行ったほか、館外施設４か所で予約図書の取次サービスを実施した。その他、移動図書館車により、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の形成に係る連携協約に基づき、直島町を含めた８８か所のステーションを巡回し、市民の利便性が向上した。
さらに、コミュニティセンター内にある図書館分室の利用促進を図った。

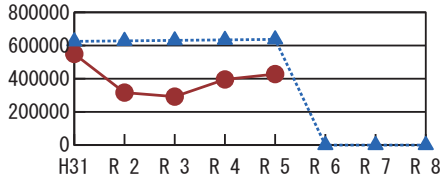
成果指標

①

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
まなびＣＡＮ及びコミュニティセンターの講座の参加者数等	427,832人	637,000人	67.2%

状況：まなびＣＡＮ及びコミュニティセンターの講座開催回数の合計は前年度より増加し、成果指標についても前年度より増加したが、目標を達成することはできなかった。

達成度の推移

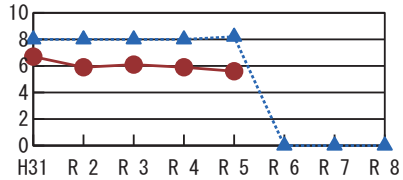


②

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
市民１人当たりの図書館図書貸出冊数	5.6冊	8.2冊	68.3%

状況：図書館機能の充実を始め、読書活動の推進につながる行事の実施や情報発信に努めたが、コンテンツの多様化などにより、貸出冊数は減少し、目標を達成することができなかった。

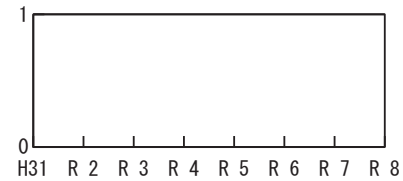
達成度の推移



③

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度

達成度の推移



施策の課題

生涯学習センターやコミュニティセンターで実施する講座の開催回数や内容を精査し、地域の実情に合わせた生涯学習の推進を図るとともに、より実践的・効果的なものとする必要がある。
また、図書館で実施する各種行事等の情報発信を強化し、来館者数や図書貸出冊数の増加を図る必要がある。

施策の方向性

講座の回数や内容を精査し、改善を加えながら、地域における生涯学習の推進を継続して実施していく。
図書館においては、蔵書の充実など、サービスの向上に努め、市民の読書意欲・学習ニーズ等に応えていく。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容						
1	生涯学習推進事業 1,912千円 教育局 生涯学習センター	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			102.1%	A	B	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 少子高齢化や情報化、環境問題等の現代的課題を中心とした各種専門的講座のほか、多様な団体と連携し、市民の学習ニーズに応じた様々な講座を開催するとともに、まなび映画ＣＡＮや市民ギャラリーの活用事業等を行ったことにより、生涯学習の推進に寄与した。 ◎受講者の満足度　実績９７％（目標９５％）						
2	市民参画促進事業 90千円 教育局 生涯学習センター	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			70.8%	A	B	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 市民と行政との協働によるまちづくりの実現を目指し、地域で生涯学習を推進するコーディネーター養成講座のほか、公募型の自主企画講座である「学習成果発表の場事業」等を実施し、生涯学習事業の企画・運営などに市民が積極的に参加できる環境づくりに寄与した。 ◎学習成果発表の場事業における講座開催回数　実績１７回（目標２４回）						
3	コミュニティセンター講座事業 16,815千円 教育局 生涯学習センター	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			84.6%	A	B	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） ５２か所のコミュニティセンターにおいて、人権・環境問題等の現代的課題に対応した各種講座を実施するとともに、自主的な学習活動の場を提供するなど、地域住民の学習意欲に応えることができた。 ◎人口１人当たり受講回数　実績０．０１１回（目標０．０１３回）						
4	サンクリスタル高松リニューアル事業 100,018千円 教育局 中央図書館	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	97.1%	A	B	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 施設の将来的な在り方や整備の方向性を取りまとめた「サンクリスタル高松リニューアル基本構想」に基づき、施設整備の実施設計業務を進めた。 ◎サンクリスタル高松利用者数 実績２３０，１５０人（目標２３７，０００人） なお、予定していた支払時期が延期されたことにより、年度内に予算の執行が不可能となったため、事業費を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：１２，３３２，０００円）						
5	（評価対象外）ふれあい創作館管理事業 550千円 教育局 生涯学習課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） ふれあい創作館の施設を適切に維持管理したことにより、地域活動拠点の場を提供した。						

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
6 （評価対象外）生涯学習センター管理運営事業 42,131千円 教育局 生涯学習センター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 市民により良い生涯学習の場を提供するため、生涯学習センターの設備や備品の修繕を行った。 また、受益者負担の公平性の確保を図る観点から、施設使用料を改定するとともに、冷暖房使用料を廃止し、冷暖房料込みの使用料とする条例改正を令和５年１２月議会で行い、令和６年４月１日に施行した。							
7 図書館運営事業 249,955千円 教育局 中央図書館	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		68.8%	78.3%	A	B	B	B	継続
	（事業概要、事業実績等） 中央図書館（瓦町サテライトを含む）及び地域館４館で資料の貸出・返却等を行ったほか、館外施設４か所で予約図書の取次サービスを実施した。 また、市内８６か所のステーションと「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏形成に係る連携協約」に基づき、直島町２か所へ、移動図書館車３台による巡回を行った。 ◎貸出冊数　実績２，３１１，７９４冊（目標３，３６０，０００冊） ◎図書館利用者数　実績５３２，４０５人（目標６８０，０００人）							
8 図書館文化活動事業 494千円 教育局 中央図書館	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		98.7%		A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 子どもの読書活動を推進するため、子ども向け講座を実施したほか、おはなし会を行うボランティアの技能向上等を図るため、講座・研修会を実施し、読書活動の推進に寄与した。 ◎子ども読書まつりの参加者数　実績１，９７３人（目標２，０００人）							
9 （評価対象外）図書館管理事業 135,695千円 教育局 中央図書館	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 開館後３０年余りが経過し老朽化が進んでいるサンクリスタル高松や各地域館の建物・設備について、費用対効果も考慮した適切な維持管理を実施し、施設利用者へ安全・安心かつ快適な環境を提供することができた。							

令和５年度　政策の概要調書

総合計画体系		
	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
	政　策	基本的人権を尊重する社会の確立

総合評価
C

１　政策の概要

基本的人権を尊重する社会の確立を図るため、同和問題を始めとする様々な人権問題の解決に向け、人権教育・啓発を推進するとともに、人権啓発活動拠点の機能を充実し、人権を大切にする社会づくりを進めます。
また、平和意識の高揚を図るため、平和記念館を中心に、平和意識の普及啓発に取り組み、平和を大切にする社会づくりを推進します。

２　政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
人権尊重意識の普及・高揚	30%	D
平和意識の普及・高揚	86%	A
平均	58%	C

３　政策の評価

基本的人権を尊重する社会の確立に向けて、２施策に取り組んだ。
「人権尊重意識の普及・高揚」及び「平和意識の普及・高揚」の２施策では、設定する２つの成果指標について、前年度に比べ改善傾向にあるものの、目標に届かなかった。
以上により、政策を構成する施策の平均得点率は５８％となり、政策の目指す目標の達成に向けて一層の取組が必要であることから、本政策の総合評価は「C」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
人権尊重意識の普及・高揚	27.4%	13.7%	61.7%
平和意識の普及・高揚	27.4%	14.0%	60.3%
平均	27.4%	13.9%	61.0%

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	人権尊重意識の普及・高揚

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
236,769千円	D	27.4%	61.7%

まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
政　策	基本的人権を尊重する社会の確立
担当局	市民局、教育局

対象	市民	意図	同和問題を始め、様々な人権問題の解決に向け、人権教育・啓発を推進し、人権を尊重する社会の実現を図る。

概要（実績）

人権啓発推進員への支援、ハンセン病を正しく理解する講演会、パネル・作品展、ＬＧＢＴに対する正しい認識を醸成する講座等、各種の啓発推進事業を実施したことにより、市民の人権意識の普及・高揚につながった。

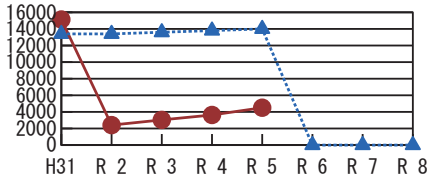
成果指標

①

指標名	人権啓発事業等参加者数	R 5実績	R 5目標	達成度
		4,504人	14,000人	32.2%

状況：人権啓発推進員による啓発事業において、推進員の工夫により様々な形態での啓発事業を実施し、広く市民の人権意識の普及・高揚に努めているが、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

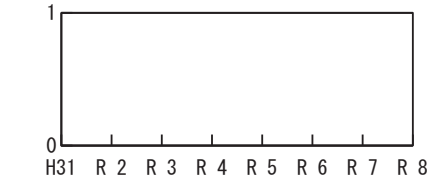


②

指標名		R 5実績	R 5目標	達成度

状況：

達成度の推移

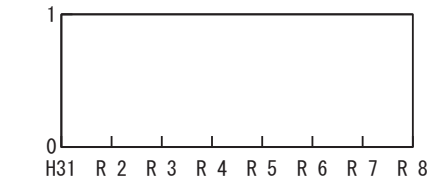


③

指標名		R 5実績	R 5目標	達成度

状況：

達成度の推移



施策の課題

【市民局】同和問題を始めとする様々な人権問題が今なお解決に至っていないことから、今後とも、市民一人一人が正しい認識と理解を深めることができるよう、なお一層の効果的な取組が求められている。
【教育局】同和問題を始め、様々な人権問題に対し、学校人権教育・社会人権教育の関係組織と連携を図り、市民一人一人の人権教育に対する意識・関心を高めるとともに、今後も、人権教育の充実・発展を強力に推進していく必要がある。

施策の方向性

市民一人一人が、あらゆる人権問題に対して、正しい認識と理解を深めることができるよう、各種講座や研修会等を開催し、人権を尊重する社会の実現を推進していく。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	人権啓発活動事業 252千円 教育局 人権教育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			55.1%		A	B	B	C	継続
		（事業概要、事業実績等） 広く市民の人権意識の高揚を図るため、幼児児童生徒・保護者・企業・地域コミュニティ等による人権に関する発表、作文朗読、コンサート及び講演などを内容とする「スマイルフェスティバルｉｎたかまつ」を開催し、広く市民の人権意識の高揚を図ることができた。 ◎人権啓発イベント参加者数　実績４４１人（目標８００人）							
2	文化交流推進事業 3,173千円 教育局 人権教育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			80.6%	54.6%	A	B	C	C	継続
		（事業概要、事業実績等） 地域住民を対象に、文化センターや児童館主催で、教養を高める各種講座（社会教育学級）、ボランティア活動、三世代交流、地域交流行事など様々な体験・交流の機会を提供する教室（ふれあい教室）を開催したことにより、地域住民の教育水準の向上、家庭及び地域社会における人間関係の円滑化、自立意識の高揚などにつながった。 ◎社会教育学級受講者数　実績２，０１６人（目標２，５００人） ◎ふれあい教室受講者数　実績４３７人（目標８００人）							
3	子ども教育推進事業 5,022千円 教育局 人権教育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.9%	49.7%	A	B	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 地区小・中学生を対象とした補充学習や保護者も対象とした進路・進学等についての教育相談、大学生ボランティアによる学習支援等を行ったことにより、地区小・中学生の基礎学力や進学意欲の向上につながった。 なお、子ども学級の実施回数を増やし、参加者数は増加した。また、教育相談の参加者数は前年度より減少した。 ◎子ども学級出席者数　実績３，０２８人（目標３，０００人） ◎教育相談出席者数　実績１７４人（目標３５０人）							
4	学校人権教育推進事業 5,594千円 教育局 人権教育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			146.4%		A	B	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 市立こども園、幼稚園、小学校、中学校及び高松第一高等学校に対して、人権教育学習資料の作成・発行、人権教育教職員研修会の開催、人権教育研修・研究会への参加補助、人権教育資料の購入等を行ったことにより、人権教育・啓発を推進し、人権を尊重する社会の実現に寄与した。 ◎研修会等参加者数　実績３６６人（目標２５０人）							
5	社会教育指導員設置事業 16,102千円 教育局 人権教育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			118.2%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 地域における子どもの学習指導、生徒指導及び生活指導などを充実させ、進路保障を実現するために社会教育指導員を配置することにより、子どもたちの基礎学力や進路意欲等の向上に寄与した。 また、課内配置の社会教育指導員を人権教育市民講座等に派遣したことにより、人権教育・啓発の推進や人権を尊重する社会の実現に寄与した。 ◎学習指導等出席者数　実績１０，６３７人（目標９，０００人）							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
6	社会人権教育推進事業 7,057千円 教育局 人権教育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			59.2%		A	B	B	C	継続
		（事業概要、事業実績等） 市民に対し、人権教育市民講座や人権教育研修会の開催、人権教育学習用資料の作成、人権尊重都市たかまつ市民会議への補助等を行ったことにより、人権教育・啓発を推進し、人権を尊重する社会の実現に寄与した。 なお、開催できなかった事業もあることから、目標を下回る結果になった。 ◎人権教育市民講座受講者数　実績５９２人（目標１，０００人）							
7	（評価対象外）人権教育事務 2,162千円 教育局 人権教育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 人権教育課職員が、多様化する人権・同和教育に関する正しい理解と実践について研究を行うため、全国人権・同和教育研究大会、四国地区人権教育研究大会等に参加することにより、知識の向上、新たな人権問題に対する理解が進むとともに、園・学校及び市民に対し、人権教育・啓発を推進し、人権を尊重する社会の実現に寄与した。							
8	人権啓発推進事業 38,575千円 市民局 人権・男女共同参画推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			137.0%	21.8%	A	A	A	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 人権啓発推進員への支援、ハンセン病を正しく理解する講演会及びパネル・作品展の開催など、各種啓発推進事業等を実施したことにより、市民の人権意識の普及・高揚につながった。 ◎市民満足度（「人権尊重意識の普及、高揚」） 実績２７．４％（目標２０％） ◎参加人数（人権啓発推進員による啓発事業、講演会等） 実績１，０８９人（目標４，９９０人）							
9	ＬＧＢＴ啓発等推進事業 427千円 市民局 人権・男女共同参画推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			99.9%		A	B	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） ＬＧＢＴなど性的少数者について、正しい理解と認識を深める講演会やパネル展等の啓発活動の実施、パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の導入により、男女を問わず、全ての人々の人権が尊重され、差別や偏見のない社会、多様性を尊重する社会の形成に寄与した。 ◎講演会等で理解が深まった人の割合　実績９２．９％（目標９３％）							
10	隣保館・児童館管理運営事業 41,294千円 市民局 人権・男女共同参画推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			88.5%	122.7%	A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 隣保館や児童館において、各種相談事業や啓発・広報活動事業等を実施したことにより、地域住民の福祉の増進及び教育水準の向上並びに地域児童の健全育成に寄与した。 なお、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが５類に移行したことにより、コロナ禍前の水準に近づくよう教養・文化活動などの各種講座を行い、文化センターの施設利用者数は目標を下回ったものの、児童館利用者は目標を上回った。 ◎隣保館利用者数　実績４８，６９３人（目標５５，０００人） ◎児童館利用者数　実績３９，２７６人（目標３２，０００人）							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
11	文化センター・児童館整備事業 117,111千円 市民局 人権・男女共同参画推進課		100.0%		A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 文化センター・児童館改修計画に基づき、施設の適切な管理運営を図るため、修繕・改修工事等を実施したことにより、地域における福祉の向上や児童の健全育成につながった。 ◎文化センター・児童館改修進捗率（事業費） 実績７８．５７％（目標７８．５７％）						

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	平和意識の普及・高揚

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
13,517千円	A	27.4%	60.3%

まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
政　策	基本的人権を尊重する社会の確立
担当局	市民局

対象	意図
市民	平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭等の開催、小学校４年生等を対象とした平和学習の実施により、市民に戦争の悲惨さと平和の尊さを訴え、平和意識の向上を図る。

概要（実績）

平和記念館での戦争遺品等の常設展示や「高松市戦争遺品展」、「原爆パネル展」等の開催、平和記念だよりの発行などにより、市民に対して戦争の悲惨さと平和の尊さを訴え、平和意識の普及・啓発を推進することができた。

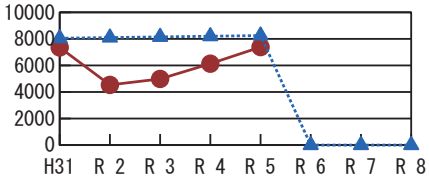
成果指標

①

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
平和意識の啓発に関するイベントなどの参加者数	7,384人／年	8,250人／年	89.5%

状況：高松市平和を願う市民団体協議会との共催による原爆パネル展の開催及び小・中学生のための平和講演会を開催した結果、参加者数が前年度に比べ増加したものの、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

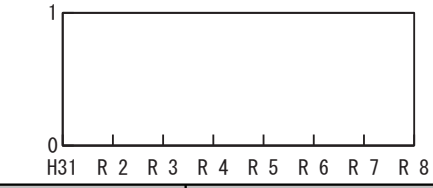


②

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度

状況：

達成度の推移

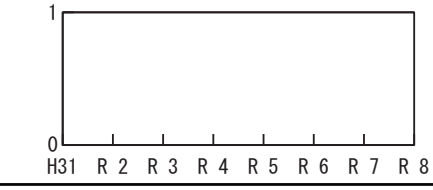


③

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度

状況：

達成度の推移



施策の課題

戦争体験者が高齢化し、戦争を知らない世代が大半となっていることから、平和の意識を守り育てるため、平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭、戦争遺品展等の各種普及・啓発事業や小学校４年生等を対象とした平和学習を継続的かつ積極的に実施することが必要である。

施策の方向性

引き続き、平和意識の普及・啓発と向上を推進していく。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
1	平和啓発推進事業 13,517千円 市民局 人権・男女共同参画推進課		89.5%	130.5%	A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 平和記念館での平和学習の実施や「高松市戦争遺品展」、「小・中学生のための平和講演会」、「原爆パネル展」等の開催、平和記念だよりの発行などにより、戦争の悲惨さと平和の尊さを訴え、平和意識の普及・啓発を推進することができた。 ◎平和意識の啓発事業の参加者数　実績７，３８４人（目標８，２５０人） ◎平和意識の普及・高揚に対する市民満足度　実績２７．４％（目標２１％）						

（3） 産業の活力と文化の魅力あふれる
創造性豊かなまち

令和５年度　政策の概要調書

総合計画体系		
	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
	政　策	地域を支える産業の振興と経済の活性化

総合評価
B

１　政策の概要

地域を支える産業の振興と経済の活性化を図るため、市外からの企業の誘致及び市内の中小企業等の支援による雇用の創出や、商店街のにぎわいづくりを推進し、商工業の振興に努めるほか、農地や森林の保全や、安全・安心で良質な農水産物の生産を振興するとともに、生鮮食料品等の流通の強化など、農林水産業の振興を図ります。
また、庵治石や盆栽、漆器など特産品の育成と振興に努めるとともに、効果的な情報発信を行うなど、ブランド力の向上に向けた取組を推進します。
また、いきいきと働ける環境の充実のため、就業支援を推進するとともに、勤労者福祉の充実に努めます。

２　政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
商工業の振興	82%	B
農林水産業の振興	96%	A
特産品の育成・振興とブランド力の向上	48%	D
就業環境の充実	80%	B
平均	76%	B

３　政策の評価

地域を支える産業の振興と経済の活性化に向けて、４施策に取り組んだ。
「商工業の振興」では、設定する３つの成果指標のうち、中小企業経営講習会の年間受講者数及び中央商店街の空き店舗率において、新型コロナウイルス感染症の影響等から目標に届かなかったものの、他の指標については目標を達成した。
「農林水産業の振興」では、設定する３つの成果指標について、目標を達成又はおおむね達成した。
「特産品の育成・振興とブランド力の向上」では、設定する３つの成果指標について、対象事業等の中止・廃止や対象者の高齢化等により、目標に届かなかった。
「就業環境の充実」では、中小企業等表彰事業（働き方改革部門）の表彰事業者の延べ数において、一部の表彰において企業の選定を見合わせたことにより、目標に届かなかった。
以上により、政策を構成する施策の平均得点率は７６％となり、政策全体として目指す方向におおむね順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「Ｂ」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
商工業の振興	19.6%	33.4%	73.7%
農林水産業の振興	24.2%	19.3%	68.0%
特産品の育成・振興とブランド力の向上	34.9%	14.2%	70.9%
就業環境の充実	22.3%	24.8%	78.2%
平均	25.3%	22.9%	72.7%

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	商工業の振興

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
1,584,806千円	B	19.6%	73.7%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政　策	地域を支える産業の振興と経済の活性化
担当局	創造都市推進局

対象	市内の商工業者	意図	経営の改善・向上を図る。

概要（実績）

新型コロナウイルス感染症や原油価格・物価高騰等の影響を受ける貨物自動車運送事業者を対象に給付を行ったほか、エネルギー価格の高騰等を設備投資で乗り越えようとしている事業者に対する補助を実施することにより、地域企業の経営を下支えし、地域経済の再活性化につながった。

関係機関との共催による中小企業経営講習会・合同就職面接会の開催、中小企業融資の実施等による経営支援に取り組み、市内中小企業等の育成と振興に寄与した。

商店街団体等が実施する安全安心対策事業を県と共に助成したほか、空き店舗改装費の助成やにぎわい創出などにより、中央商店街の活性化に寄与した。

企業誘致・立地活動については、企業誘致専門員を中心に、県や関係機関と連携・情報共有を図り、助成措置対象企業の指定や助成金の交付を行った。

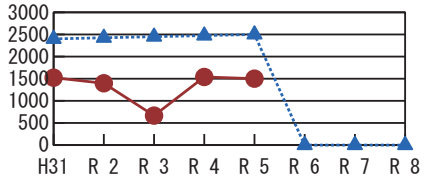
成果指標

①

指標名	中小企業経営講習会の年間受講者数	R 5実績	R 5目標	達成度
		1,501人	2,500人	60.0%

状況：令和４年度と比較すると、実績はほぼ横ばいにとどまり、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

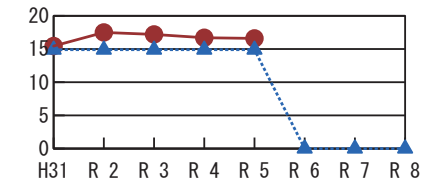


②

指標名	中央商店街の空き店舗率	R 5実績	R 5目標	達成度
		16.6%	14.9%	88.6%

状況：利用者のニーズに沿った空き店舗活用支援策を実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響により悪化した空き店舗率は、令和４年度に引き続き改善が見られたものの、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

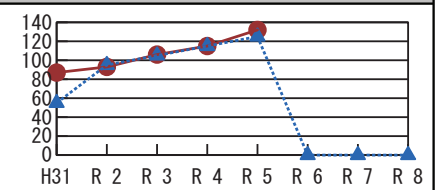


③

指標名	企業誘致助成制度指定件数	R 5実績	R 5目標	達成度
		132件	125件	105.6%

状況：企業誘致専門員を中心に、香川県や金融機関等と連携を図り、企業動向等の情報収集や立地、設備投資等を希望する企業への訪問などを行い、目標を達成することができた。

達成度の推移



施策の課題

事業者が本市で創業できるよう周辺環境の整備に努めるとともに、本市経済の持続的な発展のため、企業のデジタル化支援など、中小企業の更なる育成と振興を図ることが求められている。

中央商店街のにぎわいを向上させるため、空き店舗率の改善に向けて取り組むとともに、地域経済の発展、産業の高度化及び雇用機会の拡大を図るため、企業誘致の強化が必要である。

施策の方向性

人口減少、少子・超高齢社会が進展する中、国際情勢の変化に伴う物価高騰等の影響やデジタル化・脱炭素化への対応等、本市商工業者を取り巻く環境は常に変化し続けていることから、引き続き、商工業の振興に取り組むことが必要である。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容
1	企業誘致・起業支援による地域経済活性化促進事業 493,290千円 創造都市推進局 企業立地推進課	重点：特別重点　成果達成度：105.6%　妥当性：A　有効性：B　効率性：B　総合評価：A　今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） 企業誘致専門員を配置し、企業誘致助成制度による助成のほか、企業の課題に対するワンストップサービスでの解決支援等により、企業立地を促進した。 また、支援機関と創業塾を共同開催したほか、「たかまつ創業サポートセンター」において、創業希望者からの相談を実施するなどの支援を行った。 ◎企業誘致助成制度指定件数（平成２１年度以降の累計） 実績１３２件（目標１２５件） なお、実施主体の事業進捗状況の遅れにより、年度内の補助金支出が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：５１，０００，０００円）
2	中央商店街にぎわい促進事業 70,491千円 創造都市推進局 産業振興課	重点：一般重点　成果達成度：89.4%　125.8%　妥当性：A　有効性：A　効率性：B　総合評価：A　今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） 商店街共同施設の改修事業等に助成し、商店街の環境整備を進めたほか、空き店舗改装費を補助することにより、中央商店街の活性化に寄与した。 ◎中央商店街の新規出店数　実績４２店舗（目標４７店舗） ◎中央商店街の歩行者通行量　実績１２２，９３５人（目標９７，７２１人）
3	（評価対象外）新型コロナウイルス感染症特別経済対策事業 115,195千円 創造都市推進局 産業振興課	重点：　成果達成度：　妥当性：　有効性：　効率性：　総合評価：　今後の方向性： （事業概要、事業実績等） 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けた中小企業者等に対し、経済対策事業を実施した。各時点での経済情勢に合わせた事業の実施により、地域経済の活性化に貢献した。
4	中小企業等デジタルビジネス推進支援事業 20,155千円 創造都市推進局 産業振興課	重点：特別重点　成果達成度：75.0%　妥当性：B　有効性：A　効率性：B　総合評価：B　今後の方向性：統合 （事業概要、事業実績等） 中小企業等デジタルビジネス推進事業補助や中小企業等デジタルシフト事業補助を実施し、市内中小企業等のデジタル化の推進に寄与した。 ◎デジタル技術を活用した新たなビジネスモデル創出のために支援した企業等の数（令和４年度からの累計）　実績９者（目標１２者）
5	中小企業経営力強化支援事業 790千円 創造都市推進局 産業振興課	重点：一般重点　成果達成度：115.0%　245.0%　妥当性：C　有効性：B　効率性：B　総合評価：A　今後の方向性：統合 （事業概要、事業実績等） 中小企業向けに、セミナーや経営相談の場を設けた。また、中小企業の人材育成のための補助金を交付した。 ◎経営相談会等の参加者数（累計）　実績９２人（目標８０人） ◎ＢＣＰ策定支援セミナー参加者数（累計）　実績１４７人（目標６０人）

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容						
6 中小企業指導団体等育成事業 31,614千円 創造都市推進局 産業振興課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 中小企業等の経営の近代化・共同化及び地場産業の育成・指導の推進に努めるとともに、その構成員の文化的・経済的な改善向上を図っている指導団体に対して、高松市中小企業振興助成条例に基づき事業助成を行うことにより、その活動を支援した。						
7 中小企業経営講習会等事業 1,635千円 創造都市推進局 産業振興課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		60.0%	A	B	B	C	継続
	（事業概要、事業実績等） 高松商工会議所と共催で中小企業経営講習会を開催した。 ◎講習会等受講者数　実績１，５０１人（目標２，５００人）						
8 中小企業人材確保・就業機会拡大事業 285千円 創造都市推進局 産業振興課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		122.5%	A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 香川県、高松商工会議所、香川労働局、高松公共職業安定所等と合同就職面接会を共催したことにより、中小企業の労働力及び人材の確保を促し、経営の安定につながる効果が得られた。 かがわーくフェアの開催（対面方式） 参加企業数１２２社、参加求職者数１４８人 ◎就職面接会（かがわーくフェア）参加企業の満足度 実績９８％（目標８０％）						
9 貿易振興事業 2,458千円 創造都市推進局 産業振興課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		0.0%	A	A	D	D	継続
	（事業概要、事業実績等） 貿易振興に係る事業を実施している独立行政法人日本貿易振興機構香川貿易情報センター（ジェトロ香川）に対して助成を行ったほか、関係団体等で組織された高松港コンテナターミナル振興協議会において、広報・宣伝ポートセールス等を行うことにより、地場産業を始めとする、関連中小企業の貿易振興を推進した。 ◎コンテナ取扱増加量　実績△４，７６６ＴＥＵ（目標２，７６６ＴＥＵ）						
10 中小企業金融対策事業 542,524千円 創造都市推進局 産業振興課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			A	A	A	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 市内の中小企業者に緊急経営安定対策特別融資（１７件）をあっせんした。 また、中小企業融資（緊急経営安定対策特別融資含む）を期限内に償還した者に対し、保証料の補給を行うとともに、緊急経営安定対策特別融資の貸付者で遅滞なく支払いをしている者に対し、０．８％（新型コロナウイルス感染症の影響により売上げが減少している者に対しては１．８％）の利子補給を行った。						

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
11	（評価対象外）中小企業等物価高騰対策支援事業 299,327千円 創造都市推進局 産業振興課								
		（事業概要、事業実績等） 物価高騰等の影響を受けた中小企業者等を支援するため、各時点での経済情勢に合わせた経済対策事業を実施したことにより、地域経済の活性化に貢献した。							

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	農林水産業の振興

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
4,709,171千円	A	24.2%	68.0%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政　策	地域を支える産業の振興と経済の活性化
担当局	創造都市推進局、農業委員会事務局

対象	意図
市内の農林漁業者	農林漁業者の生産販売額の増加

概要（実績）

担い手への支援・農地集積推進事業による担い手への農地集積の加速化や農業次世代人材投資事業等による新たな担い手の確保・育成、土地改良事業、土地改良施設管理事業、漁場保全補助事業等による生産基盤整備により農林水産業の生産体制が整備された。

また、スマート農業推進事業による生産の高度化や、農業経営安定対策事業、園芸産地育成推進事業、畜産振興事業、森林整備事業、水産振興事業等の各種振興施策の推進、中山間地域等直接支払事業、多面的機能支払事業、有害鳥獣被害対策事業等による農地や漁場環境等の適切な維持・保全活動を通じて農林水産物の生産振興が図られた。

さらに、グリーン・ツーリズム推進事業等により、農業・農村への理解が促進されたとともに、卸売市場等により生鮮食料品等流通の効率化が図られた。

あわせて、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、農畜水産業継続緊急支援事業等を実施することで、国際情勢の変化による原材料価格高騰の影響を受けた生産者を支援した。

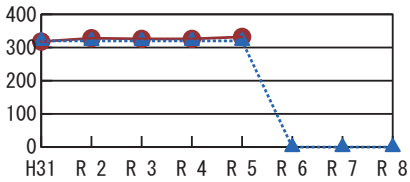
成果指標

① 指標名：認定農業者数

R 5実績	R 5目標	達成度
332経営体	320経営体	103.8%

① 状況：農業者の高齢化に伴い認定更新を行わない農業者が増加する中、令和５年度は、新たな認定農業者の確保に努めた結果、認定農業者数は増加した。

達成度の推移

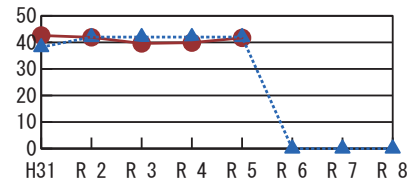


② 指標名：農畜産物販売額（ＪＡ取扱金額に限る）

R 5実績	R 5目標	達成度
41.7億円	42億円	99.3%

② 状況：肥料等の生産資材価格等の高騰による厳しい農業情勢の下、野菜や果樹の販売が好調だったことから、販売額については前年対比で増加したものの、依然として花き等の取扱高が低迷しているほか、米の販売金額の減少などの影響により、目標を僅かに下回った。

達成度の推移

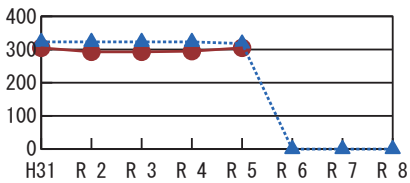


③ 指標名：卸売市場の取扱金額

R 5実績	R 5目標	達成度
305億円	318億円	95.9%

③ 状況：令和５年度の取扱金額は、前年度を上回ったが、若干、新型コロナウイルス感染症の影響があり、目標を達成することができなかった。

達成度の推移



施策の課題

【創造都市推進局】農林水産業は、担い手の減少や高齢化に加え、原材料価格高騰が深刻化し、持続的な生産が困難な状況にある中、農業では基盤整備率や担い手への農地の集積率の低さ、遊休農地の増加、ため池・水路・農道やイノシシ等による鳥獣被害への対応等が、林業では、森林や林道を管理する人材の確保が、水産業では、水産資源の維持・回復が課題である。また、卸売市場等の適切な維持管理や地産地消に関する情報発信も必要である。

【農業委員会事務局】農地等利用最適化の推進に向け、担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入を促進するため、県農地機構等の関係機関との連携の一層の強化が必要である。

施策の方向性

農林水産業の振興のため（１）担い手への農地集積、ほ場整備や生産機械導入、鳥獣被害の防止、漁業施設の整備等の効率的な生産のための条件整備や中山間地域の農地、ため池・水路等の適切な維持管理、森林整備や林道管理、水産資源の回復などの生産体制の整備、（２）新たな生産技術の導入、農業の担い手や新たな林業技術者・水産事業者の確保・育成、スマート化による生産の高度化などの生産の振興、（３）地元で生産された農畜水産物や地元木材の利用拡大や農林水産業に関する情報発信や体験などを通じた食育・地産地消の推進、（４）卸売市場の施設整備と卸売市場・食肉センターの適切な管理運営による生鮮食料品等流通の強化に努める。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1 （評価対象外）香南アグリーム管理運営等事業 15,219千円 創造都市推進局 農林水産課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 農業体験施設である香南アグリームの運営管理（指定管理）を行った。 園地を利用した農業体験では、令和５年度から、イチゴの収穫体験を開始し、工房では、園内で取れた野菜等を使った調理体験を実施し、来場者の農業に対する理解を深めるとともに、食育が促進された。 また、香南朝市（産地直売所）では香南町を中心とした農家が出荷した農産物を販売するなど、地域農業の振興及び地産地消が促進された。							
2 グリーン・ツーリズム推進事業 854千円 創造都市推進局 農林水産課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		93.5%	87.7%	A	B	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） グリーン・ツーリズムの推進とともに、市民農園の利用の促進を図ることにより、都市と農村の交流が促進された。 ◎グリーン・ツーリズム実践団体来場者 実績１６８，２２５人（目標１８０，０００人） ◎市民農園利用率　実績７８．９％（目標９０％）							
3 （評価対象外）研修集会施設管理運営事業 41,316千円 創造都市推進局 農林水産課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 研修集会施設の適切な維持管理を行い、農業振興のための研修、集会、レクリエーション・文化活動等の場を提供し、市民福祉の増進に寄与した。							
4 （評価対象外）農村公園等運営事業 7,294千円 創造都市推進局 農林水産課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 農村公園等（１４か所）の日常的な維持管理（指定管理）を行い、市民に憩いとふれあいの場を提供し、市民の日常的な健康増進及び相互の交流に寄与した。							
5 スマート農業推進事業 825千円 創造都市推進局 農林水産課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	一般重点	107.7%		A	A	B	A	拡充
	（事業概要、事業実績等） 認定農業者や認定新規就農者等の農業経営の高度化に必要なスマート農業技術の導入を支援することにより、本市農業の持続的な発展に寄与した。 ◎高松市スマート農業推進事業（旧農業ＩＣＴシステム導入活用事業）実施件数　実績２８件（目標２６件）							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
6	（評価対象外）食肉センター周辺施設管理運営事業 3,018千円 創造都市推進局 農林水産課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 茜町会館を適切に管理運営（指定管理）し、市民に集会、レクリエーション、文化活動等の場を提供することにより、市民福祉の増進に寄与した。 郷東海浜公園グラウンドの維持管理に努め、市民にスポーツ等の場を提供し、市民福祉の増進に寄与した。							
7	（評価対象外）鳥獣飼養許可等事業 201千円 創造都市推進局 農林水産課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 野生鳥獣の有害捕獲許可事務等を実施することにより、農作物等の被害防止活動が促進された。 捕獲許可件数　１，１６６件							
8	（評価対象外）農業振興事業 744千円 創造都市推進局 農林水産課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 高松市農業基本対策審議会及び専門部会を開催し、高松市農業振興計画（平成２８年度～令和５年度）における進捗状況の点検・評価及び農業経営改善計画等の審査、人・農地プランの検討、次期農業振興計画（令和６年度～）の策定等に向けて、本市農業施策に関する重点事項について審議された。							
9	農業経営安定対策事業 24,969千円 創造都市推進局 農林水産課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			102.2%	133.4%	A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 農業協同組合、農業委員会、農業共済組合等の関係機関と連携して、国の経営所得安定対策事業を実施することにより、米の計画的生産と畑作物の作付が推進された。 ◎経営所得安定対策等交付申請者数　実績５６２人（目標５５０人） ◎交付対象作物の作付面積　実績１，２００．５ｈａ（目標９００ｈａ）							
10	有害鳥獣被害対策事業 20,452千円 創造都市推進局 農林水産課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			63.8%	155.3%	A	B	A	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 高松市鳥獣被害防止計画に基づき、猟友会等の捕獲活動に対する助成や農家への侵入防止柵等設置に対する助成、「獣害に強い市街地づくり支援事業」等の実施、狩猟免許の取得を推進したことから、農作物被害面積の減少については、目標を達成することができた。 一方、野生イノシシにおける豚熱の発生によるものと思われる影響により野生イノシシの生息数が減少したため、イノシシ等の捕獲数は、目標を達成することができなかった。 ◎有害捕獲許可によるイノシシの捕獲頭数 実績１，２７６頭（目標２，０００頭） ◎野生鳥獣による農作物被害面積 実績３．６４ｈａ（目標８．１５ｈａ）							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容						
11 園芸産地育成推進事業 101,855千円 創造都市推進局 農林水産課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		94.1%	120.5%	A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 県オリジナル品種などの園芸作物等の生産拡大に取り組むための農業機械施設等の整備に対する支援をすることにより、多様化する消費者ニーズに対応した品質と安定的な供給力を持った園芸産地の持続的発展に寄与した。 ◎高松市内の野菜販売額（農協取扱分） 実績１，４１２百万円（目標１，５００百万円） ◎高松市内の果実販売額（農協取扱分） 実績７２３百万円（目標６００百万円） なお、前年度からの繰越事業である、国の担い手確保・経営強化支援事業については完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：３，４６０，０００円）							
12 畜産振興事業 2,370千円 創造都市推進局 農林水産課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		126.4%	125.4%	A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 家畜法定伝染病予防事業への助成により、家畜法定伝染病の予防が図られた。 また、肉用牛生産振興事業への助成により、畜産経営の体質強化と上質肉牛の生産拡大に寄与した。 ◎１戸当たりの乳用牛飼養頭数　実績１３９頭（目標１１０頭） ◎１戸当たりの肉用牛飼養頭数　実績１６３頭（目標１３０頭）							
13 多面的機能支払事業 147,057千円 創造都市推進局 土地改良課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		100.8%		A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 水源涵養や景観整備、防災など、農業・農地が有する多面的な機能を維持発揮させるため、耕作継続に必要な農道・水路等の保全活動や施設の修繕、長寿命化を図る活動を促すことを目的として、農業者や地域住民で構成される活動組織へ支援を実施した。 令和５年度実績 ・農地維持活動組織数３３組織（対象面積２，５３５．８ｈａ） ・資源向上（共同）活動組織数２０組織（対象面積１，２７３．３ｈａ） ・資源向上（長寿命化）活動組織数１４組織（対象面積１，５６７．４ｈａ） ◎対象農用地面積　実績２，５３６ｈａ（目標２，５１５ｈａ）							
14 森林整備事業 62,423千円 創造都市推進局 農林水産課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		7.5%	52.2%	A	A	B	D	継続
	（事業概要、事業実績等） 森林環境譲与税を活用し、継続的に各種事業を着実に実施したことにより、本市の森林の適切な管理等に寄与した。 また、松くい虫被害の防除を実施することにより、健全な森林の育成に寄与した。 ◎年間松くい虫被害材積において、伐倒駆除事業を実施した面積の比率 実績１．５％（目標　２０％） ◎間伐立木材積 実績７８２立米（目標　１，５００立米）							
15 林業振興事業 6,051千円 創造都市推進局 農林水産課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		0.0%	0.0%	A	B	B	D	継続
	（事業概要、事業実績等） 分収造林地において、満期を迎える事業地の収益試算を行った。 また、造林事業助成については、木材価格が低迷し森林所有者の造林意欲が低下している中、人工造林地についても減少したものの、実施した施業に対し支援を行ったことにより、林業の振興に寄与した。 ◎分収造林地において造林施業を実施した面積の比率　実績０％（目標３％） ◎人工造林地において造林施業を実施した面積の比率　実績０％（目標３％）							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容						
16 水産振興事業 5,085千円 創造都市推進局 農林水産課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		65.1%		A	A	B	B	継続
	（事業概要、事業実績等） 栽培漁業推進事業、水産増養殖事業等に助成したことにより、水産資源の増殖及び養殖漁業の振興につながった。 令和３年度から取り組んでいるイカの増殖事業（産卵器具設置）については、良好な産卵状況を確認している。 ◎生鮮水産物出荷量　実績２，５３７ｔ（目標３，９００ｔ）							
17 （評価対象外）農地利用最適化推進事業 44,397千円 農業委員会事務局 農政課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 改正農業委員会法の施行により必須業務となった、担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進等による農地利用の最適化の推進に積極的に取り組んだ。 ８月を「農地パトロール月間」と定め、全ての農地の利用状況調査を実施し、約６８５ｈａの荒廃農地の実態把握や分布地図の更新を行うとともに、再生利用が可能な遊休農地の所有者等に対し、香川県農地機構への貸付けを促す利用意向調査を実施するなど、遊休農地対策を強化した。 また、利用権設定に係る農業相談会を１８回開催し、認定農業者等担い手へ約２４６ｈａの農地を集積することにより、農地の有効利用及び担い手等の経営確立を支援し、地域を支える農業を振興した。							
18 中山間地域等直接支払事業 43,678千円 創造都市推進局 農林水産課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		104.6%		A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 中山間地域などの農業生産条件が不利な指定区域内の農用地区域において締結された集落協定（５３集落）に基づき、５年以上農業を継続する農業者に交付金を交付したことにより、耕作放棄地の発生を防止し、農業の多面的機能が確保された。 ◎中山間地域等直接支払制度取組面積　実績２９７ｈａ（目標２８４ｈａ）							
19 土地改良施設管理事業 31,521千円 創造都市推進局 土地改良課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		100.0%	92.1%	A	B	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 農業生産性の向上、農業総生産の増大等に資するため、土地改良事業関係各種団体への負担、補助を行うとともに、土地改良施設の維持管理・環境整備を行うことにより、農業生産基盤の整備を促進した。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、一宮新池農村公園グラウンドの利用者が減少した。 ◎土地改良区受益面積　実績１０，５０５ｈａ（目標１０，５０５ｈａ） ◎施設利用者数　実績１５，６５８人／年（目標１７，０００人／年）							
20 （評価対象外）財産区管理事務 554千円 創造都市推進局 農林水産課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） ４財産区管理会（弦打財産区・雌雄島財産区・塩江財産区・上西財産区）を適切に運営することにより、その住民の福祉の増進に寄与した。							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容
21	農業次世代人材投資事業 46,777千円 創造都市推進局 農林水産課	重点： 成果達成度：153.3% 妥当性：A 有効性：A 効率性：B 総合評価：A 今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） 農業次世代人材投資事業等の実施により、新規就農者の確保及び経営安定が図られたとともに、若手農業者で構成する農業後継者クラブの活動を支援することで、市内の若手農業者相互の情報交換や交流が促進され、農業技術の向上や新規就農者の育成等に寄与した。 ◎認定新規就農者数　実績９２経営体（目標６０経営体）
22	担い手への支援・農地集積推進事業 154,450千円 創造都市推進局 農林水産課	重点：一般重点 成果達成度：96.4%　223.4% 妥当性：A 有効性：A 効率性：A 総合評価：A 今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） 認定農業者等担い手の経営規模拡大と農地の有効利用を図るため、農地中間管理事業等を活用し、支援策を実施したことにより、農地の有効利用、担い手への利用集積、遊休農地の拡大防止が促進され、地域農業の振興と生産性の向上に寄与した。 また、農業経営収入保険への加入を促進することにより、農業者の経営の安定化に寄与した。 さらに、物価高騰等により影響を受けた生産者を支援するため、農畜水産業継続緊急支援事業を実施し、生産者の経営の安定化に寄与した。 ◎担い手への農地集積率　実績２９．４％（目標３０．５％） ◎農地中間管理事業による農地集積面積 実績１３６．２５ｈａ（目標６１ｈａ）
23	（評価対象外）林道施設管理事業 13,348千円 創造都市推進局 農林水産課	重点： 成果達成度： 妥当性： 有効性： 効率性： 総合評価： 今後の方向性： （事業概要、事業実績等） 林道（５１路線、総延長８２ｋｍ）の維持管理として、危険箇所等の修繕、除草及び支障竹木の除去を実施し、利用者の安全の確保及び森林環境の維持に寄与した。
24	（評価対象外）市有山林管理事業 3,043千円 創造都市推進局 農林水産課	重点： 成果達成度： 妥当性： 有効性： 効率性： 総合評価： 今後の方向性： （事業概要、事業実績等） 市有山林の適切な維持管理を実施した。 また、生活環境保全林等にある遊歩道の草刈りや市有林内にある公衆トイレの維持管理を行ったことなどにより、市有山林の保全と利用者の利便性が向上した。
25	漁場保全補助事業 2,906千円 創造都市推進局 農林水産課	重点： 成果達成度：65.1% 妥当性：A 有効性：A 効率性：B 総合評価：B 今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） 海底耕うん事業及び海浜清掃事業の実施に対し補助することにより、漁業の生産性向上に寄与した。 ◎生鮮水産物出荷量　実績２，５３７ｔ（目標３，９００ｔ）

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
26	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
（評価対象外）農業委員会事務事業 5,922千円 農業委員会事務局 農政課								
	（事業概要、事業実績等） 農地転用等の各種申請について、適正な審査と迅速な処理を行い、議事録をホームページで公表し、審議過程等の透明性を確保した。 農地等利用最適化推進施策等の改善についての意見を取りまとめ、市長に提出したほか、農業経営管理能力の向上のため、簿記記帳講習会を２０回開催するとともに、「農業委員会だより」を２回（各１３，０００部）発行し、農業経営に役立つ情報を提供することにより、農業に意欲と誇りを持った３８５名の担い手（認定農業者・認定新規就農者）を始めとする人材の育成・確保を図り、地域を支える農業の発展に寄与した。							
27	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
農業団体育成事業 6,008千円 創造都市推進局 農林水産課		99.3%		A	B	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 農業協同組合、農業共済組合、県東讃農業改良普及センター等の関係機関と連携を図るとともに、各種農業団体への支援等を行い、農業技術の普及や自主的な活動を促進することにより農業振興に寄与した。 ◎高松市内の農畜産物販売額（農協取扱分） 実績４１．７億円（目標４２億円）							
28	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
（評価対象外）盆栽集出荷施設管理運営事業 695千円 創造都市推進局 農林水産課								
	（事業概要、事業実績等） 国分寺町盆栽集出荷場の運営及び維持管理を委託し、盆栽の生産振興と流通の円滑化が促進された。 また、剪定枝のリサイクル作業を業者に委託し、資源の有効利用に寄与した。							
29	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
畜産団体育成事業 837千円 創造都市推進局 農林水産課		126.4%	125.4%	A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 高松市畜産振興協議会の活動に助成し、畜産振興に寄与した。 また、高松市畜産共進会や肉牛枝肉共励会の開催を支援し、畜産農家の技術研鑽、情報収集及び地産地消に寄与した。 一方、国際情勢の変化に伴う飼料価格高騰の影響を受けた畜産農家を支援するため、「たかまつ食と農のフェスタ」において、牛乳消費拡大キャンペーンを展開した。 ◎１戸当たりの乳用牛飼養頭数　実績１３９頭（目標１１０頭） ◎１戸当たりの肉用牛飼養頭数　実績１６３頭（目標１３０頭）							
30	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
土地改良事業 870,363千円 創造都市推進局 土地改良課		95.5%		A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 団体営・県単・市単によるかんがい排水施設改修などの実施により、農業生産性の向上と農業の健全な発展に向け、支援を行った。 ◎補助金交付件数　実績３１５件（目標３３０件） なお、県単・市単補助土地改良事業補助金等については、施工内容の検討に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業費の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：２９４，２９６，０００円） また、前年度からの繰越事業である県単・市単補助土地改良事業補助金等については完了した。（令和４年度繰越明許事業費：２３７，１８７，９００円） ５年度事業内訳（４年度繰越案件を含む） 団体営事業４件（内繰越３件）、単独県費補助事業９９件（内繰越１８件）、単独市費補助事業等２０８件（内繰越２６件）							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
31 水産団体育成事業 1,342千円 創造都市推進局 農林水産課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		65.1%		A	A	B	B	継続
	（事業概要、事業実績等） 水産団体に助成することにより、栽培漁業や資源管理型漁業が促進された。 ◎生鮮水産物出荷量　実績２，５３７ｔ（目標３，９００ｔ）							
32 卸売市場活性化推進事業 3,234千円 創造都市推進局 市場管理課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		150.2%	108.9%	A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止していた、たかまつ市場フェスタ、市場ＤＥ自由研究、市場開放を実施した。また、ＥＣ活性化推進事業を行うことにより、市場の活性化を推進した。 ◎市場への一般市民の来場者数（既存イベント分） 実績３６，０３７人（目標２４，０００人） ◎当該年次取扱高を対前年比の９５%以上にする 実績１０３．５%（目標９５%）							
33 卸売市場整備事業 2,152,623千円 創造都市推進局 施設整備室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	特別重点	95.9%	100.6%	A	B	C	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 新青果棟について、令和６年度中の開場に向けて工事を進めた。 また、水産物棟等整備事業要求水準書作成等アドバイザリー業務に着手した。 ◎卸売市場の取扱金額　実績３０５億円（目標３１８億円） ◎卸売市場整備進捗率（青果棟）　実績４９．１%（目標４８．８%） なお、国の補正予算で措置された交付金の決定を受けたため、当該交付金に係る工事費及び工事監理費を追加要望するも、工期の関係上、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：５，６３４，０７０，０００円） また、前年度からの繰越事業については完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：１，０３３，８４４，０００円）							
34 （評価対象外）食肉センター管理運営事業 348,046千円 創造都市推進局 農林水産課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 本市食肉センターは、平成１８年４月１日に指定管理者制度を導入しており、指定管理者に指定された高松食肉事業協同組合により、円滑な施設管理が行われた。							
35 （評価対象外）卸売市場管理運営事業 224,098千円 創造都市推進局 市場管理課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 中央卸売市場及び公設花き地方卸売市場施設・設備の維持管理、修繕及び保守点検を行った。 また、市場内の清掃やごみの分別収集を徹底し、美化に努めるとともに、市場内警備を行い、安全を確保するなど、健全な市場運営を行った。							

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	特産品の育成・振興とブランド力の向上

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
36,407千円	D	34.9%	70.9%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政　策	地域を支える産業の振興と経済の活性化
担当局	創造都市推進局

対象	市内の特産品生産者・製造者及び購入者	意図	高松ブランドの確立に向けた取組を推進し、特産品の育成・振興を図る。

概要（実績）

本市の伝統的ものづくり製品や特産品、農作物について、体験教室の開催や各種展示会への支援等を通じて、普及啓発事業・販路拡大事業等を実施し、特産品の育成・振興とブランド化の推進及び地場産業の活性化に寄与した。

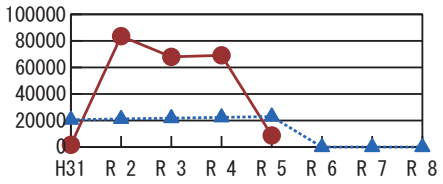
成果指標

①

指標名	販路開拓事業等来場者数	R 5実績	R 5目標	達成度
		8,754人	23,000人	38.1%

状況：特産品の育成・振興とブランド化の推進に寄与するため、販路開拓事業として展示会等への出展支援を実施したが、令和４年度をもって「たかまつ工芸ウィーク」の実行委員会が解散され、対象事業が廃止となったため、来場者数の実績値の大幅な減少となり、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

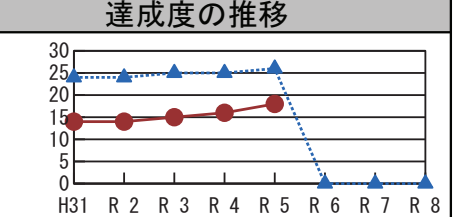


②

指標名	盆栽輸出登録申請者数（ＥＵ）	R 5実績	R 5目標	達成度
		18人	26人	69.2%

状況：ＥＵ向け黒松盆栽の輸出解禁を受け、登録申請者数は前年比増となったものの、生産者の高齢化等による登録の取りやめもあったことから、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

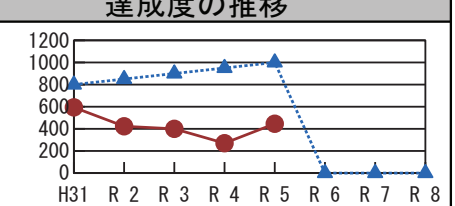


③

指標名	伝統的ものづくり普及啓発事業等参加者数	R 5実績	R 5目標	達成度
		446人	1,000人	44.6%

状況：「学校巡回教室」は開催希望のあった小学校３校において開催したが、開催校の児童数が少なく、また、「夏休み親子体験教室」は計５講座を開催したが、台風の影響による一部中止があり、目標を達成することができなかった。

達成度の推移



施策の課題

伝統的ものづくり製品や特産品、農産物について、一定の好評価は得られているものの、その価値や評価を更に高めることが求められている。今後も関係団体と連携し、販路拡大や後継者育成等に取り組むとともに、国内だけでなく、国外への輸出拡大を見据えた新たな取組が必要である。

施策の方向性

地域経済の活性化を図る上で、地場産業の振興は重要性を増しており、継続実施していく必要がある。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容						
1 高松ブランド農産物育成支援事業 2,516千円 創造都市推進局 農林水産課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		121.7%	105.9%	A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 香川県農業協同組合等の関係機関と連携して、高松産ごじまん品を中心に農産物のブランド化を図ることにより、地産地消・食育の推進に寄与した。 ◎食育・農業体験教室への参加者数　実績７３人（目標６０人） ◎たかまつ食と農のフェスタ出展者販売額 実績９，５２７千円（目標９，０００千円）							
2 高松産ごじまん品等利用拡大事業 19,667千円 創造都市推進局 農林水産課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	一般重点	96.8%		A	A	A	A	統合
	（事業概要、事業実績等） 地場産農畜水産物の消費を喚起するため、学校給食に「高松産ごじまん品」を中心とした食材を提供するとともに、提供した食材についてＰＲ動画を制作し、給食現場等で放送するなどを通じて、地産地消・食育の推進に寄与した。 ◎学校給食における地場食材使用率　実績４４．９％（目標４６．４％）							
3 特産品育成・振興事業 1,718千円 創造都市推進局 産業振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
				A	B	B	B	統合
	（事業概要、事業実績等） 各種交流都市等での物産展に出展し、特産品の育成や振興に寄与した。							
4 伝統的ものづくり支援事業 7,126千円 創造都市推進局 産業振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		44.6%	38.1%	A	A	B	D	統合
	（事業概要、事業実績等） 事業を継続的に開催することにより、特産品の育成・振興とブランド化の推進に寄与した。 ◎普及啓発事業等参加人数　実績４４６人（目標１，０００人） ◎販路開拓事業等来場者数　実績８，７５４人（目標２３，０００人）							
5 高松盆栽産地ブランド確立事業 5,380千円 創造都市推進局 農林水産課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	一般重点	69.2%	93.6%	A	A	B	B	継続
	（事業概要、事業実績等） 香川県、香川県農業協同組合及び盆栽事業者等と連携し、高松盆栽学校や高松盆栽の郷フェスタ、高松盆栽ギフト新商品開発事業、高松盆栽アートコンテスト事業を実施したことにより、高松盆栽の振興とブランド化に寄与した。 ◎盆栽輸出登録申請者数（ＥＵ）　実績１８人（目標２６人） ◎拠点施設における盆栽等販売金額 実績４８，８４４千円（目標５２，２００千円）							

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	就業環境の充実

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
308,072千円	B	22.3%	78.2%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政　策	地域を支える産業の振興と経済の活性化
担当局	創造都市推進局

対象	市内の事業者及び勤労者	意図	市内事業者の就業環境の充実及び勤労者の勤労意欲の向上を目指す。

概要（実績）

中小企業等表彰制度に基づき、令和５年度は４事業者を表彰・ＰＲするなど、市内事業者のワーク・ライフ・バランス推進の成果が得られた。
中小企業勤労者支援事業では、市内の勤労者の持ち家取得の促進を図るため、四国労働金庫との協調融資により住宅資金を貸し付けており、利用状況は好調であり、勤労者の就業意欲・環境の向上につながった。
中小企業勤労者福祉共済事業においては、加入促進を行っているものの、被共済者数が減少した。
福利事業については、多くの利用数があり、市内の中小企業で働く勤労者の福利厚生が向上した。

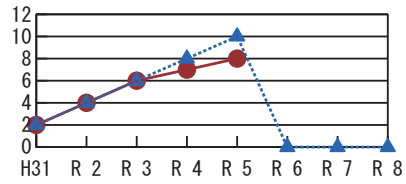
成果指標

①

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
中小企業等表彰事業（働き方改革部門）の表彰事業者の延べ数	8団体	10団体	80.0%

状況：一部の表彰において企業の選定を見合わせたことから、表彰事業者数は目標を達成することができなかった。

達成度の推移

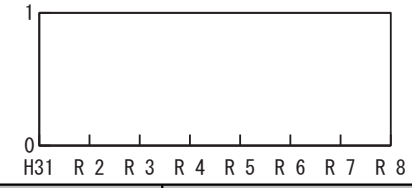


②

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度

状況：

達成度の推移

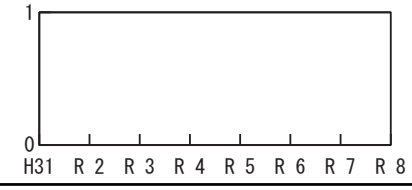


③

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度

状況：

達成度の推移



施策の課題

経済の先行きが不透明な状況下において、就業環境の充実や雇用対策に取り組んでいくためには、これまで以上に市の関係部局や国・県・関係機関との連携・協力が必要である。

施策の方向性

市内企業の就業環境の向上や優良企業のＰＲは、勤労者福祉はもとより、企業の人材確保の面でも重要性を増しており、今後一層、市の関係部局や国、県、関係機関と連携しながら施策を継続していく必要がある。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容						
1 中小企業勤労者支援事業 180,000千円 創造都市推進局 産業振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
				A	A	A	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 四国労働金庫との協調融資により、住宅資金の貸付け（融資限度額は６００万円）を行うとともに、優遇措置として、融資額の０．１％（最高６千円）を１回還付（四国労働金庫が費用負担）することによって、勤労者の持ち家促進の成果が得られた。 融資件数　１３０件 融資額　７７９，１６０，０００円 利子還付件数　１４９件 利子還付額　８９３，６７０円 利用率　１０８．２％							
2 中小企業勤労者福祉共済事業 110,732千円 創造都市推進局 産業振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		93.7%		B	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 福利事業や給付事業等のほか、会報紙を年９回発行し、事業の案内や決算状況だけでなく、新規会員事業所の紹介などを行った。 また、未加入事業所の訪問勧誘や加入事業所の要望を聴くなど、加入確保対策を実施した。 これらの取組により、市内の中小企業で働く勤労者の福祉の増進と中小企業振興の成果が得られた。 ◎加入被共済者数　実績７，８０４人（目標８，３３０人）							
3 就業支援推進事業 2,087千円 創造都市推進局 産業振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		80.0%		A	B	B	B	継続
	（事業概要、事業実績等） 従業員の働き方改革に積極的に取り組むとともに、産業の振興や本市施策への貢献度が高い企業を働き方改革部門として表彰した。 また、勤労者福祉に関する事業を行っている団体に補助を行った。 これらのことにより、市内事業所の就業環境の向上等につながった。 ◎中小企業等表彰事業（働き方改革部門）の表彰事業者の延べ数 実績８団体（目標１０団体）							

令和５年度　政策の概要調書

総合計画体系		
	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
	政　策	文化芸術の振興と発信

総合評価
C

１　政策の概要

文化芸術の振興と発信を図るため、瀬戸内国際芸術祭や高松国際ピアノコンクールの開催を始め、市民の近くに出向いて行う、文化芸術のアウトリーチ活動など、優れた文化芸術に触れる機会を拡充させるほか、文化芸術施設の整備と機能の充実に努めるとともに、学校と連携したプログラムの推進や菊池寛の顕彰事業など、教育普及活動や効果的な情報発信を図ります。

また、国の特別史跡讃岐国分寺跡や史跡高松城跡、史跡石清尾山古墳群の整備など、長い歴史と伝統に育まれ、伝承されてきた文化財の保存と活用に努めます。

２　政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
文化芸術の振興	78%	B
文化財の保存・活用	55%	D
平均	66%	C

３　政策の評価

文化芸術の振興と発信に向けて、２施策に取り組んだ。

「文化芸術の振興」では、設定する３つの成果指標のうち、文化芸術ホールにおける事業の参加者数については、当該施設が大規模改修工事中のため、利用実績がなかった。

また、アウトリーチ事業の参加者数において、前年度に比べ改善傾向にあるものの、目標に届かなかった一方、他の指標については目標を達成した。

「文化財の保存・活用」では、設定する２つの成果指標のうち、文化財学習会・体験講座参加者数において、前年度に比べ改善傾向にあるものの、目標に届かなかった一方、他の指標については、目標をおおむね達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は６６％となり、政策の目指す目標の達成に向けて一層の取組が必要であることから、本政策の総合評価は「C」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
文化芸術の振興	34.5%	12.7%	54.4%
文化財の保存・活用	28.9%	11.7%	54.8%
平均	31.7%	12.2%	54.6%

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	文化芸術の振興

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
5,176,589千円	B	34.5%	54.4%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政　策	文化芸術の振興と発信
担当局	創造都市推進局

対象	市民	意図	優れた文化芸術に触れる機会の拡充や人材の育成・支援等を行うことにより、市民の自主的・創造的な文化芸術活動を推進する。

概要（実績）

・デリバリーアーツ事業　公演回数２１回、鑑賞者数１，９１８人
・文化芸術活動推進事業
　学校巡回芸術教室２１校、学校巡回能楽教室６校、文化芸術活動補助４４件、文化団体活動補助７件
・美術館運営事業　（高松市美術館）常設展４回、特別展４回　（高松市塩江美術館）常設展３回、企画展７回
・菊池寛顕彰事業　文学展、特別講演会の開催、香川菊池寛賞の作品募集選奨等
・文化芸術ホール管理運営事業　文化芸術ホール管理運営、自主事業等
・美術館管理事業　施設運営、建物の維持管理
・美術館資料収集事業　美術品購入等１０点（高松市美術館１０点、高松市塩江美術館０点）
・高松国際ピアノコンクール事業
・瀬戸内国際芸術祭推進事業

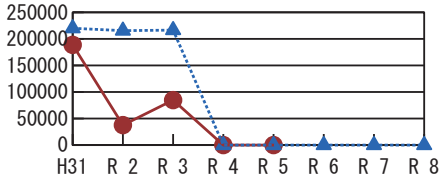
成果指標

①

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
文化芸術ホールにおける事業の参加者数	―	―	―

状況：令和５年度までは、大規模改修工事を行っているため、ホールを活用した実績がない。
　リニューアルオープンの後においても、公演内容の充実や施設の整備を行いながら、利用者に、より満足していただけるホールを目指し、本市の文化芸術振興につなげる。

達成度の推移



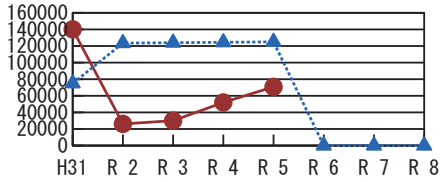
達成度：―

②

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
アウトリーチ事業の参加者数	70,819人	125,000人	56.7%

状況：目標値を下回ることとなったが、前年度と比較すると、まちなかパフォーマンスの鑑賞者数増等により参加者数は増加した。

達成度の推移

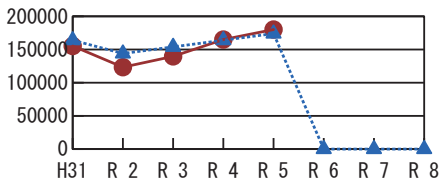


③

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
美術館来館者数	180,123人	174,000人	103.5%

状況：魅力的な展覧会ラインナップの充実や教育普及活動により、目標を達成することができた。

達成度の推移



施策の課題

　優れた文化芸術に触れる機会の拡充や人材の育成・支援等を行うことにより、市民の自主的・創造的な文化芸術活動を更に推進する必要がある。

施策の方向性

　令和６年４月に策定した第３期高松市文化芸術振興計画に基づき、デリバリーアーツ事業や美術館運営事業等を実施することにより、効果的かつ継続的に文化芸術活動を推進していく。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	高松国際ピアノコンクール事業 2,800千円 創造都市推進局 文化芸術振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			66.7%		A	A	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 高松国際ピアノコンクール推進事業の継続実施及び同コンクールのプレイベントに取り組み、コンクール開催期間以外における関連イベントの充実を図り、より市民に親しまれ、地域に育まれていくコンクールとなるよう取り組んだ。 ◎学校訪問リサイタル実施校数　実績４校（目標６校）							
2	瀬戸内国際芸術祭推進事業 5,752千円 創造都市推進局 文化芸術振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 瀬戸内国際芸術祭２０２５の開催に向けて、実行委員会、市内各島の関係者等と連携しながら、協議等を行った。 ◎次回瀬戸内国際芸術祭の開催準備進捗率　実績３０％（目標３０％）							
3	アート・シティ高松推進事業 16,866千円 創造都市推進局 文化芸術振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			85.5%		A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 第２期高松市文化芸術振興計画に基づき、まちなかパフォーマンス事業や０才からのコンサート事業等を実施し、多様なアート展開により市民による文化芸術活動への参加や作品鑑賞の機会を創出し、文化芸術をいかしたまちづくりを推進した。 また、新たに、企業版ふるさと納税を活用し、「次世代を担う世代の芸術鑑賞機会創出事業」として、市内の児童生徒、学生等を対象に、オペラ鑑賞に無料招待を行い、生の舞台芸術鑑賞機会を提供した。 ◎まちなかパフォーマンス事業観覧者数 実績５９，８８１人（目標７０，０００人）							
4	高松版文化芸術プラットフォーム構築事業 51千円 創造都市推進局 文化芸術振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 交流事業として事例発表を行い、プラットフォーム構築に対する意見を聴取するとともに、文化芸術ホールの指定管理者である（公財）高松市文化芸術財団に向けて、外部講師による研修会を行った。 ◎プラットフォーム関係団体数　実績４０団体（目標４０団体）							
5	菊池寛顕彰事業 5,004千円 創造都市推進局 文化財課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			77.7%	63.5%	A	B	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 文学展及び文芸講座等を開催したことにより、郷土が生んだ文豪「菊池寛」を顕彰するとともに、市民の教養の向上と市民文化の発展に寄与した。 また、香川菊池寛賞募集選奨事業により、郷土において創作活動を続けている優れた新人の発掘・育成及び地元の文化の振興に寄与した。 ◎文芸講座及び読書感想文講座延べ参加者数（文芸講座１０回・読書感想文講座２回）　実績４６６人（目標６００人） ◎文学展観覧者数等　実績１，２７０人（目標２，０００人）							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容						
6 デリバリーアーツ事業 3,668千円 創造都市推進局 文化芸術振興課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		91.3%	A	A	A	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 市民に身近な場所で、音楽や伝統芸能等の出前公演を実施したことにより、普段、ホール等で鑑賞する機会の少ない人に対しても、生の優良な文化芸術を鑑賞する機会を提供した。 また、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の取組として、さぬき市、東かがわ市、綾川町、土庄町においても実施した。 ◎デリバリーアーツ事業鑑賞者数　実績１，９１８人（目標２，１００人）							
7 （評価対象外）文化奨励賞贈呈事業 564千円 創造都市推進局 文化芸術振興課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 本市を中心に活動し、本市における文化の振興に貢献している者で、将来において、更にその活躍が期待される者を奨励することを目的として、高松市文化奨励賞選考審議会の審議により、新人部門、顕彰部門の２部門から選考し、同賞を贈呈した。						
8 市民文化祭開催事業 6,126千円 創造都市推進局 文化芸術振興課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		55.3%	A	A	A	C	継続
	（事業概要、事業実績等） 市民が創造・参加する市民企画提案型の文化の祭典として、例年、市民文化祭「アーツフェスタたかまつ」を開催し、文化芸術活動団体の参加・発表・交流の場を提供するとともに、幅広いジャンルの作品鑑賞機会を提供した。 ◎アーツフェスタたかまつ２０２３観覧者数 実績４，９８０人（目標９，０００人）						
9 文化芸術活動推進事業 20,492千円 創造都市推進局 文化芸術振興課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		125.3%	A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 文化芸術団体の育成・支援を行うとともに、文化芸術活動への補助事業を実施したことにより、活動団体の自主的な活動の促進につなげた。 また、学校巡回教室を実施したことにより、子どもたちに、優良芸術を鑑賞・体験する機会を提供した。 ◎文化芸術活動補助事業における参加人数 実績３，１３３人（目標２，５００人）						
10 美術教育普及事業 1,428千円 創造都市推進局 美術館美術課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		502.4%	A	B	A	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 特別展の講演会やこどもアートスペースでのワークショップの参加者数が増加したほか、各イベントの参加者数が好調であったため、目標を大幅に上回っている。 ◎美術講座参加者数　実績８，５４０人（目標１，７００人）						

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
11 （評価対象外）瓦町アートステーション管理運営事業 6,001千円 創造都市推進局 文化芸術振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 本市の交通結節点における文化芸術活動の創造・発表・交流拠点としてＩＫＯＤＥ瓦町に整備している瓦町アートステーションの適切な管理運営を行った。							
12 （評価対象外）高松国分寺ホール管理運営事業 43,784千円 創造都市推進局 文化芸術振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 高松国分寺ホールは、本市西部地域における文化芸術活動の創造・発表・交流の拠点として整備したものであり、日本管財・ＪＴＢコミュニケーションデザイン共同事業体を指定管理者として指定し、同ホールの効果的な管理運営に努めるとともに、自主事業に対し、助成を行うことにより、本市における文化芸術の振興を推進した。							
13 美術館運営事業 56,819千円 創造都市推進局 美術館美術課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		120.8%	109.6%	A	A	A	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 常設展については、エントランス・ブランチギャラリーと連動した展示や出品作家のワークショップの開催等により、入場者が増加した。 特別展については、様々なジャンルを開催したことにより、世代性別を問わず集客があったほか、主催展覧会数が減少したものの、１展ごとの会期を延長したことにより、広報が行き届きやすくなり、入場者が増加し、目標を大幅に上回った。 ◎美術館主催展入場者数　実績７０，６９４人（目標５８，５００人） ◎展覧会鑑賞に満足した人の割合　実績９３．１７％（目標８５％）							
14 （評価対象外）文化芸術ホール管理運営事業 649,471千円 創造都市推進局 文化芸術振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） （公財）高松市文化芸術財団を文化芸術ホールの指定管理者として指定し、改修工事に伴う休館期間（一部除く。）であることも考慮しながら、文化芸術ホールの効果的な管理運営に努めるとともに、同財団が実施するホームページ運用事業、財団自主事業に対し、助成を行うことにより、文化芸術の振興を推進した。							
15 菊池寛記念館管理運営事業 15,676千円 創造都市推進局 文化財課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		157.4%		A	B	A	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 菊池寛の業績を顕彰し、市民の教養の向上と市民文化の発展に寄与するため、菊池寛に関する資料や寛が創設した芥川賞・直木賞等に関する資料の収集、調査研究、保管及び展示を実施することにより、後世に残す適切な管理運営に効果があった。 ◎菊池寛記念館利用者数　実績７，８７１人（目標５，０００人）							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
16	美術館資料収集事業 11,937千円 創造都市推進局 美術館美術課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			144.2%		A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 質の高い作品を収蔵できたことに加え、これまでに購入・収蔵してきたコレクションに関わりの深い作品が寄贈され、一層コレクションが充実した。 収集した美術品については、常設展等で公開している。 特別展の集客が増加した影響やエントランスホール・ブランチギャラリーとの連動企画、広報印刷物の追加、関連イベントの開催等により、目標を上回った。 ◎常設展入場者数　実績２６，３９７人（目標１８，３００人）							
17	（評価対象外）美術館管理事業 160,090千円 創造都市推進局 美術館美術課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 施設を適切に維持管理することにより、来館者の安全を確保した。 なお、前年度からの繰越事業である施設整備事業については完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：２，６４０，０００円）							
18	高松市文化芸術ホール改修事業 4,170,060千円 創造都市推進局 文化芸術振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	100.0%		A	A	B	A	完了
		（事業概要、事業実績等） 高松市文化芸術ホールは、施設の老朽化等により大規模改修等の対応が必要になったため、令和３年度に改修及び更新実施設計業務を、令和４・５年度に一部を除き休館の上で改修及び更新工事を実施し、改修事業が完了した。 ◎文化芸術ホール改修進捗率　実績１００％（目標１００％） なお、前年度からの繰越事業である改修事業については完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：２０９，８３７，４９０円）							

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	文化財の保存・活用

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
394,488千円	D	28.9%	54.8%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政　策	文化芸術の振興と発信
担当局	創造都市推進局

対象	意図
本市の歴史文化遺産の中で、国・県・市において指定されるなど、調査・保存・活用するのに相応しいもの	本市の歴史文化遺産の保存・管理と公開・活用を図る。

概要（実績）

開発事業に伴う事前の発掘調査を実施するとともに、指定等文化財の管理や伝承に係る補助金の支出、史跡地における除草や修繕等の維持管理を実施し、文化財の保存に寄与した。また、親子文化財教室や埋蔵文化財をテーマにした連載講座等の学習会を開催し、文化財の活用を進めた。

各施設においては、埋蔵文化財センターでは埋蔵文化財の情報発信、歴史資料館を始め各資料館・郷土館では、企画展及び講座等を開催し、適切な運営に努め、市民の知識及び教養の向上と市民文化の発展に寄与した。

史跡高松城跡・玉藻公園では、月見櫓改修工事を完了したほか、内堀仮設ヤード撤去工事、三の丸トイレ改修工事を行うとともに、披雲閣大書院耐震補強工事に着手した。玉藻公園入園者数は、前年度比約１１６％で、コロナ禍前の状況に戻った。

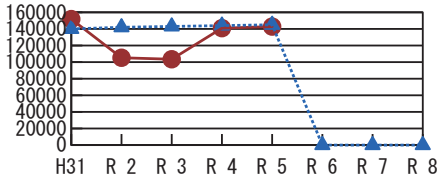
成果指標

①

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
歴史資料館等利用者数	142,830人	145,000人	98.5%

状況：歴史資料館ほか各館で企画展等の開催や教育普及活動等の充実を図るとともに、積極的な広報活動・周知に努め、前年度を上回ったものの、目標を達成することができなかった。

達成度の推移



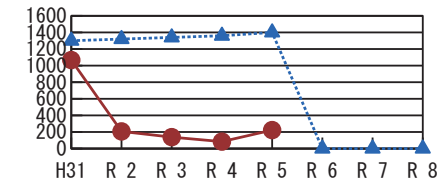
②

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
文化財学習会・体験講座参加者数	223人	1,400人	15.9%

状況：ふるさと探訪を４回、親子文化財教室を２回、市民文化財教室を４回開催した。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により中止していたふるさと探訪を令和５年度より再開したが、開催回数の減少及び参加者の安全確保のため人数制限を設けての開催となったため、コロナ禍以前の実績と比べると大きく下回った。

達成度の推移

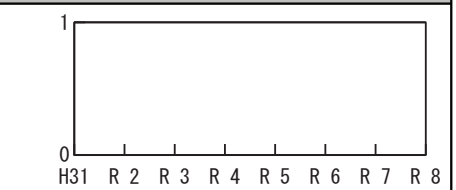


③

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度

状況：

達成度の推移



施策の課題

指定文化財の件数増加及び近年の豪雨による被害並びに披雲閣の耐震補強等により、適正に維持管理するためのコスト増が予想される。

施策の方向性

文化芸術の振興と発信という上位の政策を実現するためには、地域を特色づける文化財の保存と活用に関する事業を継続していくことは必要不可欠である。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	（評価対象外）四番丁スクエア等管理運営事業 13,236千円 創造都市推進局 文化財課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 埋蔵文化財の整理作業及び展示等の普及啓発を実施するとともに、コミュニティ連合会及び創造支援センターの複合施設並びに地域活動の場を維持する上で必要な施設の管理を実施した。							
2	（評価対象外）玉藻公園管理運営事業 68,388千円 創造都市推進局 文化財課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 玉藻公園の管理運営を指定管理者への委託等によって実施した。							
3	香南歴史民俗郷土館管理運営事業 15,755千円 創造都市推進局 文化財課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			89.9%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 香南地区の有力豪族由佐氏の居城跡という立地を生かし、高松南部地域の歴史民俗資料の収集・保管・調査研究を行うとともに、展示等の情報発信、講座等の教育普及活動を実施した。 ◎利用人数　実績２７，８７８人（目標３１，０００人）							
4	讃岐国分寺跡資料館管理運営事業 12,232千円 創造都市推進局 文化財課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			104.2%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 特別史跡讃岐国分寺跡を保護し、文化財の保存及び活用を図るとともに、歴史的意義等を説明するため、展示等の情報発信、講座等の教育普及活動を実施した。 ◎利用人数　実績２３，４５４人（目標２２，５００人）							
5	石の民俗資料館管理運営事業 43,923千円 創造都市推進局 文化財課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			120.9%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 石と人間の関わりの文化を観点に、資料の収集・保管・調査研究を行うとともに、展示等の情報発信、体験学習等の教育普及活動を実施した。 ◎利用人数　実績６７，７１７人（目標５６，０００人）							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容						
6 歴史資料館教育普及活動事業 1,820千円 創造都市推進局 文化財課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		83.9%	83.8%	A	A	B	B	継続
	（事業概要、事業実績等） サンクリスタル学習等による来館型学習、展示関連講座等の開催、郷土の歴史や文化についての興味を喚起し、知識を深められる教育普及活動を実施した。 ◎教育普及活動の受講者数　実績４，０２８人（目標４，８００人） ◎サンクリスタル学習参加校数　実績３１校（目標３７校）							
7 歴史資料館常設展事業 4,185千円 創造都市推進局 文化財課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		79.0%	19.1%	A	A	B	C	継続
	（事業概要、事業実績等） 本市の歴史民俗資料の収集・保管・調査研究のほか、資料整理による収蔵品システムへのデータ登録を実施した。また、企画展を４展、ロビー展等を７展開催した。 ◎展覧会観覧者数　実績１９，７５３人（目標２５，０００人） ◎収蔵品システムＨＰアクセス数　実績３，８１３回（目標２０，０００回）							
8 （評価対象外）歴史資料館管理運営事業 18,233千円 創造都市推進局 文化財課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 本市の歴史民俗資料の収集・保管・調査研究を行うとともに、適切な管理運営を行い、歴史・考古・民俗等に関する市民の知識及び教養の向上と市民文化の発展に寄与した。							
9 史跡石清尾山古墳群保存・整備事業 75,222千円 創造都市推進局 文化財課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	一般重点	108.5%		A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 鶴尾神社４号墳保存対策については、崖面補強工事及び境界杭設置を完了したほか、崖面補強工事に着手した。 ◎見学者数（累計）　実績３，２５４人（目標３，０００人） なお、崖面補強工事等については国の補正予算事業の執行に当たり、実施期間を確保することなどのため、年度内に事業の完了が不可能となり、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：５５，５６４，０００円） また、前年度からの繰越事業である崖面補強工事等については完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：６４，１３４，４００円）							
10 埋蔵文化財公開活用事業 4,801千円 創造都市推進局 文化財課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		112.5%		A	A	A	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 市内に所在する史跡を始めとする埋蔵文化財を活用し、本市の新たな魅力発信や文化財保護に関する機運の醸成を行った。 ◎埋蔵文化財公開活用事業関連行事参加者数 実績７，２０３人（目標６，４００人）							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
11 （評価対象外）史跡讃岐国分寺・国分尼寺跡保存整備事業 1,061千円 創造都市推進局 文化財課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 公有化した土地で史跡の内容を確認するために実施した発掘調査の整理作業を行った。							
12 （評価対象外）文化財保存活用推進事業 18,319千円 創造都市推進局 文化財課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 指定文化財の管理・修理・伝承公開事業に対する補助金の支出、本市が所有する史跡地の除草及び施設修繕等、さらに、親子文化財教室等文化財学習会を開催し、文化財の保存と活用に寄与した。							
13 （評価対象外）文化財調査事業 21,285千円 創造都市推進局 文化財課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 市内の史跡及び埋蔵文化財包蔵地の内容を確認し、その保存・活用を通じて、地域の歴史や文化の顕在化を図ることができた。							
14 玉藻公園整備事業 創造都市推進局 文化財課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		104.1%		A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 高松市公園施設長寿命化計画に基づき、玉藻公園の施設整備を行っており、令和５年度は、高松市公園施設長寿命化計画の見直しを実施した。 ◎玉藻公園の年間入園者数　実積２４０，３６９人（目標２３１，０００人） なお、市内の調査対象の公園施設が増加したことにより、年度内の事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：２，７３９，０００円）							
15 高松城跡整備事業 96,028千円 創造都市推進局 文化財課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	特別重点	104.1%	100.0%	A	A	A	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 披雲閣大書院耐震補強工事、月見櫓改修工事、天守等基礎調査事業等、文化財の確実な保存と活用のための取組を行った。 ◎玉藻公園の年間入園者数　実績２４０，３６９人（目標２３１，０００人） ◎披雲閣（大書院）耐震補強工事の進捗率　実績５０％（目標５０％） なお、前年度からの繰越事業である高松城北之丸月見櫓改修工事と重要文化財披雲閣「蘇鉄の間」建具修理業務委託は完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：３９，６１７，０００円）							

令和５年度　政策の概要調書

総合計画体系		
	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
	政　策	元気を生み出すスポーツの振興

総合評価
C

１　政策の概要

元気を生み出すスポーツの振興を図るため、スポーツ活動の促進や屋島競技場などスポーツ施設の整備を行うほか、市民スポーツフェスティバルの見直しやスポーツ関係団体間の連携強化に取り組むとともに、地域密着型トップスポーツチームの支援や、東京２０２０オリンピック・パラリンピック競技大会に伴う事前合宿の誘致等により、市民が、スポーツを「する、観る、支える（育てる）」ことのできる環境を整えます。

２　政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
スポーツの振興	57%	C
平均	57%	C

３　政策の評価

元気を生み出すスポーツの振興に向けて、１施策に取り組んだ。
「スポーツの振興」では、設定する３つの成果指標について、社会体育施設の工事等による休業の影響等により、目標に届かなかった。
以上により、政策を構成する施策の平均得点率は５７％となり、政策の目指す目標の達成に向けて一層の取組が必要であることから、本政策の総合評価は「C」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
スポーツの振興	25.0%	19.8%	63.2%
平均	25.0%	19.8%	63.2%

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	スポーツの振興

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
958,556千円	C	25.0%	63.2%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政　策	元気を生み出すスポーツの振興
担当局	創造都市推進局

対象	市民	意図	スポーツ活動の推進やスポーツ施設の整備を行い、スポーツの振興を図る。

概要（実績）

スポーツ施設等管理運営事業については、指定管理者と連携し、各種ガイドラインに則り適切な管理運営を行った。
香川総合体育館において、空調のオーバーホールを行ったほか、各施設の修繕を行い施設環境を充実させた。
障がい者スポーツ推進事業については、「日本ＩＤ陸上競技選手権大会」の開催に合わせ「パラスポーツ体験会」を実施し、多様性や共生社会の実現に向けて、関心を高めた。
また、障がい者スポーツの普及・啓発の一環として、パラスポーツ用品を拡充させ、市民への貸出しを積極的に行うことで意識の高揚や健康増進に寄与した。
地域密着型トップスポーツチーム支援事業については、ホームタウンデー等を実施し、市民に試合観戦・応援機会の提供を通じて、認知度の向上やスポーツへの関心等につなげた。

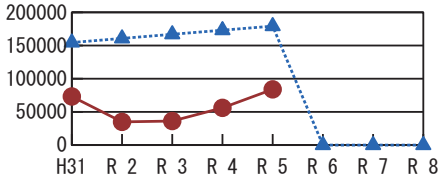
成果指標

①

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
トップスポーツチーム試合観戦者数	83,953人	179,200人	46.8%

状況：全チームの合計観客数は目標を下回っているが、香川ファイブアローズは前年度と比較して大幅に増加した。

達成度の推移

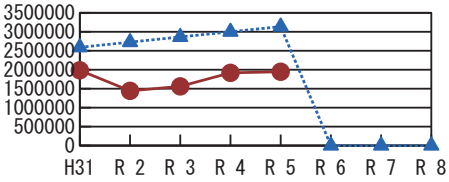


②

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
社会体育施設利用者数	1,946,573人	3,137,000人	62.1%

状況：前年度と比較して増加したものの、かわなベスポーツセンターのプール及び浴室の工事に伴う休業やループしおのえの設備故障による休業等の影響もあり、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

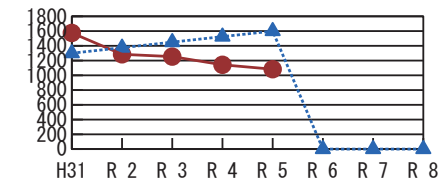


③

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
トップスポーツ４チームの後援会等会員（高松市民）数	1,083人	1,600人	67.7%

状況：前年度と比較して、カマタマーレ讃岐及びアイスフェローズは増加したが、香川ファイブアローズは減少した。
なお、香川オリーブガイナーズは、令和２年度から後援会がなくなっている。

達成度の推移



施策の課題

市民ニーズが多様化する中、市民ニーズの的確な把握に努めるとともに、スポーツ振興の更なる推進のため、これまで以上に行政と市民が協働・連携する方策の検討が必要である。

施策の方向性

引き続き、高松市スポーツ推進計画に基づき、スポーツ振興の推進を図る。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容						
1 地域密着型トップスポーツチーム支援事業 11,224千円 創造都市推進局 スポーツ振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		46.8%	230.0%	A	B	A	B	継続
	（事業概要、事業実績等） 地域密着型トップスポーツチームに対する支援として、ホームタウンデーや児童観戦誘致事業等、市民に試合観戦・応援の機会を提供し、チーム独自の教室開催により認知度の向上や市民の「観るスポーツ」「するスポーツ」への関心等につなげた。 ◎地域密着型トップスポーツチームのホームゲームでの観客数 実績８３，９５３人（目標１７９，２００人） ◎地域密着型トップスポーツチームの市内でのスポーツ教室参加者数 実績４，１４０人（目標１，８００人）							
2 障がい者スポーツ推進事業 1,979千円 創造都市推進局 スポーツ振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		210.0%		A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 地区体育協会やコミュニティ協議会への働き掛けにより、各地域でのパラスポーツ体験のイベント件数が増加しており、パラスポーツの振興に寄与した。 ◎障がい者スポーツの振興に関するイベント件数　実績２１件（目標１０件）							
3 市民スポーツ活動推進事業 51,909千円 創造都市推進局 スポーツ振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		78.8%		A	A	B	B	改善継続
	（事業概要、事業実績等） 市、高松市スポーツ協会が主催し、高松市スポーツ推進委員連絡協議会が主管となり、地区対抗競技大会を開催している。 ◎主催６大会参加者チーム数　実績６３チーム（目標８０チーム） ※１大会は雨天中止（申込７チーム）							
4 学校体育施設開放事業 15,175千円 創造都市推進局 スポーツ振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		75.6%		A	A	B	B	継続
	（事業概要、事業実績等） 新型コロナウイルス感染症の影響により減少した利用者数については、増加傾向にはあるが、コロナ禍前の水準には回復しなかった。 ◎中学校体育施設開放利用者数　実績４３，０９０人（目標５７，０００人）							
5 （評価対象外）スポーツ施設等管理運営事業 878,269千円 創造都市推進局 スポーツ振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） スポーツ施設の維持管理を行い、管理経費の削減にも配慮する中でサービスの向上を図り、市民が気軽に気持ちよく安心して利用できるスポーツの場を提供した。 なお、調査内容の検討に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：４２，３９８，０００円）							

令和５年度　政策の概要調書

総合計画体系		
	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
	政　策	訪れたくなる観光・ＭＩＣＥ（マイス）の振興

総合評価
B

１　政策の概要

訪れたくなる観光・ＭＩＣＥ（マイス）の振興を図るため、観光に携わる様々な主体が連携・協力し、魅力あるイベントの振興など、観光資源の活用と創出に取り組むとともに、旅行者が安心して快適に、移動、滞在、観光ができる受入環境を整備します。
また、本市の観光都市としてのブランドイメージを創出するとともに、国内外への、様々な媒体を活用した効果的・戦略的な情報発信と、ＭＩＣＥ（マイス）による観光客誘致の推進に努めます。

２　政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
観光客受入環境の整備	90%	A
観光客誘致の推進	75%	B
平均	82%	B

３　政策の評価

訪れたくなる観光・ＭＩＣＥ（マイス）の振興に向けて、２施策に取り組んだ。
「観光客受入環境の整備」では、設定する２つの成果指標のうち、観光施設等利用者数において、前年度に比べ回復傾向にあるものの、目標に届かなかった一方、他の指標については、目標を達成した。
「観光客誘致の推進」では、設定する３つの成果指標のうち、まつり・イベント入込客数及びコンベンション数において、前年度に比べ改善傾向にあるものの、目標に届かなかった一方、他の指標については、目標を達成した。
以上により、政策を構成する施策の平均得点率は８２％となり、政策全体として目指す方向におおむね順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「B」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
観光客受入環境の整備	34.1%	15.6%	67.7%
観光客誘致の推進	27.7%	18.6%	62.5%
平均	30.9%	17.1%	65.1%

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	観光客受入環境の整備

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
677,900千円	A	34.1%	67.7%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政　策	訪れたくなる観光・ＭＩＣＥの振興
担当局	創造都市推進局

対象	観光資源及び観光客・ＭＩＣＥに関わる全ての事業者、市民、行政機関、大学研究機関等	意図	受入態勢を充実させ、訪れる人の満足度が向上し、再来訪意向の割合が高まる。

概要（実績）

来訪者の滞在中の満足度を向上させるために、観光ボランティアガイドの育成や高松中央商店街等において公衆無線ＬＡＮサービスの面的な提供、女木島・男木島の観光施設運営を継続した。なお、公衆無線ＬＡＮサービスは、災害発生時に災害情報を自動的に発信するもので、危機管理面でも有効な事業となっている。

また、本市の観光拠点である玉藻公園において、観光コンテンツであるバーチャル高松城等を継続しつつ、民間事業者と連携し、文化資源の高付加価値化促進事業として「ＳＡＮＵＫＩ　ＲｅＭＩＸ」において、観光庁の補助事業「観光再始動事業」を活用し、事業の規模と期間を拡充して実施することにより、夜型観光促進にも取り組んだ。

屋島活性化については、屋島山上交流拠点施設の指定管理者や周辺の民間施設などと連携を図りながら、屋島地域の魅力向上に取り組むとともに、課題となっているアクセス検討に着手した。

塩江温泉郷活性化については、昨年度に引き続き、造成やインフラ布設等の基盤整備、既存施設の解体工事、新規橋りょう整備を実施した。

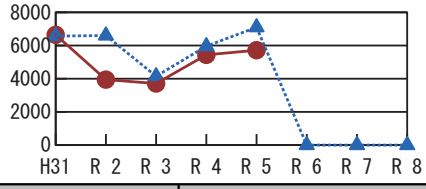
成果指標

①

指標名	観光施設等利用者数	R 5実績	R 5目標	達成度
		5,717千人	7,100千人	80.5%

状況：新型コロナウイルス感染症の法上の位置付けが５類に移行したことによる移動制限の緩和や国際線の段階的な再開により、令和４年度より若干回復したものの、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

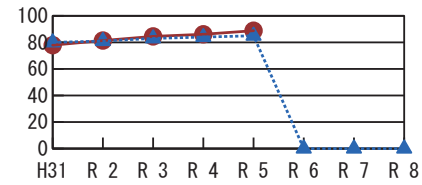


②

指標名	香川県への再来訪意向割合	R 5実績	R 5目標	達成度
		88.8%	85%	104.5%

状況：「来たいと思う」の割合が令和４年度の４８．８％から４７．７％に減少したものの、「ぜひ来たい」の割合が３７．３％から４１．１％に増加し、これらの合計は８８．８％となり、目標を達成することができた。

達成度の推移

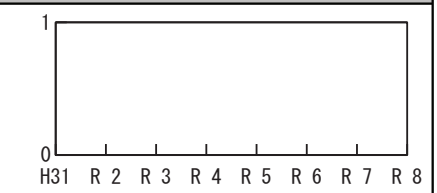


③

指標名		R 5実績	R 5目標	達成度

状況：

達成度の推移



施策の課題

行政、民間、市民が一体となった観光まちづくりの推進体制を構築することによって、観光関連事業者による持続可能な事業の創出及び実施を積極的に促していく必要がある。

施策の方向性

高松ならではの歴史や文化などの地域特性を活用しながら、新たな地域資源を発掘し、観光資源として磨き上げるとともに、魅力あるハード整備の実施などを通じて、来訪者の満足度を向上する受入環境を形成し、おもてなし精神にあふれ、魅力ある観光まちづくりを推進する。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	（評価対象外）鬼ヶ島おにの館管理運営事業 13,699千円 創造都市推進局 観光交流課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 鬼に関する資料館とフェリー待合所を兼ねた施設として女木港付近に整備した、高松市鬼ヶ島おにの館については、地元の特定非営利活動法人瀬戸内・女木アイランド振興会を指定管理者として、管理運営を行った。 瀬戸内国際芸術祭以降、インバウンドを含め一定数の観光客が当地を訪れた。 令和５年度利用者数　６４，９４４人							
2	男木島灯台資料館管理運営事業 2,010千円 創造都市推進局 観光交流課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			51.3%		A	A	A	C	改善継続
		（事業概要、事業実績等） 男木島灯台資料館の管理運営を、地元の男木島観光協会に委託し、観光客からの施設観覧の要望に応じて開館し、案内を行った。 ◎令和５年度施設利用者数　実績５，１２９人（目標１０，０００人）							
3	（評価対象外）塩江湯愛の郷センター管理運営事業 7,830千円 創造都市推進局 観光エリア振興室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 温泉資源を活用して市民の健康を保持・増進し、レクリエーション等の場を提供した。 また、観光及び地場産業の振興に資するために設置した塩江湯愛の郷センター（行基の湯、道の駅しおのえ）及び奥の湯公園については、指定管理者による管理運営を行う（２年間延長：R7年度末まで）とともに、県整備部分（駐車場、手洗い場）の清掃等管理を委託した。 利用者数実績 ・浴場施設（行基の湯：Ｒ５．５．８閉館）　５，４６０人 ・道の駅しおのえ　１０７，２８３人 ・塩江奥の湯公園キャンプ場　６９７人（内日帰り３３０人）							
4	（評価対象外）太鼓の鼻オートキャンプ場等管理運営事業 4千円 創造都市推進局 観光エリア振興室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 瀬戸内海を望むロケーションで、自動車を利用したキャンプができる場所等を提供し、市民の健康増進と相互の交流の促進に寄与するために設置した太鼓の鼻オートキャンプ場については、当施設を活用する民間事業者を公募し、設置条例を廃止した上で、令和６年１月から民間による運営を開始した。 利用者数　実績０人							
5	（評価対象外）純愛の聖地庵治・観光交流館管理運営事業 5,490千円 創造都市推進局 観光エリア振興室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 映画のロケーション地としての観光資源を生かし、観光の振興を図り、観光客や市民に憩いと交流の場を提供するために設置した純愛の聖地庵治・観光交流館については、令和４年７月から、新しい指定管理者による管理運営を行った。 利用者数　実績３，７７１人							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
6	（評価対象外）香南楽湯管理運営事業 15,765千円 創造都市推進局 観光エリア振興室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 市民に健康増進、保養及び憩いの場を提供し、また、市の産業と観光の振興に寄与するために設置した香南楽湯（物販・レストラン・公衆浴場部分）については、県が実施する円座香南線の道路整備を踏まえ、現指定管理者と２年間の指定管理期間延長を行うとともに、道の駅県整備部分（駐車場、手洗い場）の清掃等管理を委託した。 また、施設の今後の管理運営方針検討業務を行った。 なお、想定外の著しい原油・物価高騰の影響に対応するため、指定管理料の追加支出を行った。 利用者数　実績１４８，９９０人 なお、関係機関協議等に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：２，０３５，０００円）							
7	（評価対象外）道の駅源平の里むれ管理運営事業 11,559千円 創造都市推進局 観光エリア振興室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 観光及び地場産業の振興並びに道路利用者の利便性の向上に資するために設置した「道の駅源平の里むれ」については、引き続き、指定管理者による管理運営を行うとともに、道の駅の国整備部分（駐車場、手洗い場）の清掃等管理を委託した。 利用者数　実績４０７，４３９人							
8	（評価対象外）温泉水給水事業 3,121千円 創造都市推進局 観光エリア振興室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 観光の振興及び市民福祉の向上を図るため、塩江町上西地区にある奥の湯温泉１号井から塩江地区まで約７キロの給水管を配管して、公共施設のほか、地域の旅館・ホテルに温泉水を送水している。 送水箇所　　９か所 使用量　８，７８６トン							
9	観光連携プラットフォーム推進事業 0千円 創造都市推進局 観光交流課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			90.8%		A	B	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが５類に移行し、インバウンドの観光客数が増えている中で、２０２５年の「大阪・関西万博」「瀬戸内国際芸術祭」の開催に向けて、各団体の検討している取組や今後連携して取り組むことなどの情報を共有した。 ◎香川県の延べ宿泊者数　実績４２３万人（目標４６６万人）							
10	観光客受入環境整備事業 7,015千円 創造都市推進局 観光交流課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			138.0%	104.5%	A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） サンポート高松地区及び高松中央商店街等において、継続して公衆無線ＬＡＮを運用した。 香川県への再来訪意向割合は、前年度の８６．１％から８８．８％に増加し、目標を上回った。 ◎Ｗｉｆｉ（外国語）アクセス数 実績１６，０５８件（目標１１，６４０件） ◎香川県再来訪意向（ぜひ来たい、来たい）　実績８８．８％（目標８５％）							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容						
11 高松城跡（玉藻公園）を活かした観光振興事業 4,657千円 創造都市推進局 観光交流課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		103.2%	A	B	B	A	改善継続
	（事業概要、事業実績等） 高松城跡（玉藻公園）の魅力向上を図るため、バーチャル高松城事業、和船乗船体験事業を始め、各種イベントを展開し、来園者数は増加した。 ◎高松城跡（玉藻公園）入園者数 実績２３８，２９５人（目標２３１，０００人）						
12 温泉をいかした塩江地域の観光振興事業 470,113千円 創造都市推進局 観光エリア振興室	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	特別重点	93.3%	A	A	B	A	拡充
	（事業概要、事業実績等） 塩江温泉郷を「オンリーワンの価値を持つ温泉郷」に磨き上げるための指針として、平成２９年３月に策定した「塩江温泉郷観光活性化基本構想」に基づき、各種取組を検討・実施した。 ◎塩江温泉郷観光入込客数　実績７４，６３９人（目標８０，０００人） なお、関係機関協議等に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：３６７，１０２，０００円） また、前年度からの繰越事業である塩江道の駅エリア整備に伴う各種工事及び調査業務については完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：１６２，３９３，０９２円）						
13 屋島活性化推進事業 47,407千円 創造都市推進局 観光エリア振興室	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	一般重点	92.2%	A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 瀬戸内海国立公園及び史跡・天然記念物という特性をいかしながら、屋島全体の活性化を目指すため、平成２５年１月に策定した「屋島活性化基本構想」に基づき、屋島を訪れる観光客のニーズ等に応じた、新たな価値や魅力を創出する各種取組を展開した。 ◎屋島山上入込客数　実績６４５，２０５人（目標７００，０００人） なお、関係機関協議等に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：１８，１４５，０００円）						
14 観光イベント振興事業 88,761千円 創造都市推進局 観光交流課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		75.9%	A	A	B	B	改善継続
	（事業概要、事業実績等） さぬき高松まつりの開催のほか、各地域のまつり等に対し補助を行うことにより、６１万人を超える入込客があり、地域のにぎわい創出、観光振興に寄与した。 ◎まつり・イベント入込み客数　実績６１５千人（目標８１０千人）						
15 観光ボランティアガイド育成事業 469千円 創造都市推進局 観光交流課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		80.4%	A	A	B	B	継続
	（事業概要、事業実績等） 高松を訪れる観光客の満足度向上を図るため、市内の歴史・文化・自然及び特産品等の正しい知識を紹介できるよう、本市の観光地を案内・紹介する観光ボランティアガイドの育成を行った。 なお、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが５類に移行し、県外からの観光客が一定数戻ったことにより、前年度と比べて、利用者数は増加した。 ◎観光施設等利用者数　実績５７１万人（目標７１０万人）						

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	観光客誘致の推進

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
294,819千円	B	27.7%	62.5%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政　策	訪れたくなる観光・ＭＩＣＥの振興
担当局	創造都市推進局

対象	国内外の観光旅行及びＭＩＣＥを予定している人など	意図	国内外の多くの人に対して本市への認知や魅力を高めることによって、観光客及び交流・関係人口の増加を図る。

概要（実績）

Ｚ世代をターゲットに訴求力のあるインフルエンサーを招請し、高松の魅力を発信する国内プロモーションに加えて、「Ｇ７香川・高松都市大臣会合」の開催を契機とするＧ７加盟国をターゲットとした国外プロモーションを実施し、本市の認知度向上を図った。
本市観光情報サイト「エクスペリエンス高松」において、特集記事の積み上げとともに、サイトの見やすさなどの観点から、サイト構成の見直し等を行った。
香川県サミット閣僚会合推進室と連携しながら、「Ｇ７香川・高松都市大臣会合」を７月に開催した。また、第２期高松市ＭＩＣＥ振興戦略を策定した。

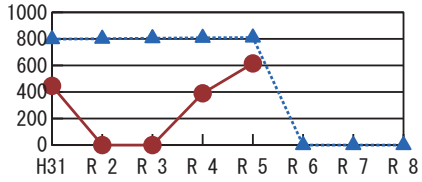
成果指標

①

指標名	まつり・イベント入込客数	R 5実績	R 5目標	達成度
		615千人	810千人	75.9%

状況：新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが５類に移行したことにより、前年比６割増の６１万人の入込客数となったが、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

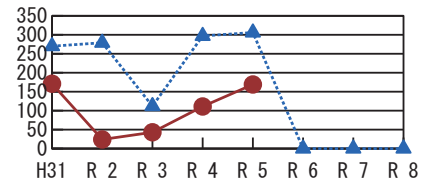


②

指標名	コンベンション数	R 5実績	R 5目標	達成度
		169件	306件	55.2%

状況：新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが５類に移行したことにより、前年比５割増の１６９件の開催数となったが、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

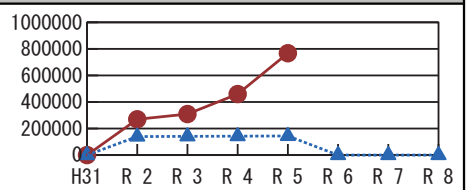


③

指標名	エクスペリエンス高松（ホームページ）閲覧件数	R 5実績	R 5目標	達成度
		767,295件	144,000件	532.8%

状況：本市ならではの体験型コンテンツや観光資源を紹介する記事を蓄積するとともに、旅ナカでのお役立ち情報の充実を図るなど、サイト内容の見直しを図り、目標を達成することができた。

達成度の推移



施策の課題

第２期高松市ＭＩＣＥ振興戦略に基づき、（公財）高松観光コンベンション・ビューロー、香川県、ＭＩＣＥ関連施設等と連携して、大規模ＭＩＣＥや国際会議の誘致並びに受入環境整備を推進していく必要がある。
また、観光プロモーション事業においては、認知度向上に加えて、誘客につながる仕組みづくりが必要となる。
インバウンドの急回復における誘客促進事業として、県内だけでなく、四国全域や環瀬戸内、さらには西日本エリアにおける広域周遊ルートや商品の造成を行うとともに、県と連携して、新規国際路線の開拓などに取り組む必要がある。

施策の方向性

第２期高松市ＭＩＣＥ振興戦略に基づき、産学官や市民も含めたオール高松として、ＭＩＣＥ誘致を推進するとともに、多言語化等の普及を促し、受入環境の整備を図る。
また、効果的な観光プロモーション事業の実施による若い世代の誘客創出、県との連携を始めとした各種広域連携によるインバウンド誘客の拡充により、将来に渡って持続可能な交流・関係人口の確保を図る。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容

1

ＭＩＣＥ振興事業

23,380千円

創造都市推進局
観光交流課

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	55.2%		A	A	B	C	改善継続

（事業概要、事業実績等）
平成２９年３月に策定した高松市ＭＩＣＥ振興戦略に基づき、（公財）高松観光コンベンション・ビューローや香川県ＭＩＣＥ誘致推進協議会と連携して、ＭＩＣＥ誘致及び開催支援に取り組んだが、目標を達成することができなかった。

◎コンベンション数　実績１６９件（目標３０６件）

2

国際観光都市推進事業

300千円

創造都市推進局
観光交流課

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	52.1%		A	A	C	C	統合

（事業概要、事業実績等）
日本のインバウンド市場の拡大を目的とした国際観光振興機構に加盟し、インバウンド誘致や宣伝活動に取り組んだことに加え、新型コロナウイルス感染症により運休となっていた海外路線が順次運航を再開したことから、インバウンドが増加したものの、目標値を達成することはできなかった。

◎観光案内所利用者数（外国人）
実績１１，４５７人（目標２２，０００人）

3

観光コンベンション振興推進事業

67,017千円

創造都市推進局
観光交流課

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	63.6%		A	A	B	B	改善継続

（事業概要、事業実績等）
観光客及びＭＩＣＥ誘致を図るために、（公財）高松観光コンベンション・ビューローに運営補助金を交付し、サンポート高松地区でのイベント開催やＭＩＣＥ振興に取り組み、高松シンボルタワーの来場者数は、前年度比６．１ポイントの増加となった。

◎高松シンボルタワー来場者数
実績１，５９７，０００人（目標２，５１２，０００人）

4

「気持ち高まる、高松。」シティプロモーション事業

5,158千円

創造都市推進局
観光交流課

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	70.6%		A	A	B	B	改善継続

（事業概要、事業実績等）
日・英・韓・繁体・簡体の５言語に対応した本市観光サイト「エクスペリエンス高松」において、本市ならではの体験型コンテンツや観光スポット、旅ナカでのお役立ち情報など、地域資源の魅力を広く発信した。

◎地域魅力度市区町村順位（地域ブランド調査）
実績１１０位（目標８５位）

5

誘客促進事業

151,622千円

創造都市推進局
観光交流課

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
一般重点	90.8%	80.4%	A	A	D	B	継続

（事業概要、事業実績等）
香川県、香川県観光協会、（公財）高松観光コンベンション・ビューロー等と連携して、定期路線のある東アジアからのインバウンド誘客について、情報発信を中心に取り組んだ。
なお、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが５類に移行したことにより、インバウンド及び国内旅行が増加したものの、目標を達成することはできなかった。

◎香川県の延べ宿泊者数　実績４２３万人（目標４６６万人）
◎観光施設等利用者数　実績５７１万人（目標７１０万人）

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
6	共同観光宣伝事業 8,484千円 創造都市推進局 観光交流課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			80.4%	A	A	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 他自治体と連携して国内誘客キャンペーンを実施したほか、わがかがわ観光推進協議会のパンフレット制作を実施することができた。 ◎観光施設等利用者数　実績５７１万人（目標７１０万人）						
7	観光客誘致宣伝事業 38,858千円 創造都市推進局 観光交流課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			80.4%	A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） ポストコロナにおける旅行需要の高まりを見据え、本市が旅の目的地として選定されるように、誘客型観光パンフレットを刷新し、主要箇所に設置した。 なお、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが５類に移行したことにより、インバウンド及び国内旅行が増加したものの、目標を達成することはできなかった。 ◎観光施設等利用者数　実績５７１万人（目標７１０万人）						

令和５年度　政策の概要調書

総合計画体系		
	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
	政　策	国際・国内交流の推進と定住の促進

総合評価
D

１　政策の概要

海外の姉妹・友好都市等との親善交流や民間団体への助成を通して、国際交流の推進を図るとともに、地域に暮らす全ての人々が文化や習慣の違いを認めながら、共に生活していく多文化共生のまちづくりを進めます。
また、国内の各都市との交流を推進することにより、交流人口の増加や地域の活性化に努めます。
また、たかまつ移住応援隊による市民目線での本市の魅力発信など、移住・交流の促進に努めます。

２　政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
国際・国内交流の推進	58%	C
移住・交流の促進	50%	D
平均	54%	D

３　政策の評価

国際・国内交流の推進と定住の促進に向けて、２施策に取り組んだ。
「国際・国内交流の推進」では、設定する２つの成果指標について、前年度に比べ改善傾向にあるものの、目標に届かなかった。
「移住・交流の促進」では、設定する２つの成果指標のうち、年間社会増において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を達成した。
以上により、政策を構成する施策の平均得点率は５４％となり、政策の目指す目標の達成に向けて一層の取組が必要であることから、本政策の総合評価は「D」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
国際・国内交流の推進	22.1%	12.6%	48.7%
移住・交流の促進	17.5%	18.4%	55.9%
平均	19.8%	15.5%	52.3%

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	国際・国内交流の推進

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
25,226千円	C	22.1%	48.7%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政　策	国際・国内交流の推進と定住の促進
担当局	創造都市推進局

対象	市民	意図	海外の姉妹・友好都市や国内の提携都市等との多彩な交流活動を推進し、国内外の様々な地域との相互理解を深める。

概要（実績）

国際交流については、海外の姉妹・友好都市等との間で交流事業を推進するとともに、（公財）高松市国際交流協会の実施する事業に対して助成することにより、市民レベルでの交流活動を促進し、市民の国際感覚の涵養につなげた。

また、英語及び中国語に専門性を有する職員を配置し、翻訳業務を行ったほか、在住外国人への情報提供や市役所を訪れる外国人に対して通訳支援を行うなど、在住外国人等への語学面での支援を行った。

国内交流については、都市提携をしている都市との交流を行うことにより、交流人口の増加につなげた。

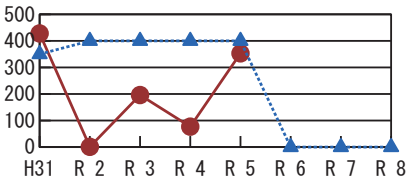
成果指標

①

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
姉妹・友好都市等との交流事業参加者数	353人	400人	88.3%

状況：新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが５類に移行したことなどに伴い、姉妹・友好都市等との交流活動が徐々に再開したことに加え、トゥール市との姉妹都市提携３５周年記念事業の開催等により、交流事業参加者数が増加したものの、コロナ禍前の水準には戻らず、目標を達成することはできなかった。

達成度の推移

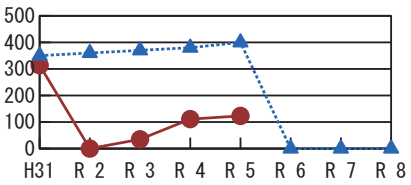


②

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
国内の提携都市との交流事業参加者数	123人	400人	30.8%

状況：新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが５類に移行したことなどに伴い、交流事業参加者数は前年度より増加したものの、目標を達成することができなかった。

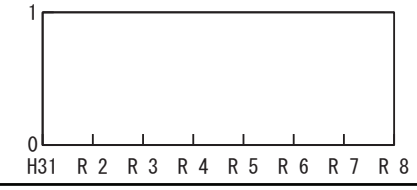
達成度の推移



③

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度

達成度の推移



施策の課題

国際交流・国内交流ともに、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが５類に移行したことにより、交流活動を徐々に再開することができた。

今後は、対面での交流に加え、コロナ禍で新たに生まれたリモートでの交流なども活用することで、より効率的かつ効果的に交流を推進する必要がある。

施策の方向性

国際交流においては、姉妹・友好都市等との交流を推進することにより、市民が異なる文化や習慣を理解し、尊重することのできる国際感覚の醸成を図る。

国内交流においては、提携都市との交流を推進することにより、人が行きかう、活力あるまちづくりを進める。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	（評価対象外）魅力にあふれ人が輝く創造都市推進事業 1,148千円 創造都市推進局 産業振興課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 創造都市推進審議会及び創造都市推進懇談会を開催し、委員の意見を反映させながら策定した第２次高松市創造都市推進ビジョンに掲載される、各種創造的事業の進捗管理を行ったほか、令和６年度を始期とする第３次高松市創造都市推進ビジョンを策定した。 また、国内の創造都市の普及・発展を図ることを目的に設立された創造都市ネットワーク日本の活動にも積極的に参画するなど、「創造都市高松」の実現に寄与した。							
2	国際交流推進事業 10,623千円 創造都市推進局 都市交流室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			88.3%		A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 海外の姉妹・友好都市等との間で、交流事業を行うとともに、（公財）高松市国際交流協会の実施する事業に対して助成を行うことにより、国際交流を推進した。 なお、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが５類に移行したことなどに伴い、交流事業参加者数は増加したものの、コロナ禍前の水準にまでは戻らず、目標を達成することはできなかった。 ◎姉妹・友好都市等との交流事業参加者数　実績３５３人（目標４００人）							
3	国内交流推進事業 500千円 創造都市推進局 都市交流室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			30.8%		A	A	A	D	継続
		（事業概要、事業実績等） 国内の提携都市との間で、相互訪問による交流事業を実施したことにより、地域間交流を推進した。 なお、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが５類に移行したことなどに伴い、交流事業参加者数は前年度より増加したものの、目標を達成することはできなかった。 ◎交流事業参加者数　実績１２３人（目標４００人）							
4	姉妹城都市等観光交流事業 1,570千円 創造都市推進局 観光交流課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			200.0%		A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 提携都市において開催される物産展に参加することにより、本市の観光や特産品のＰＲ及び都市間の交流を推進することができた。 ◎交流イベント等開催回数　実績６回（目標３回）							
5	多文化共生推進事業 11,385千円 創造都市推進局 都市交流室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			39.1%		A	A	A	C	継続
		（事業概要、事業実績等） 高い外国語能力を有する職員３人を配置し、行政情報等の翻訳業務を行ったほか、市役所を訪れる外国人に対して通訳支援を行った。 また、「外国人対応に係る庁内連絡会議」を開催し、庁内において、外国人対応を円滑に行うための情報共有や意見交換等を行った。 これらの取組により、庁内の行政情報の多言語化が一定、進んだことや、通訳機能付き端末等が普及したことなどにより、通訳・翻訳の機会が減少したため、目標を達成することはできなかった。 ◎通訳・翻訳回数　実績２８９回（目標７４０回）							

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	移住・交流の促進

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
42,555千円	D	17.5%	55.9%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政　策	国際・国内交流の推進と定住の促進
担当局	政策局

対象	市外に居住しており、地方への移住を考えている人	意図	東京圏に居住している若い世代を中心に、本市への移住者を増加させることにより、たかまつ創生総合戦略に掲げる数値目標の一つである「令和６年に１年間の社会増を１，０００人」の実現を目指す。

概要（実績）

令和５年３月に策定した、たかまつライフ促進プランに基づき、新たに、関係人口の創出・拡大に向けたオンライン関係人口コミュニティや若者のＵターン就職等を促進する奨学金返還支援制度等の複数の新規事業を創設した。
また、第７次高松市総合計画の策定に合わせ、施策の全面的見直し作業を行った。

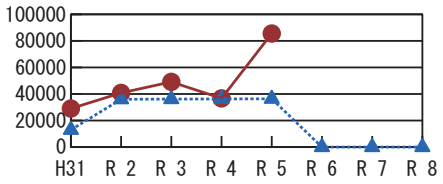
成果指標

①

指標名	高松市移住ナビ（ホームページ）閲覧件数	R 5実績	R 5目標	達成度
		85,540件	36,380件	235.1%

状況：高松市移住ナビの閲覧件数は、インターネット広告の配信方法の見直しにより、前年度より大幅に増加し、目標を達成することができた。

達成度の推移

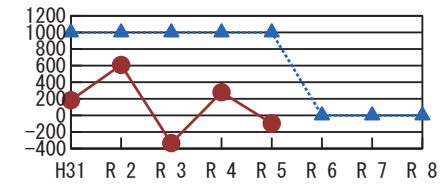


②

指標名	年間社会増	R 5実績	R 5目標	達成度
		-97人	1,000人	0.0%

状況：全国的な東京圏一極集中の再拡大のため、本市の社会動態が２年ぶりに社会減となったことにより、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

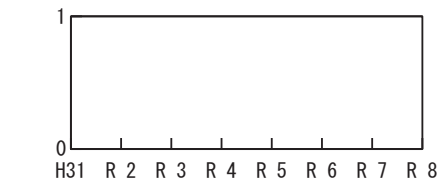


③

指標名		R 5実績	R 5目標	達成度

状況：

達成度の推移



施策の課題

若い世代を中心に、本市から大都市圏への転出超過の傾向が継続していることから、大都市圏在住者に向けた転職なき移住の促進や市内出身の若者のＵターンにつながる効果的な取組の推進のほか、東京圏等におけるシティプロモーションの取組と連携した関係人口の更なる創出・拡大に取り組む必要がある。

施策の方向性

全国的に東京圏への人口一極集中が再拡大する中、東京圏を始めとした大都市圏からの関係人口や移住者の増加につなげるため、「関係人口の創出・拡大」「移住の促進」「定住の促進」のそれぞれの取組を推進するとともに、シティプロモーションの取組や東京事務所による活動とも連携しながら、テレワークや二地域居住等の多様なライフスタイルの普及のほか、若年層の県外流出の拡大など、社会情勢の変化に対応した取組を積極的に展開する。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1 生涯活躍のまちづくり推進事業 政策局 地域活力推進室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		98.3%	25.0%	C	C	B	C	改善継続
	（事業概要、事業実績等） 平成３０年度に策定した高松版生涯活躍のまち構想の考え方をコミュニティプランに取り入れるため、地域コミュニティ協議会がコミュニティプランを見直す際に、相談対応を行うこととしている。 ◎５０代及び６０代の市民における「住みやすさ」に対する市民満足度 実績８９．０５％（目標９０．６％） ◎コミュニティプランに生涯活躍のまちの考え方を盛り込んだコミュニティ協議会の数　実績１地区（目標４地区）							
2 政策コンテスト開催事業 3,600千円 政策局 政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	一般重点	105.3%		A	B	B	A	改善継続
	（事業概要、事業実績等） 本市が将来も若者から選ばれるまちとなるよう、将来を支える若者のアイデアを本市の政策に取り入れるとともに、若者の地元への愛着を深めることを目的として、政策コンテストを開催した。 ◎コンテスト参加者アンケートによる愛着が高まったとする割合 実績１００％（目標９５％）							
3 移住・定住促進事業 34,965千円 政策局 地域活力推進室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	特別重点	0.0%	79.6%	A	B	B	D	改善継続
	（事業概要、事業実績等） 令和５年３月に策定した、たかまつライフ促進プランに基づき、オンライン関係人口コミュニティ、テレワーク移住補助金、奨学金返還支援制度等、社会情勢の変化に対応した新たな取組を行った。 また、オンライン移住相談や、香川県と連携した移住相談を開催するなど、移住相談体制を拡充した。 ◎年間社会増（１月～１２月）　実績△９７人（目標１，０００人） ◎本市主催の移住・定住促進イベント等への参加者数 実績２０７人（目標２６０人）							
4 シティプロモーション推進事業 3,990千円 政策局 広聴広報・シティプロモーション課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		101.9%		A	A	B	A	拡充
	（事業概要、事業実績等） 令和５年１１月に委嘱したシティプロモーションプロデューサーの東京での活動を通じた本市と東京圏のメディア関係者とのネットワークづくり、本市ＰＲ動画の新宿アルタビジョンでの放映など、大都市圏での活動を行った。 また、本市の認知度向上とシビックプライドの醸成を図るため、人的ネットワークの運営業務委託を行った。 ◎市公式ホームページ及び市公式観光サイトへのアクセス合計数 実績３５，３７２，２８５件（目標３４，７００，０００件）							

（4）安全で安心して暮らし続けられるまち

令和５年度　政策の概要調書

総合計画体系		
	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
	政　策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成

総合評価
A

1　政策の概要

安全で安心して暮らせる社会環境の形成を図るため、防災体制の整備・充実により、南海トラフ地震を始めとする各種災害への対応能力の向上を図るとともに、災害・緊急時において、迅速かつ的確に対応できる消防・救急の充実強化や防災・減災対策の充実に努めます。

また、交通事故のない社会を目指し、市民及び警察等関係機関と連携した取組など、交通安全対策の充実を図ります。

また、防犯体制の整備や食品・環境衛生対策など生活衛生の向上、消費者の権利保護と自立促進に努めます。

2　政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
消防・救急の充実強化	100%	A
防災・減災対策の充実	90%	A
交通安全対策の充実	100%	A
防犯体制の整備	100%	A
生活衛生の向上	50%	D
消費者の権利保護と自立促進	96%	A
平均	89%	A

3　政策の評価

安全で安心して暮らせる社会環境の形成に向けて、６施策に取り組んだ。

「消防・救急の充実強化」、「防災・減災対策の充実」、「交通安全対策の充実」、「防犯体制の整備」及び「消費者の権利保護と自立促進」の５施策では、設定する７つの成果指標について、目標を達成又はおおむね達成した。

「生活衛生の向上」では、設定する２つの成果指標のうち、食品衛生等違反指導率において、ＨＡＣＣＰに沿った衛生管理の義務化等に伴い指導件数が増加したことなどにより、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は８９％となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
消防・救急の充実強化	52.6%	7.9%	82.9%
防災・減災対策の充実	32.0%	15.3%	84.9%
交通安全対策の充実	28.6%	24.8%	77.9%
防犯体制の整備	28.2%	20.7%	76.6%
生活衛生の向上	33.6%	10.2%	61.5%
消費者の権利保護と自立促進	21.1%	11.0%	51.4%
平均	32.7%	15.0%	72.5%

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	消防・救急の充実強化

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
1,044,071千円	A	52.6%	82.9%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政　策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成
担当局	消防局

対象	意図
市民	生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、水火災又は地震等の災害を防除し、これらの災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行う。

概要（実績）

総合的な消防力の充実強化を図るため、老朽化した消防車輌を計画的に更新したほか、北部分団消防屯所、前田分団第１部消防屯所及び庵治分団第４部新開消防屯所の移転整備に着手するなど、消防屯所整備を計画的に進めることで、消防体制及び地域防災力を充実強化した。

成果指標

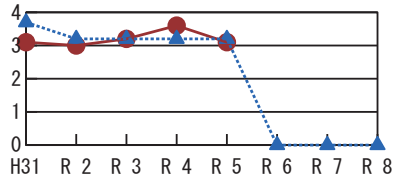
①

指標名：出火率

R 5実績	R 5目標	達成度
3.1%	3.2%	103.1%

状況：火災予防に関する巡回広報等を実施し、林野火災や枯草火災の出火防止に取り組んだ結果、火災件数が前年度比１６．３ポイント減少したため、目標を達成することができた。

達成度の推移



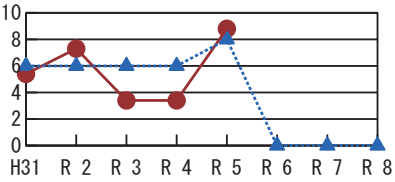
②

指標名：救命率

R 5実績	R 5目標	達成度
8.8%	8%	110.0%

状況：市民等に対する応急手当普及啓発活動や指導救命士を中心とした救急隊員教育を推進し、救命率の向上に取り組んだ結果、目標を達成することができた。

達成度の推移



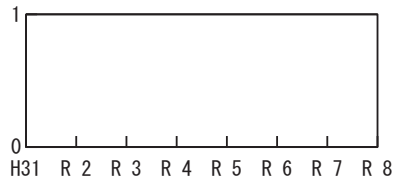
③

指標名：

R 5実績	R 5目標	達成度

状況：

達成度の推移



施策の課題

ハード面における消防力の充実強化を図るため、老朽化した消防署所の再整備及び消防車輌の更新等を計画的に進める必要がある。また、消防屯所の整備においては、地域防災の拠点であることから、地震、津波、高潮及び洪水等の対応も考慮した整備を行う必要がある。

一方、ソフト面では、消防需要の多様化に対応するため、消防団員の加入促進を図るほか、消防団を始めとする地域コミュニティなど関係団体との連携を強化し、地域が持つ防災力を高め、総合的な消防力の強化に努める必要がある。

施策の方向性

消防力の充実強化を図るため、引き続き、老朽化した消防署及び消防屯所の再整備並びに消防車輌の更新等を計画的に進める必要がある。

また、地域コミュニティの変容や高齢化、人口減少等による消防需要の多様化に対応するため、消防団員の加入促進に努めるとともに、消防団を始めとする関係団体との連携強化により地域防災力を高め、総合的な消防力の強化に努める必要がある。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
（評価対象外）救急艇等管理事業 36,229千円 消防局 消防局総務課								
	（事業概要、事業実績等） 女木島・男木島・大島などの本市島しょ部において、迅速な救急搬送体制を構築するため、救急艇の適切な運航管理を行った。							
2	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
（評価対象外）消防屯所管理事業 9,886千円 消防局 消防局総務課								
	（事業概要、事業実績等） 市内９５か所の消防屯所の維持管理を適切に行うとともに、必要な施設の修繕等を計画的に実施するなど、消防屯所の適切な管理を行った。							
3	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
（評価対象外）消防車輌整備事業 344,061千円 消防局 消防局総務課								
	（事業概要、事業実績等） 常備消防車輌７５台と非常備消防車輌１０９台の点検、修繕、保険、燃料関係等を計画的に実施するとともに、老朽化した消防車輌を計画的に更新整備し、消防体制を充実強化した。 なお、消防車輌の調達に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：１０７，８７４，０００円）							
4	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
（評価対象外）消防水利整備事業 18,417千円 消防局 消防局総務課								
	（事業概要、事業実績等） 消防水利の基準に基づき、消防活動に必要な消火栓４３個を整備するなど、消防力を向上させた。 なお、前年度からの繰越事業である前田東町防火水槽撤去工事については完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：２，７２５，１００円）							
5	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
（評価対象外）消防職員研修事業 16,246千円 消防局 消防局総務課								
	（事業概要、事業実績等） 複雑化・高度化する災害活動に、適切に対応できる消防職員を育成するため、消防大学校及び消防学校に職員を派遣するとともに、救急救命士を養成するための研修に派遣するなど、職員の資質を向上させた。							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
6	（評価対象外）消防活動事業 64,378千円 消防局 消防局総務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 消火防災・救急救助における災害現場活動に必要な資器材の購入及び修繕などを計画的に実施するとともに、重大な違反のある防火対象物の是正を重点的に行うなど、安全安心に暮らせるまちづくりに寄与した。							
7	北消防署再整備事業 719千円 消防局 消防局総務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点			A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 老朽化・狭あい化に伴う再整備のための整備用地について、土地の広さ、高さ、進入路等を考慮し、民間用地を含めた検討を行った。							
8	（評価対象外）消防屯所整備事業 113,144千円 消防局 消防局総務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 建物の老朽度、狭あい度など総合的に勘案して策定した消防屯所整備計画に基づき、屋島分団統合消防屯所（仮称）の建設用地を取得したほか、北部分団消防屯所の建設並びに前田分団第１部消防屯所及び庵治分団第４部新開消防屯所に係る造成工事に着手した。 なお、設計内容の検討に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：３７，４１０，０００円） また、前年度からの繰越事業である前田分団第１部消防屯所造成設計及び北部分団消防屯所造成工事については完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：１９，７９６，７００円）							
9	（評価対象外）消防業務受託事業 47,702千円 消防局 消防局総務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 地方自治法第２５２条の１４第１項の規定に基づき、三木町、綾川町からの委託を受けている消防事務を、適切に管理し、執行した。 なお、物品の調達に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：３５８，０００円）							
10	（評価対象外）消防署所管理事業 129,995千円 消防局 消防局総務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 消防署所の電気、ガス、水道、電話等に係る経費を適切に管理するとともに、電気工作物等設備の保守点検、ごみの収集、庁舎等清掃、庁舎修繕を行うなど、消防署所の適正管理を行った。							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容							
11	（評価対象外）消防事務管理事業 80,689千円 消防局 消防局総務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 会計年度任用職員報酬を始め、職員の福利厚生や被服費、事務に関する経費を適切に管理するとともに、消防施設整備基金の適切な運用を行い、消防事務を円滑に実施した。 なお、物品の調達に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：２，６８３，０００円）							
12	（評価対象外）消防団活動推進事業 182,605千円 消防局 消防局総務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 消防団活動に必要な報酬及び旅費を始め、退職・災害補償及び福祉共済に関する経費や団員の研修、表彰、被服費等を適切に管理することにより、地域防災力を維持した。							

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	防災・減災対策の充実

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
205,158千円	A	32.0%	84.9%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政　策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成
担当局	総務局、都市整備局

対象	市民等	意図	市民等の防災意識を高めるとともに、地域及び国・県等防災関係機関と連携し、防災・減災対策の充実を図る。

概要（実績）

【総務局】災害情報や避難に関する情報等を確実に発信するため、同報系防災行政無線の維持管理を行い、災害時の緊急放送体制維持に寄与した。また、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが５類に移行したことから、従来型の防災訓練を実施するよう訓練指導を行ったことにより、地域における防災訓練実施率が２．３ポイント向上した。
【都市整備局】民間住宅及び耐震診断が義務化された建築物などの耐震化に取り組むほか、鉄道事業者が実施する老朽化施設の長寿命化事業に要する費用の一部を助成し、今後発生が予測される大規模地震や劣化による鉄道施設の被害の軽減に寄与した。

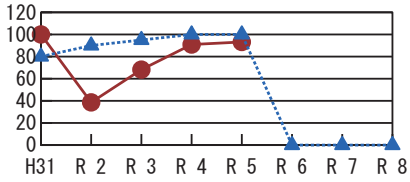
成果指標

①

指標名	地域における防災訓練の実施率	R 5実績	R 5目標	達成度
		93.2%	100%	93.2%

状況：新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが５類に移行し、大規模な防災訓練を実施する地域が増えたことにより、前年度と比較して２．３ポイント向上した。

達成度の推移

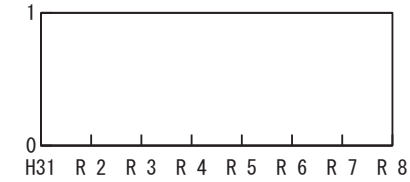


②

指標名		R 5実績	R 5目標	達成度

状況：

達成度の推移

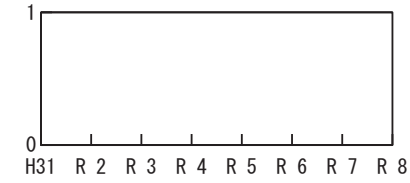


③

指標名		R 5実績	R 5目標	達成度

状況：

達成度の推移



施策の課題

【総務局】防災ラジオの電波を受信しにくい地域の改善など、災害時の緊急放送体制の整備を進める。
また、従来型の訓練に加え、新たな訓練企画を提案するなど、実効性のある訓練を実施する。
【都市整備局】大雨の発生頻度が高まっており、県と連携して急傾斜地崩壊防止事業を推進する。
また、住宅・建築物について、国の補助制度を活用し、耐震化を促進する。
さらに、鉄道事業者が実施する長寿命化事業の費用の一部を助成し、鉄道施設の長寿命化を推進する。

施策の方向性

安全で安心して暮らせる環境整備のため、着実に各事業を継続して実施する。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	（評価対象外）防災行政無線事業 32,483千円 総務局 危機管理課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） デジタル式同報系防災行政無線が円滑に作動するように、保守点検を実施した結果、災害時における市民への情報伝達及び災害対策本部の情報収集・伝達等に係る機器の適切な運用・維持に効果があった。							
2	デジタル式同報系防災行政無線整備事業 370千円 総務局 危機管理課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
					A	B	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 指定避難所である玉藻中学校の戸別受信機の電波の受信環境が悪化したことにより、電波を正常に受信できなくなっていたため、戸別受信機用アンテナを新たに設置し、避難発令等の災害情報伝達が正確かつ迅速化され、災害発生時の被害の最小化に寄与することができた。 また、旧屋島分団第１部消防屯所に設置している防災行政無線の屋外拡声子局は、同屯所から電源を引き込んでいたが、同屯所を取り壊すことになったため、電源の引き込み工事を行うことにより、防災行政無線の適切な維持に寄与することができた。							
3	防災ＩｏＴ利活用事業 1,931千円 総務局 危機管理課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			0.8%	110.0%	A	A	B	C	統合
		（事業概要、事業実績等） 防災ＩｏＴにより収集したデータを、水防本部設置時の災害対応や避難情報の発令等に活用した。 市民への公開に関しては、システムの変更や改修など過渡期であり、より良い表示について検討を行った。 ◎水防本部等設置時の共通プラットフォームへのアクセス件数 実績２８．５件／日（目標３，５００件／日） ◎ＩｏＴ共通プラットフォーム上に表示する防災関連データソース数 実績１１件（目標１０件）							
4	（評価対象外）防災事業 5,124千円 総務局 危機管理課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 災害時における避難が迅速に行えるよう、指定避難所、指定緊急避難場所に設置してある避難標識柱の整備、修繕等維持管理を行い、防災啓発の向上に寄与した。							
5	（評価対象外）国民保護推進事業 総務局 危機管理課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 高松市国民保護計画について、修正等の必要が生じた場合に開催する高松市国民保護協議会について、任期満了等に伴う手続きを進めるとともに、計画及び協議会の内容を広く市民へ周知するため、広報紙及び市ホームページ等に掲載した。							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容						
	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
6 （評価対象外）地震災害等救援事業 6,890千円 総務局 危機管理課							
	（事業概要、事業実績等） 令和６年能登半島地震の被災地に対し、救援物資の輸送、避難所における避難者の健康管理、被災家屋の被害認定調査、避難所廃棄物の収集・運搬業務等の支援を行った。						
7 市民防災力向上推進事業 2,247千円 総務局 危機管理課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		86.8%	B	A	B	B	継続
	（事業概要、事業実績等） 毎月防災まちカフェを開催するとともに、防災啓発ラジオ番組を制作し、放送することにより、防災の情報に触れる機会をつくり、市民の防災力向上に寄与した。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、まちカフェの開催については、令和４年度から防災プラザでの会場参加とＷｅｂ参加を併用するハイブリッド形式での開催としている。 ◎ぼうさいまちカフェ年間参加人数　実績２５０人（目標２８８人）						
8 （評価対象外）地域防災計画見直し事業 総務局 危機管理課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 市民の迅速な避難行動や被害の軽減を目的として策定されている地域防災計画の見直しを行うとともに、災害対策基本法に基づく防災会議の委員について、任期満了に伴う委嘱に係る手続きを進めた。						
9 地域防災対策事業 2,571千円 総務局 危機管理課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		80.0%	A	A	B	B	継続
	（事業概要、事業実績等） 行政による災害対策はもとより、市民一人一人が「自らの命は自らが守る」意識を持って、防災・減災に向けた具体的な取組を進めていくことが求められていることから、地域における防災力及び市民の防災意識の向上を目的として、市民防災講演会を開催した。 ◎高松市民防災講演会参加人数　実績８０人（目標１００人） なお、関係機関との協議に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：２９，５７５，０００円）						
10 自主防災組織等育成事業 2,752千円 総務局 危機管理課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		87.1%	B	A	A	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 地域コミュニティ協議会が実施する防災訓練に、非常食品や職員派遣などの支援を行ったことから、新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた従来型防災訓練を再開する地域が増加した。 ◎避難所運営訓練又は安否確認訓練実施率　実績６１％（目標７０％）						

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容						
11 急傾斜地崩壊防止事業 42,017千円 都市整備局 河港課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		100.0%		A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 香川県急傾斜地崩壊対策事業補助要綱に基づく採択基準に合致した市内２か所において、急傾斜地崩壊による災害から市民の安全を守るため、崩壊防止対策事業を実施した。また、急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律に基づき、県が施行する急傾斜地崩壊対策事業に対し、費用の一部を負担した。 ◎完成までの進捗率　実績１００％（目標１００％） なお、県が施行する急傾斜地崩壊対策事業については、事業主体である県が事業の一部を繰り越したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：１２，９１７，０００円） また、前年度からの繰越事業である、県が施行する急傾斜地崩壊対策事業については完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：１７，９９０，０００円）							
12 鉄道施設安全対策事業 32,309千円 都市整備局 都市計画課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		100.0%	113.0%	A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 鉄道事業者が実施する老朽化施設の長寿命化事業に要する費用の一部を助成したことにより、今後発生が予測される大規模地震や劣化による鉄道施設の被害の軽減に寄与した。 ◎耐震補強化率（事業費ベース）　実績１００％（目標１００％） ◎長寿命化率（事業費ベース）　実績８７％（目標７７％）							
13 住宅建築物耐震改修等事業 38,424千円 都市整備局 建築指導課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	一般重点	81.5%	100.6%	B	B	B	B	継続
	（事業概要、事業実績等） 住宅・建築物の耐震化を推進し、地震時の建物の倒壊等により発生する人的、経済的被害を軽減するため、住宅のほか、緊急輸送道路沿いや耐震診断が義務化された民間建築物に対し、耐震診断・改修等に要する費用の一部を補助した。 ◎民間住宅の耐震診断実施済棟数（累計） 実績１，３２１棟（目標１，６２０棟） ◎民間住宅の耐震改修実施済棟数（累計）　実績５３８棟（目標５３５棟）							
14 盛土安全対策事業 6,830千円 都市整備局 建築指導課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	特別重点	0.0%		A	A	B	D	継続
	（事業概要、事業実績等） 盛土等に伴う災害が発生するリスクのあるエリアを規制区域に指定するために必要な基礎調査を実施した。 ◎基礎調査の進捗率　実績０％（目標５０％） なお、関係機関との協議に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：１５，９７０，０００円）							
15 （評価対象外）水防対策事業 22,917千円 都市整備局 水路対策調整室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 水防法に基づき市域内の水防責任を十分に果たすため、水防本部を設置し、水災害の軽減を図るため水防活動を推進したほか、水防用資機材の購入整備等を実施し、安全で安心して暮らせる環境整備に寄与した。							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
16	災害時緊急物資備蓄事業 8,293千円 総務局 危機管理課		100.0%		A	B	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 高松市災害時緊急物資備蓄計画に基づき、南海トラフを震源とする最大クラスの地震が発生した場合に必要不可欠な緊急物資を備蓄するとともに、保存期限を有する備蓄物資について、計画的に更新を行った。 ◎賞味期限切れ前備蓄物資の総数 実績６０，６５７個（目標６０，６５７個）						

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	交通安全対策の充実

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
117,062千円	A	28.6%	77.9%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政　策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成
担当局	市民局、都市整備局

対象	市民	意図	交通安全教育・啓発活動を推進し、交通安全意識の向上を図り、市民が道路を安心して、安全に通行できる環境を整える。

概要（実績）

高松市交通安全都市推進協議会や交通安全母の会連絡協議会等の交通安全活動団体に対して助成を行ったほか、交通安全教室（１，５２０回）や交通安全啓発街頭キャンペーン、高齢者運転免許証返納促進事業（１，２３８回）を実施したことにより、市民の交通安全意識の向上と高齢者の交通事故防止に寄与した。
また、道路反射鏡（カーブミラー）等の交通安全施設を整備したほか、番町地下道や荷捌き駐車スペースの管理を関係機関と連携して行うとともに、放置自動車対策にも取り組むなど、交通環境を整備した。

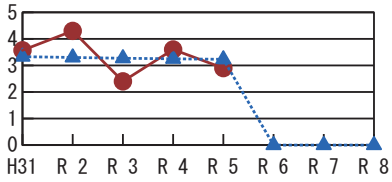
成果指標

①

指標名	人口１０万人当たりの交通事故による死者数	R 5実績	R 5目標	達成度
		2.9人	3.23人	110.2%

状況：交通事故による死者数は、令和４年の１５人（うち高齢者１３人）から、令和５年は１２人（うち高齢者７人）と３人減少し、人口１０万人当たりの交通事故死者数も０．８倍の２．９人となっている。

達成度の推移

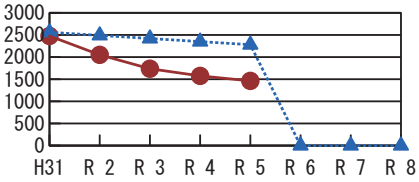


②

指標名	交通事故発生件数	R 5実績	R 5目標	達成度
		1,462件	2,280件	135.9%

状況：平成１８年をピークに交通事故発生件数は年々減少しており、令和５年も対前年比９２．８％の件数と順調に推移している。

達成度の推移

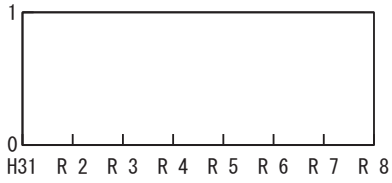


③

指標名		R 5実績	R 5目標	達成度

状況：

達成度の推移



施策の課題

高齢者に対する交通安全対策を推進するとともに、地域との協働で交通マナーの一層の向上に取り組んでいるほか、交通安全施設整備による安全対策を図るなど、安全な道路環境整備を推進している。
今後も、交通安全教育や啓発活動に取り組むとともに、道路環境整備の効果的な推進により、交通事故防止に努める必要がある。

施策の方向性

令和５年度は、市民満足度調査において不満度は多少改善されたものの、満足度は減少したため、更なる交通安全対策の充実に向け、各種事業を推進する。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容
1	交通安全教育等推進事業 27,622千円 市民局 くらし安全安心課	重点： 成果達成度：43.5%　37.9% 妥当性：A 有効性：A 効率性：C 総合評価：D 今後の方向性：改善継続 （事業概要、事業実績等） 高松市交通安全都市推進協議会等に助成するほか、市内の幼稚園児、小学生等を対象に、年齢や心身の発達状況に応じた交通安全教室を開催するとともに、その講師となる交通指導員を養成するなど、交通安全教育と啓発活動を推進し、市民の交通安全意識の向上につながった。 ◎幼稚園、保育所、小学校、中学校交通安全教室参加者数 実績１５，６６７人（目標３６，０００人） ◎高齢者交通安全教室等参加者数 実績１，８９３人（目標５，０００人）
2	交通安全啓発推進事業 409千円 市民局 くらし安全安心課	重点： 成果達成度：29.0%　80.0% 妥当性：A 有効性：A 効率性：C 総合評価：C 今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） フラワーフェスティバルと合同開催していた交通安全フェアについて、時期、場所及び内容を見直し、規模を縮小して実施した。 年３回の街頭キャンペーンは、目標どおり実施し、参加人数についても、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが５類に移行したことにより、年々参加人数は増加してきており、目標の８０％まで回復した。 ◎交通安全フェア参加者　実績１，４５０人（目標５，０００人） ◎統一街頭キャンペーン参加者数　実績６，４０１人（目標８，０００人）
3	高齢者等交通安全啓発推進事業 14,852千円 市民局 くらし安全安心課	重点：一般重点 成果達成度：74.1%　37.9% 妥当性：A 有効性：A 効率性：C 総合評価：C 今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） 交通安全フェアや高齢者を対象とした交通安全教室等の規模を縮小して行った。 また、高齢者運転免許証返納促進事業を実施し、高齢者の自動車運転中の事故発生の抑止に寄与した。 なお、持続可能な制度となるよう、対象年齢を６５歳以上から７０歳以上に見直した。 ◎６５歳以上の運転免許証自主返納者数 実績１，５１２人（目標２，０４０人） ◎高齢者交通安全教室等参加者数 実績１，８９３人（目標５，０００人）
4	違法駐車防止対策事業 都市整備局 交通政策課	重点： 成果達成度：136.0% 妥当性：A 有効性：B 効率性：B 総合評価：A 今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） 違法駐車防止重点地域に指定する５路線及び周辺８路線を含めた市街地中心部において、定期的に違法駐車の状況を調査するとともに、関係機関と協力して啓発活動を実施した。 また、高松タクシー協会から、タクシーベイの設置要望を受け、道路管理者や警察と協議を行い、自治会等に説明を行う場を設けた。 さらに、高松市駐車対策基本計画の中間見直しに係る、「高松市における駐輪場及び駐車場の機能強化に向けた基盤整備検討調査」の結果を踏まえ、今後の施設の在り方について協議した。 ◎違法駐車防止重点区域における平均瞬間違法駐車台数 実績１６．０台（目標２５．０台）
5	（評価対象外）放置自動車等対策事業 都市整備局 交通政策課	重点： 成果達成度： 妥当性： 有効性： 効率性： 総合評価： 今後の方向性： （事業概要、事業実績等） 放置自動車の発生の防止に関する指導、啓発を実施し、公共の場所における機能の保全と生活環境の維持向上に寄与した。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容							
6	（評価対象外）交通安全施設整備事業 71,889千円 都市整備局 道路管理課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 道路反射鏡（カーブミラー）、防護柵、道路区画線、道路照明灯等の交通安全施設の設置及び補修を行ったことにより、交通安全対策を充実させた。							
7	（評価対象外）番町地下道管理事業 2,290千円 都市整備局 都市計画課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） クリエイティブ高松・中央通りプロムナード事業により整備された番町地下道において、エレベーター監視設備やモニュメント類の保守点検業務を実施したことにより、安全な歩行空間の確保、憩い・安らぎの場の提供に寄与した。							

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	防犯体制の整備

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
84,122千円	A	28.2%	76.6%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政　策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成
担当局	市民局

対象	意図
市民	犯罪の未然防止や犯罪等を発生させない環境づくりを推進し、市民が安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組むとともに、各地域コミュニティ協議会が主体となった防犯活動を活性化する。

概要（実績）

地域コミュニティ協議会等に対し、防犯カメラの設置費用や電気料金の補助を実施し、安全で安心なまちづくりに寄与した。
地域の単位自治会が管理する防犯灯の新設、移設などに係る経費や電気料金等、維持管理上必要な経費の助成を一般社団法人高松市コミュニティ連合会を通じて行ったことにより、夜間における犯罪の防止と通行の安全に寄与した。
防犯協会が行う防犯活動事業に対して補助金を交付するとともに、公益財団法人香川県暴力追放運動推進センター・公益社団法人かがわ被害者支援センターへの負担金を拠出した。

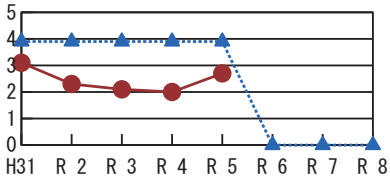
成果指標

①

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
人口千人当たりの街頭犯罪等発生件数	2.7件	3.9件	130.8%

状況：全国の刑法犯認知件数は前年比１７ポイント増で、令和４年度に引き続き増加したものの、防犯活動の推進等の効果もあり、目標を達成することができた。

達成度の推移

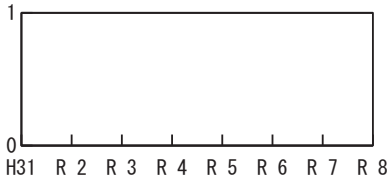


②

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度

状況：

達成度の推移

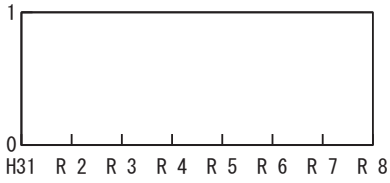


③

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度

状況：

達成度の推移



施策の課題

単位自治会の加入率が年々低下し、高齢者世帯が増加する中、個々の防犯意識の高揚を図りつつ、地域コミュニティが主体となった防犯体制を構築する必要がある。

施策の方向性

犯罪の未然防止や犯罪などを発生させない環境づくりを一層進めるため、引き続き、地域の単位自治会が管理する防犯灯の新設や維持管理に要する費用を支援するほか、防犯協会とも連携し、防犯意識の高揚を図るための取組を推進する。
また、防犯カメラの設置については、事業元が令和６年度に香川県警察から香川県へ変更されたため、今後の補助内容について香川県と連携を図り対応を行う。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

<table>
<tr><th colspan="2">事務事業名及び事業費
担当課</th><th colspan="8">事業内容</th></tr>
<tr><td rowspan="3">1</td><td rowspan="3">防犯活動推進事業

1,969千円

市民局
くらし安全安心課</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td></td><td>57.0%</td><td>130.8%</td><td>A</td><td>A</td><td>B</td><td>B</td><td>継続</td></tr>
<tr><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
地域の防犯体制を確保し、市民の安全と安心を守る環境維持のため、香川県警察防犯カメラ設置促進事業補助金を活用して、地域コミュニティ協議会等が設置・管理する防犯カメラについて、設置費の一部と稼働に係る電気料金を補助した。

◎青色防犯活動助成達成率　実績５７％（目標１００％）
◎人口千人当たりの街頭犯罪等発生件数　実績２．７件（目標３．９件）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">2</td><td rowspan="3">防犯組織・環境整備事業

82,153千円

市民局
くらし安全安心課</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td></td><td>110.6%</td><td></td><td>A</td><td>A</td><td>B</td><td>A</td><td>継続</td></tr>
<tr><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
防犯協会が行う防犯活動事業に対して補助金を交付するとともに、公益財団法人香川県暴力追放運動推進センター・公益社団法人かがわ被害者支援センターへの負担金を交付し、各団体の活動を支援した。
地域の単位自治会が管理する防犯灯の新設、移設などに係る経費や電気料金など維持管理上必要な経費の助成を一般社団法人高松市コミュニティ連合会を通じて行ったことにより、夜間における犯罪の防止と通行の安全に寄与した。

◎総防犯灯数　実績３０，０７７灯（目標２７，１８８灯）</td></tr>
</table>

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	生活衛生の向上

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
517,444千円	D	33.6%	61.5%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政　策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成
担当局	健康福祉局、市民局

対象	意図
市民	飲食店営業施設等の食品関係営業施設や毒物劇物営業施設、旅館業営業施設等諸営業施設、ペットショップ等の動物取扱施設における監視・指導や流通食品の収去検査等を行うほか、墓地、斎場の安定的な維持・運営等を実施することにより、衛生水準の向上に努め、安全で快適な市民生活の推進に寄与する。

概要（実績）

- 墓園・墓地整備事業　　新規墓所使用許可数５０区画
- 食品衛生監視指導事業　　食品営業施設の監視件数４，４６５件
- 衛生試験検査事業　　食品の収去等検査件数３０６件
- 食肉衛生検査事業　　と畜検査頭数１２，０１５頭
- 毒物劇物監視指導事業　　毒物劇物販売業者等への監視件数１１３件
- 動物愛護管理事業　　動物愛護推進員数２２人
- 環境衛生諸営業等監視指導事業　　環境諸営業監視件数３７３件

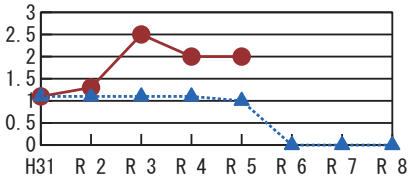
成果指標

①

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
食品衛生等違反指導率	2%	1%	0.0%

状況：令和３年６月に食品衛生法が改正され、許可制度の見直しにより許可施設数が減少した一方、ＨＡＣＣＰに沿った衛生管理の義務化等により、指導件数が増加したため、違反指導率の目標を達成することができなかった。

達成度の推移

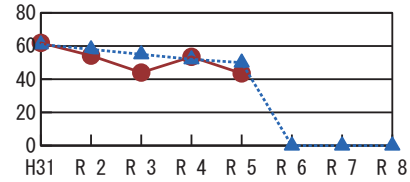


②

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
犬・猫の殺処分率	43.5%	50%	113.0%

状況：さぬき動物愛護センターを中心に、犬猫を積極的に譲渡するとともに、犬猫のみだりな繁殖防止や迷子対策を実施したことにより、殺処分率は減少し、目標を達成することができた。

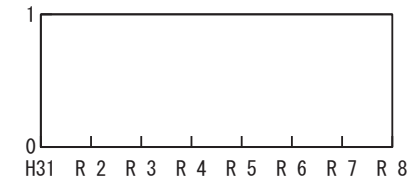
達成度の推移



③

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度

達成度の推移



施策の課題

【市民局】墓地環境の適正な維持管理及び需要に応じた墓所の供給が求められている。また、施設の適切な維持管理により、斎場業務を円滑に実施する。
【健康福祉局】食に関する市民の関心が高まったことなどから、食品の安全確保対策を、より一層強化するほか、各種衛生対策や動物愛護の普及啓発等を積極的に実施する。

施策の方向性

【市民局】直ちの新規区画の整備は行わないこととするが、高松市営墓地の整備及び管理についての方針に基づき、今後の墓地整備の検討を進める。
　また、市斎場施設の修繕を計画的に実施する等、適切な維持管理に努め、斎場業務を円滑に実施する。
【健康福祉局】食品衛生法に基づく各種営業施設等に対する監視・指導などの食品衛生対策を推進するほか、動物愛護の推進を図ることにより、引き続き、生活衛生の向上に取り組んでいく。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容
1	害虫駆除事業 33,375千円 健康福祉局 生活衛生課	重点： 成果達成度：100.0% 妥当性：A 有効性：A 効率性：B 総合評価：A 今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） 感染症の原因となる蚊の駆除を行うことにより、感染症の蔓延を未然に防止した。 ◎衛生害虫（主に蚊）媒介感染症罹患者数（海外渡航後発症等を除く） 実績０人（目標０人）
2	公衆浴場施設改善事業等助成事業 10,479千円 健康福祉局 生活衛生課	重点： 成果達成度：83.3% 妥当性：A 有効性：A 効率性：B 総合評価：B 今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） 風呂のない家庭や地域住民の交流の場としての機能を持つ公衆浴場施設の活性化を図るため、公衆浴場業者等へ助成事業を行い、公衆衛生の向上に寄与した。 また、国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、原油価格や物価高騰の影響を受けている一般公衆浴場事業者に対し、緊急支援事業として燃料費の価格高騰相当分の支援金を交付した。 対象施設　７施設 （一般公衆浴場（その他公衆浴場を併設する一般公衆浴場を含む）） 支援金交付額　３，７２２，０２７円 ◎一般公衆浴場数（銭湯）　実績５か所（目標６か所）
3	（評価対象外）環境衛生諸営業等監視指導事業 12,234千円 健康福祉局 生活衛生課	重点： 成果達成度： 妥当性： 有効性： 効率性： 総合評価： 今後の方向性： （事業概要、事業実績等） 環境衛生監視員の資質向上に努めることで、監視指導における内容充実を図り、計画的な立入調査を行った。 施設数（旅館、公衆浴場、興行場、理容所、美容所、クリーニング所、特定建築物、温泉施設）　２，５５４件 監視件数　３７３件 また、水道施設等の立入指導等を通じて、法定検査等の受検徹底を周知するとともに、登録検査機関からの情報をもとに、台帳整理を行った。 施設数（簡易専用水道、専用水道）　９７６件 監視件数　４１件
4	（評価対象外）食品衛生監視指導事業 9,825千円 健康福祉局 生活衛生課	重点： 成果達成度： 妥当性： 有効性： 効率性： 総合評価： 今後の方向性： （事業概要、事業実績等） 食品関係営業施設における監視指導や流通食品の収去検査等を行うことにより、衛生水準の向上に努め、安全で快適な市民生活の推進に寄与した。 また、食品による事故を防ぎ、安全な食生活を確保するため、年度計画に基づく監視指導事業を強化して実施した。 営業施設数　１０，６６５件 監視指導施設数　４，４６５件
5	（評価対象外）衛生試験検査事業 15,794千円 健康福祉局 生活衛生課	重点： 成果達成度： 妥当性： 有効性： 効率性： 総合評価： 今後の方向性： （事業概要、事業実績等） 食品衛生法に基づき、高松市内で製造又は流通する食品、輸入食品の理化学・微生物の検査を実施し、安全な食生活の確保に寄与した。 また、有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律に基づき、家庭用品等の理化学検査を実施し、健康被害の防止に寄与した。 さらに、高松市食中毒対策実施要綱や感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、食中毒や感染症発生時の原因究明及び蔓延防止のための試験検査を実施し、健康被害の防止に寄与した。 食品の収去等検査件数　３０６件

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容
6	（評価対象外）食肉衛生検査事業 28,792千円 健康福祉局 生活衛生課	重点： 成果達成度： 妥当性： 有効性： 効率性： 総合評価： 今後の方向性： （事業概要、事業実績等） 高松市食肉センターで処理する獣畜のと畜検査及びと畜場の衛生指導を行い、安全で安心な食肉の流通に寄与した。 また、当センターにおいて、と畜検査員による外部検証を実施し、施設の衛生管理の実施状況の確認等を行うことにより、食肉衛生の向上に寄与した。 大規模食鳥処理場に対しても、食鳥検査員による外部検証を実施することにより、施設の衛生管理及び食鳥肉衛生の向上に寄与した。 と畜検査頭数　１２，０１５頭 各食鳥処理場立入検査　施設数６件、立入総数４２件
7	（評価対象外）動物愛護管理事業 77,491千円 健康福祉局 生活衛生課	重点： 成果達成度： 妥当性： 有効性： 効率性： 総合評価： 今後の方向性： （事業概要、事業実績等） 狂犬病予防法に基づく犬の登録及び狂犬病予防注射、野犬捕獲を行うことにより、狂犬病の発生・蔓延を防止した。 また、飼い犬猫の不妊去勢手術費補助事業に加え、飼い主のいない猫の不妊去勢手術支援事業を実施し、みだりな繁殖による犬猫の増加を防止した。 さらに、適正な動物の取扱いを推進するため、適正飼養についての啓発や動物取扱業の登録、監視指導を実施した。 狂犬病予防注射済票交付件数　１７，１２０件 飼い犬猫の不妊去勢手術費補助件数　１，４６１件 飼い主のいない猫の不妊去勢手術支援件数　２２６件
8	（評価対象外）動物愛護センター管理運営事業 35,183千円 健康福祉局 生活衛生課	重点： 成果達成度： 妥当性： 有効性： 効率性： 総合評価： 今後の方向性： （事業概要、事業実績等） さぬき動物愛護センターを中心に、犬猫を積極的に譲渡し、市民への動物愛護や適正飼養の啓発を推進するとともに、動物愛護管理事業において、犬猫のみだりな繁殖防止や迷子対策を実施したことにより、殺処分数は減少し、目標を達成できた。 犬猫の殺処分数　１２３頭
9	（評価対象外）動物愛護管理基金積立事業 1,250千円 健康福祉局 生活衛生課	重点： 成果達成度： 妥当性： 有効性： 効率性： 総合評価： 今後の方向性： （事業概要、事業実績等） クラウドファンディング型ふるさと納税の目標金額を上回った寄附金を積み立て、動物愛護管理基金を適切に管理した。 また、基金を取り崩し、事業の円滑な実施に活用することにより、人と動物との調和のとれた共生社会の実現に寄与した。 令和５年度動物愛護管理基金取崩額 ・飼い主のいない猫の不妊去勢手術支援事業　７０８，０００円 ・犬猫一時保管施設整備事業　１７，０００，０００円 令和５年度基金積立金 ・飼い主のいない猫を増やさないプロジェクト　１，２４０，３２１円 ・基金運用利子　１０，０７１円
10	犬猫一時保管施設整備事業 38,675千円 健康福祉局 生活衛生課	重点：一般重点 成果達成度：133.5% 妥当性：A 有効性：A 効率性：B 総合評価：A 今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） 一時保管施設整備地において確認された産業廃棄物の処分のほか、造成工事や水道管布設工事などを行った。 ◎犬猫の殺処分数　実績１２３頭（目標１８５頭） なお、契約の締結に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：４１，２０７，０００円） また、前年度からの繰越事業である産業廃棄物の処分については完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：６，６６１，６００円）

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
11 （評価対象外）毒物劇物監視指導事業 2,720千円 健康福祉局 生活衛生課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 毒物及び劇物取締法に基づき、保健衛生上の見地から毒物劇物販売業者等の登録申請・届出に対する審査及び監視指導を実施することにより、毒物劇物の適正な販売及び管理等の体制を確保し、保健衛生上の危害の未然防止に寄与した。 毒物劇物販売業者等への監視件数　１１３件							
12 （評価対象外）墓園・墓地管理事業 39,915千円 市民局 市民やすらぎ課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 市営墓地内の清掃、植栽剪定、塵芥収集を定期的に実施することにより、墓地環境の向上に寄与した。							
13 （評価対象外）斎場等管理運営事業 200,146千円 市民局 市民やすらぎ課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 斎場公園ほか３施設の斎場業務等を円滑に実施するため、斎場公園火葬炉（１系列３炉）の大規模改修工事ややすらぎ苑の火葬炉排気設備の修繕工事等を実施し、施設の適切な維持管理を行った。 また、福岡会館及び木太北部会館については、適切に管理運営することにより、市民に集会、レクリエーション及び文化等の場を提供し、市民福祉の増進に寄与した。 火葬件数（人体のみ）　５，０８５件 なお、設計内容の検討などに日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：１，３２０，０００円）							
14 墓園・墓地整備事業 11,565千円 市民局 市民やすらぎ課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		94.0%		A	A	A	A	統合
	（事業概要、事業実績等） 市民の需要に応じて墓所を供給するため、返還墓所の整備及び通路修繕等の環境整備を実施し、５０区画の墓所を貸し出した。 ◎新規墓所使用許可数（累計）　実績１，４９９区画（目標１，５９５区画） なお、前年度からの繰越事業である墓地改修に伴う実施設計業務については完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：４，９５０，０００円）							

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	消費者の権利保護と自立促進

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
14,121千円	A	21.1%	51.4%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政　策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成
担当局	市民局

対象	市民	意図	消費者が安心・安全に暮らせるために、賢い消費者として自立促進を行う。

概要（実績）

第３９回消費者ウイーク・第４４回暮らしをみなおす市民のつどい、夏休み親子消費者教室、金融教育講座及び出前講座等の各種啓発事業を実施するとともに、消費者団体への支援を行い、自立した賢い消費者を多く育成した。
消費生活相談においても、利用した覚えのない有料サイト等の未納料金と称して高額な料金を請求される「架空請求」を始めとする「不当請求」に関する苦情・被害への対応だけでなく、相談員の助言・情報提供等により相談者自身で自主的に対応できる賢い消費者を増やすとともに、特殊詐欺等防止のため、市広報、市ホームページなどにより啓発を行った。

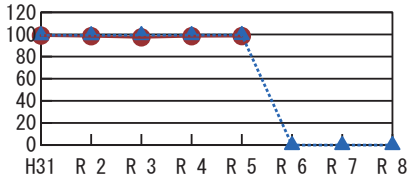
成果指標

①

指標名	消費生活相談における解決割合	R 5実績	R 5目標	達成度
		98.5%	99.5%	99.0%

状況：全体の相談件数は、前年度に比べ３０９件増加し、目標をおおむね達成することができた。

達成度の推移

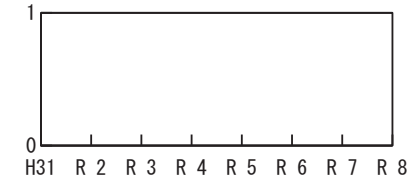


②

指標名		R 5実績	R 5目標	達成度

状況：

達成度の推移

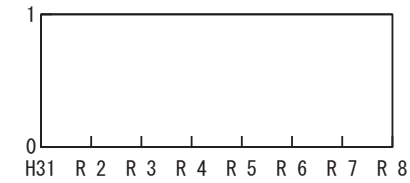


③

指標名		R 5実績	R 5目標	達成度

状況：

達成度の推移



施策の課題

今後も消費者団体を支援しながら、連携をより強化していく。また、年々手口が巧妙化している悪質商法に対応できるよう、消費生活センターの相談体制堅持及び機能強化を行い、消費生活における安全安心を確保していくことが求められている。特に、消費生活相談については、相談件数が令和４年度に比べて３０９件増加しており、多様化・複雑化する相談内容に対し、適切な助言等の対応を行うため、最新の傾向を把握する必要がある。
また、相談員の資質向上のため、全国規模の研修に参加し、知識・スキルのアップデートが求められている。

施策の方向性

消費者の利益の確保及び消費者被害のより一層の救済を目指す。そのために、消費者が参加できるイベント・機会の提供、消費生活相談員による相談事業はもとより、出前講座及び消費者団体の支援等を実施し、賢い消費者の育成を行い、消費者保護を推進する。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容							
1	消費者啓発事業 968千円 市民局 くらし安全安心課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			115.0%	167.4%	A	B	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 高松市消費者団体連絡協議会と連携し、消費者被害に遭わないための啓発行事等を行うほか、市内の小学校高学年を対象に消費者教育リーフレットを配布することにより、自立した賢い消費者の育成に寄与した。 ◎消費者月間事業等の満足度　実績９２％（目標８０％） ◎高松市消費者団体連絡協議会主催事業の参加者数 実績４５２人（目標２７０人）							
2	（評価対象外）計量検査事業 1,097千円 市民局 くらし安全安心課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 小規模な事業所等が廃業しており、廃業に伴い特定計量器の数が減少してきている中、定期検査が必要な特定計量器の未受検者数を減らすために、コンビニエンスストアを中心に受検を促した。							
3	消費者団体支援事業 761千円 市民局 くらし安全安心課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			167.4%		A	B	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 消費生活に関する調査・研究の諸活動や啓発活動を推進するとともに、加入団体相互の交流を行うため、消費者ウイーク・暮らしをみなおす市民のつどい事業や研修会の開催などを支援した。 ◎高松市消費者団体連絡協議会主催事業の参加者数 実績４５２人（目標２７０人）							
4	（評価対象外）消費生活相談事業 11,295千円 市民局 くらし安全安心課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 消費者からの相談による商品及び役務に関し、事業者と消費者との間に生じた苦情・紛争等について、その解決のために、消費者からの相談に相談員が対応した。 また、消費被害を防ぐため、民生委員、事業者、警察等が連携して見守り活動を行う「消費者安全確保地域協議会」の取組を推進し、それぞれが把握した消費被害の動向等を情報共有するとともに、被害防止に向けた対策を協議するなど、消費被害の未然防止につなげた。							

令和５年度　政策の概要調書

総合計画体系		
	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
	政　策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成

総合評価
B

１　政策の概要

環境と共生する持続可能な循環型社会の形成を図るため、ごみの減量と再資源化を推進するとともに、一般廃棄物、産業廃棄物の適正処理や不法投棄の防止に努めます。
また、環境保全意識の啓発等の環境保全活動を推進するとともに、再生可能エネルギーの利用促進などの地球温暖化対策を行い、低炭素社会の構築を目指します。

２　政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
ごみの減量と再資源化の推進	90%	A
廃棄物の適正処理	76%	B
不法投棄の防止	85%	B
地球温暖化対策の推進	83%	B
環境保全活動の推進	90%	A
平均	84%	B

３　政策の評価

環境と共生する持続可能な循環型社会の形成に向けて、５施策に取り組んだ。
「ごみの減量と再資源化の推進」では、設定する２つの成果指標のうち、１人１日当たりの資源化量においては、ごみ排出量が減少した影響により、目標を下回った。また、他の指標については、目標を達成した。
「廃棄物の適正処理」では、設定する２つの成果指標について、目標に届かなかった。
「不法投棄の防止」では、設定する２つの成果指標のうち、ボランティア清掃の参加者数において、前年度に比べ改善傾向にあるものの、目標に届かなかった一方、他の指標については、目標を達成した。
「地球温暖化対策の推進」では、設定する２つの成果指標のうち、地球温暖化防止のための取組実施率において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を達成した。
「環境保全活動の推進」では、設定する１つの成果指標について、目標をおおむね達成した。
以上により、政策を構成する施策の平均得点率は８４％となり、政策全体として目指す方向におおむね順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「B」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
ごみの減量と再資源化の推進	36.4%	15.0%	74.0%
廃棄物の適正処理	43.3%	11.9%	76.6%
不法投棄の防止	26.0%	20.7%	70.2%
地球温暖化対策の推進	21.7%	15.6%	65.2%
環境保全活動の推進	26.2%	14.0%	63.1%
平均	30.7%	15.4%	69.8%

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	ごみの減量と再資源化の推進

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
342,575千円	A	36.4%	74.0%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政　策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成
担当局	環境局

対象	意図
ごみを排出する市内の家庭や事業所	ごみの減量と再資源化の推進により、環境と共生する持続可能な循環型社会の形成を目指す。

概要（実績）

ごみの減量と資源化に向け、世界的な問題となっているプラスチックごみを削減するため、市民に対して、プラスチックごみの発生を抑制する２Ｒを中心とした情報発信に加え、フィールドワーク等による意識啓発を実施した。
食品ロス対策等推進事業では、フードドライブ等の食品廃棄物削減に向けた事業を実施した。
家庭系ごみ有料化事業では、有料指定収集袋５種類により家庭系ごみの減量・再資源化を促進した。
事業系ごみ減量推進事業では、多量排出事業者に事業系一般廃棄物減量等計画書の提出を依頼し、ごみ減量を働きかけた。
ごみ減量・資源化啓発事業では、スマートフォンやタブレット利用者向け「ごみ分別アプリ」を配信し、ごみの減量・再資源化を促進したほか、小型家電等リサイクル推進事業及びごみ再資源化事業において、資源の適正な循環的利用を推進した。

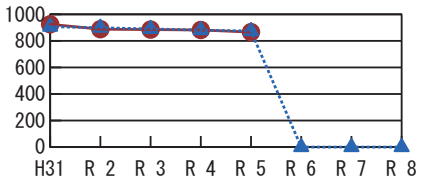
成果指標

①

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
１人１日当たりのごみ排出量	866ｇ／人・日	874ｇ／人・日	100.9%

状況：ガイドブック等により正しい分別やリサイクルの推進等の周知啓発を行い、市民・事業者の「ごみの減量と再資源化」に対する意識向上を図った結果、目標を達成することができた。

達成度の推移

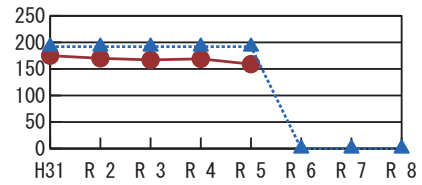


②

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
１人１日当たりの資源化量	159ｇ／人・日	192ｇ／人・日	82.8%

状況：資源ごみや小型家電等のリサイクル、正しいごみの分別方法の周知等各種事業を実施し、ごみ排出量が減少した。その結果、ごみの資源化量についても減少した。

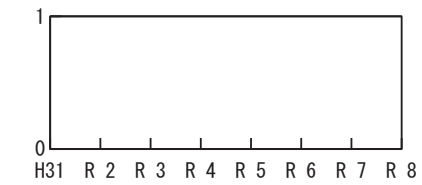
達成度の推移



③

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度

達成度の推移



施策の課題

プラスチック製品由来の廃棄物については世界的な問題となっており、市民・事業者・行政等、幅広い主体が連携・協力して、レジ袋有料化を機に市民のライフスタイルの変革を促し、プラスチックごみの削減につながる取組が求められている。
また、食品ロス削減に向け、食品ロス削減推進法に基づき、令和４年２月に食品ロス削減推進計画を策定したほか、国を挙げて社会全体での取組が進められている中、積極的な事業展開が必要である。

施策の方向性

環境と共生する持続可能な循環型社会の実現に向け、ごみの発生を抑制する２Ｒを中心とした積極的な情報発信を行い、市民・事業者等と連携して、プラスチックごみや食品ロスの削減を始めとしたごみの減量・再資源化に資する事業を推進する。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容						
1	小型家電等リサイクル推進事業 62千円 環境局 環境業務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			122.5%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 市内２３か所に設置した回収ボックスで９，５４４ｋｇ、また、イベントでの回収や、南部クリーンセンター及び西部クリーンセンターで実施しているピックアップ回収で、５，２００ｋｇを回収し、合計１４，７４４ｋｇのパソコンや携帯電話など３２品目の使用済小型家電を回収したことにより、希少金属の再資源化や埋立てごみの減量化に着実な効果があった。 ◎使用済小型家電の年間収集量　実績１４．７トン（目標１２トン）						
2	ごみ減量・資源化啓発事業 895千円 環境局 ゼロカーボンシティ推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.9%	82.8%	A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） ごみ分別ガイドブックの配布、スマートフォンやタブレット利用者向けの「ごみ分別アプリ」の配信により、広く市民にごみ処理等に対する啓発を実施した。 ◎１人１日当たりのごみ排出量 実績８６６ｇ／人・日（目標８７４ｇ／人・日） ◎１人１日当たりの資源化量 実績１５９ｇ／人・日（目標１９２ｇ／人・日）						
3	ごみ再資源化事業 177,592千円 環境局 ゼロカーボンシティ推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			90.4%	98.1%	A	A	B	A	統合
		（事業概要、事業実績等） 日々家庭から出される缶・びん・ペットボトル、プラスチック、紙類等の資源ごみを、再資源化のための中間処理を行い、プラスチック、色つきのびんについては日本容器包装リサイクル協会に引き渡したほか、缶・びん・ペットボトル、紙類等、有価にて売払いできるものは専門業者に売却を行った。 ◎缶・びん・ペットボトル資源化量 実績２，０３４，９３２ｋｇ（目標２，２５０，０００ｋｇ） ◎プラスチック資源化量 実績２，９６９，４００ｋｇ（目標３，０２６，０００ｋｇ）						
4	家庭系ごみ有料化事業 160,195千円 環境局 ゼロカーボンシティ推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			90.3%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 定期収集家庭ごみのうち、「燃やせるごみ」「破砕ごみ」は、大・中・小・特小・超特小の５種類の有料指定収集袋での運用を実施した。 ◎有料指定収集袋使用枚数（特小換算） 実績４７，１７８，０００枚（目標４３，０００，０００枚）						
5	プラスチックごみ対策事業 3,829千円 環境局 ゼロカーボンシティ推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	98.0%		A	A	A	A	拡充
		（事業概要、事業実績等） プラスチック製品由来の廃棄物については世界的な問題となっており、国において令和元年度に策定された「プラスチック資源循環戦略」を踏まえ、海ごみ清掃体験と環境学習を組み合わせたフィールドワーク、コミュニティセンター等での学習会や啓発パネル展を開催し、プラスチックごみ削減に向けた意識啓発を推進した。 ◎プラスチック容器包装ごみの再資源化割合（家庭ごみ） 実績８３．２％（目標８４．９％）						

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
6	食品ロス対策等推進事業 2千円 環境局 ゼロカーボンシティ推進課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			107.9%	A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 令和４年２月に策定した高松市食品ロス削減推進計画に基づき、食品ロスに関するアンケート調査を行うとともに、家庭での未利用食品の活用を推進するフードドライブを実施した。 また、フードドライブ実施団体に備品貸出等の支援を行ったほか、食品ロス削減月間にスーパーマーケットにおいて来店者等へ食品ロス削減を呼びかけるキャンペーンを実施するなど、食品廃棄物削減に向けた事業を推進した。 ◎食品ロス認知度　実績９１．７％（目標８５．０％）					
7	事業系ごみ減量推進事業 環境局 ゼロカーボンシティ推進課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			70.9%	B	A	B	B	改善継続
		（事業概要、事業実績等） 事業の用に供する延べ面積３，０００㎡以上の建物を所有・占有する事業者を「多量排出事業者」として、毎年、事業系一般廃棄物減量等計画書の提出を依頼し、取りまとめて公表することにより、意識啓発を行った。 ◎多量排出事業者の廃棄物リサイクル率　実績４６．８％（目標６６％）					
8	レジ袋等削減推進事業 環境局 ゼロカーボンシティ推進課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			90.2%	B	A	B	A	統合
		（事業概要、事業実績等） 環境負荷の少ない循環型社会を構築するため、事業者、市民団体、市の三者でレジ袋等の削減に関する協定を締結し、協働してレジ袋の削減に取り組み、意識の啓発等に寄与した。 また、多量排出事業者、地球にやさしいオフィス・店、本市職員に対しても使い捨てプラスチック製品の使用自粛について周知を行い、レジ袋等削減事業を推進した。 ◎協定締結事業者の年間レジ袋削減枚数 実績３０，０５２，０００枚（目標３３，３０９，０００枚）					

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	廃棄物の適正処理

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
5,206,457千円	B	43.3%	76.6%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政　策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成
担当局	環境局

対象	意図
一般廃棄物（し尿を含む）を排出する市民及び市内の事業者並びに産業廃棄物を排出する事業者や廃棄物の収集運搬・処分を行う者等	一般廃棄物及び産業廃棄物の排出を抑制し、適正かつ効率的な処理を推進するとともに、将来に向けた安定した処理体制を構築することにより、生活環境保全及び公衆衛生の向上を図り、循環型社会の形成に寄与する。

概要（実績）

一般廃棄物処理基本計画に基づき、一般廃棄物（し尿を含む）の適正処理を行うとともに、ごみの減量・資源化を推進した。
また、家庭から排出されたごみについて経済的で効率的な収集・運搬を行った。
ごみステーションの適正管理を行うため、パトロールや看板配布等の啓発活動を行った。
南部・西部クリーンセンターの適切かつ効率的な維持管理を行い、再資源化や廃棄物の減容化を行った。
次期ごみ処理施設の整備に向けて、環境影響評価に着手するとともに、地質調査等を行った。
し尿及び浄化槽汚泥については、し尿等を衛生センターから東部下水処理場へ移送し、下水道との共同処理を行った。
一般廃棄物処理基本計画について、社会経済情勢やごみ処理の状況を踏まえ、中間見直しを行った。
許可事務や苦情処理等を通じて、産業廃棄物の排出抑制、適正処理等を促進した。

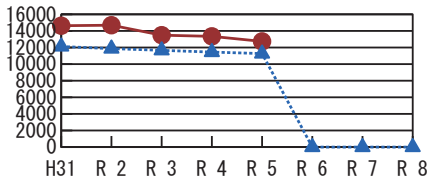
成果指標

①

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
一般廃棄物の年間埋立処分量	12,738 t	11,270 t	87.0%

状況：家庭ごみの適正処理について、ホームページや広報紙等で周知・啓発に努めたことにより、前年度と比較して、ごみの焼却量の減少に伴い焼却灰等の年間埋立量も減少したものの、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

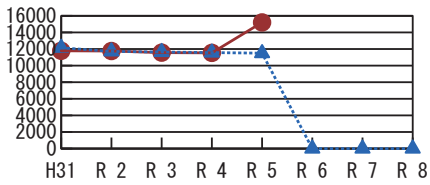


②

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
産業廃棄物の不適正保管量	15,206 t	11,500 t	67.8%

状況：廃棄物処理法に基づく立入検査や指導を継続して定期的に行ったことにより、前年度までに把握していた事案の不適正保管量は減少したが、新たな不適正保管の事案が発生したため、事業者全体の不適正保管量が増加し、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

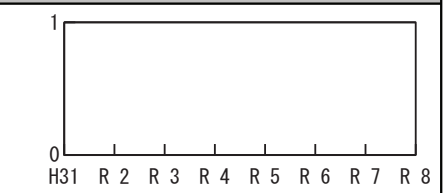


③

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度

状況：

達成度の推移



施策の課題

ごみの適正処理を確保した上で、より経済的で効率的な収集運搬体制を検討する必要がある。
西部クリーンセンター等施設の適切な維持管理と効率的な運転管理を図る必要がある。今後も安定したごみ処理運営を行うため、次期ごみ処理施設の整備に取り組む必要がある。し尿等の処理については、下水道との共同処理を行っており、引き続き、適正に処理を行う必要がある。排出事業者の責任や収集運搬・処分を行う者の責務について、更に理解を深めてもらい、適正処理を推進していく必要がある。

施策の方向性

中間見直しを行った一般廃棄物処理基本計画に基づき、一般廃棄物の発生抑制、適正処理、資源化を推進し、ごみ処理施設の適切な維持管理を図るとともに、公衆衛生の向上及び循環型社会の形成に貢献していく。また、今後も安定したごみ処理運営を行うため、次期ごみ処理施設の整備に取り組む。し尿等の処理については、下水道との共同処理を安定的かつ適正に推進していく。産業廃棄物については、排出事業者や許可業者等に対する指導や啓発活動により、排出抑制や適正処理及び再生利用の推進を図る。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	次期ごみ処理施設整備事業 28,161千円 環境局 環境施設対策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	100.0%		A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 国の交付金を活用しながら、焼却施設整備に係る環境影響評価や地質調査等を実施した。 ◎次期ごみ処理施設整備事業の進捗率　実績５％（目標５％） なお、地元関係者との協議に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、業務の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：４１，６９６，０００円）							
2	（評価対象外）南部クリーンセンター施設整備事業 383,766千円 環境局 南部クリーンセンター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 南部クリーンセンター個別施設計画に基づき、施設の個別機器更新を実施しており、令和４年度から５年度にかけて、焼却施設計装・自動制御装置更新工事及び屋上防水改修工事を実施した。							
3	（評価対象外）西部クリーンセンター施設改良事業 7,154千円 環境局 環境施設対策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 西部クリーンセンター基幹的設備改良事業の周辺対策として、地元の土地改良事業に関する補助を行った。 なお、実施主体の事業が遅れたことにより、年度内に補助金の支出が一部不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：７，６４８，０００円） なお、前年度からの繰越事業である土地改良事業に関する補助事業については完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：５，４０２，１７５円）							
4	（評価対象外）西部クリーンセンター管理運営事業（破砕処理） 291,448千円 環境局 西部クリーンセンター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 有害物等を除去した後の破砕ごみを、破砕・選別（中間）処理し、有価物の再資源化（リサイクル）や廃棄物の減容化に取り組むなど、破砕施設の適切な維持管理を行った。							
5	（評価対象外）南部クリーンセンター場内整備事業 8,884千円 環境局 環境施設対策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 南部クリーンセンター周辺に位置する総合防災調整池の浚渫工事や汚水槽の補修調査設計等を行った。							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
6	（評価対象外）西部クリーンセンター管理運営事業（焼却処理） 511,613千円 環境局 西部クリーンセンター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 焼却施設を適切に維持管理しながら、可燃ごみを焼却（中間）処理し、廃棄物の減容化を行うことにより、最終処分量を削減し、最終処分場の延命化を推進した。							
7	（評価対象外）南部クリーンセンター管理運営事業 1,832,617千円 環境局 南部クリーンセンター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 特別目的会社との間に締結した、令和１４年度までの長期一括委託契約により、ごみ処理施設、廃棄物再生利用施設、埋立処分地等について、一体的かつ効率的な管理運営を行った。 また、不適物の混入防止及び排除、ごみ処理の適正化のため、ごみの搬入検査を行った。							
8	（評価対象外）ごみ処理計画推進事業 1,968千円 環境局 環境総務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 廃棄物減量等推進審議会を開催し、廃棄物減量・再資源化等について審議した。 また、高松市一般廃棄物処理基本計画の進行管理や毎年度の一般廃棄物処理実施計画の策定を行い、一般廃棄物の適正処理や減量・再資源化の推進を行った。							
9	ごみ適正処理指導事業 4,372千円 環境局 適正処理対策室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			142.3%		A	B	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 市内全域のごみステーションをパトロールし、不適正なごみが日常的に出されているごみステーションの管理者や使用者に対して、ごみステーションの適正管理指導や看板を掲示する等の啓発活動を行い、ごみステーションが適正に管理されるよう指導した。 また、海底堆積ごみの回収事業について、令和５年度は、２，０００ｋｇを回収し、海ごみ対策の推進に寄与した。 ◎不適正管理ごみステーション対応件数　実績４５６件（目標７９０件）							
10	（評価対象外）ごみ収集運搬事業 1,649,985千円 環境局 環境業務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） ごみ収集運搬計画に基づき、旧高松市の家庭から排出された破砕ごみを始め、缶・びん・ペットボトル、プラスチック容器包装の資源ごみ、また、市全域から排出された臨時粗大ごみなど約３，０５９ｔを直営で収集するとともに、旧高松市の可燃ごみ及び紙・布類の資源ごみのほか、破砕ごみや缶・びん・ペットボトル、プラスチック容器包装の資源ごみに加え、合併地区の定期収集ごみ等約７４，９９７ｔを委託により収集した。 なお、自動車メーカー側の事情等の影響で、収集車の調達に日数を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：６，２２５，０００円）							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
11 （評価対象外）ごみ処理関連施設統廃合整備事業 1,645千円 環境局 環境施設対策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 旧庵治清掃工場等の解体撤去に向けて、内部に残置されている廃棄物の運搬処分等を行った。 なお、旧香川環境センター及び旧女木・男木じん芥焼却場に係る解体撤去工事の実施設計については、設計内容の検討に日時を要したことなどにより、翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：１２，６６０，０００円）							
12 （評価対象外）ごみ最終処分場管理事業 173,160千円 環境局 西部クリーンセンター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 陶最終処分場では、リサイクルや減容化を推進した上でなお残る廃棄物については、埋立処分を行った。 また、綾川町一般廃棄物最終処分場（綾川町西分）の整備に伴う土堰堤築堤工事費の一部を負担した。							
13 （評価対象外）一般廃棄物最終処分場整備事業 31,908千円 環境局 環境施設対策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 陶最終処分場第３処分地に関する堰堤実施設計業務等及び未買収地に関する用地交渉を行った。 なお、陶最終処分場第３処分地堰堤整備工事について、工程調整に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：２３，７３０，０００円）							
14 （評価対象外）衛生処理センター跡地管理事業 155千円 環境局 環境業務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 跡地の歩道橋及び公園内一部看板等の管理を適切に行った。							
15 （評価対象外）衛生センター管理事業 251,019千円 環境局 環境業務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 本市及び処理を受託している三木町・綾川町で収集したし尿及び浄化槽汚泥を下水処理施設で下水と共同処理するため、前処理施設の運転維持管理を適切に行った。 令和５年度においては、６９，５９４㎥の共同処理を効率的に行うことができた。							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
16 （評価対象外）し尿中継貯留槽管理事業 5,831千円 環境局 環境業務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 合併地区（塩江町、庵治町、香川町、国分寺町）及び離島地区（女木町、男木町）に設置している、し尿中継貯留槽の維持管理を適切に実施することにより、各地区から衛生センターへのし尿等運搬を効率的に行うことができた。 また、庵治町貯留槽について劣化が進んでいたため、防食被膜工事を行った。							
17 災害時し尿処理事業 822千円 環境局 環境業務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		100.0%	100.0%	A	A	A	A	拡充
	（事業概要、事業実績等） 高松市災害物資備蓄計画に基づく、避難所への簡易トイレ等緊急物資の配備が完了し、計画的にし尿凝固剤を更新している。 簡易トイレ備蓄数　　１，８１５箱 し尿凝固剤備蓄数　１７６，４００個 ◎簡易トイレ備蓄率　実績１００％（目標１００％） ◎し尿凝固剤備蓄率　実績１００％（目標１００％）							
18 （評価対象外）離島し尿収集事業 8,079千円 環境局 環境業務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 離島のし尿収集の円滑化と住民負担軽減を行うため、収集業者に補助金を交付した。 また、定期の収集時に合わせて、浄化槽清掃を行う場合の航送料について補助金を交付した。							
19 （評価対象外）産業廃棄物適正処理指導事業 13,870千円 環境局 環境指導課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 廃棄物の適正処理の推進を図るため、収集運搬業、処分業及び処理施設設置の許可事務を通じて、処理業者に対して廃棄物の適正処理の指導を行った。							

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	不法投棄の防止

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
4,905千円	B	26.0%	70.2%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政　策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成
担当局	環境局

対象	意図
高松市内全域における不法投棄が見られる地域	不法投棄を防止するとともに、市民の環境美化意識が高まることにより、清潔で美しい高松を実現する。

概要（実績）

高松市内全域において、定期的に、また通報等による臨時的に行う監視パトロールにより発見された不法投棄に早期に対応した。
また、不法投棄監視カメラや啓発看板を設置することにより、不法投棄の未然防止に寄与した。
なお、山間地や海岸線などの広範囲にわたる不法投棄ごみが見られる地域において、行政と住民が連携して取り組む不法投棄撲滅ふれあいクリーン作戦は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全て中止した。

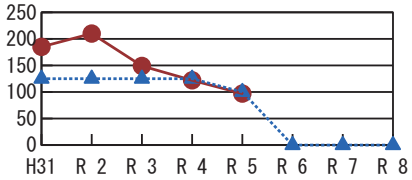
成果指標

①

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
不法投棄通報、相談件数	97件	100件	103.0%

状況：令和元年度以降、香川県からの本市域における不法投棄に関する情報提供により、通報・相談件数が増加していたが、本市の対策等により、歯止めがかかってきていると思われる。

達成度の推移

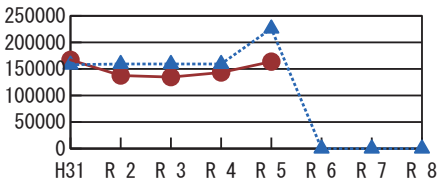


②

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
ボランティア清掃の参加者数	163,717人	226,000人	72.4%

状況：予定されていた不法投棄撲滅クリーン作戦は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全て中止となった。
また、地域のボランティア清掃活動は、新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に和らいだことにより、参加者数が昨年に比べ、若干増加した。

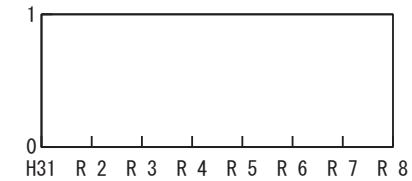
達成度の推移



③

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度

達成度の推移



施策の課題

香川県から得られる不法投棄の情報の活用や監視パトロールの強化等による不法投棄の早期発見、早期対応を図るとともに、地域の一斉清掃活動を支援することにより、引き続き、環境美化に取り組む必要がある。

施策の方向性

関係課や関係機関、各種団体等と緊密に連携し、市民の環境美化意識を高め、地域における不法投棄の防止を図る。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
1	高松ふれあいクリーン事業	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			0.0%	103.0%	B	B	B	C	廃止
		（事業概要、事業実績等） 不法投棄が特に多くみられる山間部や海岸線地域において、不法投棄の撲滅に向けて、行政と市民及び企業ボランティアが協働する「不法投棄撲滅ふれあいクリーン作戦」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全ての事業が中止となった。 ◎不法投棄撲滅ふれあいクリーン作戦参加者数 実績０人（目標１，０００人） ◎不法投棄苦情処理件数　実績９７件（目標１００件）						
	環境局 適正処理対策室							
2	不法投棄防止対策事業 4,905千円	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			200.0%		A	B	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 市内全域における不法投棄が多くみられる地域の監視パトロールを強化したほか、不法投棄行為者の特定調査や指導を行い、不法投棄ごみに対する対策を講じた。 また、不法投棄の抑止効果が高い監視カメラや啓発看板を設置して、不法投棄の未然防止・早期発見を行ったほか、小学校で次世代を担う子どもたちに対し、環境啓発の取組を行った。 ◎不法投棄書類送検件数　実績０件（目標５件）						
	環境局 適正処理対策室							

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	地球温暖化対策の推進

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
209,989千円	B	21.7%	65.2%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政　策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成
担当局	環境局、財政局

対象	意図
市民・事業者	市民・事業者との協働を進めながら、温室効果ガスの排出抑制となる施策を推進し、地球温暖化対策を進める。

概要（実績）

カーボンニュートラルや脱炭素型ライフスタイルへの転換に対する市民意識を高めるため、「ゼロカーボンシティ展」等でパネルを展示するなど、普及啓発を行った。
また、再生可能エネルギー普及を促進するため、スマートハウス等普及促進補助、ＺＥＨ化上乗補助、居住誘導上乗補助を実施したほか、東部下水処理場において、下水汚泥の処理過程で発生する消化ガスを燃料としてバイオマス発電を実施した。
さらに、電気自動車等の普及を促進するため、急速充電設備（３か所）の運営を実施した。

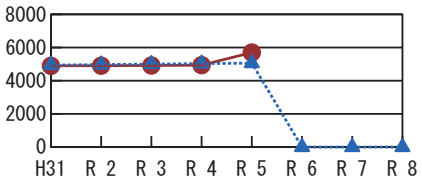
成果指標

①

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
市有施設における再生可能エネルギー発電設備の発電出力	5,699ｋW	5,060ｋW	112.6%

状況：これまで、小・中学校、コミュニティセンターを中心に太陽光発電設備を設置してきた。令和５年度は、高松第一高等学校及び香東川浄化センターに太陽光発電設備を設置し、７６３ｋWの再生可能エネルギーを創出した。

達成度の推移

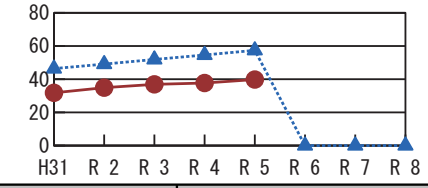


②

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
地球温暖化防止のための取組実施率	39.8%	57.4%	69.3%

状況：広報紙やＨＰ、啓発展等で、温暖化防止に向けた普及啓発を実施した。地球温暖化対策に関する市民アンケートでは、１３項目中９項目で、知識を深めるなど日頃の取組を「常に実施」、高効率給湯器など再エネ・省エネ設備等を「導入済み」といった回答が増加し、全体の平均取組実施率は前年度に比べ２．１ポイント増加したものの、目標を達成することはできなかった。

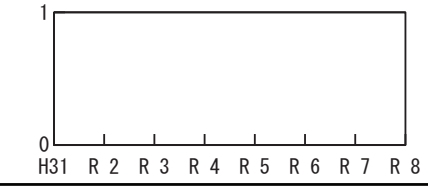
達成度の推移



③

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度

達成度の推移



施策の課題

本市は、令和２年１２月に高松市「ゼロカーボンシティ」宣言をし、２０５０年までの二酸化炭素排出量実質ゼロを目指し取り組むこととしており、その実現のためには、再生可能エネルギーの更なる拡充や市民・事業者と連携したライフスタイル転換の推進が課題となっている。

施策の方向性

「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて、令和４年３月に改定した地球温暖化対策実行計画に基づき、２０５０年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを達成するため、市民・事業者のライフスタイル転換に向けた周知啓発など、具体的な取組を推進する。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	（評価対象外）市有財産を活用した再生可能エネルギーの普及促進事業 環境局 ゼロカーボンシティ推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 市有地（４か所）を太陽光発電事業者に有償で貸し出した。 賃料年額　８７４，２８９円							
2	低排出ガス・低公害車・省エネルギー車公用車導入事業 5,774千円 財政局 財産経営課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			102.1%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 公用車の更新等において、平成１７年度排出ガス基準７５％低減レベル以上の環境性能に優れた車両１６台を導入した。 ◎低公害車等占有率　実績６５．３６％（目標６４％）							
3	再生可能エネルギー普及促進事業 31,250千円 環境局 ゼロカーボンシティ推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	122.6%		A	B	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） スマートハウスの普及促進のため、蓄エネルギー機器（定置用リチウムイオン蓄電システム又は電気自動車等充給電設備）、住宅用太陽光発電システム及びＨＥＭＳの一式の導入に助成を行った。 また、ＺＥＨ化を行う場合と居住誘導区域外から誘導区域内に住所が移る場合に、上乗せ補助を行った。 ◎蓄電システムへの助成件数（延べ件数） 実績１，０７９件（目標８８０件）							
4	（評価対象外）地球温暖化対策推進事業 2,836千円 環境局 ゼロカーボンシティ推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 高松市地球温暖化対策実行計画推進協議会を開催し、温室効果ガス排出量の削減に向けた協議を行うとともに、地球温暖化問題についての認識を深め、取組を進められるよう、「ゼロカーボンシティ展」等による情報発信・啓発活動を実施した。							
5	電気自動車等普及促進事業 1,199千円 環境局 ゼロカーボンシティ推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			71.1%	105.3%	A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 市域における温室効果ガス排出量の抑制を図るため、走行時に二酸化炭素を排出しない電気自動車の公用車（累計１６台）に車体ラッピングを施し、市内を走行させることで、普及啓発につながった。 また、電気自動車の利用促進を図るため、市内３か所の道の駅に設置している急速充電設備の運営を行った。 ◎市内の電気自動車保有台数（個人、法人等所有） 実績５８０台（目標８１６台） ◎市内における次世代自動車保有台数 実績４８，８８６台（目標４６，４４７台）							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
6	ゼロカーボンシティ推進事業 168,888千円 環境局 ゼロカーボンシティ推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		特別重点	52.0%	114.8%	A	A	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 市民・事業者を対象とした脱炭素型ライフスタイル推進リーダー養成講座を５回開催したほか、２団体の企画提案により自ら脱炭素に向けた取組を行う脱炭素型ライフスタイル推進モデル事業を実施するなど、脱炭素型ライフスタイルへの転換を図る各種取組を実施した。 ◎脱炭素型ライフスタイル推進リーダー登録人数（延べ人数） 実績７８人（目標１５０人） ◎本市域の温室効果ガス排出量 実績　２，２６１千ｔ－ＣＯ２（目標２，６５４千ｔ－ＣＯ２）						
7	緑のカーテン事業 42千円 環境局 環境総務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			78.5%		A	B	A	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 緑のカーテン講座を開催し、家庭、事業所及びコミュニティセンター等の公共施設で緑のカーテンを普及、実施したことにより、夏の日差しを和らげ、電力エネルギーの節約に寄与した。 ◎緑のカーテン講座参加者数　実績１５７人（目標２００人）						

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	環境保全活動の推進

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
71,151千円	A	26.2%	63.1%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政　策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成
担当局	環境局、創造都市推進局、都市整備局

対象	市民・事業者	意図	市民・事業者・行政の協働を進めながら、一人一人が環境問題を考え、行動することにより、環境に配慮した持続可能な社会の実現を目指す。

概要（実績）

環境保全推進事業においては、環境展や環境学習講座を実施するとともに、環境白書の発行を行うことにより、市民の環境意識の向上に寄与した。
「ため池守り隊」市民活動支援事業においては、用途地域内のため池について、ため池管理者だけでなく地域住民も参加する清掃活動等に対し補助した。
たかまつマイロード事業においては、市が管理する道路の清掃等を自発的に行う道路愛護団体の活動を支援するとともに、新たに２団体を認定したことなどにより、団体数は１３０となった。

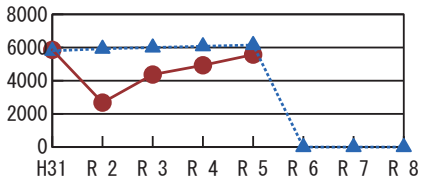
成果指標

①

指標名	環境学習参加者数	R 5実績	R 5目標	達成度
		5,572人	6,150人	90.6%

状況：市民の環境意識の高まりを受けて、各種環境学習講座や施設見学等を実施した結果、昨年度の実績は上回ったものの、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

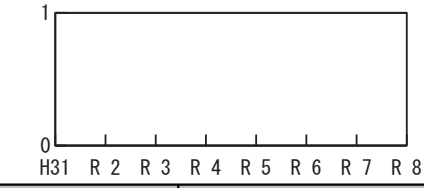


②

指標名		R 5実績	R 5目標	達成度

状況：

達成度の推移

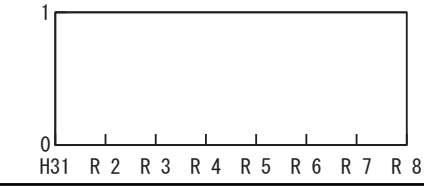


③

指標名		R 5実績	R 5目標	達成度

状況：

達成度の推移



施策の課題

【環境局】環境学習活動や清掃活動など、市民・事業者・行政が、連携して環境保全活動に取り組む必要がある。
【創造都市推進局】補助事業終了後も、ため池の保全活動が継続して実施されるよう、地域住民にため池の保全の大切さを認識していただくことが必要である。
【都市整備局】市が管理する道路等の施設管理には、地元市民団体の協力が不可欠であることから、市民との協働事業として、環境意識の向上を図る必要がある。

施策の方向性

環境展や環境学習講座の実施などの啓発事業や清掃活動などの環境美化、公害への対策などを継続実施することにより、環境保全活動の推進を図るとともに、ゼロカーボンシティの実現に向けて、環境と共生する持続可能な循環型社会の形成を目指す。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	（評価対象外）公害対策事業 170千円 環境局 環境指導課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 複雑化・多様化する住民ニーズ等に適切に対応するため、公害苦情相談員による苦情処理を行った。							
2	（評価対象外）騒音・振動・悪臭規制事業 200千円 環境局 環境指導課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 騒音、振動及び悪臭に係る生活環境の保全の促進のため、騒音、振動調査を行い、その状況を把握するとともに、苦情対応による改善指導等を行った。							
3	（評価対象外）大気汚染防止対策事業 36,164千円 環境局 環境指導課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 大気環境保全の促進のため、市内の大気環境の常時監視により、その状況を把握するとともに、事業場の立入検査や苦情対応による改善指導等を行った。							
4	（評価対象外）水質汚濁防止対策事業 6,751千円 環境局 環境指導課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 水質環境保全の促進のため、市内の河川等の水質検査の実施により、水環境の状況を把握するとともに、事業場の立入検査や苦情対応による改善指導等を行った。							
5	南部クリーンセンター環境学習事業 527千円 環境局 南部クリーンセンター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			116.8%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 施設見学を通じて、ごみ処理の現状と課題を学習する機会を提供した。 また、展示ギャラリーでは、環境パネル、環境に関する図書、パソコン等を使い、環境問題を考える機会を提供し、地球規模での温暖化対策の必要性を啓発するとともに、学習室では、紙すきや工作などにより、楽しみながらリサイクル体験をしてもらい、参加者の環境意識の向上に寄与した。 エコホタル利用者　４，０７７人 自主企画講座回数（見学会等を含む）　実績２５回 ◎エコホタル自主企画講座参加者数　実績５８４人（目標５００人）							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容

6

環境保全推進事業

6,022千円

環境局
環境総務課

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	57.1%		A	A	B	C	継続

（事業概要、事業実績等）

環境展を開催するとともに、環境学習の実施により、市民に対し環境意識の向上を図り、環境問題全般に関する啓発を行った。

環境学習講座の実施回数は、前年度より増加したが、小学校等からの出前講座の依頼が減少したことにより、参加者数は前年度より減少した。

また、本市の環境の状況や環境保全に関する施策の実施状況等を取りまとめた環境白書の発行を行った。

◎環境学習講座参加者数　実績１，３７１人（目標２，４００人）

7

（評価対象外）環境基本計画推進事業

221千円

環境局
環境総務課

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性

（事業概要、事業実績等）

環境審議会を開催し、現計画に基づく取組の状況や環境基本計画改定に向けて実施した市民・事業者アンケート等を踏まえ、新たな環境基本計画を策定した。

また、本市の環境の状況や環境保全等のための施策を取りまとめた環境白書を市ホームページに掲載するなど、広く市民に公表することで、市民の環境意識の向上を推進した。

8

「ため池守り隊」市民活動支援事業

1,586千円

創造都市推進局
土地改良課

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	85.7%		A	A	B	B	継続

（事業概要、事業実績等）

事業開始３年間で補助金上限が毎年５万円ずつ漸減する中で、前年と同様の事業を実施しており、地域住民も参加した自主的かつ継続的な美化保全活動が継続されている。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施箇所数が目標を下回った。

◎事業実施箇所　実績１２か所（目標１４か所）

9

環境美化推進事業

519千円

環境局
環境総務課

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	91.9%		A	A	B	A	継続

（事業概要、事業実績等）

「高松クリーンデー“たかまつきれいでー”」、「サンポート高松・中央通り等一斉清掃」及び喫煙禁止区域の周知・啓発等を、高松市脱炭素型都市推進会議と協働することにより、環境美化や脱炭素型のまちづくりの推進に寄与した。

◎高松クリーンデー参加者数　実績３３，０７９人（目標３６，０００人）

10

環境衛生組合連合会活動推進事業

2,088千円

環境局
環境総務課

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	100.0%		A	A	B	A	継続

（事業概要、事業実績等）

高松市環境衛生組合連合会の運営、各地区衛生組合協議会の清掃活動参加者を対象にした啓発活動について、補助金を支出し、地域住民が主体となった環境美化活動やごみの適正排出等の活動を推進した。

◎清掃活動（河川清掃等）を実施する地区衛生組合協議会数
実績３７協議会（目標３７協議会）

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
11 （評価対象外）公衆便所管理等事業 14,354千円 環境局 環境施設対策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 市内２３か所に設置する公衆便所の維持管理を行った。							
12 たかまつマイロード事業 1,953千円 都市整備局 道路管理課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		98.9%		A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 市が管理する道路の清掃等を自発的に行う道路愛護団体の活動を支援することにより、道路の環境美化だけでなく、道路への愛護意識の高揚を図るとともに、道路利用者のマナー向上の啓発を行った。 また、令和５年度は２団体が新たに加入したことから、団体数は１３０に増加し、清掃延長は前年度から０．８２４ｋｍ増となった。 ◎清掃延長　実績１４０．５３３ｋｍ（目標１４２．０ｋｍ）							
13 （評価対象外）コミュニティ広場管理事業 596千円 都市整備局 道路管理課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） まちのオアシスとして、美観上・風致上のモデル地区として位置付けられた、北部コミュニティ広場、兵庫町ひろば、田町コミュニティ広場を市民の憩いの場として提供するとともに、道路空間の環境保全に寄与した。							

令和５年度　政策の概要調書

総合計画体系		
	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
	政　策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上

総合評価
A

１　政策の概要

豊かな暮らしを支える生活環境の向上を図るため、生活道路・公園の整備、緑の保全・創造を始め、良好な居住環境の整備や地籍調査の推進など、生活基盤の整備・充実を図ります。
また、自己処理水源の確保を始め、浄水場の老朽設備等の更新や耐震化、香川県広域水道企業団との連携などに取り組み、安定給水の確保を図るとともに、水質検査体制の充実による安全で良質な水の供給や持続可能な水環境の形成に努めます。
また、汚水・雨水対策の充実を図るとともに、港湾・漁港の整備や河川・水路環境の保全に努めるなど、都市基盤の充実・強化を図ります。

２　政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
居住環境の整備	96%	A
身近な道路環境の整備	100%	A
河川・港湾の整備	85%	B
みどりの保全・創造	100%	A
水の安定供給	100%	A
汚水・雨水対策の充実	98%	A
平均	96%	A

３　政策の評価

豊かな暮らしを支える生活環境の向上に向けて、６施策に取り組んだ。
「居住環境の整備」、「身近な道路環境の整備」、「みどりの保全・創造」、「水の安定供給」及び「汚水・雨水対策の充実」の５施策では、設定する８つの成果指標について、目標を達成又はおおむね達成した。
「河川・港湾の整備」では、設定する２つの成果指標のうち、津波・高潮対策施設の整備率において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を達成した。
以上により、政策を構成する施策の平均得点率は９６％となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
居住環境の整備	18.9%	24.3%	64.8%
身近な道路環境の整備	33.5%	22.7%	75.0%
河川・港湾の整備	28.7%	13.7%	66.2%
みどりの保全・創造	33.3%	14.8%	57.4%
水の安定供給	57.4%	9.8%	85.4%
汚水・雨水対策の充実	37.0%	11.0%	73.2%
平均	34.8%	16.1%	70.3%

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	居住環境の整備

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
997,874千円	A	18.9%	64.8%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政　策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上
担当局	都市整備局、創造都市推進局、市民局

対象　市民（市営住宅の入居者及び入居申込者、住居表示実施区域内の住民、地籍調査計画区域内の関係権利者、開発行為をしようとする者、建築物を建築しようとする者、空き家所有者等）

意図　市営住宅の適切な維持管理、住居表示設定、地籍調査の実施、開発行為や建築に係る許認可事務の適正な実施、空き家等対策の実施をすることにより、居住環境の整備水準の向上を目指す。

概要（実績）

市営住宅の維持管理、空き家修繕を行うことにより、低廉な家賃の住宅を供給した。
住居表示実施区域内での新規表示設定を実施したことにより、住所の明確化に効果があった。
地籍調査の実施により、生活基盤の整備と充実及び居住環境の整備に役立てた。
開発行為の許可等の事務を適正に実施したことにより、良好な居住環境の向上に寄与した。
建築確認、完了検査等の事務を適正に実施したことにより、良好な居住環境の向上に寄与した。
空き家等の除却に対する支援や空き家の利活用を推進するなど、総合的な空き家対策を実施したことにより、良好な居住環境の向上に寄与した。

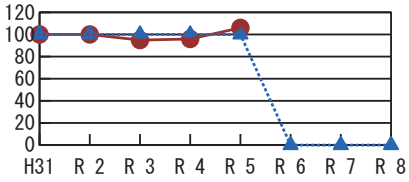
成果指標

①　指標名：建築物等の完了検査済証交付率

R 5実績	R 5目標	達成度
105.976%	100%	106.0%

状況：建築主や建設業者等に完了検査の受検を周知したほか、追跡調査を実施することにより、目標を達成することができた。

達成度の推移

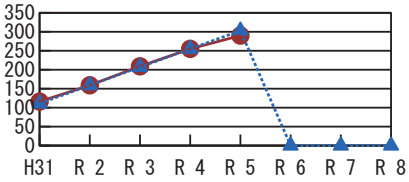


②　指標名：老朽危険空家除去支援件数

R 5実績	R 5目標	達成度
290件	303件	95.7%

状況：老朽危険空家の除却について、補助制度を活用し、令和５年度においては、３５件の除却支援を行った。

達成度の推移

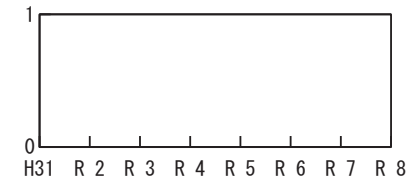


③　指標名：

R 5実績	R 5目標	達成度

状況：

達成度の推移



施策の課題

【市民局】倒壊の危険性や環境衛生面で問題のある空き家等には、防災、防犯、衛生、環境面等で多くの問題が含まれており、対策が急がれる。
【創造都市推進局】地籍調査は、災害時の復興事業を円滑に進めるためにも有効な事業であるものの、人員及び財源確保が事業進捗率の向上を図る上での課題となっている。
【都市整備局】市営住宅においては、老朽化による維持管理費等の増加が課題であり、第２期高松市市営住宅長寿命化計画に沿った効果的な事業実施が必要である。

施策の方向性

豊かな暮らしを支える生活・居住環境の向上のため、引き続き、各事業を着実に推進する。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1 空き家等対策事業 29,849千円 市民局 くらし安全安心課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	特別重点	72.9%	110.0%	A	A	B	A	改善継続
	（事業概要、事業実績等） 空家等対策の推進に関する特別措置法に規定する特定空家等の措置を行ったほか、老朽危険空家等の除却を行った。また、空き家の利活用と高松市内への移住の促進を図るため、香川県空き家バンク登録物件の改修工事に対し、補助金を交付するとともに、空き家所有者と不動産取引業者をつなぐ空き家等マッチング事業を行うなど、総合的な空き家対策に取り組んだ。 ◎老朽危険空家除却支援件数　実績３５件（目標４８件） ◎空家改修支援件数　実績１１件（目標１０件）							
2 （評価対象外）地籍調査事業 38,611千円 創造都市推進局 地籍調査室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 平成１７年度の本市及び６町の合併に伴い、合併前より地籍調査事業に着手していた塩江町、牟礼町、庵治町の調査業務を、合併前の建設計画、合併基本計画に基づき継続して事業を行い、塩江町は２１年度末で、牟礼町は令和２年度末で、庵治町は４年度末で、全地域の事業を完了した。 令和５年度については、合併時の建設計画、地域審議会の意見により平成２３年度から事業に着手した香川町において継続して事業を実施した。 事業実施により、豊かな暮らしを支える生活環境の向上（政策）、住環境の整備（施策）等に基礎的、根幹的部分で大きく貢献している。							
3 （評価対象外）開発指導事業 489千円 都市整備局 建築指導課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 都市計画法に基づく開発許可制度の適切な運用により、無秩序な市街化を抑制するとともに、一定の開発行為に対して、道路、公園等の公共施設等の整備を義務付けることなどにより、良好な居住環境の形成に寄与した。							
4 （評価対象外）建築指導事業 26,833千円 都市整備局 建築指導課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 建築基準法等の関係規定に基づき、建築確認申請等の審査、検査、許可、認定、届出、承認、指導、取締り、相談、閲覧、定期報告、統計調査、道路調査及び狭あい道路の整備事業を実施し、良好な居住環境の形成に寄与した。							
5 （評価対象外）住居表示管理事業 34千円 市民局 市民課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 市内中心部において、土地の分合筆により、欠番や飛び番が多くなり、住所が分かりにくいことに対応するため、土地所在地とは別に、住居ごとに番号を付す住居表示制度を昭和３９年から実施している。 この住居表示実施区域について、新旧証明書発行事務や住居新築時等における住居表示の新規設定を行ったことにより、住所の明確化に寄与した。							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
6	（評価対象外）市営住宅管理事業 902,058千円 都市整備局 市営住宅課								

（事業概要、事業実績等）

住宅困窮者に対し、住宅セーフティネットとしての公営住宅の役割を担うため、空き家募集用住宅の改修工事やエレベーター改修工事等の市営住宅の維持管理を行ったことにより、良好な居住環境に寄与した。

なお、地元関係者との協議に時間を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。
（繰越明許費繰越額：５６，３３３，０００円）
また、前年度からの繰越事業である外壁その他改修工事については完了した。
（令和４年度繰越明許事業費：１８５，０４８，６００円）

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	身近な道路環境の整備

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
2,206,072千円	A	33.5%	75.0%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政　策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上
担当局	都市整備局

対象	意図
市道利用者	道路の点検、修繕及び適切な道路改良などを行うことにより、良好な道路環境を確保するとともに、その整備・充実を図る。

概要（実績）

・道路橋りょう維持管理事業　工事件数４２件、舗装修繕面積約４万㎡
・道路新設改良事業（単独）　工事路線数２０路線
・道路整備事業（建設計画等登載路線）　道路整備進捗率の伸び０％（本線部は完成したため）
・県施行道路整備事業地元負担金　負担路線数１９路線３４工区
・橋りょう改築修繕事業　修繕等橋りょう数８橋

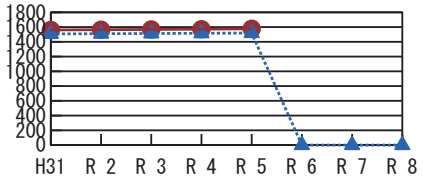
成果指標

①

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
市道改良延長	1,577ＫＭ	1,519ＫＭ	103.8%

状況：建設計画登載路線や生活道路を始め、橋りょう長寿命化修繕計画に基づく橋りょうの修繕や舗装の補修等を適切に行い、目標を達成することができた。

達成度の推移

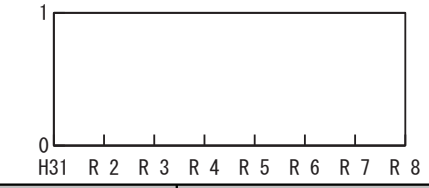


②

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度

状況：

達成度の推移

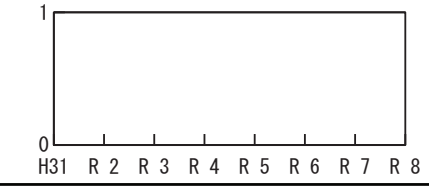


③

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度

状況：

達成度の推移



施策の課題

道路の維持管理は、近隣６町との合併による管理区域の拡大から、より一層のコスト縮減が求められており、今後、橋りょうの点検、修繕のみならず、道路の舗装についても維持管理コストの縮減を図っていく必要がある。
また、道路の整備についても財源を確保しつつ、平成２８年度に創設した生活道路整備事業により効率的な整備が求められている。

施策の方向性

道路や橋りょうの点検、修繕及び適切な道路改良などを行うことにより、安全で安心できる道路環境の整備、充実を図る。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	（評価対象外）県管理河川改修関連橋りょう架替事業 都市整備局 南部土木センター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 本事業は、県の河川改修に併せ、橋りょうをグレードアップすることにより、生活環境の向上に寄与するものであり、橋りょう架替工事について、事業主体である県に委託料を支出した。 なお、前年度からの繰越事業である県管理河川改修関連橋りょう架替事業については、県の計画の見直しにより、実施を見送った。 （令和４年度繰越明許事業費：０円）							
2	（評価対象外）県施行道路整備事業地元負担金事業 72,280千円 都市整備局 道路整備課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 県が施行する道路整備について、道路法第５２条の規定に基づく地元負担金として、事業費の１０％を負担したことにより、地域住民の利便性の向上や安全で安心できる道路環境の創出を推進した。 なお、事業主体である県が事業の一部を翌年度に繰り越したことにより、年度内に支出が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：３０，４３０，０００円） また、前年度からの繰越事業である道路整備に係る負担金の支出については完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：３５，３８６，６００円）							
3	道路新設改良事業 503,430千円 都市整備局 道路整備課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			99.1%		A	B	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 適切な道路構造への改良を行ったことにより、地域住民の利便性の向上や安全で安心できる道路環境の創出を推進した。 ◎幅員４ｍ以上の市道整備率　実績６５．９％（目標６６．５％） なお、地元関係者との協議に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：２００，０３１，０００円） また、前年度からの繰越事業である道路改良工事等については完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：２６０，９５６，０６９円）							
4	道路整備事業（建設計画等登載路線） 7,284千円 都市整備局 道路整備課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%		A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 建設計画等に位置付けられている２車線以上の道路の整備を行ったことにより、地域住民の利便性の向上や安全で安心できる道路環境の創出を推進した。 ◎道路整備率　実績１００％（目標１００％） なお、附帯事業の自転車道の復旧に当たり、関係機関との協議に日時を要したこと等により、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：１，４１３，０００円）							
5	橋りょう改築修繕事業 170,792千円 都市整備局 道路整備課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	100.0%	100.0%	A	B	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 高松市橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、計画的に橋りょうの修繕等を行ったことにより、管理コストを縮減するとともに、道路交通の安全性を確保した。 ◎５年以内の事後修繕等措置着手率　実績１００％（目標１００％） ◎予防保全修繕数　実績１橋（目標１橋） なお、関係機関との協議の結果、農繁期、出水期を避けて施工することとなり、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：１７５，４４３，０００円） また、前年度からの繰越事業である橋りょう修繕工事等については完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：１１０，０１１，３００円）							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容							
6	（評価対象外）道路橋りょう維持管理事業 1,452,286千円	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	都市整備局 道路管理課	（事業概要、事業実績等） 道路を保全するための点検、修繕を行ったことにより、安全で安心できる道路環境を確保した。 なお、設計内容の検討に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：２６４，８２６，０００円） また、前年度からの繰越事業である道路修繕工事等については完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：８１，７７３，６００円）							

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	河川・港湾の整備

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
788,048千円	B	28.7%	66.2%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政　策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上
担当局	都市整備局

対象	意図
河川・生活排水路・港湾・漁港・海岸等の施設	各施設の適正管理及び計画整備を行い、その機能を十分に発揮させる。

概要（実績）

今後発生が予想される南海トラフ地震等の大規模地震を想定し、総合的かつ計画的に浸水被害の解消を図るため、香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画に基づき、市管理漁港・港湾において、発生頻度の高い津波に対して、人命と財産を守る防災を目指した施設整備を推進するとともに、最大クラスの津波に対しては、粘り強い構造により減災を目指した施設整備事業を進めており、房前漁港においては、地震津波対策工事が完了した。
また、久通港については、海岸保全区域や港湾隣接地域の指定を行い、令和５年度より地質調査等を行っている。

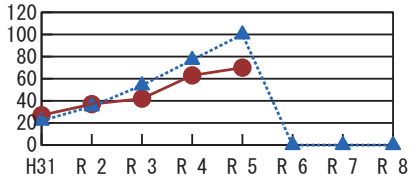
成果指標

①

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
津波・高潮対策施設の整備率	70%	100%	70.0%

状況：国の交付金の活用により、目標をおおむね達成することができた。

達成度の推移

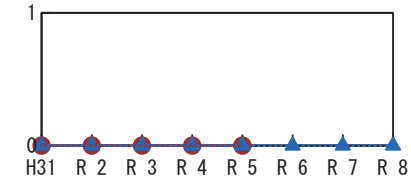


②

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
治水施設の不具合による浸水発生件数	0件	0件	100.0%

状況：老朽化した河川の護岸や排水路の改修及びポンプの更新のほか、適時に堆積土砂のしゅんせつを実施したことにより、目標を達成することができた。

達成度の推移

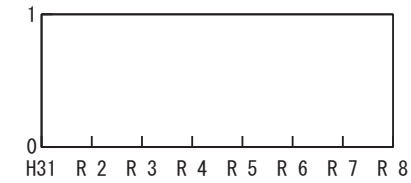


③

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度

状況：

達成度の推移



施策の課題

事業の実施に当たり、厳しい財政状況を踏まえて、国・県に対し、引き続き補助要望を行い、予算確保に努める必要がある。

施策の方向性

引き続き、豊かな暮らしを支える生活環境の向上を図るため、計画的に河川・港湾の整備事業を推進する。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
1 （評価対象外）漁港施設管理事業 125,968千円 都市整備局 河港課								
	（事業概要、事業実績等） 市管理漁港の修繕、改良等を行うとともに、漁港内清掃の実施や漁港施設の適切な使用を求めるなど、環境の改善を図り、管理１２漁港の機能を維持した。 なお、関係機関との協議に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：５２，６２３，０００円） また、前年度からの繰越事業である庵治漁港庵治漁港イ号浮桟橋アンカーチェーン等改良事業等については完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：７８，２７９，６００円）							
2 （評価対象外）港湾施設管理事業 349,300千円 都市整備局 河港課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 市管理港湾の修繕、改良等を行うとともに、港湾内清掃の実施や港湾施設の適切な使用を求めるなど、環境改善を図り、管理９港湾の機能を維持した。 なお、関係機関との協議に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：２５０，１９２，０００円） また、前年度からの繰越事業である大島港改修事業等については完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：２０４，５６５，９００円）							
3 （評価対象外）ポンプ場等整備・維持管理事業 103,153千円 都市整備局 河港課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 大雨や台風時等における河川の氾濫・浸水を防ぐため、ポンプ場、水門等の点検整備や維持修繕を実施し、施設の機能維持を行った。 なお、部品の調達に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：８９，３６６，０００円） また、前年度からの繰越事業である汐入川ポンプ場吐出管更新工事等については完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：５９，１３５，２００円）							
4 （評価対象外）生活排水路整備事業 59,213千円 都市整備局 水路対策調整室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 水質悪化・通水不良が発生している生活排水路の改修やしゅんせつ工事を行うことにより、生活環境の改善に寄与した。 なお、地元関係者との協議に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：３２，１５４，０００円） また、前年度からの繰越事業である生活排水路整備工事等については完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：３１，４４５，８５０円）							
5 （評価対象外）河川改良事業 106,620千円 都市整備局 河港課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 市管理準用河川及び普通河川において、大雨や台風時の通水機能を確保し、洪水被害を未然に防ぐため、老朽化した護岸構造物の改修やしゅんせつ工事を実施した。 なお、地元関係者との協議に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：１０４，１４７，０００円） また、前年度からの繰越事業である中ノ川改修工事等については完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：６４，１６８，０００円）							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
6	地震・津波海岸堤防等対策事業 43,794千円 都市整備局 河港課	一般重点	70.0%	B	B	A	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 今後発生が予想されている南海トラフ地震等による浸水被害の解消を図るため、香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画に基づく、改良工事等を行った。 ◎地震・津波海岸堤防等対策事業の進捗率　実績７０％（目標１００％） なお、地元関係者との協議に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：１４８，００４，０００円）						

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	みどりの保全・創造

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
526,835千円	A	33.3%	57.4%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政　策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上
担当局	都市整備局

対象	市民	意図	公園の整備や緑地の保全等により、生活環境の向上を目指す。

概要（実績）

第２次高松市緑の基本計画に基づき、まゆみ公園や鬼無公園（仮称）等の供用開始に向けて公園整備を行い、小学校区に公園が少ない地域に、気軽に憩いふれあえる場を創出することができた。
また、まゆみ公園の供用開始や人口減少等により、市民一人当たりの公園面積を増やした。
ちびっこ広場の修繕等により、利用者の安全性・利便性が向上した。
公園・街路樹の維持管理により、緑豊かで美しい景観の維持に寄与した。
名木の指定や管理支援などにより、地域のシンボルである名木の保存・育成に寄与した。
花壇づくりの開催により、快適な生活環境づくりや緑化意識の高揚に寄与した。
公共公益施設、民有地の緑化により、温暖化対策に寄与するとともに、市民が憩え、楽しめる空間を創出することができた。

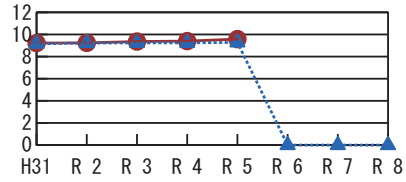
成果指標

①

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
市民１人当たりの都市公園等の面積	9.58㎡	9.28㎡	103.2%

状況：新規公園の供用開始、開発公園の寄附及び人口減少等に伴い、目標値を上回った。

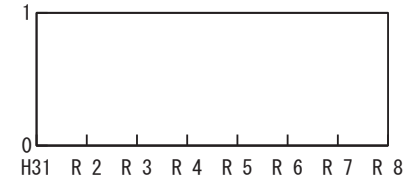
達成度の推移



②

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度

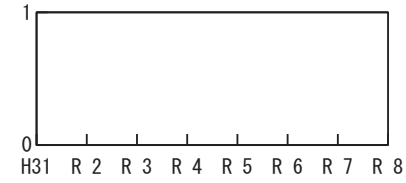
達成度の推移



③

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度

達成度の推移



施策の課題

第２次高松市緑の基本計画に基づき、緑の保全・創造に取り組んでおり、まゆみ公園や鬼無公園（仮称）等の身近な公園整備に取り組むなど、緑豊かなまちづくりを計画的に進めている。
引き続き、基本計画の主要事業である「１小学校区１公園」の身近な公園整備事業については、各小学校区の公園面積の拡充に向け、地元コミュニティ協議会と連携を図りながら、整備していく必要がある。

施策の方向性

環境保全機能、レクリエーション機能、防災機能、景観形成機能等の多様な機能を持つ都市公園の整備や公園・街路樹の維持管理等の緑の保全に関する施策は、潤いと安らぎのある生活環境の創出に不可欠であることから、今後とも継続していくものとする。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容
1	身近な公園整備事業 104,016千円 都市整備局 公園緑地課	重点： 成果達成度：93.5% 妥当性：B 有効性：A 効率性：B 総合評価：A 今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） 第２次高松市緑の基本計画に基づき、小学校区に公園が少ない地域に、気軽に憩いふれあえる場を創出するため、まゆみ公園、鬼無公園（仮称）、香川町川東公園（仮称）整備事業の進捗を図り、市民一人当たりの公園面積の増加に寄与した。 ◎全体進捗率（公園整備件数累計）　実績８１．８％（目標８７．５％） なお、整備内容の協議に、日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：５２，３０３，０００円） また、前年度からの繰越事業である身近な公園整備事業については完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：４，７４０，９００円）
2	民間活力の導入による中央公園再整備事業 494千円 都市整備局 公園緑地課	重点：特別重点 成果達成度：2.2% 妥当性：A 有効性：A 効率性：B 総合評価：D 今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） 中央公園において、民間活力をいかした中央公園再整備方針及び公募設置等指針を作成し、事業者の選定を行う事により、事業の進捗を図った。 また、民間活力をいかした中央公園再整備検討委員会を開催し、意見を聴取しながら基本設計の検討を行った。 ◎中央公園再整備の進捗率（事業費ベース）　実績０．１％（目標４．５％） なお、基本設計の内容の協議に日時を要したことにより、年度内に完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：２８，０２５，０００円）
3	（評価対象外）ちびっこ広場整備事業 1,407千円 都市整備局 公園緑地課	重点： 成果達成度： 妥当性： 有効性： 効率性： 総合評価： 今後の方向性： （事業概要、事業実績等） 第２次高松市緑の基本計画に基づき、地域に都市公園等が無く、当分の間、公園整備が見込めない地区の公園を補完するちびっこ広場の適切な維持管理を行った。 なお、整備内容の協議に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：１，０８９，０００円）
4	花いっぱい推進事業 19,297千円 都市整備局 公園緑地課	重点： 成果達成度：79.8% 妥当性：A 有効性：A 効率性：B 総合評価：B 今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） 駅前広場や道路、商店街の街角の公共花壇やポケットパーク等の地区花壇の草花の管理を推進するとともに、快適な生活環境や潤いのあるまちづくりを推進した。 ◎ボランティア管理花壇箇所数　実績９１か所（目標１１４か所）
5	（評価対象外）公園・街路緑化事業 105,021千円 都市整備局 公園緑地課	重点： 成果達成度： 妥当性： 有効性： 効率性： 総合評価： 今後の方向性： （事業概要、事業実績等） 公園の高木や街路樹の剪定、病害虫の駆除等を行うことにより、市民に緑あふれる快適な環境を提供することができた。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容							
6	（評価対象外）名木保護事業 694千円 都市整備局 公園緑地課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 郷土の景観やシンボルである貴重な古木・巨木３７本を、高松市の名木として指定し、樹木の照会や管理を支援するなどにより、市民に自然の恵みを与えてきた名木の保存に寄与した。							
7	（評価対象外）公園施設管理運営事業 295,906千円 都市整備局 公園緑地課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 公園愛護会による公園の清掃活動のほか、公園施設の安全点検及び修繕並びに樹木の剪定などの愛護活動を支援したことにより、公園の適切な維持管理を行った。 なお、公園等再整備事業等については、設計内容の検討に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：３４，６８２，０００円） また、前年度からの繰越事業である公園等再整備事業については完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：４４，９０８，４００円）							

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	水の安定供給

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
10,013千円	A	57.4%	85.4%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政　策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上
担当局	環境局、総務局

対象	市民、事業者	意図	限りある水資源を有効利用することにより、持続可能な水環境を形成するとともに、安心して、いつでも使える水道水を供給する。

概要（実績）

浄水場整備事業や配水管布設工事、布設替工事等を施工し、安定給水に寄与した。
また、水道水を将来にわたり、安定的に供給するため、県と市町で協力しながら、県内水道事業の広域化に取り組んだ結果、平成２９年１１月に香川県広域水道企業団が設立され、３０年４月から、水道事業が同企業団に移管された。安全で良質な水の供給においては、浄水場の適切な運転管理や水質検査を実施するとともに、あらゆる工事機会を捉えた鉛管の取替えや助成制度の利用促進など、鉛製給水管の解消にも積極的に取り組み、安全な水道水を供給してきた。また、給水対象外の居住者に対して自家用給水装置の費用の一部を補助し、飲用水を確保する事業に取り組んだ。持続可能な水環境の形成においては、水環境基本計画の進行管理を環境基本計画において一体的に行い、取組を進めた。さらに、引き続き、我が家の水がめづくり事業等、水の有効利用促進に取り組むことにより、市民等の自発的・積極的な節水行動や節水意識の向上に寄与した。

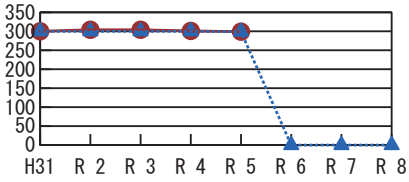
成果指標

①

指標名	１人１日当たり水道平均使用水量	R 5実績	R 5目標	達成度
		299Ｌ	299Ｌ	100.0%

状況：給水人口は引き続き減少が続いている一方、給水世帯数は増加傾向である。令和５年度については物価高騰等の影響で使用者の節水意識が高まり、使用水量の減少につながった結果、指標の目標を達成することができた。（参考）香川県広域水道企業団実績

達成度の推移

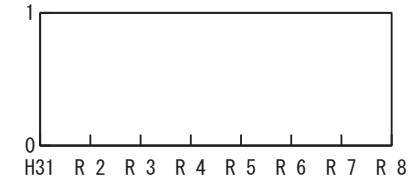


②

指標名		R 5実績	R 5目標	達成度

状況：

達成度の推移

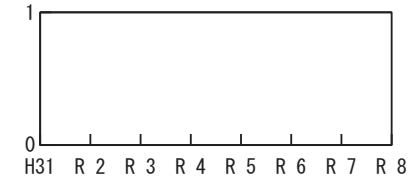


③

指標名		R 5実績	R 5目標	達成度

状況：

達成度の推移



施策の課題

【環境局】水環境に関する取組は広範囲に及ぶため、市内部はもとより、香川県広域水道企業団・関係機関等の相互理解の下、連携・協力体制を強化することが必要である。生活用水等確保対策事業については、利用件数が少ないことから、制度の周知を広く図り、自己の用に供する飲用水の安定的な確保を図る必要がある。
【都市整備局】椛川ダム整備事業については、令和４年度で完了した。再生水利用下水道事業の既存施設有効活用や雨水利用助成制度の周知により、再生水等の利活用について、引き続き、啓発する必要がある。

施策の方向性

香川県広域水道企業団との連携を図り、引き続き、自己処理水源の確保に取り組むとともに、施設の耐震化や老朽化した施設の更新を計画的に実施して、安全で安定した水道水の供給に努める。
今後は、環境基本計画の進行管理に合わせて、水源域との連携も踏まえ、持続可能な水環境の形成の実現に向けた取組を進める。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1 （評価対象外）渇水対策事業 総務局 危機管理課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 令和４年７月１日から設置していた渇水対策本部を令和５年４月１０日に解散し、その後は深刻な渇水となることはなかったが、非かんがい期に第１次取水制限となった際には、市民への周知や庁内での節水を行った。							
2 生活用水等確保対策事業補助事業 300千円 環境局 環境総務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		94.1%	28.6%	A	B	B	C	継続
	（事業概要、事業実績等） 香川県広域水道企業団が実施する水道事業の給水対象外の区域に居住する者に対し、自己の用に供する飲用水の安定的な確保を推進するため、自家用給水装置の費用の一部を補助する制度の周知を行い、相談などにも対応した。 生活用水等確保対策事業補助件数：新規１件 ◎生活用水確保対策事業補助累積件数（平成２１年度以降） 実績１６件（目標１７件） ◎飲用水給水ホース等設置事業補助累積件数（平成２１年度以降） 実績２件（目標７件）							
3 （評価対象外）水環境基本計画推進事業 409千円 環境局 環境総務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 環境基本計画と一体的に進行管理を行い、各種施策に取り組んだ。							
4 我が家の水がめづくり事業 13千円 環境局 環境総務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		100.0%		A	B	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 節水に関する事業や啓発活動等を総称する我が家の水がめづくりの取組の一環として、巧水スタイル推進チームと連携し、周知啓発を行った。 また、「広域連携ＳＤＧｓモデル事業」について、水源の保全や涵養、脱炭素化などを図るため、土佐町等と令和６年１月に一般財団法人もりとみず基金を設立し、連携を推進した。 ◎一人一日当たりの水道水平均使用量　実績２９９Ｌ（目標２９９Ｌ）							

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	汚水・雨水対策の充実

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
4,049,086千円	A	37.0%	73.2%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政　策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上
担当局	都市整備局

対象	市民	意図	生活環境の改善や公衆衛生の向上、浸水被害の軽減・解消、さらには、河川、海域等の公共用水域の水質保全を図る。

概要（実績）

汚水管きょの整備により、新たに３．０ｈａの供用を開始し、生活環境改善に寄与するとともに、浸水対策整備事業として、浸水被害の軽減を目的に、西部バイパス幹線への接続工事や周辺市街地において、宮川幹線の整備等を実施した。
また、下水道ストックマネジメント計画に基づき、下水処理場やポンプ場等、老朽化の進んだ設備を改築することにより、処理等の機能を確保した上で適切な運転・維持管理を行うとともに、処理過程で発生する消化ガスや再生水等の下水道資源を有効に活用した。
さらに、２４２基の単独処理浄化槽からの転換を始め、２５５基の合併処理浄化槽の設置経費に助成を行ったことにより、生活環境が向上した。

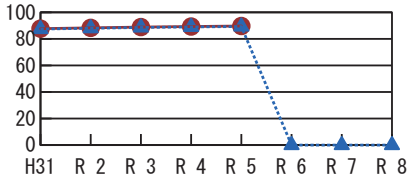
成果指標

①

指標名	汚水処理人口普及率	R 5実績	R 5目標	達成度
		89.7%	89.3%	100.4%

状況：下水道汚水管きょの整備による３．０ｈａの供用を始め、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促進等により、前年度から０．４ポイント上昇し、目標を達成することができた。

達成度の推移

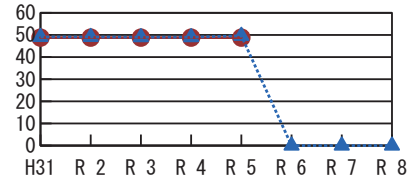


②

指標名	雨水対策整備率	R 5実績	R 5目標	達成度
		48.8%	49.6%	98.4%

状況：中心市街地の浸水対策として西部地区において既設管きょから整備が完了した雨水幹線への接続工事を進めるとともに、周辺市街地において宮川雨水幹線の整備を行うなど、施設整備に取り組んだが、目標を僅かに下回った。

達成度の推移

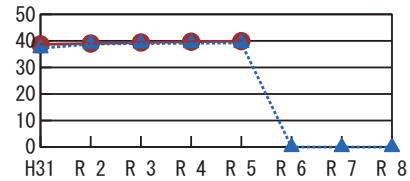


③

指標名	下水道管路耐震化率	R 5実績	R 5目標	達成度
		39.9%	39.2%	101.8%

状況：耐震性を有した下水道管路の新設及び改築・更新を３．５ｋｍ行い、前年度から０．２ポイント上昇し、目標を達成することができた。

達成度の推移



施策の課題

下水道事業計画区域内の汚水対策については、生活排水対策を更に推進するため、私道への下水道管布設承諾に係る地元関係者の合意形成を図るとともに、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促進や下水道未接続世帯の解消に努めるなど、普及促進のための具体的な取組を継続的に行う必要がある。

施策の方向性

多核連携型コンパクト・エコシティの取組との整合を図りながら、高松市下水道事業基本計画や第４次高松市生活排水対策推進計画に基づき、公共下水道の整備や合併処理浄化槽の転換促進により、計画的かつ効果的な生活排水対策に取り組む。
また、中心市街地において、西部バイパス幹線接続工事や日新ポンプ場等の整備を進めるとともに、周辺市街地においても、宮川幹線を始めとする雨水幹線の整備を行うなど、安全で安心なまちづくりを推進する。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
1	合併処理浄化槽設置整備事業 189,184千円 都市整備局 下水道業務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.8%		A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 下水道事業計画区域外における合併処理浄化槽の設置に対し補助を行った。 令和元年度から単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換に重点を置く国の方針に従い、新設に対する補助を廃止した上で、転換の配管費用に対する補助への上限額を３０万円に引き上げて転換を促進しており、継続的な取組の結果、汚水処理人口普及率（合併処理浄化槽）が０．３ポイント上昇し、生活環境が改善された。 合併処理浄化槽設置補助　２５５基 （単独処理浄化槽撤去・配管費補助　２４２基） ◎合併処理浄化槽による汚水処理人口普及率 実績２５．２％（目標２５．０％）						
2	（評価対象外）浄化槽管理指導事業 2,700千円 都市整備局 下水道業務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 浄化槽の法定検査未受検の管理者に対して、香川県浄化槽協会と連携して受検指導を行ったほか、浄化槽管理士を対象とした研修会や新たに浄化槽を設置した管理者を対象とした講習会の開催などにより、浄化槽の適正な管理に寄与した。						

（5） 環瀬戸内海圏の中核都市として
ふさわしいまち

令和５年度　政策の概要調書

総合計画体系		
	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち
	政　策	コンパクトで魅力ある都市空間の形成

総合評価
A

１　政策の概要

コンパクトで魅力ある都市空間の形成を図るため、人口減少、少子・超高齢社会においても、活力を失わず、市民がいきいきと暮らせるコンパクトで持続可能な集約型都市の構築に向け、都市計画制度等の的確な運用により、適正な土地利用を推進するとともに、地域における拠点性の確保を図るなど、多核連携型コンパクト・エコシティの推進に努めます。

また、自然・都市・歴史・文化の調和した、誰もが暮らしたい、訪れたいと感じる、美しいまちの実現に向け、景観の保全・形成・創出に努めます。

２　政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
多核連携型コンパクト・エコシティの推進	95%	A
景観の保全・形成・創出	100%	A
平均	97%	A

３　政策の評価

コンパクトで魅力ある都市空間の形成に向けて、２施策に取り組んだ。

「多核連携型コンパクト・エコシティの推進」及び「景観の保全・形成・創出」の２施策では、設定する３つの成果指標について、目標を達成又はおおむね達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は９７％となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
多核連携型コンパクト・エコシティの推進	22.7%	23.1%	62.9%
景観の保全・形成・創出	25.5%	18.9%	57.5%
平均	24.1%	21.0%	60.2%

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	多核連携型コンパクト・エコシティの推進

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
151,219千円	A	22.7%	62.9%

まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち
政　策	コンパクトで魅力ある都市空間の形成
担当局	都市整備局

対象	市民	意図	平成３０年４月に改定した多核連携型コンパクト・エコシティ推進計画に基づき、集約拠点への都市機能の集積と市街地の拡大抑制による、コンパクトで持続可能な都市構造「多核連携型コンパクト・エコシティ」の実現を目指す。

概要（実績）

人口減少、少子・超高齢化社会の本格的な到来を見据え、集約拠点への都市機能の集積と市街地拡大を抑制し、コンパクトで持続可能なまちづくりを進めるため、地理空間データ基盤を活用し、本市のインフラ台帳と民間事業者が保有するデータを連携させ、地図上で可視化できるアプリケーションを構築したことにより、多分野において官民が連携した業務改善や新たなサービス創出を推進することができた。
また、都市計画マスタープランや関連計画の見直しを行った。

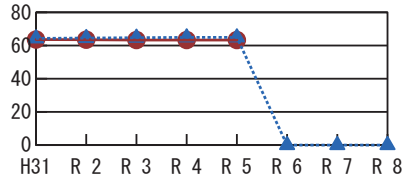
成果指標

①

指標名	用途地域内の人口比率	R 5実績	R 5目標	達成度
		63.3%	64.9%	97.5%

状況：前年度と同値となり、目標をおおむね達成することができた。

達成度の推移

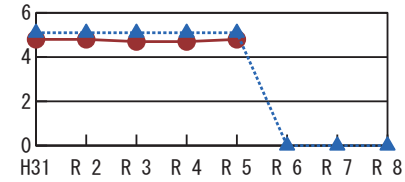


②

指標名	中心市街地の居住人口の割合	R 5実績	R 5目標	達成度
		4.8%	5.1%	94.1%

状況：前年度から２４８人増の２０，２１６人と増加傾向で、居住人口の割合としても前年度から微増し、目標をおおむね達成することができた。

達成度の推移

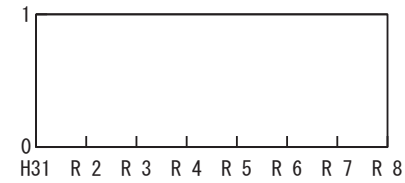


③

指標名		R 5実績	R 5目標	達成度

状況：

達成度の推移



施策の課題

平成３０年３月に策定した立地適正化計画に基づき、今後、デジタル技術も活用しながら、実効性のある誘導施策・事業を実施し、市街地の更なる拡大の抑制と都市機能の集約を図るとともに、コンパクトで持続可能なまちづくりを目指す。
また、都市計画マスタープランを改定し、公共交通を基軸とした集約型都市の構築に向けた効果的な施策・事業を推進する。さらに、高松市住生活基本計画や高松市マンション管理適正化推進計画に基づき、良質な住宅ストックの形成や既存住宅の適正管理・流通を促進する新規事業を開始した。

施策の方向性

引き続き、立地適正化計画やコンパクト・エコシティ推進計画に基づき、人口減少、少子・超高齢社会を見据え、３０年後、５０年後においても活力を失わず、市民がいきいきと暮らせるコンパクトで持続可能なまちづくりを実現するために継続して事業を推進する。
令和６年度は、６年３月に策定された、第７次高松市総合計画を踏まえ、都市計画マスタープラン（地域別構想（都心地域以外））や関連計画の見直しを行う。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	（評価対象外）新病院を核としたまちづくり推進事業（北側エリア整備事業）（住宅・まちづくり推進室分） 1,820千円 都市整備局 住宅・まちづくり推進室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 農業試験場跡地北側エリアにおいて、北側エリア内の管理業務（草刈）と、杭の打替え工事を遂行した。							
2	地理空間データ基盤整備事業 123,088千円 都市整備局 デジタル社会基盤整備室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		特別重点	136.7%	500.0%	A	A	A	A	拡充
		（事業概要、事業実績等） 令和４年度に整備した地理空間データ基盤を活用し、本市のインフラ台帳と民間事業者が保有するデータを連携させ、地図上で可視化できるアプリケーションを構築したことにより、複数分野での官民連携による業務改善や新たなサービス創出の推進に寄与した。 ◎地理空間データ基盤に登載した官民の地図情報等の数 実績４１件（目標３０件） ◎地理空間データ基盤上で提供されるサービス数 実績５件（目標１件）							
3	（評価対象外）都市計画制度運用事業 12,436千円 都市整備局 都市計画課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 都市の健全な発展と秩序のある整備を図るため、土地利用における地域地区及び都市施設等、都市計画を定める都市計画審議会の運営を行った。							
4	豊かな住まいづくり事業 1,966千円 都市整備局 住宅・まちづくり推進室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	95.1%	95.7%	A	A	A	A	拡充
		（事業概要、事業実績等） 本市の住宅関係施策の統一した指針となる高松市住生活基本計画に基づき、既存マンションの適正な管理や流通促進、管理の適正化意識の醸成を促すため、高松市マンション管理適正化推進計画を策定し、マンション管理計画認定制度や管理士派遣業務行い、良質な居住環境の確保に向けて取り組んでいる。 ◎市民満足度調査（居住年数１０年未満の対象者における、住みよい・まあまあ住みよいの割合）　実績８２．２％（目標８６．４％） ◎居住誘導区域内の人口密度 実績４４．４人／ｈａ（目標４６．４人／ｈａ）							
5	多核連携型コンパクト・エコシティ推進事業 11,909千円 都市整備局 都市計画課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	95.7%	94.1%	A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 平成２９年度に策定した立地適正化計画や多核連携型コンパクト・エコシティ推進計画に基づき、コンパクト・エコシティ推進懇談会を開催し、事業の進捗状況を確認したことにより、集約拠点への都市機能の集積や市街地の拡大抑制によるコンパクトで持続可能な「多核連携型コンパクト・エコシティ」の実現に寄与した。 ◎居住誘導区域内の人口密度 実績４４．４人／ｈａ（目標４６．４人／ｈａ） ◎中心市街地の居住人口の割合　実績４．８％（目標５．１％）							

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	景観の保全・形成・創出

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
38,313千円	A	25.5%	57.5%

まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち
政　策	コンパクトで魅力ある都市空間の形成
担当局	都市整備局

対象	意図
市民	良好な景観の保全・形成・創出と環境美化を一体的に推進するため、美しいまちづくり条例を制定し、条例に基づく景観施策の指針となる美しいまちづくり基本計画を策定するとともに、景観法に基づく景観計画を策定することにより、地域に即した都市景観の形成を目指す。

概要（実績）

良好な都市景観を保全・形成・創出するとともに、まちの環境美化に取り組むことにより、美しいまちづくりを推進するため、平成２８年４月１日から屋島地区及び讃岐国分寺跡周辺地区を景観計画で定める景観形成重点地区に追加指定した。

また、令和５年度は景観条例に基づく届出対象行為に対する審査を行ったほか、既存不適格広告物の広告主に対し屋外広告物改修補助制度の活用による早期撤収・改修を促すとともに、はり紙などの違反屋外広告物について、関係者と連携して簡易除去を行ったことにより、良好な景観の保全・形成・創出に寄与した。

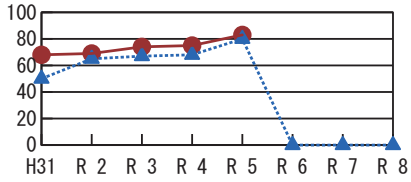
成果指標

①

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
特別な区域における既存不適格広告物の適正化率	83%	80%	103.8%

状況：平成２７から２８年度にかけて、特別な区域のうち特に栗林公園内の眺望地点から望見される広告物が改修され、令和５年度についても、引き続き、主要交差点における広告物が除却され、目標を達成することができた。

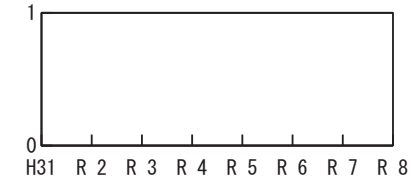
達成度の推移



②

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度

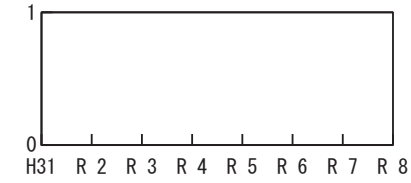
達成度の推移



③

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度

達成度の推移



施策の課題

美しいまちづくりの実現に向けては、市・市民・事業者がそれぞれの役割分担の下で、三者が一体となって地域の魅力や特性を生かしたまちづくりを進めていく必要がある。

施策の方向性

良好な都市景観の形成に向け、美しいまちづくり条例に基づく基本計画で定めた目標を達成するため、平成２８年４月に一部変更した景観計画の周知・啓発と一定規模以上の建築物等に対する指導・助言により、良好な景観の保全・形成を図るとともに、２５年度に改正した高松市屋外広告物条例に基づく、屋外広告物の規制・誘導を行い、建築物等と一体となった良好な景観形成を推進する。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

<table>
<tr><th colspan="2">事務事業名及び事業費
担当課</th><th colspan="8">事業内容</th></tr>
<tr><td rowspan="4">1</td><td rowspan="3">屋外広告物対策事業

4,186千円</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td></td><td>163.3%</td><td></td><td>A</td><td>A</td><td>A</td><td>A</td><td>継続</td></tr>
<tr><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
屋外広告物条例に基づき、屋外広告物の表示や掲出物件の設置を規制・誘導したほか、市民との協働による簡易な違反広告物の除去活動を行うことにより、良好な景観形成に寄与した。

◎違反広告物簡易除去件数　実績１１件（目標３０件）</td></tr>
<tr><td>都市整備局
都市計画課</td></tr>
<tr><td rowspan="4">2</td><td rowspan="3">美しいまちづくり推進事業

34,127千円</td><td>重点</td><td colspan="2">成果達成度</td><td>妥当性</td><td>有効性</td><td>効率性</td><td>総合評価</td><td>今後の方向性</td></tr>
<tr><td></td><td>91.1%</td><td>83.3%</td><td>A</td><td>A</td><td>B</td><td>A</td><td>継続</td></tr>
<tr><td colspan="8">（事業概要、事業実績等）
景観施策の指針である美しいまちづくり基本計画に定める目標を実現するため、一定規模以上の建築物等に対して指導・助言を行うことなどにより、良好な景観形成を誘導した。

◎施策全体の満足度　実績２５．５％（目標２８％）
◎景観形成重点地区数　実績５地区（目標６地区）

なお、実施主体の事業が遅れたことにより、年度内に補助金の支出が一部不可能となったため、事業費の一部を翌年度に繰り越した。
（繰越明許費繰越額：３，３６４，０００円）
また、前年度からの繰越事業である補助金については完了した。
（令和４年度繰越明許事業費：３０８，０００円）</td></tr>
<tr><td>都市整備局
都市計画課</td></tr>
</table>

令和５年度　政策の概要調書

総合計画体系		
	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち
	政　策	快適で人にやさしい都市交通の形成

総合評価
C

１　政策の概要

多様な交通が有機的に連携した快適で人にやさしい都市交通の形成を図るため、過度に自動車に依存せず、誰もが安全で快適に移動することができるよう、生活バス路線の確保、離島航路への支援など、公共交通機関の充実・強化や主要な駅等におけるパーク・アンド・ライドの推進など、公共交通の利便性の向上を図ります。
また、自転車利用者と歩行者の双方が道路を安全で快適に利用できるよう、駐輪場や自転車走行空間の確保を始め、レンタサイクルや放置自転車対策などの事業を進めるとともに、自転車利用者のマナー向上に努めます。

２　政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
公共交通の利便性の向上	73%	B
自転車の利用環境の向上	60%	C
平均	66%	C

３　政策の評価

快適で人にやさしい都市交通の形成に向けて、２施策に取り組んだ。
「公共交通の利便性の向上」及び「自転車の利用環境の向上」の２施策では、設定する４つの成果指標について、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、目標に届かなかった。
以上により、政策を構成する施策の平均得点率は６６％となり、政策の目指す目標の達成に向けて一層の取組が必要であることから、本政策の総合評価は「C」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
公共交通の利便性の向上	18.1%	40.9%	82.0%
自転車の利用環境の向上	24.6%	24.2%	58.2%
平均	21.4%	32.6%	70.1%

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	公共交通の利便性の向上

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
955,319千円	B	18.1%	82.0%

まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち
政　策	快適で人にやさしい都市交通の形成
担当局	都市整備局

対象	意図
市民、来訪者	市民の活動を支える多様な移動手段を確保するとともに、公共交通の利便性の向上により、公共交通の利用促進を図る。

概要（実績）

持続可能な公共交通ネットワークを構築していく観点から、太田～仏生山駅間の新駅整備や現行バス路線の再編に取り組んでおり、令和６年３月にバス路線再編を内容とする高松市地域公共交通利便増進実施計画について国からの認定を得るとともに、６年４月からは、新たに伏石駅に結節するバス路線の運行が開始された。

また、高松市公共交通利用促進条例の理念等に基づき、高齢者割引や鉄道・バス等の乗り継ぎ割引事業を継続した。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ利用者は、徐々に回復傾向にある。

成果指標

①

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
公共交通機関利用率	14.1%	16.5%	85.5%

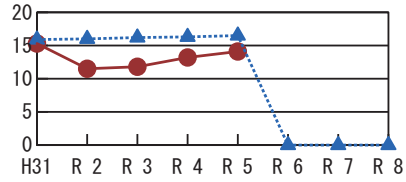
状況

平成１９年度を基準年度とし、毎年度一定の利用者増を目標に掲げている。

平成２０年代半ばから増加傾向にあった公共交通利用者は、新型コロナウイルス感染症の影響により減少に転じた。

令和５年度は、１日当たり３，５９７人増加し、回復傾向にあるが、目標を達成することができなかった。

達成度の推移



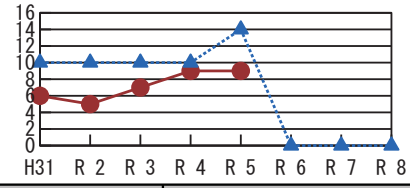
②

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
交通結節拠点におけるバス路線の結節数（都心部を除く）	9路線	14路線	64.3%

状況

新たな公共交通の結節拠点整備に併せ、バス路線再編を進め、公共交通ネットワークの再構築の進捗を確認するため、平成２４年度の交通結節拠点におけるバス路線の結節数を目標に掲げている。令和５年度は目標を達成することができなかったものの、６年３月に新たなバス路線再編を内容とする高松市地域公共交通利便増進実施計画について国からの認定を得た。

達成度の推移

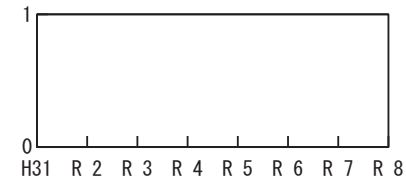


③

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度

状況

達成度の推移



施策の課題

過度な自動車利用から公共交通利用への転換を図るため、利便性が高く持続可能な公共交通ネットワークの再構築に当たっては、新たな交通結節拠点整備やバス路線再編と併せて、快適に公共交通を利用できる環境を整えることが必要である。

施策の方向性

公共交通の利便性の向上に当たっては、市全域を対象とした公共交通体系の再編とハード・ソフトの両面から公共交通の利便性の向上に資する施策を積極的に推進するとともに、都市計画マスタープランに掲げる、「多核連携型コンパクト・エコシティ」の観点から、拠点地域等への都市機能の集約を進めるなど、集約型の都市構造への転換を図り、公共交通の利用を促進する。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容
1	公共交通維持改善事業（交通政策課分） 138,354千円 都市整備局 交通政策課	重点：特別重点　成果達成度：85.5%　40.0%　妥当性：A　有効性：B　効率性：A　総合評価：C　今後の方向性：改善継続 （事業概要、事業実績等） 公共交通の維持や利便性の向上を図り、快適に公共交通を利用できる環境を確保するため、県と共に赤字路線に対する補助金を交付した。 また地域主体のコミュニティバスの導入を促進するため、多肥・仏生山地区において、引き続き、試験運行事業を実施した。 ◎公共交通機関利用率　実績１４．１％（目標１６．５％） ◎地域と連携したコミュニティ交通路線数　実績２路線（目標５路線） なお、前年度からの繰越事業であるユニバーサルデザインタクシー導入促進事業補助金については完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：４００，０００円）
2	（評価対象外）駐車場管理運営事業 403,064千円 都市整備局 交通政策課	重点　成果達成度　妥当性　有効性　効率性　総合評価　今後の方向性：（いずれも空欄） （事業概要、事業実績等） 引き続き、指定管理者による市営駐車場８施設の管理・運営を行い、利用者の利便性の向上と経費節減につなげた。 なお、電気設備資材の納期に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：５，６１０，０００円）
3	（評価対象外）地域公共交通運行特別支援事業 106,750千円 都市整備局 交通政策課	重点　成果達成度　妥当性　有効性　効率性　総合評価　今後の方向性：（いずれも空欄） （事業概要、事業実績等） 燃料等の物価の高騰による運行経費の増加、運転手の不足、改善基準告示等の改正による運転手の労働時間の上限規制等、厳しい経営環境にある交通事業者の状況に鑑み、当該交通事業者に対し、その経営について支援を行うことにより市民等の移動手段を維持確保することができた。
4	公共交通維持改善事業（都市計画課分） 7,200千円 都市整備局 都市計画課	重点：特別重点　成果達成度：100.0%　妥当性：A　有効性：A　効率性：B　総合評価：A　今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） 令和５年度においては、ＪＲ端岡駅に内方線付点状ブロックが設置され、バリアフリー化が進捗した。 ◎バリアフリー化率　実績６０．３％（目標６０．３％）
5	公共交通利用促進事業 123,326千円 都市整備局 交通政策課	重点：一般重点　成果達成度：52.6%　85.5%　妥当性：A　有効性：A　効率性：B　総合評価：B　今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） 高松市総合都市交通計画及び高松市公共交通利用促進条例の理念を踏まえた施策である、電車・バス及びバス・バス乗り継ぎ割引や高齢者公共交通運賃半額事業を継続実施した。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により減少した利用者は、徐々に回復傾向にある。 ◎本施策の市民満足度　実績１８．１％（目標３４．４％） ◎公共交通機関利用率　実績１４．１％（目標１６．５％）

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
6	地域公共交通再編事業 176,625千円 都市整備局 交通政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		特別重点	52.6%	85.5%	A	B	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 大臣認定を受けた高松市地域公共交通利便増進実施計画に基づき、バス路線再編に取り組むとともに、太田～仏生山駅間の新駅整備については、埋蔵文化財発掘調査等を行った。また、タクシーを活用した新しい交通モード「バタクス」の創出に向けた実証事業の運行を継続した。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により減少した利用者は、徐々に回復傾向にある。 ◎本施策の市民満足度　実績１８．１％（目標３４．４％） ◎公共交通機関利用率　実績１４．１％（目標１６．５％） なお、関係機関との協議に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：６，４９８，０００円） また、前年度からの繰越事業である物件補償等については完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：５３，９３８，６０３円）						
7	ＪＲ端岡駅周辺整備事業 都市整備局 交通政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	85.5%		A	B	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 本市が目指す「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりの考えの下、持続可能な公共交通ネットワークの構築を目指し、本市西部南地域の核となる駅として利便性向上と交通結節拠点機能を強化するため、ＪＲ端岡駅の駅舎や駅前広場、国道からのアクセス道路等を一体的に整備する基本計画（素案）に基づき、鉄道事業者と協議・調整を図った。 ◎公共交通機関利用率　実績１４．１％（目標１６．５％）						

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	自転車の利用環境の向上

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
192,231千円	C	24.6%	58.2%

まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち
政　策	快適で人にやさしい都市交通の形成
担当局	都市整備局

対象	市民	意図	市民が安全で快適に、自転車を利用するための環境を整備し、自転車利用の促進を目指す。

概要（実績）

平成２０年１１月に策定した高松市中心部における自転車ネットワーク整備方針及び令和３年３月に改定した整備対象路線網図に登載している路線のうち、１路線の整備を行った。
また、放置自転車を利活用したレンタサイクル事業では、令和４年４月からスマートフォンアプリによる登録申請やキャッシュレス決済などを取り入れた、レンタサイクルシステムを引き続き運用した。
さらに、イベントにおいてデザインしたレンタサイクルの貸出しや大学でのパンフレットの配布等の利用促進施策に取り組んだ。

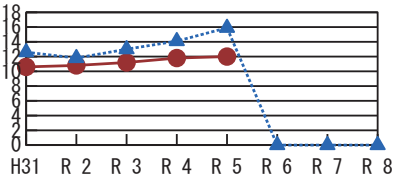
成果指標

①

指標名	自転車道等整備済延長（累積）	R 5実績	R 5目標	達成度
		12km	15.9km	75.5%

状況：浜ノ町宮脇線において、車道混在（矢羽根型路面標示）を０．２ｋｍ整備したが、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

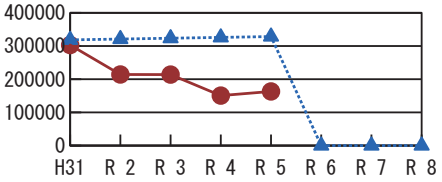


②

指標名	レンタサイクル利用者数	R 5実績	R 5目標	達成度
		163,131人	328,500人	49.7%

状況：令和４年４月に、新たにスマートフォンのアプリを活用した登録申請やキャッシュレス決済が可能なレンタサイクルシステムを導入したことにより、利用者の利便性の向上を図ったが、利用者は減少し、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

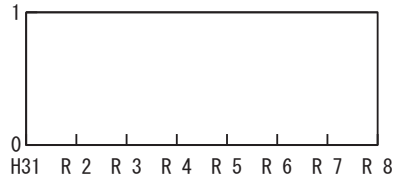


③

指標名		R 5実績	R 5目標	達成度

状況：

達成度の推移



施策の課題

自転車の利用環境の向上を図るため、道路管理者・鉄道事業者や商店街等が、各々の役割分担に基づき、関係機関と連携して計画的に事業の推進に努めているが、利害関係者間の意見調整に時間を要している。

施策の方向性

自転車の走行空間と駐輪スペースの確保を最優先に取り組むとともに、自転車事故対策やマナーアップ等について警察やその他の関係機関と連携して取り組む。
また、レンタサイクル事業の収支改善に向け、管理運営の効率化を進めるとともに、引き続き、利用促進施策に取り組み、新規利用者の増加を目指す。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	自転車利用環境整備事業 18,619千円 都市整備局 道路整備課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			75.5%		A	B	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 高松市中心部における自転車ネットワーク整備方針に示された対象路線のうち、１路線の整備を実施した。 ◎自転車道等整備済延長　実績１２．０ｋｍ（目標１５．９ｋｍ） なお、地元関係者との協議に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：１０，９３５，０００円） また、前年度からの繰越事業である自転車通行帯整備工事等については完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：５，２５４，０００円）							
2	レンタサイクル事業 63,002千円 都市整備局 交通政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	135.3%	60.2%	B	B	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 自転車整備員４名による点検整備を行うとともに、平成２６年度に公募により決定した新デザインを５０台（累計１，２９４台）の車両に塗装した。令和５年１０月からは、イベント「Ｓｅｔｏｕｃｈｉ　Ａｒｔ　Ｊａｃｋ　２０２３」にてアーティストが特別にデザインしたリサイクル自転車（５台）をアーティストモデルレンタサイクルとして貸出開始した。 また、香川大学の令和６年度入学予定者に利用してもらうため、各学部においてパンフレットを配布し、周知を行った。 ◎放置自転車撤去台数（禁止区域）　実績８４１台（目標１，３００台） ◎レンタサイクルの利用延べ人数 実績１６３，１３１人（目標２７１，２００人）							
3	放置自転車等対策事業 37,027千円 都市整備局 交通政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			146.5%		A	B	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 第３期高松市自転車等駐車対策総合計画等に基づき、引き続き、放置自転車の警告、移送、保管、返還、処分等を行った。 警　告　３４，７６８台 移　送　２，２４１台 返　還　９９５台 処分等　１，１８５台 ◎放置自転車警告件数　実績３４，７６８台（目標６５，０００台）							
4	駐輪場整備事業 7,529千円 都市整備局 交通政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			107.1%	87.6%	B	C	B	B	継続
		（事業概要、事業実績等） 高松市自転車等駐車対策総合計画等に基づき、中央商店街における民間自転車等駐車場の確保に対する支援を行った。 ◎鉄道駅周辺公共駐輪場の収容台数 実績１２，０５０台（目標１１，２５２台） ◎補助駐輪場の収容台数　実績３３３台（目標３８０台）							
5	（評価対象外）駐輪場管理事業 66,054千円 都市整備局 交通政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 引き続き、自転車等駐車場の維持・管理を行い、自転車等利用者の利便性の確保に寄与した。							

令和５年度　政策の概要調書

総合計画体系		
	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち
	政　策	**拠点性を発揮できる都市機能の充実**

総合評価
A

１　政策の概要

激しさを増す都市間競争において、本市の優位性を更に高め、拠点性を発揮できる都市機能の充実を図るため、高松空港や高松港の機能強化、四国への新幹線の導入促進など、拠点性を高める交通網の整備と利用促進に取り組みます。
また、都市計画道路等の整備により、道路交通の円滑化・安全性の向上など、拠点性を高める道路ネットワークの整備を進めます。
また、ウォーターフロントの魅力をいかしながら、サンポート高松など中心市街地の機能強化を図るとともに、魅力ある商業・業務空間の形成やまちなか居住を促進し、人々の回遊性を高めるなど、中心市街地の活性化に努めます。

２　政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
拠点性を高める交通網の整備と利用促進	81%	B
拠点性を高める道路ネットワークの整備	100%	A
中心市街地の活性化	93%	A
平均	91%	A

３　政策の評価

拠点性を発揮できる都市機能の充実に向けて、３施策に取り組んだ。
「拠点性を高める交通網の整備と利用促進」では、設定する３つの成果指標について、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、目標に届かなかった。
「拠点性を高める道路ネットワークの整備」では、設定する１つの成果指標について、目標を達成した。
「中心市街地の活性化」では、設定する３つの成果指標のうち、中央商店街の空き店舗率において、前年度に比べ改善傾向にあるものの、目標に届かなかった一方、他の指標については、目標を達成又はおおむね達成した。
以上により、政策を構成する施策の平均得点率は９１％となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
拠点性を高める交通網の整備と利用促進	22.5%	29.9%	71.2%
拠点性を高める道路ネットワークの整備	32.0%	22.0%	70.9%
中心市街地の活性化	27.7%	25.6%	65.2%
平均	27.4%	25.8%	69.1%

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	拠点性を高める交通網の整備と利用促進

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
651,437千円	B	22.5%	71.2%

まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち
政　策	拠点性を発揮できる都市機能の充実
担当局	都市整備局

対象	地域経済・産業（人・物・情報）	意図	環瀬戸内海圏の中核都市としての機能を発揮できる陸海空の交通ネットワークの整備と利用促進により、交流人口の拡大、物流の円滑化を促進し、地域経済及び産業の活性化を目指す。

概要（実績）

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが５類に移行したことにより、国内線の利用者数が堅調に推移したことに加え、国際線（ソウル線・台北線・香港線）の通年運航や、増便等により、定期路線利用者数が前年度から増加した。
また、高松港においては、４航路週７便の海上輸送網を維持しているが、高松港に入港した外国貿易船の年間延べ純トン数について、目標の達成には至らなかった。

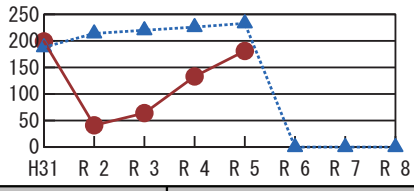
成果指標

① 指標名：高松空港の利用者数

R 5実績	R 5目標	達成度
181万人	233万人	77.7%

状況：新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが５類に移行したことにより、国内線の利用者数が堅調に推移したことに加え、国際線（ソウル線・台北線・香港線）の通年運航や、増便等により、前年度比１３５％となったが、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

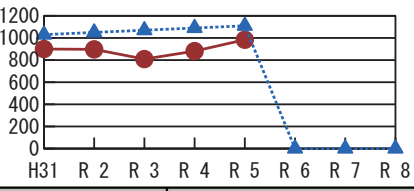


② 指標名：高松港に入港した外国貿易船の年間延べ純トン数

R 5実績	R 5目標	達成度
984千純トン	1,110千純トン	88.6%

状況：平成９年に韓国釜山航路が開設されて以降、順次航路開設が進み、現在４航路週７便の海上輸送網を維持しているが、目標を達成することができなかった。
（中国航路２便、韓国航路４便、フィーダー航路１便　計７便）

達成度の推移

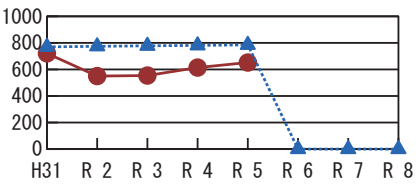


③ 指標名：市内ＪＲ駅の乗降客数

R 5実績	R 5目標	達成度
652万人	785万人	83.1%

状況：平成１９年度を基準年度として、毎年一定の利用者増（累積）を見込み、目標として掲げている。
なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標を達成することができなかった。

達成度の推移



施策の課題

高松空港においては、コロナ禍前の需要への早期回復を図るため、高松空港振興期成会の一員として、高松空港株式会社と連携し、今後を見据えた対応が必要である。
高松港においては、４航路週７便という海上輸送網を維持しているが、今後の航路拡充・物流量の増加に向けた地域経済の活性化に取り組む必要がある。
また、四国新幹線の実現を目指し、関係機関との連携により、整備計画への格上げに向けて取り組む必要がある。

施策の方向性

高松空港の航空路線については、航空ネットワークの拡充に向けて、チャーター便の誘致促進など、高松空港振興期成会の一員として、高松空港株式会社と連携して取り組む。
高松港の交通・物流拠点性の向上については、事業主体である香川県と連携し、より効率の良い施設整備及び運営に努める。
四国新幹線の整備計画への格上げに向けて、関係機関と連携し、国等への要望活動とともに、市民意識の醸成に努める。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	（評価対象外）広域輸送交通機関整備促進事業 524千円 都市整備局 交通政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 四国新幹線の導入が早期に図られるよう、「四国新幹線整備促進期成会」や「香川県ＪＲ四国線複線電化・新幹線導入期成同盟会」等を中心として、国への要望や勉強会の開催により、機運醸成に寄与した。 また、四国の新幹線の整備計画格上げ及び早期実現に向けては、整備ルートや駅の位置、並行在来線の在り方等について、地元自治体が主体的に検討することを通じて、機運の醸成を図るため、県内８市９町の首長で構成する「香川県市町長四国新幹線整備促進期成会」を設立した。							
2	航空路線網拡大促進事業 115,682千円 都市整備局 交通政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			87.5%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 高松空港振興期成会に対する負担金や国が施行する滑走路端安全区域（ＲＥＳＡ）整備事業に対する地元負担金を支出し、航空機の安全性の確保に寄与した。 ◎定期路線数　実績７路線（目標８路線） なお、高松空港関連整備事業地元負担金について、実施主体である国が事業の一部を翌年度に繰り越したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業費の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：２，９２０，０００円） また、前年度からの繰越事業については完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：２１，５８７，８２９円）							
3	（評価対象外）県施行港湾建設事業 535,231千円 都市整備局 河港課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 県が施行する高松港（玉藻、朝日地区）における津波等対策整備事業等に対し、費用の一部を負担した。 なお、事業主体である県が事業の一部を翌年度に繰り越したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：２２５，５８８，０００円） また、前年度からの繰越事業である港湾建設に係る負担金の支出については完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：１８２，９９１，４３９円）							

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	拠点性を高める道路ネットワークの整備

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
336,574千円	A	32.0%	70.9%

まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち
政　策	拠点性を発揮できる都市機能の充実
担当局	都市整備局

対象	意図
対象施設：都市計画道路 対象者：道路利用者（歩行者・自転車利用者・自動車利用者）及び道路周辺住民	中枢拠点都市としての道路ネットワークを強化し、安全安心な市民生活と機能的な都市活動を確保する。

概要（実績）

コンパクトな都市構造への転換に向けて、中心市街地地区を中心とした集約拠点間のアクセスを向上させるため、都市計画道路の整備により、道路ネットワークの強化を図った。
・高松海岸線（玉藻工区）、朝日町仏生山線　道路改良工事等
・木太鬼無線（三条工区）、公園東門線、朝日町仏生山線　用地補償等
・県施行街路事業地元負担金等

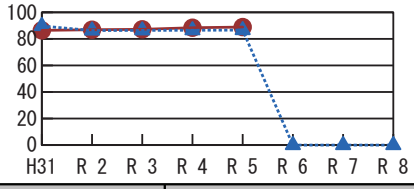
成果指標

①

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
都市計画道路整備率	88.9%	86.6%	102.7%

状況：高松海岸線を始め、木太鬼無線、朝日町仏生山線等の都市計画道路の整備を進め、目標を達成することができた。

達成度の推移

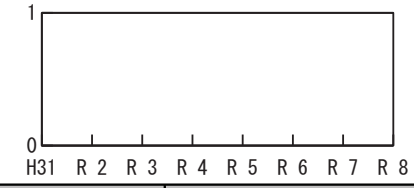


②

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度

状況：

達成度の推移

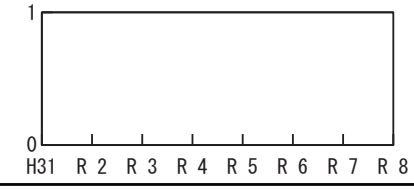


③

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度

状況：

達成度の推移



施策の課題

多額の事業費が必要な街路事業においては、将来を見据えたコンパクトで持続可能なまちづくりの視点など、更なる費用対効果の分析・検討が必要である。

施策の方向性

本市が目指す、多核連携型コンパクト・エコシティの実現に向け、立地適正化計画との整合性を図りつつ、都市の骨格を成す街路や集約拠点間を結ぶ道路ネットワークの強化が必要となっていることから、都市計画道路整備プログラムの見直しを進めており、令和６年度に完了する予定としている。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
1	街路事業（都市計画課分） 7,747千円 都市整備局 都市計画課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	100.0%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 前回の都市計画道路網の見直しから１０年以上が経過しており、将来の都市像を形成する都市計画道路ネットワークとしての必要性に変化が生じていることに加え、公共交通を基軸としたコンパクト・プラス・ネットワークの構築に向けた取組が、より一層求められていることから、過年度に実施した、都市計画道路網の見直し及び路線の廃止を踏まえ、道路整備プログラムの見直しを行い、案を取りまとめた。 ◎計画策定までの進捗率　実績１００％（目標１００％） なお、前年度からの繰越事業である道路整備プログラム等については完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：７，７４７，３００円）						
2	街路事業（道路整備課分） 328,827千円 都市整備局 道路整備課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	102.7%		A	B	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 都市交通の円滑化及び良好な都市環境の形成により、安全で快適な都市機能を確保するため、高松海岸線、木太鬼無線、朝日町仏生山線等、都市計画道路の整備を進めた。 ◎都市計画道路整備率　実績８８．９％（目標８６．６％） なお、地元関係者との協議に日時を要したこと等により、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：１７９，６５３，０００円） また、前年度からの繰越事業である道路改良工事、用地取得等については完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：１５９，３１２，８９１円）						

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	中心市街地の活性化

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
1,094,902千円	A	27.7%	65.2%

まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち
政　策	拠点性を発揮できる都市機能の充実
担当局	都市整備局、市民局

対象	意図
中心市街地	中心市街地の機能強化を図るとともに、魅力ある商業・業務空間の形成やまちなか居住を促進する再開発等の事業を推進することにより、中心市街地の活性化を目指す。

概要（実績）

本市を取り巻く環境の変化に伴い、中心市街地の人口減少や商店街の空き店舗の増加など、にぎわい・活力の低下が見られたので、にぎわいを戻すために、国の交付金を活用するべく、平成１９年５月に第１期高松市中心市街地活性化基本計画、２５年６月に第２期計画、令和元年７月に第３期計画を策定し、基本計画に登載された事業の適切な進捗管理を図りながら、域外からの流入を喚起する取組やまちなか居住の推進につながる施策などを推進した。
令和５年度は、５月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが５類に移行したことにより、経済活動が活発化され、インバウンドの増加やイベント開催など、にぎわいが回復され、歩行者通行量は目標を達成した。
空き店舗率は、近年の原材料の高騰や物価上昇の影響を受けたが、改善傾向にあり目標達成に近づいてきている。

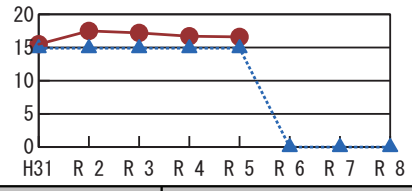
成果指標

① 指標名：中央商店街の空き店舗率

R 5実績	R 5目標	達成度
16.6%	14.9%	88.6%

状況：近年の原材料の高騰や物価上昇の影響を受けたが、空き店舗数は前年から３店舗減少し、空き店舗率は改善傾向にあり、目標達成に近づいてきている。

達成度の推移

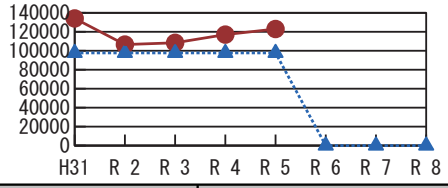


② 指標名：中央商店街の歩行者通行量

R 5実績	R 5目標	達成度
122,935人	97,721人	125.8%

状況：令和５年度の歩行者通行量は、５月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが５類に移行したことにより、イベントの再開などにぎわいが回復し、目標を達成することができた。

達成度の推移

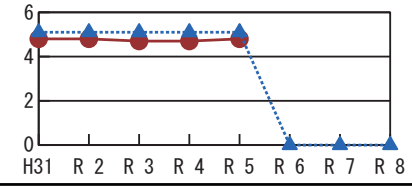


③ 指標名：中心市街地の居住人口の割合

R 5実績	R 5目標	達成度
4.8%	5.1%	94.1%

状況：前年度から２４８人増の２０，２１６人と増加傾向であり、居住人口の割合としても前年度から微増の４．８％となり、目標をおおむね達成することができた。

達成度の推移



施策の課題

民間主導により丸亀町商店街等で計画された再開発のうち、未着手の街区において、より魅力のある空間を創出することにより、中央商店街全体のにぎわいを取り戻すことを目指しており、事業化に向けた関係者の合意形成や事業スキームの確立が課題である。また、現行の第３期計画の事業評価検証内容を踏まえ、令和７年４月から引き続き中心市街地の活性化を推進していくため、第４期計画を策定し、中心市街地のにぎわいが創出できるよう、官民が連携を図りながら、一体となって取り組んでいく必要がある。

施策の方向性

中心市街地は、地域住民等の生活と交流の場であり、都市全体のまちづくりに関連するものであることから、その活性化は重要な継続課題である。
社会経済情勢を見極めながら、各事業の進行管理や精査・検討を行い、効果的に事業に取り組むとともに、拠点性を発揮できる都市機能の充実を図るため、高松市立地適正化計画等を踏まえた中心市街地活性化基本計画に基づき、民間事業者等との情報共有や連携を図りながら施策・事業を展開する。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1 中心市街地活性化推進事業（住宅・まちづくり推進室分） 16,802千円 都市整備局 住宅・まちづくり推進室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	一般重点	125.8%	70.0%	B	A	A	A	統合
	（事業概要、事業実績等） 中心市街地は、地域住民等の生活と交流の場であり、都市全体のまちづくりに関連するものである。 目指すべき中心市街地を具体化するために、令和元年６月に第３期中心市街地活性化基本計画を策定し、様々な事業を実施している。 令和７年３月には第３期となるこの計画が満了することから、現計画における事業評価検証を行い、各事業や施策を取りまとめ、引き続き、中心市街地の活性化を推進していくために、次期第４期計画の策定に向けて取り組んでいる。 ◎中央商店街の歩行者通行量　実績１２２，９３５人（目標９７，７２１人） ◎中心市街地活性化基本計画区域内の主要観光施設年間入込客数 実績２，０２２千人（目標２，８９０千人）							
2 （評価対象外）中心市街地活性化推進事業（交通政策課分） 171千円 都市整備局 交通政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） ＩｒｕＣａ電子マネー取扱手数料を支出することにより、中心市街地における施設利用者の利便性が向上した。							
3 （評価対象外）中央商店街調査事業 110千円 都市整備局 住宅・まちづくり推進室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 高松中央商店街の店舗立地動向調査は、高松商工会議所が年２回調査を行っており、現状の把握やこれまでの調査結果との比較分析のほか、中央商店街のにぎわい向上を図るために実施する事業の基礎データを整理しており、その調査費用の一部を負担した。							
4 （評価対象外）瓦町駅ビル利活用事業 109,882千円 市民局 市民課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 中心市街地における公共交通の結節点であるコトデン瓦町ビルの利活用を図るため、同ビル内に整備した市民交流プラザ「ＩＫＯＤＥ瓦町」を適切に維持管理した。 また、マイナンバーカード普及に伴い、コンビニの証明書交付サービス利用者が増加し、窓口での請求者が減少したことや、マイナポイント事業に係るマイナポータル手続の窓口業務が令和４年度で終了したことにより、市民サービスセンターへの来場者が減少したため、年間利用者は前年度比７．６ポイント減の１８２，２１６人となった。 なお、市民サービスセンター以外の来場者はいずれも増加した。							
5 （評価対象外）サンポート高松管理事業 742千円 都市整備局 都市計画課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） サンポート高松地区の高松駅南線用地及びペデストリアンデッキ等の適切な維持管理を行った。							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
6	サンポート地区等都市再生推進事業 24,595千円 都市整備局 都市計画課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		特別重点	16.7%		A	A	B	D	統合
		（事業概要、事業実績等） 県立アリーナ周辺環境整備については、駅からの歩行者の通行動線に係る施設整備の設計を行った。 官民連携による新たなまちづくりについては、持続可能なにぎわいと活力あるまちづくりを推進するため、公共空間を活用した社会実験を実施した。 ◎県立アリーナ開設に合わせた地域生活基盤施設、道路整備の進捗率 実績５％（目標３０％） なお、関係機関との協議に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：９５，９２５，０００円） また、前年度からの繰越事業である業務委託等については完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：１８，８６９，９８０円）						
7	南部３町商店街における優良建築物等整備事業 124,460千円 都市整備局 都市計画課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	100.0%		A	A	B	A	統合
		（事業概要、事業実績等） 常磐町地区における、優良建築物の整備を実施する民間事業者に対して、補助金を交付することにより、事業の進捗に寄与した。 ◎事業進捗率（事業費ベース）　実績１００％（目標１００％） なお、前年度からの繰越事業である共同施設整備等への補助については完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：７０，２０８，０００円）						
8	高松丸亀町商店街再開発事業 818,140千円 都市整備局 都市計画課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	115.5%	100.0%	A	A	B	A	統合
		（事業概要、事業実績等） 大工町・磨屋町地区における再開発事業を実施する再開発組合に対して、補助金を交付することにより、事業の進捗に寄与した。 ◎丸亀町商店街の通行量　実績２５，０２７人（目標２１，６７７人） ◎事業進捗率（事業費ベース）　実績１００％（目標１００％） なお、前年度からの繰越事業である共同施設整備等への補助については完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：３１０，９００，０００円）						

（6）市民と行政がともに力を発揮できるまち

令和５年度　政策の概要調書

総合計画体系		
	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち
	政　策	参画・協働によるコミュニティの再生

総合評価
C

１　政策の概要

参画・協働によるコミュニティの再生を図るため、新しい公共の担い手として、地域コミュニティ協議会が地域社会の中心的な役割を果たし、地域のまちづくりが活性化するよう、組織体制の充実を図るとともに、地域のリーダー養成や地域コミュニティ協議会事業への財政支援などを行い、地域コミュニティの自立・活性化に努めます。
また、多様なパートナーシップの下、市民や市民活動団体と行政との協働によるまちづくりを進めるため、市民活動センター機能の拡充や協働の担い手の育成など、協働事業を充実させるとともに、広聴・広報活動の充実、情報の公開・提供などによる行政の透明性の向上を図り、参画・協働の推進に努めます。
また、女木島、男木島及び大島、それぞれの島の特性や瀬戸内国際芸術祭の経験をいかし、多様な主体が参加・協働して島の魅力をいかした島づくりに取り組むことにより、交流・定住人口の拡大を目指し、離島の振興に努めます。

２　政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
地域コミュニティの自立・活性化	81%	B
参画・協働の推進	51%	D
離島の振興	65%	C
平均	65%	C

３　政策の評価

参画・協働によるコミュニティの再生に向けて、３つの施策に取り組んだ。
「地域コミュニティの自立・活性化」及び「参画・協働の推進」では、設定する４つの成果指標について、目標に届かなかった。
「離島の振興」では、設定する２つの成果指標のうち、イベント参加者数において、新型コロナウイルス感染症の影響による渡航制限等により、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を達成した。
以上により、政策を構成する施策の平均得点率は６５％となり、政策の目指す目標の達成に向けて一層の取組が必要であることから、本政策の総合評価は「C」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
地域コミュニティの自立・活性化	30.3%	15.8%	54.9%
参画・協働の推進	21.5%	13.4%	48.5%
離島の振興	20.7%	11.3%	42.8%
平均	24.2%	13.5%	48.7%

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	地域コミュニティの自立・活性化

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
1,357,789千円	B	30.3%	54.9%

まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち
政　策	参画・協働によるコミュニティの再生
担当局	市民局、政策局

対象	市民	意図	各地域コミュニティ協議会及び高松市コミュニティ連合会の活動を支援することにより組織強化を促すほか、地域コミュニティ活動の拠点整備を促進することにより、地域コミュニティの自立・活性化を目指す。

概要（実績）

１１月の自治会加入促進月間における啓発活動などの加入促進活動に加え、自治会の在り方等検討プロジェクトチームが検討を重ねた魅力ある自治会の姿について、最終報告書を活用して周知・啓発を行ったが、自治会加入率低下に歯止めはかからなかった。
また、コミュニティプランの見直しに対応するため、担当課による出前講座や関係各課からの情報提供を行い、コミュニティプラン見直しの支援を行ったが、目標を達成することができなかった。
さらに、人材育成としての人材養成事業の実施、活動拠点づくりとしてのコミュニティセンターの整備等の実施、活動支援としての地域まちづくり交付金の交付など、地域コミュニティ協議会及び自治会に対する支援を行った。

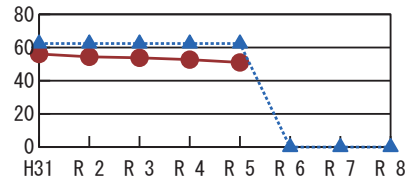
成果指標

①

指標名	自治会加入率	R 5実績	R 5目標	達成度
		51%	62.4%	81.7%

状況：自治会加入促進活動に加え、地域で自主的に設置する自治会の在り方等検討プロジェクトチームに市も参画し、魅力ある自治会づくりの効果的な活動などについて検討し、報告書を作成するとともに、それを活用した周知・啓発にも取り組んだが、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

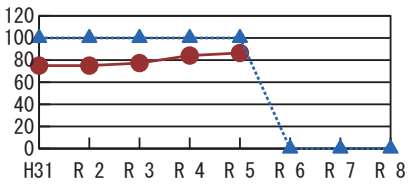


②

指標名	コミュニティプランの見直し率	R 5実績	R 5目標	達成度
		86.4%	100%	86.4%

状況：各地域コミュニティ協議会における課題や特性に合った事業が実施できるよう、コミュニティプランの見直しの支援に取り組んだが、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

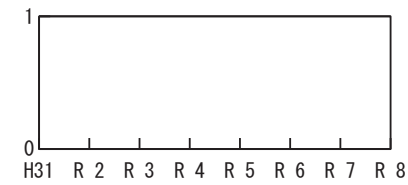


③

指標名		R 5実績	R 5目標	達成度

状況：

達成度の推移



施策の課題

地域コミュニティ協議会の中核組織である自治会の加入率低下が課題となっている。
また、地域コミュニティ組織の構築からおおむね１５年余が経過し、各地域コミュニティ協議会で活動への理解や取組状況に温度差が生じている。

施策の方向性

魅力ある自治会に近づくための効果的な施策を検討し、自治会の再生及び活性化に向けて、行政と地域が共に新たな自治会再生支援策に取り組む。
また、コミュニティ組織の強化・充実に向けて、高松市コミュニティ連合会や各地域コミュニティ協議会への支援を行うとともに、地域の裁量をいかした地域まちづくり交付金等によるコミュニティの活動支援を行う。
また、活動拠点となるコミュニティセンター施設について、平成３０年度から始動した新整備計画に基づき、計画的な改築及び改修を行う。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	地域まちづくり交付金事業 289,256千円 市民局 協働コミュニティ推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	86.4%		A	B	C	B	統合
		（事業概要、事業実績等） 地域コミュニティ協議会が、コミュニティプランに基づいて主体的に行うまちづくり活動を支援し、住民自治及び市民と行政の協働による地域自らのまちづくり活動を推進するため、地域コミュニティ協議会に対し、地域まちづくり交付金を交付したことにより、各地域におけるまちづくり活動の活性化に効果があった。 ◎コミュニティプランの見直し率　実績８６．４％（目標１００％）							
2	コミュニティ推進事業 39,733千円 市民局 協働コミュニティ推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			95.6%		A	B	A	A	改善継続
		（事業概要、事業実績等） （一社）高松市コミュニティ連合会の運営補助を行い、外部監査等を実施したことにより、会計の透明性が向上したほか、各種研修を実施し、地域コミュニティの人材育成と情報共有を図ることにつながった。 ◎講演会・講習会の参加者数　実績３９２人（目標４１０人）							
3	（評価対象外）コミュニティ活動支援システム整備事業 14,440千円 市民局 協働コミュニティ推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 令和３年度に、地域コミュニティ協議会にタブレット端末を配布したほか、クラウドサービスを導入したことにより、会議や研修のＷｅｂ参加、協議会同士の情報共有を促進し、コミュニティ協議会の事務効率化に寄与した。							
4	自治会再生支援事業 886千円 市民局 協働コミュニティ推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	81.7%		B	A	C	B	拡充
		（事業概要、事業実績等） 自治会加入率が低下の一途をたどる中、自治会の在り方等検討プロジェクトチームで取りまとめられた最終報告書をもとに、自治会実態把握調査事業及びマイタウンサポートリーダー事業を中心とした自治会再生支援を行った。 ◎自治会加入率　実績５１．０％（目標６２．４％）							
5	（評価対象外）離島等振興事業 805千円 政策局 地域活力推進室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 本市の離島において救急患者が発生し、船舶を借り上げて輸送した場合の輸送費補助を行うことにより、離島住民等の福祉の向上に寄与した。							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
6 コミュニティセンター整備事業 128,217千円 市民局 協働コミュニティ推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		100.0%		A	A	A	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 中期整備指針等に基づき、屋島・十河コミュニティセンターの外構工事を行うなど、地域の活動拠点づくりに貢献した。 ◎施設整備進捗割合　実績６０．８％（目標６０．８％） なお、前年度からの繰越事業である屋島コミュニティセンター外構工事等については完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：２２，４３９，５７０円）							
7 （評価対象外）コミュニティセンター管理運営事業（地域振興課分） 130,356千円 市民局 協働コミュニティ推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 公共施設点検マニュアルに基づき、各コミュニティセンターを、安全かつ快適に利用できうよう修繕工事等を行った。							
8 （評価対象外）学校跡施設管理運営事業 55,424千円 市民局 協働コミュニティ推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 学校跡施設の地域団体等による利用を促進することにより、地域住民のスポーツ・レクリエーション及び文化活動の場として活用することができた。							
9 （評価対象外）集会所施設管理事業（国分寺総合センター分） 10,405千円 市民局 国分寺総合センター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 市民に地域活動やレクリエーション等の交流の場所を提供したことにより、コミュニティ活動の活性化に寄与した。							
10 （評価対象外）集会所施設管理事業（牟礼総合センター分） 4,607千円 市民局 牟礼総合センター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 市民に地域活動やレクリエーション等の交流の場所を提供したことにより、コミュニティ活動の推進に寄与した。							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
11 （評価対象外）コミュニティセンター管理運営事業（コミュニティ推進課分） 528,529千円 市民局 協働コミュニティ推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） コミュニティセンターの管理運営を行うための指定管理者に各地域コミュニティ協議会を指定することにより、地域交流活動や生涯学習を推進するための拠点施設として活用することにつながった。							
12 自治会集会所整備支援事業 3,884千円 市民局 協働コミュニティ推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		99.4%		A	A	A	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 高松市自治会集会所改修等補助規程に基づき、地域住民の活動拠点である自治会集会所の改修等に対して助成を行った。 ◎自治会集会所整備率　実績３６．１％（目標３６．３％）							
13 （評価対象外）集会所施設管理事業（香川総合センター分） 38,377千円 市民局 香川総合センター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 市民に地域活動やレクリエーション等の交流の場所を提供したことにより、コミュニティ活動の推進に寄与した。							
14 地域コミュニティ協議会事務局体制強化支援事業 112,870千円 市民局 協働コミュニティ推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	一般重点	100.0%	86.4%	A	B	D	B	統合
	（事業概要、事業実績等） 地域コミュニティ協議会の事務局職員に対する人件費を補助することにより、事務局体制の強化に寄与した。 ◎事務局体制を構築・強化した地域コミュニティ協議会数 実績４４協議会（目標４４協議会） ◎コミュニティプランの見直し率　実績８６．４％（目標１００％）							

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	参画・協働の推進

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
162,589千円	D	21.5%	48.5%

まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち
政　策	参画・協働によるコミュニティの再生
担当局	市民局、政策局、総務局

対象	意図
市民	市民活動センター機能の充実や協働の担い手づくり等協働事業の充実、広聴・広報活動の充実、情報の公開・提供等行政の透明性を図ることにより、市民と行政との参画・協働によるまちづくりの推進を目指す。

概要（実績）

市民活動センターにおいて、講座、情報収集・発信、相談事業等を効果的に実施したことにより、市民活動団体等の活動支援につながるとともに、新たな「協働の担い手」が地域で事業を展開するなど、協働事業の充実に成果が得られた。高松市自治と協働の基本指針に定める「協働の原則」に基づき、研修等を行った結果、協働への理解が深まった。「広報高松」やホームページ、ＳＮＳ等、様々な媒体を活用して広報活動の充実に取り組むことにより、市民の市政への関心を高めるとともに、「市政出前ふれあいトーク」等の広聴活動を行うことにより、市民の市政への参画の促進に貢献した。情報公開及び個人情報保護の徹底を図るため、高松市情報公開条例に基づき、情報公開請求に対し適正な公開を行い、また、個人情報の保護に関する法律及び高松市個人情報の保護に関する法律施行条例に基づき、個人情報を適正に取り扱うとともに、個人情報の開示等について適切な措置を講じ、市民の市政に対する理解と信頼性を高めた。

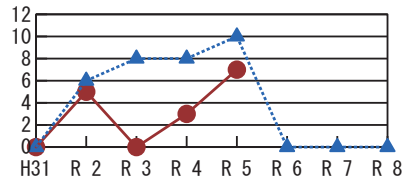
成果指標

①

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
ボランティアマッチング講座開講数	7講座	10講座	70.0%

状況：地域と市民活動団体等をマッチングするボランティアマッチング講座の開講数は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが５類に移行し、行動制限が緩和されたが、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

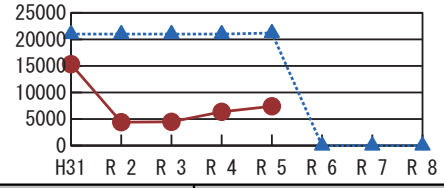


②

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
市政出前ふれあいトーク延べ参加者数	7,407人	21,200人	34.9%

状況：市政出前ふれあいトークの延べ参加者数は、新型コロナウイルス感染症の発生以降、申込件数が少ない状況が続いており、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

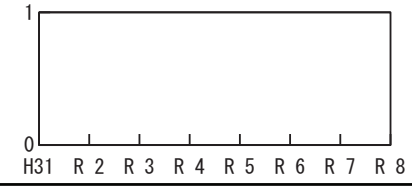


③

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度

状況：

達成度の推移



施策の課題

【市民局】市民活動団体等の活動支援のため、市民活動センターの機能強化を図るとともに、協働事業及び講座等を通じた効果的な協働意識の醸成と「協働の担い手」の育成が求められている。
【政策局】【総務局】市民との情報共有を推進するため、市政に関する情報を積極的に分かりやすく、適時・適切に提供するとともに、参画と協働による市政運営が行えるような市民との情報共有のための仕組みづくりが課題となっている。

施策の方向性

市民活動団体等の活動を支援する中間支援組織としての役割を果たせるよう、市民活動センターの機能強化に取り組む。また、協働事業及び講座等の充実を図り、職員や市民等の協働意識の醸成及び「協働の担い手」の育成を図る。
デジタル媒体を活用し、広報活動の強化に取り組むとともに、市長まちかどトーク等広聴活動を充実することにより市民の市政への参画を促進する。
市民の市政に対する理解と信頼を得るため、個人情報の保護と情報公開の徹底を図る。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容						
1	ボランティア・市民活動推進事業 （男女共同参画・協働推進課分） 1,315千円 市民局 協働コミュニティ推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			96.4%	130.3%	A	B	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 高松市協働づくり懇談会を２回開催し、市民活動推進施策等について広く意見を聴き、施策の推進につなげた。 協働推進員人材養成研修において、市民活動等に知識を有する講師を招き、職員の協働の意識が向上した。 なお、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが５類に移行し、行動制限が緩和されたことに伴い、受講者数は回復傾向にあるものの、目標を達成できなかった。 特定非営利活動法人認証等事務については、事業報告書等が未提出の法人に対し、督促書等の送付を行い、法人の適正な運営を促した。 ◎所属担当協働推進研修受講者数　実績１８６人（目標１９３人） ◎市民活動センター利用登録団体数　実績４３０団体（目標３３０団体）						
2	ボランティア・市民活動推進事業 （コミュニティ推進課分） 5千円 市民局 協働コミュニティ推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			110.0%		A	B	C	A	改善継続
		（事業概要、事業実績等） 地域担当協働推進員が配置となる地域のエリアを４つに分けて集合形式の研修を１回、座学による研修を１回開催するとともに、各種相談に対応することにより、協働の推進に寄与した。 ◎地域担当協働推進員研修受講者数　実績２４２人（目標２２０人）						
3	吹奏楽団事業 1,645千円 政策局 広聴広報・シティプロモーション課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			53.7%		A	A	B	C	継続
		（事業概要、事業実績等） 地域のイベントや小学校への訪問演奏などを通じて、「親しまれる市役所」を目指すとともに、地域の活性化や一体感の醸成を図ることとしている。 ◎聴衆者数（参加者数）　実績７，５２０人（目標１４，０００人）						
4	テレビ放送等広報事業 13,140千円 政策局 広聴広報・シティプロモーション課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			81.4%	105.7%	A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 市の重要施策や制度、市民生活に関わりの深い事業等を、分かりやすく紹介した市政番組を制作・放送し、市政に対する関心を高めた。また、郷土の歴史や伝統文化を紹介した番組を放送したり、シティプロモーション動画を制作し、高松ムービーチャンネルで公開するなど、シビックプライドの醸成に貢献した。 ・民放市政情報コーナー３分（１２回／年）、歴史番組１５分（３回／年） ・ＣＡＴＶ市政広報コーナー５分（４～６回／日、毎月１回内容更新） ・ＣＡＴＶ魅力発見コーナー５分（１回／日、毎月１回内容更新） ・ＦＭラジオ番組（５回／週（２～５分番組）、１回／月（５～１０分番組） ・広報動画１０分（１２回／年） ◎民放テレビ広報番組視聴率（年平均）　実績３．５％（目標４．３％） ◎ＣＡＴＶ市政広報番組視聴割合　実績７．４％（目標７．０％）						
5	ホームページ等管理運営事業 9,735千円 政策局 広聴広報・シティプロモーション課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			716.9%	231.3%	A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 本市の重要な施策や制度、イベント等の情報を、幅広くタイムリーに発信した。 また、動画配信サイト「高松ムービーチャンネル」において、市政情報のほか、イベントやおすすめスポット等、市の魅力発信を行った。 ◎広報動画再生件数 実績１２１，８８０回（目標１７，０００回） ◎市ホームページ（サイト全体）へのアクセス数 実績３４，６９４，６６２件（目標１５，０００，０００件）						

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容						
6 広報高松等発行事業 88,132千円 政策局 広聴広報・シティプロモーション課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		107.4%		A	A	A	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 「広報高松」を月１回、毎月約２０万部発行し、全戸配布した。 また、「まちをもっと好きになる」をコンセプトに紙面を作成し、市政情報とともに、市民の表情や活動などを掲載し、シビックプライドの醸成を図った。 さらに、市政情報や市視覚障害者福祉協会からのお知らせなどを、「点字広報」や「声の広報」として収録し、希望する市内在住の視覚障がい者に対して送付するとともに、市内４か所の市立図書館に配置した。 ◎広報高松を読んでいる人の割合　実績７６．８％（目標７１．５％）							
7 市民相談事業 12,049千円 政策局 広聴広報・シティプロモーション課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		100.0%		A	A	A	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 市民からの意見や提案等を市政に反映させるほか、日常生活での諸問題に対して弁護士・司法書士による相談などを行うことにより、市民が抱えている疑問や問題の解決に寄与することができた。 令和５年度実績 ・市政相談　２，０１０件 ・一般相談　２，００５件 ・専門相談　１，５８０件 ◎法律相談利用者の満足度　実績８５％（目標８５％）							
8 市民活動センター管理運営事業 20,786千円 市民局 協働コミュニティ推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		80.0%	70.0%	A	A	B	B	改善継続
	（事業概要、事業実績等） 市民と行政が共に考え、共に活動する協働の場として市民活動センターを効果的に運営し、市民活動に関する情報収集・発信、相談、学習機会の提供等の事業を実施するなど、市民活動の中間支援組織としての役割を果たした。 協働事業のモデル事業となる「高松市まちづくり学校運営事業」における「地域づくりチャレンジ塾」においては、これまでの塾生が行政や地域コミュニティ協議会、市民活動団体等と連携し、協働によるまちづくりを展開するなど、「協働の担い手」づくりの育成に寄与した。 なお、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが５類に移行したことに伴い、利用者数等が回復傾向にはあるが、目標値には届かなかった。 ◎市民活動センター総利用者数　実績１６，０６７人（目標２０，０８５人） ◎ボランティアマッチング講座開講数　実績７講座（目標１０講座）							
9 （評価対象外）情報公開・個人情報保護事業 2,867千円 総務局 コンプライアンス推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 情報公開事業 自治基本条例に規定する情報公開の徹底を図るため、高松市情報公開条例に基づき、適正に情報公開を推進した。 令和５年度実績 公開請求受付件数２，２８９件（うち取下げ３９件）、審査請求４件 個人情報保護事業 自治基本条例に規定する個人情報の保護の徹底を図るため、個人情報の保護に関する法律等に基づき、市の保有する個人情報を適正に取り扱うとともに、個人情報の開示等を請求する市民の権利について、適切な措置を講じた。 令和５年度実績 開示請求受付件数１６１件（うち取下げ２件）、審査請求０件							

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	離島の振興

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
15,142千円	C	20.7%	42.8%

まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち
政　策	参画・協働によるコミュニティの再生
担当局	政策局、都市整備局

対象	市民等（各島の住民・各島への渡航者）	意図	女木島、男木島及び大島のそれぞれの特性をいかした島外の人々との交流促進、交流・定住人口の拡大を図る。

概要（実績）

女木・男木島航路に係る利用促進策や大島の情報発信、交流イベントを実施することにより、各島において、島外の人々との交流の促進を図り、離島の活性化に寄与した。

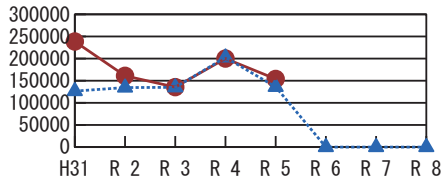
成果指標

①

指標名	各島への年間来島者数	R 5実績	R 5目標	達成度
		153,939人	136,000人	113.2%

状況：女木・男木島航路に係る利用促進策の実施や新型コロナウイルス感染症感染防止策を徹底しながら大島における交流イベントを実施した結果、目標を達成することができた。

達成度の推移

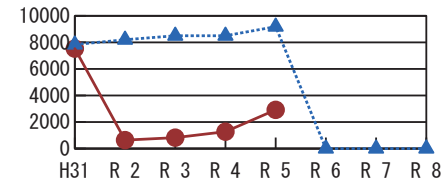


②

指標名	イベント参加者数	R 5実績	R 5目標	達成度
		2,918人	9,184人	31.8%

状況：大島振興方策等に基づき、人権学習を含む交流活動に取り組んだが、新型コロナウイルス感染症感染防止等の影響による渡航制限により、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

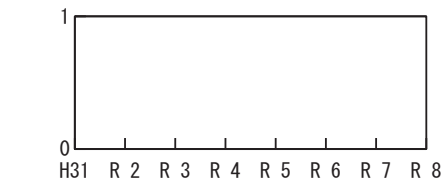


③

指標名		R 5実績	R 5目標	達成度

状況：

達成度の推移



施策の課題

瀬戸内国際芸術祭の開催等により、各島への渡航者が増加傾向にあるが、芸術祭期間以外においても航路の利用促進と島外との交流促進が図れるような施策の展開が必要である。

施策の方向性

各島の交流人口を増加させながら、更なる交流・定住を促進するため、多様な主体との連携・協働により各島の魅力をいかした情報発信やにぎわいの創出に取り組む。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	大島振興方策推進事業	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	31.8%		A	A	B	D	改善継続
		（事業概要、事業実績等） 感染症防止のための渡航制限が継続する中で、大島交流イベントを継続するとともに、新たな大島交流企画として、地元小学校と連携しながら、これまでの授業での『人権の学び』に加え、大島で発掘された文化財を通じて、大島の様々な歴史や美しい自然についての学習会を実施した。 ◎大島交流イベント参加者数　実績２，９１８人（目標９，１８４人）							
	政策局 地域活力推進室							
2	（評価対象外）男木交流館管理運営事業 7,051千円	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 瀬戸内国際芸術祭を契機として、スペインを代表するアーティストがデザインした現代アートの建築物である男木交流館について、必要な維持管理を行った結果、地域と観光客等との交流促進につながった。							
	政策局 地域活力推進室							
3	離島航路振興事業 8,091千円	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			87.7%		A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 平成２４年３月に策定した男木～高松航路改善計画に基づき実施している島発往復割引やゴールドＩｒｕＣａの提示による高齢者割引の適用等により、航路利用者は基準年である平成２１年度の約１．１９倍となった。 ◎女木・男木島航路利用者比率（基準年：平成２１年度） 実績１１８．６１％（目標１３５．１８％）							
	都市整備局 交通政策課							

令和５年度　政策の概要調書

総合計画体系		
	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち
	政　策	**相互の特長をいかした多様な連携の推進**

総合評価
A

１　政策の概要

相互の特長をいかした多様な連携を推進するため、近隣自治体と連携し、圏域全体の生活関連機能サービスの向上を始め、経済成長や高次の都市機能の集積・強化に資する事業の充実に取り組むとともに、香川県との連携強化を図り、連携事業の創出に取り組みます。
また、産・官・学・金・労等、多様な主体との連携強化を図り、地域経済の活性化や各種課題の解決を目指します。

２　政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
連携の推進	98%	A
平均	98%	A

３　政策の評価

相互の特長をいかした多様な連携の推進に向けて、１施策に取り組んだ。
「連携の推進」では、設定する３つの成果指標について、目標を達成又はおおむね達成した。
以上により、政策を構成する施策の平均得点率は９８％となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
連携の推進	18.3%	14.3%	52.1%
平均	18.3%	14.3%	52.1%

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	連携の推進

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
12,001千円	A	18.3%	52.1%

まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち
政　策	相互の特長をいかした多様な連携の推進
担当局	政策局

対象	国、県、県内市町、産学など	意図	広域的な課題を始め、基礎自治体や新たな都市圏域の在り方について調査・研究を進めるなど、効果的な連携を推進する。

概要（実績）

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン推進事業においては、協約を締結している２市５町と圏域全体の経済成長のけん引や高次の都市機能の集積・強化、生活関連機能サービスの向上を目指し、関連の事業を実施した。
多様な主体との連携事業においては、大学等や民間企業との連携協力に関する協定により、連携・協力事業を行った。
広域都市連携事業においては、知事と高松市長とのトップ会談等を開催した。

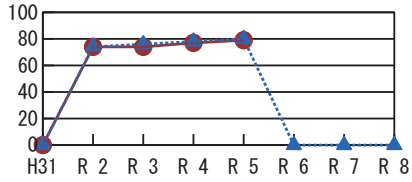
成果指標

①

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
連携中枢都市圏での連携事業数	79事業	80事業	98.8%

状況：新規事業数として、３事業を目標としていたが、公共施設等の共同利用整備事業とビジネスチャットツールを活用した情報共有等の促進事業の２事業となったため、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

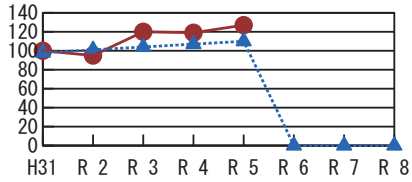


②

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
大学等との連携・協力事業数	127事業	110事業	115.5%

状況：大学等と新たな連携・協力事業に取り組んだことにより、目標を達成することができた。

達成度の推移

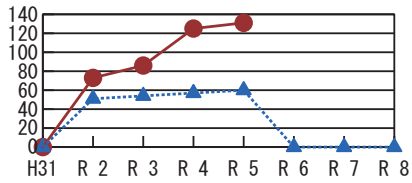


③

指標名	R 5実績	R 5目標	達成度
企業等との連携・協力事業数	131事業	60事業	218.3%

状況：企業等と新たな連携・協力事業に取り組んだことにより、目標を達成することができた。

達成度の推移



施策の課題

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョンについては、昨年５月に、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが５類に移行し、様々な連携事業に取り組んだが、圏域の人口は当初の想定よりも減少している。
本市の人口減少率は、香川県全体と比較すると緩やかではあるが、連携市町は、減少率が大きく、圏域の活性化のためには、生活関連機能サービスの向上などに資する取組の更なる推進が必要である。
企業等との連携については、移住・定住の促進など、交流に関して、１者と包括連携協定を締結した。引き続き、地域課題の解決を図るため、新たな連携事業に取り組む必要がある。

施策の方向性

令和５年２月に連携・協力に関する協定書を締結した神戸市等の広域都市間連携や、国・県・産・学との連携により、地域課題の解決を図る。
また、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏内の市町と連携して、連携事業を着実に推進することにより、人口減少、少子・超高齢社会においても一定の圏域人口を有し、活力ある社会経済の維持に努める。
さらに、大学、企業等の多様な主体との連携事業の拡充を図り、様々な地域課題の解決を図る。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	（評価対象外）広域都市連携事業 1,037千円 政策局 政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 県市間の重要課題に対する情報共有と意見交換を行うため、知事と市長とのトップ会談を１０月に開催した。 また、大阪・関西万博と瀬戸内国際芸術祭の同時期開催を見据えた地域活性化に取り組むため、瀬戸内４県都市長会での意見交換や連携・協力に関する協定書を締結している神戸市等との連携に取り組んだ。 さらに、早明浦ダムの水源域である、高知県土佐町及び本山町と連携し、水資源の保全や脱炭素化の取組を支援する「一般財団法人もりとみず基金」を設立した。							
2	多様な主体との連携推進事業 政策局 政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	115.5%	159.8%	A	A	B	A	拡充
		（事業概要、事業実績等） 大学・企業等との連携協力に関する協定に基づき、地域の様々な課題に迅速かつ適切に取り組むことにより、地域の活性化及び市民生活の向上に資する事業に取り組んだ。 ◎大学等との連携・協力事業数　実績１２７事業（目標１１０事業） ◎企業等との連携・協力事業数　実績１３１事業（目標８２事業）							
3	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン推進事業 335千円 政策局 政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			98.8%		A	A	B	A	改善継続
		（事業概要、事業実績等） 圏域全体の更なる活性化と魅力ある都市圏域の形成につなげるため、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会及び推進委員会を開催した。 また、事務局会等を開催し、取組内容の充実に向けて各連携市町の担当者間の情報共有を図った。 さらに、ポータルサイトを活用して、ビジョンに基づく取組や本市及び連携市町の魅力を発信した。 ◎圏域で取り組む連携事業の数（都市圏ビジョン登載事業数） 実績７９事業（目標８０事業）							
4	次期連携中枢都市圏構想策定事業 10,629千円 政策局 政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	100.0%		A	A	B	A	完了
		（事業概要、事業実績等） 瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会を開催することにより、圏域の目指すべき将来像などについて意見交換を行い、令和６年度から１０年度までを計画期間とする第２期瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョンを策定した。 ◎次期連携中枢都市圏構想策定進捗率　実績１００％（目標１００％）							

令和５年度　政策の概要調書

総合計画体系		
	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち
	政　策	健全で信頼される行財政運営の確立

総合評価
B

１　政策の概要

健全で信頼される行財政運営を確立するため、市民から信頼される職員を目指し、高松市職員人財育成ビジョンや「高松市職員のためのコンプライアンス推進施策」に基づき、職員の意識改革と資質の向上など職員力の向上を図ります。

また、引き続き、行財政改革計画を策定し、進行管理を行う中で、行財政改革の推進を図るとともに、自主財源の確保に努めながら、限られた財源を重点的、効率的に配分することにより、後年度に過大な債務負担を残さないよう効率的で効果的な行財政運営の推進に努めます。

２　政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
職員力の向上	74%	B
効率的で効果的な行財政運営の推進	91%	A
平均	82%	B

３　政策の評価

健全で信頼される行財政運営の確立に向けて、２施策に取り組んだ。

「職員力の向上」では、設定する３つの成果指標のうち、昇任試験受験率において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を達成又はおおむね達成した。

「効率的で効果的な行財政運営の推進」では、設定する３つの成果指標のうち、行財政改革計画の目標達成度において、目標に届かなかったものの、他の２つの指標については、目標を達成又はおおむね達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は８２％となり、政策全体として目指す方向におおむね順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「Ｂ」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
職員力の向上	30.3%	21.5%	69.1%
効率的で効果的な行財政運営の推進	24.5%	19.9%	65.4%
平均	27.4%	20.7%	67.3%

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	職員力の向上

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
26,893,072千円	B	30.3%	69.1%

まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち
政　策	健全で信頼される行財政運営の確立
担当局	総務局

対象	意図
市職員	職員の意識改革、資質向上及び組織の活性化を図るとともに、職員のコンプライアンス意識とモチベーションを向上させる。

概要（実績）

職員の長時間労働の是正とワーク・ライフ・バランスの推進を図るため、令和４年度から６年度までを計画期間とした、働き方改革３か年重点取組（第２期スマイルプラン）を策定し、全庁を挙げて集中的に働き方改革に取り組んでいる。

昇任試験制度においては、昨年度に引き続き、各職員から受験者を推薦する勧奨制度を実施し、積極的に応募を行うように取り組んだが、受験率の向上には至らなかった。

職員の役職等に応じた一般研修や公務員倫理研修を始めとした特別研修を行うことにより、職員の意識改革とコンプライアンス意識の向上に寄与した。

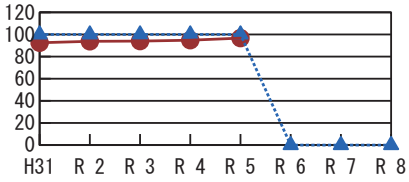
成果指標

① 指標名：市職員としてのコンプライアンスを理解している職員の割合

R 5実績	R 5目標	達成度
96.7%	100%	96.7%

状況：高松市職員のためのコンプライアンス推進施策に基づき、職員の意識改革に主眼を置いた各種取組を進めた結果、前年度に比べ１．９ポイント上昇したが、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

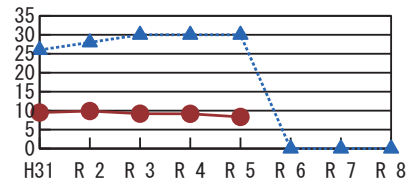


② 指標名：昇任試験受験率

R 5実績	R 5目標	達成度
8.35%	30%	27.8%

状況：昨年度から導入した、職員が受験者を推薦する勧奨制度を継続し、また、昇任に対してのネガティブなイメージを払拭するための情報発信を行うなど積極的な昇任試験の受験の促進に努めたが、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

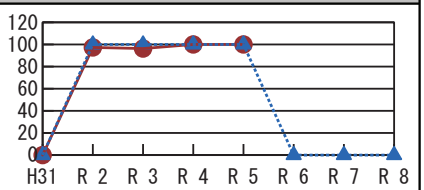


③ 指標名：職員の定員管理計画の目標達成率

R 5実績	R 5目標	達成度
100%	100%	100.0%

状況：令和４年３月に策定した第２次高松市職員の定員管理計画に基づき、職員数の適正化に努めた。
令和５年４月１日時点の会計年度任用職員を含めた全体の計画職員数５，４８５人に対し、５，４８３人と計画内での配置が行われている。

達成度の推移



施策の課題

職務に対する職員のモチベーション及びコンプライアンスに対する意識の向上が必要である。
また、職員一人一人が、公務員としての自覚を持って職務に取り組むことが求められる。

施策の方向性

高松市職員人財育成ビジョンに基づき、計画的に研修を実施し、職員力の向上を図るとともに、高松市職員のためのコンプライアンス推進施策の各種取組を着実に実施し、信頼される職員を育成する。また、業績評価を盛り込んだ人事評価制度を実施するほか、昇任試験制度も適宜見直しを行うとともに、受験しやすい環境づくりに努め、組織の活性化と市民サービスの向上を図る。加えて、多様な市民ニーズに対応するため、業務に必要な職員数も適正に管理していく。さらに、ワーク・ライフ・バランスの推進と長時間労働の是正に向け、働き方改革の取組を継続して推進する。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	（評価対象外）人材育成事業 15,192千円 総務局 人事課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 高松市職員人財育成ビジョンに基づき、多様化した行政需要に誠意をもって応え、将来を見据えた行政運営ができる職員を育成するため、各種研修を実施したことにより、職員の資質・能力の向上につながった。							
2	（評価対象外）職員力向上事業 5,830千円 総務局 人事課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 人事評価制度については、評価者に対する面談研修や新規採用職員に対する制度説明の研修を実施するなど、職員の人事評価制度に対する理解を促進するよう取り組んだ。 また、昇任試験制度においては、各職員から、受験者を推薦する勧奨制度を昨年度に引き続き実施し、積極的に応募を行うよう取り組んだが、受験率の向上には至らなかった。							
3	コンプライアンス推進事務 6,547千円 総務局 コンプライアンス推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			96.7%	77.7%	A	A	A	A	改善継続
		（事業概要、事業実績等） 高松市職員の倫理及び公正な職務の執行の確保に関する条例に基づき、内部公益通報や不当要求行為に対応するなど、職員の倫理及び公正な職務の執行の確保に取り組んだ。 また、高松市職員のためのコンプライアンス推進施策に基づき、各局において局内全職員を対象に公務員倫理に係る研修を実施するなど、職員の意識改革に主眼を置いた各種取組を実施した。 さらに、行政執行過程で生じる諸問題に対応するため、行政問題法律相談を実施するなど、職員のコンプライアンス意識や法的知識の向上に寄与した。 ◎市職員としてのコンプライアンスを理解している職員の割合 実績９６．７％（目標１００％） ◎懲戒処分者数の減少率（対平成２６年度比） 実績７７．７％（目標１００％）							
4	（評価対象外）人事管理事務 48,739千円 総務局 人事課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 引き続き、職員数の適正化を進めるとともに、人事院勧告に準拠した改定を行い、高松市職員の給与に関する条例等の一部改正を行った。							
5	（評価対象外）職員数適正化事業 総務局 人事課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 令和４年３月に策定した第２次高松市職員の定員管理計画に基づき、職員数については、計画の範囲内として、適正な職員の配置が行われた。							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容							
6	（評価対象外）組織機構・事務所管等の見直し事業 総務局 行政改革推進室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 社会状況の急速な変化や多様化・複雑化する市民ニーズを踏まえ、本市が目指すべき都市像を実現するために、「政策局」と「市民局」を新設する局の再編を始め、「広聴広報・シティプロモーション課」や「協働コミュニティ推進課」の新設、衛生センターの廃止など効率的・効果的な組織体制の見直しを行った。							
7	（評価対象外）職員福利厚生事務 134,928千円 総務局 人事課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 安全衛生委員会を実施し、職場の安全保持や職員の安全意識高揚を図るとともに、各職場内の一層の自主的な安全活動を推進した。 また、職員の安全管理と疾病を予防するため、産業医による健康・メンタルヘルス相談を実施した。 さらに、職員の心理的な負担の程度を把握し、メンタルヘルス不調を未然に防止するため、ストレスチェックを実施し、職員自身にストレスへの気づきを促した。							

令和　５年度　　施策の概要調書

施策	効率的で効果的な行財政運営の推進

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
49,612,318千円	A	24.5%	65.4%

まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち
政　策	健全で信頼される行財政運営の確立
担当局	総務局、出納、創造都市推進局、市民局、市議会事務局、政策局、監査委員事務局、財政局、選挙管理委員会事務局、都市整備局、出納室、公平委員会

対象	市民	意図	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化に的確に対応できる、効率的で効果的な行財政運営を推進し、より質の高い適切な公共サービスの提供を継続する。

概要（実績）

「効率的な行政運営の推進」では、ファシリティマネジメント推進事業において、高松市公共施設再編整備実施計画の策定等により、財政負担の軽減や平準化に向けた取組を推進したほか、東京事務所設置準備事業において、東京圏における官民連携やシティプロモーションを強化し、本市の持続可能なまちづくりを推進するため、東京事務所の設置に向けた準備や、東京圏での人的ネットワーク構築に取り組んだ。「健全な財政運営の推進」では、ふるさと高松応援寄附促進事業において、新たなふるさと納税ポータルサイトの追加や魅力のある返礼品の充実に取り組んだ結果、寄附額が増加したほか、競輪事業においては、各種経費の見直し等のコスト縮減と売上拡大を図る取組を行い、一般会計への繰出しを行った。「電子行政の推進」では、社会保障・税番号制度推進事業においてマイナンバーカードを活用した消費活性化策を実施したほか、ぴったりサービスや汎用電子申請フォーム等のツールを活用した行政手続のオンライン申請・届出の促進、ＩＣＴ・データを活用したスマートシティの推進により、生活の利便性や快適性を向上させた。

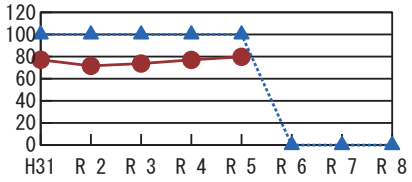
成果指標

①

指標名	行財政改革計画の目標達成度	R 5実績	R 5目標	達成度
		79.8%	100%	79.8%

状況：計画の取組項目９９件のうち、社会情勢の変化等により目標を達成できなかった事業があったことなどから、達成度が「達成」及び「おおむね達成」となった事業は７９件となり、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

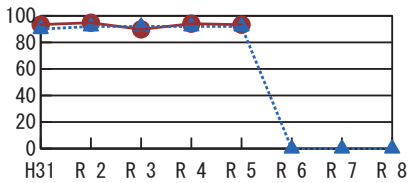


②

指標名	経常収支比率	R 5実績	R 5目標	達成度
		93.3%	92%	98.6%

状況：障害福祉サービス給付費（＋６億円）等の経常的な扶助費など経常経費が増加（＋２億円）した一方、地方交付税の増（＋２３億円）など経常一般財源が増加（＋１１億円）したことから、前年度比で０．８ポイント低下したものの、目標を達成することができなかった。

達成度の推移

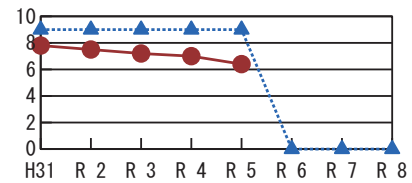


③

指標名	実質公債費比率	R 5実績	R 5目標	達成度
		6.4%	9%	128.9%

状況：公債費（△２２億円）が減少したことなどにより、前年度比で０．６ポイント改善し、目標を達成した状況を継続している。

達成度の推移



施策の課題

マイナンバーカードの積極的な申請補助サービス等による社会保障・税番号制度の普及促進や、ぴったりサービス・汎用電子申請フォーム等のツールを活用した行政手続のオンライン申請・届出を促進したことにより、住民サービスの向上につながった。今後は、スマートシティの実現に向けた取組の推進や行政手続のデジタル化の拡充等、さらに住民サービスや行政効率を向上させ、持続可能なまちづくりに取り組む必要がある。また、事業の選択と集中、ふるさと納税やクラウドファンディング等により、さらに自主財源を確保するほか、公共施設についてはファシリティマネジメントの観点から、財政負担の軽減化・平準化に努める必要がある。

施策の方向性

多様化・複雑化する市民ニーズや社会情勢の変化に的確に対応できる、効率的で効果的な行財政運営を推進し、健全で信頼される行財政運営の確立を目指す。

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
1	（評価対象外）市債管理事務 15,877,223千円 財政局 財政課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 建設事業等の財源として１５１億６，８３０万円の市債のほか、臨時財政対策債を２２億６，７００万円発行し、約１５３億１，８１８万円の元金償還を行った。							
2	（評価対象外）固定資産税等課税事務 84,210千円 財政局 資産税課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 土地、家屋及び償却資産の正確な評価により、当初課税事務を行ったほか、土地、家屋の異動状況の把握や償却資産の申告状況を把握することなどにより、課税客体の捕捉を行った。 令和６年度固定資産税当初調定 ・調定額　２７３億３，９５３万円（前年度比＋０．３６ポイント） ・納税義務者数　１７６，５４３人（前年度比＋０．１１ポイント）							
3	（評価対象外）市民税等課税事務 105,545千円 財政局 市民税課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 原則、全ての事業主について、特別徴収義務者の指定を行い、給与所得者に係る個人住民税の特別徴収の完全実施を行った。 給与所得者に占める特別徴収の割合 ８９．７％（前年度比△０．１ポイント） なお、事業進捗状況の遅れなどにより、年度内の支出が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：５２，９６５，０００円）							
4	（評価対象外）財政管理事務 7,281千円 財政局 財政課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 予算決算、財政収支見通し、公会計、交付税や市債の借入及び償還等財政全般に係る業務を行った。							
5	（評価対象外）収納管理事務 475,126千円 財政局 納税課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 引き続き、市税滞納者に対して、納税案内センターによる電話催告や文書による一斉催告などを実施し、差押えなど適切な滞納整理を行った。 令和５年度市税現年度分決算 収入額６５，０８３，６１１，５００円、収入率９９．３％ 令和４年度市税現年度分決算（参考） 収入額６４，７２３，６５１，２９４円、収入率９９．３％							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容						
6 ふるさと高松応援寄附促進事業 589,989千円 財政局 納税課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		111.5%	99.1%	A	A	B	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 新たなポータルサイトへの掲載や魅力ある返礼品の追加などにより、寄附金額は前年度比約１．１億円の増となった。 ◎ふるさと納税寄附人数　実績１０３，１１０人（目標９．２５万人） ◎ふるさと納税寄附金額　実績１，０４０，１８０千円（目標１０．５億円）							
7 （評価対象外）基金管理事務 1,410,685千円 財政局 財政課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 財政調整基金は前年度決算剰余金を２２億円、利息分を約６２９万円積み立てた一方、予算収支の均衡を図るため、１６億４，７２７万３千円取り崩した。 減債基金については、今後の公債費の負担に備え、５億円を積み立てた。 また、施設整備基金については、老朽化が進む公共施設の整備に対応するため、９億円を積み立てた一方、７億４，７００万円を取り崩した。							
8 （評価対象外）予備費管理事務 財政局 財政課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 令和５年６月２日の大雨及び令和５年８月１５日の台風７号の大雨により被災した道路の復旧費用のほか、令和６年能登半島地震の被災地支援に係る経費等、計９，３３２万円の予備費を充用した。							
9 競輪事業 26,632,112千円 創造都市推進局 競輪場事業課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		99.4%		A	A	B	A	改善継続
	（事業概要、事業実績等） 昭和２５年度から自転車競技法に基づき、①自転車その他の機械工業の振興、②体育、社会福祉などの公益の推進、③地方財政の健全化を図るため、競輪事業を実施している。 厳しい経営環境の中、ナイター場外発売や本市競輪場でのミッドナイト競輪の開催など、様々な車券売上の増加策を講じるとともに、各種経費の見直しを行い、経営改善に取り組んだが、目標をやや下回った。 ◎車券発売収入 実績２６，７２８，０８７千円（目標２６，８９３，２００千円）							
10 （評価対象外）会計管理事務 49,895千円 出納室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 公金の収納・支払事務を始め出納員検査を実施し、適正かつ効率的な会計事務を行った。 ・指定金融機関等の公金収納及び支払事務等検査 （実地＋書面検査：７金融機関９店舗、書面検査１１金融機関） ・出納員及び分任出納員等の職務執行状況調査１２１件 ・審査出納員の職務執行状況調査２７課							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容

11 （評価対象外）債権管理適正化推進事業

320千円

財政局
債権回収室

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性

（事業概要、事業実績等）
債権所管課において、回収に取り組んだものの、回収困難な強制徴収公債権、非強制徴収公債権及び私債権について、効率的・効果的な回収を行うため、納税課の滞納処分等の徴収ノウハウをいかし、預金等の差押えなど、徴収強化に取り組むとともに、収納担当者実務研修会を開催するなど、各債権所管課の債権管理におけるスキルの向上につなげた。

・債権回収額（令和５年度実績）　３，０３３，４５９円
・債権管理に関する研修会　５回

12 （評価対象外）牟礼浄化苑多目的広場管理事業

68千円

総務局
総務課

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性

（事業概要、事業実績等）
牟礼浄化苑多目的広場の適切な維持管理に取り組んだ。

13 （評価対象外）企画調整事務

4,976千円

政策局
政策課

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性

（事業概要、事業実績等）
全国的な意見交換や研修会等に参加したほか、公民連携の在り方検討プロジェクトなど、同様の課題を持つ自治体との協議・意見交換等を行ったことにより、課題の解決及び効率的な事業実施に寄与した。

14 （評価対象外）一般行政事務

38,415千円

総務局
総務課

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性

（事業概要、事業実績等）
適正な行政運営を推進するため、報道機関がインターネットを通じてリアルタイムで配信する行政情報サービスを活用したほか、包括外部監査を実施した。
また、市長、副市長の秘書業務及び貴賓の接遇を行った。

包括外部監査テーマ
・病院事業の財務事務の執行及び経営に関する事項について

15 （評価対象外）議員報酬、市長及び副市長の給料等審議会事務

117千円

総務局
総務課

重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性

（事業概要、事業実績等）
市長からの諮問に応じ、高松市議員報酬、市長及び副市長の給料等審議会を３回開催し、議員報酬の額、市長及び副市長の給料の額、議会における政務活動費の額について審議、答申した。

審議結果（令和５年度答申）
・議員報酬の額　据置き
・市長及び副市長の給料の額　据置き
・議会における政務活動費の額　据置き

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
16 （評価対象外）市政功労者表彰事務 1,082千円 総務局 総務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 多年にわたり公益の増進や市政の振興発展に寄与され、その功績が顕著な方々に、高松市表彰条例に基づき市政功労者表彰を行った。 令和５年度は市政功労者表彰式を令和６年２月１５日に開催し、１６人と１団体に対し、市長表彰を行った。 人目に付きにくい分野やボランティア分野など幅広い分野からの候補者の掘り起こしに努めるため、各局に積極的な呼び掛けを行った結果、各局からの候補者推薦件数は、昨年度（４人と１団体）から１２件増の１７件であった。							
17 ファシリティマネジメント推進事業 4,693千円 財政局 ファシリティマネジメント推進室	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		100.0%		A	A	A	A	継続
	（事業概要、事業実績等） 施設所管課との情報共有・情報提供を進めながら、再編整備実施計画の早期策定に向けた支援を行った。 ◎再編整備実施計画策定済みの施設数　実績３４施設（目標３４施設）							
18 （評価対象外）たかまつ創生総合戦略推進事業 1,997千円 政策局 政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） たかまつ創生総合戦略推進懇談会を開催し、たかまつ創生総合戦略の進捗状況や効果の検証を行ったことにより、効果的な事業推進に寄与した。							
19 （評価対象外）公文書館管理運営事業 13,821千円 総務局 総務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	（事業概要、事業実績等） 公文書等の管理に関する法律が制定され、公文書の適正な管理と歴史公文書等の適切な保存及び利用に関する努力義務が規定されており、高松市公文書館は歴史公文書等の保存、利用及び調査研究を行う施設として、全国的にも先進地として認定され、適正な管理運営を実施できている。							
20 次期総合計画策定事業 18,504千円 政策局 政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	特別重点	100.0%		A	A	A	A	完了
	（事業概要、事業実績等） 総合計画審議会、議員全員協議会、まちづくりタウンミーティングを開催し、市民の意見を反映しながら、第７次高松市総合計画基本構想と実施計画を策定した。 ◎次期総合計画策定進捗率　実績１００％（目標１００％）							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
21	（評価対象外）支所・出張所管理運営事業（山田総合センター分） 29,446千円 市民局 山田総合センター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 地域における行政サービスの拠点として、本庁機能の分散の受け皿となり、地域住民の福祉や利便性の向上に寄与した。							
22	（評価対象外）支所・出張所管理運営事業（仏生山総合センター分） 49,142千円 市民局 仏生山総合センター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 地域における行政サービスの拠点として、本庁機能の分散の受け皿となるとともに、福祉相談窓口の強化を図るなど、地域住民の福祉や利便性の向上に寄与した。							
23	（評価対象外）仏生山交流センター管理運営事業 45,673千円 市民局 仏生山総合センター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 指定管理者を指定し、同センターの効果的な管理運営に努めるとともに、指定管理者が実施するイベントや貸館事業を通じて、地域のにぎわい創出に寄与した。							
24	総合センター整備事業 95,052千円 市民局 協働コミュニティ推進課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		特別重点	100.0%	100.4%	A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 山田総合センターについては、整備工事が完了し、令和５年４月１日に開設した。 ◎総合センターへの移行施設数　実績６か所（目標６か所） ◎総合センターの取扱業務数　実績２６１業務（目標２６０業務） なお、山田総合センター外構工事等については、工程調整に日時を要したことにより、年度内に予算の執行が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：８７，０７１，０００円） また、前年度からの繰越事業である公園整備（防火水槽含む）については完了した。 （令和４年度繰越明許事業費：２７，７１３，７００円）							
25	（評価対象外）行政不服審査事務 49千円 総務局 総務課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 行政不服審査法に基づき、行政庁の処分に関して、高松市長に対し審査請求が行われた件について、審理員による審理手続、行政不服審査会への諮問を経て裁決を行うなど、適切な対応を行った。 令和５年度実績 ・審査請求の受付件数　　０件 ・行政不服審査会の開催　１回							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性

（事業概要、事業実績等）

26	（評価対象外）行政改革推進事業 361千円 総務局 行政改革推進室								

令和２年度から４年間を計画期間とする第８次高松市行財政改革計画に基づき、市政全般にわたって行財政改革に取り組み、１５億７，５６０万８千円の実績（歳入増加額と歳出削減額の合計額）があったほか、事務事業の改革・改善の実効性を高めるため、高松市行財政改革推進委員会による外部評価を実施し、４事業について評価及び今後の取組方針を決定した。

27	（評価対象外）議会事務 567,211千円 市議会事務局 総務調査課								

（事業概要、事業実績等）

議員の調査研究に資するため、政務活動費を交付し、調査活動の充実に寄与した。

市民への議会情報の提供として、インターネットによる議会映像の配信や議会広報紙「たかまつ市議会レポート」の配布及び市議会ホームページへの掲載を行った。

また、市民との意見交換会を１回、高松第一高等学校生徒との意見交換会を２回、香川大学大学生との意見交換会を１回開催し、市議会への関心を高めた。

議会活動資料として、会議録を始め、市政概況、主要・新規事業調べなどを作成し、議員等に提供した。

また、タブレット端末を利用したペーパーレス化を進めており、各種資料提供についてもタブレット端末を利用して行っている。

28	（評価対象外）工事請負契約等事務 52,631千円 財政局 契約監理課								

（事業概要、事業実績等）

工事及び物品に係る入札等について、「かがわ電子入札システム」を利用した契約事務を執行することにより、入札手続の透明性を確保するとともに、市及び入札参加業者の入札事務の効率化に寄与した。

29	（評価対象外）文書事務 46,715千円 総務局 総務課								

（事業概要、事業実績等）

・本庁舎ＰＰＣ複写機１９台を職員の利用に供した。
　（用紙購入枚数約１，００８万枚（Ａ４換算））
・１６２件の例規の制定改廃を行った。
・メールカーによる支所・出張所等集配便により約３０万６，０００件の文書を集配した。
・文書管理システムにおける電子決裁率が９８．４５％となった。

30	（評価対象外）庁舎等管理事務 907,402千円 財政局 財産経営課								

（事業概要、事業実績等）

利用者に安全で快適な環境を提供するため、庁舎設備のほか、不具合箇所については随時修繕を実施したことにより、庁舎等の適切な維持管理を行った。

なお、庁舎交流無停電電源装置等改修工事について、工事調整に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。
（繰越明許費繰越額：１７，６０６，０００円）
また、前年度からの繰越事業である庁舎自動火災報知設備改修工事及び庁舎空調設備用冷温水配管等改修工事については完了した。
（令和４年度繰越明許事業費：７４，１８５，０００）

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
31	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
（評価対象外）公有財産管理事務 51,254千円 財政局 財産経営課								
	（事業概要、事業実績等） 公有財産の適正管理を行うとともに、未利用財産の貸付けや売払処分等、公有財産を有効活用し、適正な財産管理を行った。 ・貸付け４１件、貸付収入１２，９２１，１８７円 ・売払い４件（一般競争入札１件、随意契約３件） 売払収入４５２，００６，１２５円							
32	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
（評価対象外）自動車管理事務 74,892千円 財政局 財産経営課								
	（事業概要、事業実績等） 公用車を一括管理することにより、車検・点検・修繕関係等を計画的に実施するなど、保険・燃料関係を含めた公用車の適正管理を行った。							
33	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
（評価対象外）総合計画推進事業 13,650千円 政策局 政策課								
	（事業概要、事業実績等） 市民の意見を市政に反映させるため、第６次高松市総合計画に掲げる施策に対する満足度や重要度、「高松市への愛着度」「市政への関心」等について、市民満足度調査を実施した。 ・市民満足度調査回答率　３６．４％（９０９人／２，５００人） ・施策全体の満足度　　２９．５％（前年比＋２．６ポイント） ・施策全体の不満度　　１７．６％（前年比－０．２ポイント）							
34	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
（評価対象外）公平委員会事務 826千円 公平委員会								
	（事業概要、事業実績等） 地方公務員法に基づき、中立的かつ専門的な人事機関として、人事行政の公平性・中立性の確保や職員の権利を保護するため、臨時会を開催した。 令和５年度実績 ・公平委員会臨時会　４回開催 ・職員の勤務条件に関する措置要求及び不利益処分に対する審査請求　０件 ・職員からの苦情相談の実施　５件 ・職員団体の登録等に関する事務　７件							
35	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
（評価対象外）支所・出張所管理運営事業（地域振興課分） 17,686千円 市民局 協働コミュニティ推進課								
	（事業概要、事業実績等） 地域における行政サービスの拠点として、本庁機能の分散の受け皿となり、地域住民の福祉や利便性の向上に寄与した。							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
36	（評価対象外）戸籍・住民基本台帳事務 271,336千円 市民局 市民課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 市内に本籍又は住所を定める日本人及び外国人からの戸籍届出や住民異動届出等に基づき、戸籍簿や住民基本台帳等を適正に管理するとともに、住民票の写し等の各種証明書交付事務等を実施した。 なお、関係機関との協議に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：２６，９２８，０００円） 内訳：戸籍事務費６，７６５千円、住民基本台帳事務費２０，１６３千円						
37	（評価対象外）選挙管理委員会事務 10,211千円 選挙管理委員会事務局 選挙課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 市内の小・中学校及び高等学校の児童生徒を対象に「明るい選挙啓発ポスター」を募集し、瓦町フラッグでポスター展を開催したほか、選挙啓発カレンダーを作成し、市内の小・中学校に配布するなど、児童生徒に対する選挙啓発を行った。 また、高等学校、特別支援学校、さぬきこどもの国において模擬投票などの選挙啓発を行ったことにより、若年層における有権者意識が向上した。							
38	（評価対象外）選挙執行事務 228,692千円 選挙管理委員会事務局 選挙課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 公職選挙法の規定に基づき、香川県議会議員選挙、高松市議会議員選挙及び高松市長選挙の管理執行を適正に行った。 また、端岡財産区議会議員選挙を執行した。							
39	（評価対象外）支所・出張所管理運営事業（香川総合センター分） 53,483千円 市民局 香川総合センター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 地域における行政サービスの拠点として、本庁機能の分散の受け皿となるとともに、福祉相談窓口の強化を図るなど、地域住民の福祉や利便性の向上に寄与した。							
40	（評価対象外）支所・出張所管理運営事業（国分寺総合センター分） 46,256千円 市民局 国分寺総合センター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 地域における行政サービスの拠点として、本庁機能の分散の受け皿となるとともに、福祉相談窓口の強化を図るなど、地域住民の福祉や利便性の向上に寄与した。							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
41	（評価対象外）支所・出張所管理運営事業（牟礼総合センター分） 40,633千円 市民局 牟礼総合センター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 地域における行政サービスの拠点として、本庁機能の分散の受け皿となるとともに、福祉相談窓口の強化を図るなど、地域住民の福祉や利便性の向上に寄与した。							
42	（評価対象外）統計調査事業 14,153千円 総務局 デジタル戦略課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 統計法に基づく各種基幹統計調査（住宅・土地統計調査や漁業センサスなど）を実施した。							
43	（評価対象外）監査事務 4,207千円 監査委員事務局 監査課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 令和５年度高松市監査実施計画に基づき、合規性、経済性、効率性、有効性の視点から、「ユニバーサルデザインの考え方に基づいた情報提供等について」を重点取組事項とした行政監査や定期監査、例月現金出納検査、決算審査など、事務改善や行財政改革の推進に資する監査を実施するとともに、改善に向けた取組を促進した。 また、監査結果や措置通知等の公表は、市民に対し、分かりやすいものとなるよう工夫し、情報発信を行った。							
44	（評価対象外）市有建築物設計監理監督事務 19,402千円 都市整備局 建築課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 主管課からの依頼を受け、塩江道の駅エリア整備、田井・大町地区幼保一体化施設整備、北部分団消防屯所建設、旧高松テルサ非構造部材等改修、扇町保育所大規模改修などの実施設計を行った。 また、高松第一高等学校、吉光児童館の建設、文化芸術ホール、庁舎空調設備用冷温水配管・発電設備の改修などの工事監理を行ったほか、安全・安心で良質なストック整備事業の支援及び技術的な助言を行った。							
45	自治推進事業 政策局 政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			101.7%		A	A	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 高松市自治基本条例について、本市ホームページでの逐条解説の公開や高松市自治基本条例パンフレットの配布により、市民への周知啓発や職員への研修等を行った。 ◎施策全体の満足度（市民満足度調査）　実績２９．５％（目標２９％）							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容							
46	（評価対象外）支所・出張所管理運営事業（勝賀総合センター分） 19,702千円 市民局 勝賀総合センター	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		（事業概要、事業実績等） 地域における行政サービスの拠点として、本庁機能の分散の受け皿となるとともに、福祉相談窓口の強化を図るなど、地域住民の福祉や利便性の向上に寄与した。							
47	東京事務所設置準備事業 2,289千円 政策局 政策課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			111.1%		A	A	B	A	完了
		（事業概要、事業実績等） 都内のコワーキングスペースを試行的に利用しながら、高松市東京事務所の設置場所を検討した結果、令和６年４月１日からＷｅＷｏｒｋ丸の内北口に開設することに決定した。 また、他自治体の東京事務所と共同で実施した東京圏でのイベントにおいて、本市ＰＲブースを出展するとともに、様々な分野で活躍している本市出身の東京圏在住者と日常的な交流を行い、人的ネットワークを構築した。 ◎東京事務所開設進捗率　実績１００％（目標９０％）							
48	社会保障・税番号制度推進事業（デジタル戦略課分） 42,855千円 総務局 デジタル戦略課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	112.1%		A	B	B	A	統合
		（事業概要、事業実績等） 本庁や市民サービスセンター、総合センターにおいて、写真撮影及びオンライン申請補助サービスを継続したほか、市内各地域での出張申請イベントを実施することにより、マイナンバーカード交付率の向上に寄与した。 また、マイナポイント事業第２弾についての広報活動や、マイナポイント設定支援窓口を設置するなどの取組を行うことにより、市民の利便性が向上した。 ◎マイナンバーカード交付率　実績７８．４４％（目標７０％）							
49	スマートシティたかまつ推進事業 81,967千円 総務局 デジタル戦略課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		特別重点	136.4%		A	B	B	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 国のデジタル田園都市国家構想交付金事業に採択され、地域学習プラットフォームの構築を行った。 また、産学民官の多様な主体が参画するスマートシティたかまつ推進協議会と連携を図りながら、様々な分野での取組を推進するとともに、誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化のため、いわゆるデジタルデバイドの解消に向けた対策を進めるなど、ＩＣＴ・データの活用により地域課題の解決を図る「スマートシティたかまつ」の実現に寄与する事業を進めた。 ◎共通プラットフォームで収集・分析するデータ種別数 実績１５件（目標１１件）							
50	オープンデータ利活用推進事業 2,900千円 総務局 デジタル戦略課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	145.5%		A	B	B	A	統合
		（事業概要、事業実績等） 誰でも利用可能なオープンデータの件数を増加させ、データ利活用の環境を充実させたほか、産学官連携の下、ハッカソン、ワークショップ等を開催し、データ利活用人材の育成を進めた。 ◎オープンデータ件数　実績２９１件（目標２００件）							

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

	事務事業名及び事業費 担当課	事業内容
51	自治体ＤＸ推進事業（情報マネジメント課分） 10,131千円 総務局 情報マネジメント課	重点：一般重点　成果達成度：82.1%　291.0%　妥当性：A　有効性：A　効率性：A　総合評価：A　今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） ＡＩ－ＯＣＲ、ＡＩ議事録等の積極的な活用やＲＰＡのシナリオの見直しなどにより、業務の効率化が図られ、業務時間やコスト縮減の効果があった。 ◎行政手続のデジタル化実施件数　実績２３０件（目標２８０件） ◎デジタルツールを活用して効率化を図った事務事業数 実績５８２件（目標２００件）
52	自治体ＤＸ推進事業（デジタル戦略課分） 3,100千円 総務局 デジタル戦略課	重点：一般重点　成果達成度：82.1%　291.0%　妥当性：A　有効性：A　効率性：A　総合評価：A　今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） ぴったりサービスや汎用電子申請フォーム等のツールを利用し、行政手続のオンライン申請・届出を促進したほか、職員向けに汎用電子申請フォームやＥｘｃｅｌ等のツール研修を実施することにより、職員の業務スキル向上につながった。 また、ＲＰＡやＡＩ－ＯＣＲ、ＡＩ議事録作成ツール等の様々なデジタルツールを活用することにより、職員の作業時間が短縮され、効率的な行政運営の推進に寄与した。 ◎行政手続のデジタル化実施件数　実績２３０件（目標２８０件） ◎デジタルツールを活用して効率化を図った事務事業数 実績５８２件（目標２００件）
53	社会保障・税番号制度推進事業（市民課分） 73,319千円 市民局 市民課	重点：一般重点　成果達成度：112.1%　妥当性：A　有効性：B　効率性：B　総合評価：A　今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） 交付率の低い地域や介護施設での出張申請、委託業者を活用した商業施設での出張申請、県と連携した商業施設での出張申請等の実施により、マイナンバーカードの普及促進に寄与した。 ◎マイナンバーカード交付率　実績７８．４４％（目標７０％）
54	（評価対象外）塩江ケーブルネットワーク管理運営事業 5,319千円 市民局 香川総合センター	重点：　成果達成度：　妥当性：　有効性：　効率性：　総合評価：　今後の方向性： （事業概要、事業実績等） 塩江ケーブルネットワークを通じて、地域のニーズに即した情報を提供することにより、公共サービスの高度化に寄与した。 また、令和４年７月１日には、同設備の民間譲渡が完了し、市の管理運営は、おおむねＦＭ告知放送端末のみに縮小した。
55	情報処理システム管理運営事業 1,180,184千円 総務局 情報マネジメント課	重点：　成果達成度：100.0%　妥当性：A　有効性：A　効率性：A　総合評価：A　今後の方向性：継続 （事業概要、事業実績等） システム障害等インシデント発生時も迅速かつ適切に対応し、情報システムや情報インフラを安定的かつ効率的に運営管理した。 ◎インシデント解決率　実績１００％（目標１００％）

令和　５年度　　主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
56	超高速情報通信網整備事業 10,461千円 総務局 情報マネジメント課		100.0%		A	A	A	A	継続
		（事業概要、事業実績等） 公設民営方式で整備した男木島の超高速情報通信網の適切な維持管理を実施し、情報通信サービス等の安定した利用環境を提供した。 ◎市域における整備率　実績９９．９％（目標９９．９％）						

（参考）
第６次高松市総合計画に掲げる施策の目標と実績

（ 参 考 ）

第６次高松市総合計画に掲げる施策の目標と実績

１　健やかにいきいきと暮らせるまち

政策	施策	指標名	指標の説明	現況値（R5）	目標値(R5)
子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実	子どもの成長への支援	１歳６か月児健康診査受診率	１歳６か月児健康診査対象者のうち受診した割合	99.8 %	95.0 %
		認定こども園数	教育・保育施設のうち認定こども園の施設数	26 施設	22 施設
		自立支援プログラム策定者の就職率	母子・父子自立支援プログラム策定者のうち就職に至った割合	66.7 %	90.0 %
	子育て家庭への支援	子ども食堂等箇所数	民間が実施するこども食堂等の箇所数	32 か所	26 か所
		放課後児童クラブ入会率	放課後児童クラブ利用申込者のうち入会した割合	98.3 %	100.0 %
		保育施設等待機児童数	４月１日現在での保育施設等待機児童数	12 人	0 人
支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成	地域福祉の推進	民生委員・児童委員の充足率	条例で定める民生委員・児童委員の定数の充足割合	98.1 %	100.0 %
		指導監査における文書指摘がない社会福祉法人等の割合	指導監査を行う社会福祉法人及び社会福祉施設のうち文書指摘がない法人・施設の割合	70.3 %	75.0 %
	地域包括ケアシステムの構築	要介護者の在宅比率	在宅での要介護認定者の割合	79.8 %	79.2 %
		自立高齢者率	介護・支援を必要としていない６５歳以上の高齢者の割合	78.8 %	78.5 %
		自立後期高齢者率	介護・支援を必要としていない７５歳以上の高齢者の割合	65.4 %	62.1 %
	障がい者の自立支援と社会参加の促進	施設入所者の地域生活への移行者数（累積）	障害者支援施設から持ち家、賃貸住宅、グループホーム等へ移行した障がい者数	194 人	137 人
		福祉施設から一般就労への移行者数	就労系障害福祉サービス事業所から一般就労へ移行した障がい者数	88 人	54 人
	生活困窮者等への自立支援	勤労収入の増加による生活保護廃止率	生活保護廃止世帯数に占める勤労収入の増加による廃止世帯数の割合	10.7 %	22.0 %
		支援プラン作成率	自立相談支援センターたかまつでの新規相談受付件数に占める支援プラン作成割合	48.7 %	50.0 %
健康で元気に暮らせる環境づくり	健康づくりの推進	介護保険の要介護２～５の認定率	６５歳以上で、介護保険の要介護２～５の認定者の割合	11.4 %	11.1 %
		がん検診受診率（２０～６９歳）	「高松市民の健康づくりに関する調査」において、過去１年間に各種がん検診を受けたと回答した方の割合	61.3 %	60.0 %
		内臓脂肪症候群該当者出現率（国保ベース）	特定健康診査受診者に占める内臓脂肪症候群該当者の割合	22.9 %	13.7 %

健康で元気に暮らせる環境づくり	医療体制の充実	立入検査違反率	立入検査を行った医療施設のうち、違反が認められた施設の割合	15.8 %	40.1 %
		地域医療機関からの紹介率	市民病院に地域の医療機関から患者を紹介された割合	79.0 %	60.0 %
		地域医療機関への逆紹介率	市民病院が地域の医療機関に患者を紹介した割合	88.0 %	85.0 %
	社会保障制度の適切な運営	国民健康保険の被保険者１人当たりの保険給付費	保険給付費を国民健康保険の被保険者数で割った数	418,214 円	427,000 円
		介護保険サービス利用率	要介護（要支援）認定者に占める介護保険利用者の割合（いずれも第２号被保険者含む）	85.8 %	84.2 %
		１人当たり介護サービス費用額	介護保険サービス利用者１人当たりの介護給付費費用額（いずれも第２号被保険者含む）	154,368 円	150,800 円

２　心豊かで未来を築く人を育むまち

政策	施策	指標名	指標の説明	現況値（R5）	目標値(R5)
男女共同参画社会の形成	男女共同参画の推進	審議会等における女性委員の割合	本市審議会等における女性委員の割合	39.3 %	44.0 %
		事業所における女性従業員の割合	市内事業所における女性従業員の割合（アンケート調査）	―	50.0 %
		男性の育児休業者がいた事業所の割合	１年間に男性の育児休業者がいた市内事業所の割合（アンケート調査）	―	6.3 %
社会を生き抜く力を育む教育の充実	学校教育の充実	学校評価平均評価得点（確かな学力の育成に関すること）	各校の確かな学力の育成に関する評価得点（最高値４点、最低値１点）の平均点	3.2 点	3.5 点
		学校評価平均評価得点（体力・運動能力の育成に関すること）	各校の体力・運動能力の育成に関する評価得点（最高値４点、最低値１点）の平均点	3.2 点	3.5 点
	学校教育環境の整備	学校施設長寿命化整備の進捗率	学校施設整備計画（仮称）に基づく令和５年度末の長寿命化整備工事計画棟数を１００とした場合の進捗率	50.0 %	100.0 %
		ＩＣＴを活用した授業を行っている教員の割合	電子黒板や教材提示装置、デジタル教科書等を利用して授業を行っている教員の割合	89.9 %	100.0 %
	子どもの安全確保	子ども人口千人当たりの不審者情報メール配信先件数	１５歳未満の子ども人口千人当たりの不審者情報メールを配信した相手先の件数	10.4 件	9.1 件
		通学路合同点検計画における達成率	高松市通学路交通安全プログラムにおける通学路合同点検の計画目標値に対する達成割合	100.0 %	100.0 %

社会を生き抜く力を育む教育の充実	青少年の健全育成	子ども会加入率	子ども会会員となっている児童の割合	58.1 %	73.0 %
		少年人口千人当たりの補導人数	５～１９歳の少年人口千人当たりの少年育成センター・少年育成委員・高松地域生徒指導推進協議会等による補導活動で補導された人数	8.3 人	4.5 人
	家庭・地域の教育力の向上	地域交流事業を実施している割合	子どもを中心にした地域交流事業を実施している地域の割合	65.9 %	100.0 %
		朝ごはん摂取率	「早寝早起き朝ごはん」生活リズムチェックシート調査における朝ごはんを毎日摂取している小学校６年生の割合	85.2 %	91.0 %
	大学等高等教育の充実	包括協定を結んでいる大学等の学生・生徒の充足率	包括協定を結んでいる大学等の定員に対する学生・生徒数の割合	90.2 %	99.6 %
		包括協定を結んでいる大学等入学生の市内出身者割合	包括協定を結んでいる大学等における入学生に占める市内出身者の割合	25.5 %	26.0 %
心豊かで地域力を育む生涯学習社会の形成	生涯学習の推進	まなびＣＡＮ及びコミュニティセンターの講座の参加者数等	まなびＣＡＮの来館者数及びコミュニティセンター講座（女性教室、家庭教育学級を除く）の延参加者数	427,832 人	637,000 人
		市民１人当たりの図書館図書貸出冊数	本市の人口１人当たりの図書館図書の年間貸出冊数	5.6 冊	8.2 冊
基本的人権を尊重する社会の確立	人権尊重意識の普及・高揚	人権啓発事業等参加者数	人権教育市民講座参加者、みんなで人権を考える会、人権啓発推進員による啓発事業及び人権啓発講演会への参加者数	4,504 人	14,000 人
	平和意識の普及・高揚	平和意識の啓発に関するイベントなどの参加者数	市が主催する平和意識の啓発に関するイベントなどの参加者数	7,384 人	8,250 人

３　産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち

政策	施策	指標名	指標の説明	現況値（R5）	目標値(R5)
地域を支える産業の振興と経済の活性化	商工業の振興	中小企業経営講習会の年間受講者数	本市と高松商工会議所の共催により開催している中小企業経営講習会の年間受講者数	1,501 人	2,500 人
		中央商店街の空き店舗率	中央商店街における店舗のうち、空き店舗が占める割合	16.6 %	14.9 %
		企業誘致助成制度指定件数	企業誘致助成制度の指定件数（平成21年度以降の累積指定件数）	132 件	125 件
	農林水産業の振興	認定農業者数	本市が認定した認定農業者数	332 経営体	320 経営体
		農畜産物販売額（ＪＡ取扱金額に限る）	市内の農畜産物販売金額（ＪＡ取扱金額に限る）	41.7 億円	42 億円
		卸売市場の取扱金額	青果、水産物及び花きの取扱金額	305 億円	318 億円

地域を支える産業の振興と経済の活性化	特産品の育成・振興とブランド力の向上	販路開拓事業等来場者数	販路開拓事業等の来場者数	8,754 人	23,000 人
		盆栽輸出登録申請者数（ＥＵ）	農林水産省神戸植物防疫所坂出支所に申請があった数	18 人	26 人
		伝統的ものづくり普及啓発事業等参加者数	伝統的ものづくり親子体験教室や巡回教室等の参加者数	446 人	1,000 人
	就業環境の充実	中小企業等表彰事業（働き方改革部門）の表彰事業者の延べ数	中小企業等表彰事業（働き方改革部門）の表彰事業者の延べ団体数	8 団体	10 団体
文化芸術の振興と発信	文化芸術の振興	文化芸術ホールにおける事業の参加者数	文化芸術ホールにおいて開催される全事業の参加者数	―	―
		アウトリーチ事業の参加者数	地域に出向いての文化芸術活動（アウトリーチ事業）の参加者数	70,819 人	125,000 人
		美術館来館者数	高松市美術館及び塩江美術館の展覧会観覧者、イベント参加者、講座室利用者等合計人数	180,123 人	174,000 人
	文化財の保存・活用	歴史資料館等利用者数	歴史資料館・石の民俗資料館・香南歴史民俗郷土館・讃岐国分寺跡資料館の利用者数	142,830 人	145,000 人
		文化財学習会・体験講座参加者数	ふるさと探訪等文化財学習会・体験講座の参加者数	223 人	1,400 人
元気を生み出すスポーツの振興	スポーツの振興	社会体育施設利用者数	社会体育施設の延べ利用者数	1,946,573 人	3,137,000 人
		トップスポーツチーム試合観戦者数	トップスポーツ４チームのホームゲーム観戦者数	83,953 人	179,200 人
		トップスポーツ４チームの後援会等会員（高松市民）数	各チームにおける後援会やクラブの会員（個人）のうち、高松市民を抽出した会員数	1,083 人	1,600 人
訪れたくなる観光・MICE（マイス）の振興	観光客受入環境の整備	観光施設等利用者数	市内の主な観光施設等利用者数	5,717 千人	7,100 千人
		香川県への再来訪意向割合	香川県観光客動態調査報告の「香川県への再来訪意向」における「ぜひ来たい」「来たいと思う」と回答した人の割合	88.8 %	85.0 %
	観光客誘致の推進	まつり・イベント入込客数	観光イベント振興事業補助対象事業入込客数	615 千人	810 千人
		コンベンション数	（公財）高松観光コンベンション・ビューロー報告の「コンベンション統計」における開催件数	169 件	306 件
		エクスペリエンス高松（ホームページ）閲覧件数	エクスペリエンス高松のホームページ閲覧件数	767,295 件	144,000 件

国際・国内交流の推進と定住の促進	国際・国内交流の推進	姉妹・友好都市等との交流事業参加者数	姉妹・友好都市等との交流事業に参加した人数	353 人	400 人
		国内の提携都市との交流事業参加者数	国内の提携都市との交流事業に参加した人数	123 人	400 人
	移住・交流の促進	高松市移住ナビ（ホームページ）閲覧件数	高松市移住ナビのホームページ閲覧件数	85,540 件	36,380 件
		年間社会増	本市の１年間の転入者数と転出者数の差（社会増減）	−97 人	1,000 人

４　安全で安心して暮らし続けられるまち

政策	施策	指標名	指標の説明	現況値（R5）	目標値(R5)
安全で安心して暮らせる社会環境の形成	消防・救急の充実強化	出火率	人口１万人当たりの出火率	3.1 %	3.2 %
		救命率	心肺機能停止傷病者が社会復帰した割合（暦年）	8.8 %	8.0 %
	防災・減災対策の充実	地域における防災訓練の実施率	防災訓練を実施したことがある地域の割合	93.2 %	100.0 %
	交通安全対策の充実	交通事故発生件数	市内の交通事故発生件数	1,462 件	2,280 件
		人口10万人当たりの交通事故による死者数	県警交通事故統計資料による（市町別交通事故発生状況）	2.90 人	3.23 人
	防犯体制の整備	人口千人当たりの街頭犯罪等発生件数	市内における人口千人当たりの街頭犯罪等発生件数	2.7 件	3.9 件
	生活衛生の向上	食品衛生等違反指導率	立入監視を行った施設のうち違反等指導を受けた施設の割合	2.0 %	1.0 %
		犬・猫の殺処分率	引き取った犬・猫のうち、引き取り手がなく殺処分された犬・猫の割合	43.5 %	50.0 %
	消費者の権利保護と自立促進	消費生活相談における解決割合	消費生活センターへの相談のうち、解決に導けた件数（他機関への誘導を含む）の割合	98.5 %	99.5 %
環境と共生する持続可能な循環型社会の形成	ごみの減量と再資源化の推進	１人１日当たりのごみ排出量	ごみ総量に対する１人１日当たりの排出量	866 g/人・日	874 g/人・日
		１人１日当たりの資源化量	資源化した総量に対する１人１日当たりの量	159 g/人・日	192 g/人・日
	廃棄物の適正処理	一般廃棄物の年間埋立処分量	一般廃棄物の年間埋立処分量	12,738 t	11,270 t
		産業廃棄物の不適正保管量	産業廃棄物の不適正保管量	15,206 t	11,500 t

環境と共生する持続可能な循環型社会の形成	不法投棄の防止	不法投棄通報、相談件数	不法投棄通報及び相談件数の合計	97 件	100 件
		ボランティア清掃の参加者数	地区一斉清掃及びボランティア清掃の参加者数	163,717 人	226,000 人
	地球温暖化対策の推進	市有施設における再生可能エネルギー発電設備の発電出力	市有施設における再生可能エネルギー発電設備の発電出力	5,699 kW	5,060 kW
		地球温暖化防止のための取組実施率	家庭における地球温暖化防止のための取組の実施率（アンケート調査）	39.8 %	57.4 %
	環境保全活動の推進	環境学習参加者数	南部クリーンセンターの施設見学者数及び南部クリーンセンター、まなびＣＡＮ、環境保全推進課（令和４年度からは環境総務課）の行う環境学習事業の参加者数	5,572 人	6,150 人
豊かな暮らしを支える生活環境の向上	居住環境の整備	建築物等の完了検査済証交付率	建築確認済証を交付した建築物等のうち、竣工後に完了検査済証を交付した割合	105.976 %	100 %
		老朽危険空家除却支援件数（累計）	老朽危険空き家除却支援制度利用により除却した空き家件数	290 件	303 件
	身近な道路環境の整備	市道改良延長	50m以上連続した幅員４m以上の区間を有する市道	1,577 km	1,519 km
	河川・港湾の整備	治水施設の不具合による浸水発生件数	治水施設の不具合により浸水が発生した件数	0 件	0 件
		津波・高潮対策施設の整備率	香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画における第１期整備計画延長に対する整備済延長の比率	70.0 %	100.0 %
	みどりの保全・創造	市民１人当たり都市公園等の面積	市民１人当たりの都市公園等の面積	9.58 ㎡	9.28 ㎡
	水の安定供給	１人１日当たり水道平均使用水量	給水人口１人１日当たりの水道平均使用水量	299 L	299 L
	汚水・雨水対策の充実	汚水処理人口普及率	総人口に対する生活排水処理施設整備人口の割合	89.7 %	89.3 %
		雨水対策整備率	下水道事業計画区域内において雨水による浸水対策が講じられた面積の割合	48.8 %	49.6 %
		下水道管路耐震化率	管路総延長に対する耐震管延長の割合	39.9 %	39.2 %

５　環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち

政策	施策	指標名	指標の説明	現況値（R5）	目標値(R5)
コンパクトで魅力ある都市空間の形成	多核連携型コンパクト・エコシティの推進	用途地域内の人口比率	用途地域内の人口の割合	63.3 %	64.9 %
		中心市街地の居住人口の割合	中心市街地活性化エリア内の人口の割合	4.8 %	5.1 %
	景観の保全・形成・創出	特別な区域における既存不適格広告物の適正化率	特別な区域における既存不適格広告物の件数のうち、改修等がなされた件数の割合	83.0 %	80.0 %
快適で人にやさしい都市交通の形成	公共交通の利便性の向上	公共交通機関利用率	本市の人口のうち、公共交通機関利用者数の割合	14.1 %	16.5 %
		交通結節拠点におけるバス路線の結節数（都心部を除く）	交通結節拠点となる鉄道駅に、結節させるバス路線総数（都心部を除く）	9 路線	14 路線
	自転車の利用環境の向上	自転車道等整備済延長（累積）	高松市中心部における自転車ネットワーク整備方針に位置付けられた路線の整備延長	12.0 ㎞	15.9 ㎞
		レンタサイクル利用者数	１年間のレンタサイクルを利用した延べ人数	163,131 人	328,500 人
拠点性を発揮できる都市機能の充実	拠点性を高める交通網の整備と利用促進	高松空港の利用者数	高松空港を離発着する定期航空路線の年間利用者数	181 万人	233 万人
		高松港に入港した外国貿易船の年間延べ純トン数	特別とん税の課税基準となる、外国貿易船の年間延べ純トン数	984 千純トン	1,110 千純トン
		市内ＪＲ駅の乗降客数	市内にあるＪＲ駅での年間乗降客数	652 万人	785 万人
	拠点性を高める道路ネットワークの整備	都市計画道路整備率	都市計画道路の計画延長ベースでの整備進捗率	88.9 %	86.6 %
	中心市街地の活性化	中央商店街の空き店舗率	中央商店街における店舗のうち、空き店舗が占める割合	16.6 %	14.9 %
		中央商店街の歩行者通行量	中央商店街の歩行者通行量（全日、15地点）	122,935 人	97,721 人
		中心市街地の居住人口の割合	中心市街地活性化エリア内の人口の割合	4.8 %	5.1 %

６　市民と行政がともに力を発揮できるまち

政策	施策	指標名	指標の説明	現況値（R5）	目標値(R5)
参画･協働によるコミュニティの再生	地域コミュニティの自立・活性化	自治会加入率	世帯のうち自治会加入世帯の割合	51.0 %	62.4 %
		コミュニティプランの見直し率	コミュニティプランを見直したコミュニティの割合	86.4 %	100.0 %
	参画・協働の推進	ボランティアマッチング講座開講数	地域に出向いて行った市民活動団体講座数	7 講座	10 講座
		市政出前ふれあいトーク延べ参加者数	市政出前ふれあいトーク延べ参加者数	7,407 人	21,200 人

参画・協働によるコミュニティの再生	離島の振興	各島への年間来島者数	１年間の女木島・男木島・大島と島外の交流者数	153,939 人	136,000 人
		イベント参加者数	大島で行われる講演会、学習交流、アーティスト・イン・レジデンスの参加者数	2,918 人	9,184 人
相互の特長をいかした多様な連携の推進	連携の推進	連携中枢都市圏での連携事業数	圏域における生活関連機能サービスの向上、経済成長のけん引、高次の都市機能の集積・強化に資する連携事業数	79 事業	80 事業
		大学等との連携・協力事業数	庁内照会により把握した大学等と本市の連携・協力事業数	127 事業	110 事業
		企業等との連携・協力事業数	庁内照会により把握した企業等と本市の連携・協力事業数	131 事業	60 事業
健全で信頼される行財政運営の確立	職員力の向上	市職員としてのコンプライアンスを理解している職員の割合	コンプライアンスに関する職員意識調査の設問の回答割合	96.7 %	100.0 %
		昇任試験受験率	昇任試験受験資格がある職員が試験を受験した割合	8.35 %	30.0 %
		職員の定員管理計画の目標達成率	職員の定員管理計画における目標職員数に対する達成率	100.0 %	100.0 %
	効率的で効果的な行財政運営の推進	行財政改革計画の目標達成度	実績報告に係る達成度について、「達成」及び「おおむね達成」の事業の割合	79.8 %	100.0 %
		経常収支比率	経常的な収入を毎年度必要となる経常的・義務的な経費に使っている割合	93.3 %	92.0 %
		実質公債費比率	経常的な収入を実質的な借入金支払（公債費や公営企業繰出金など）に充てている割合	6.4 %	9.0 %